

元総社蒼海遺跡群

(74)～(80)・(92)～(94)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2
0
1
7
・
3

2017.3

前橋市教育委員会

元総社蒼海遺跡群

(74)～(80)・(92)～(94)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2017.3

前橋市教育委員会

口絵 1



元総社蒼海遺跡群 (75) W - 1 号溝跡全景 (西から)



元総社蒼海遺跡群 (78) 全景 (上が北)

口絵 2



元総社蒼海遺跡群 (79) 全景（上が北）



元総社蒼海遺跡群 (80) 全景（上が北）

はじめに

関東平野の北西部に群馬県は位置し、前橋市はその中央、上毛三山のひとつ名峰赤城を背にし、利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。豊かな自然環境にも恵まれ、2万年前から人々が生活を始め、縄文時代の遺跡も、市内の随所に存在します。

古代において前橋台地は、広大な穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野国の中心地として栄えました。また、律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であったことから、横浜に至る街道は「日本のシルクロード」とも呼ばれ、横浜港からは前橋シルクの名前で海外に輸出され、近代日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する「元総社蒼海遺跡群(74)・(75)・(76)・(77)・(78)・(79)・(80)・(92)・(93)・(94)」は、上野国府の想定域そのものではありませんが、国府周辺域の遺跡の有様を考察する上で重要な地域であり、その成果に期待がもたれていました。今回の調査では、古代の住居跡、中世の堀跡等が調査されました。残念ながら、現状のまでの保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められましたことに感謝いたします。また、発掘調査にあたられた担当者・作業員のみなさんのご尽力にも、厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成29年3月

前橋市教育委員会
教育長 佐藤博之

例　　言

- 1 本書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴って実施した元総社蒼海遺跡群（74）（75）（76）（77）（78）（79）（80）（92）（93）（94）の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地 群馬県前橋市総社町3015-11・12・13、元総社町1375 ほか
- 3 調査は、前橋市教育委員会の指導のもとに委託者 前橋市長 山本 龍（都市計画部区画整理第二課）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永眞弘）が実施した。
調査担当者 板垣 宏・荻野博巳・瀧澤典雄（スナガ環境測設株式会社）
- 4 発掘調査期間 平成26年9月19日～平成27年3月27日
整理期間 平成28年8月5日～平成29年3月24日
- 5 調査面積 2,491.2m²
- 6 本調査における図面・写真・遺物は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。
- 7 測量・調査計画…須永（眞）、調査助言…金子正人、調査担当…板垣・荻野・瀧澤、測量調査…山口慶太・岡田弥生・松井直人・西谷徳雄・細井美佐子・斎藤和代・新井益子・高橋祐巳子・奈良啓子、安全管理…金子、重機オペレータ…金子・松井・武井知司、作業事務…須永豊が担当した。
- 8 本書は、前橋市教育委員会の指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…Iについては藤坂和延（前橋市教育委員会）、II～VIは板垣、遺物観察は板垣・瀧澤が担当した。編集・校正…須永（眞）・金子、実測図の整理ほか…板垣、遺構・遺物のトレース…夏原・瀧澤・須永薰子、遺物の整理実測…瀧澤・岡田、遺物洗浄…中川絹子・山崎由紀枝、宇田紀代、写真整理…岡田が担当した。
- 9 発掘調査に参加した方々（敬称略・順不同）
長澤俊男 小林隆一 大浜利幸 山口淳太郎 菊川 育 芳川孝夫 菊川 勝 飯島正孝
石原 功 秋間直人 竹内利夫 関根ちさと 清水宏通 古森東一 塚越 昇 名島松生
山形春男 清水源治 長岡 保 久保田一郎 入江 清 佐藤 修 武藤 光 加藤嘉昭
笹尾信治 清水萬年 須田友造 金子登喜夫 石坂 満 斎藤祐次 高橋民雄

凡　　例

- 1 遺跡の略称は、26A168、26A169、26A173、26A174、26A175、26A176、26A177、26A183、26A184、26A189である。
- 2 插図に国土地理院発行の1:200,000地形図「宇都宮・長野」、1:25,000「前橋」、1:6,000前橋市現形図を使用した。
- 3 遺構名の略称および遺構実測図中の記号は、次のとおりである。
古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡…H 竪穴状遺構…T 溝跡…W
井戸跡…I 土坑…D ピット…P
- 4 実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。
遺構 住居跡・竪穴状遺構・溝跡・円形有段遺構・井戸跡・土坑・ピット…1/60
竈平・断面図…1/30 全体図…1/100・200
遺物 土器…1/3・1/4 瓦…1/6 石製品・土製品…2/3・1/3・1/4 鉄器・鉄製品…1/2
埴輪…1/3 古銭…1/1
- 5 計測値については、（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。
- 6 土層断面の土色名及び土器類の色調名は、『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修財団法人日本色彩研究所 色票監修）2000によった。
- 7 遺構・遺物実測図中のスクリーントーンは下記のとおりである。
遺構平面図 焼土…
遺構断面図 構築面…
遺物実測図 須恵器断面… 灰釉陶器断面… 緑・灰釉陶器表面…
　　緑釉陶器断面… 黒色土器…
　　いぶし焼成… 煤・炭化物付着…
- 8 主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。
As-B（浅間B軽石：1108年） Hr-FP（榛名山ニッ岳伊香保テフラ：6世紀中葉）
Hr-F A（榛名山ニッ岳渋川テフラ：6世紀初頭） As-C（浅間C軽石：3世紀後半～4世紀前半）

目 次

口絵写真
はじめに
例言・凡例
目次・図版・挿図・表

I 調査に至る経緯	1
II 遺跡の位置と歴史的環境	1
1 遺跡の位置	1
2 歴史的環境	1
III 調査の方針と経過	8
1 調査方針	8
2 調査経過	8
IV 基本層序	9
V 検出された遺構と遺物	17
1 元総社蒼海遺跡群(74)の遺構	17
2 元総社蒼海遺跡群(75)の遺構	17
3 元総社蒼海遺跡群(76)の遺構	18
4 元総社蒼海遺跡群(77)の遺構	19
5 元総社蒼海遺跡群(78)の遺構	19
6 元総社蒼海遺跡群(79)の遺構	24
7 元総社蒼海遺跡群(80)の遺構	28
8 元総社蒼海遺跡群(92)の遺構	29
9 元総社蒼海遺跡群(93)の遺構	29
10 元総社蒼海遺跡群(94)の遺構	30
VI まとめ	31

図 版

口絵 1	(75)W-1全景	口絵 2	(79)調査区全景
	(78)調査区全景		(80)調査区全景
PL. 1	(74)西・東側全景、(74)H-1・2、W-1、I-1全景		
	(75)全景、(75)H-1・2全景		
PL. 2	(75)H-2・3全景		
	(76)全景、(76)H-1、W-1・2、D-2全景		
	(77)全景、I-1全景		
PL. 3	(78)南端部全景、(78)H-1～4・6全景		
	(78)H-5掘り方全景、(78)H-7遺物出土状況		
PL. 4	(78)H-7竪、H-8～11・13～16・25全景		
PL. 5	(78)H-17～19・21～23・23・26・28全景		
	(78)H-20遺物出土状況		
PL. 6	(78)H-27・29、T-1、W-1～3、I-1全景		
	(78)D-40遺物出土状況		
PL. 7	(79)H-1・3・7～9、H-4・7・8竪全景		
PL. 8	(79)H-12・15・20全景、H-16竪遺物出土状況		
PL. 9	(79)H-30・32、W-2全景		
	(79)円形有段遺構、D-10・13全景		
PL. 10	(80)H-1～6、W-1全景		
PL. 11	(92)全景		
	(93)全景、(93)W-1～5、調査区西側全景		
PL. 12	(94)全景 (94)W-1～3、D-1～3・5全景		
PL. 13	(74)(75)出土遺物		
PL. 14	(76)(78)出土遺物		
PL. 15	(78)出土遺物		
PL. 16	(78)出土遺物		
PL. 17	(79)出土遺物		
PL. 18	(79)出土遺物		
PL. 19	(79)出土遺物		
PL. 20	(79)出土遺物		
PL. 21	(79)出土遺物		
PL. 22	(79)出土遺物		
PL. 23	(79)出土遺物		
PL. 24	(80)(93)(94)出土遺物		

挿 図

Fig. 1	遺跡位置図	2
Fig. 2	周辺遺跡図	6
Fig. 3	元総社蒼海遺跡群位置図・グリッド設定図	7
Fig. 4	基本層序	9
Fig. 5	元総社蒼海遺跡群(74)・(76)全体図	10
Fig. 6	元総社蒼海遺跡群(75)全体図	11
Fig. 7	元総社蒼海遺跡群(77)・(92)全体図	12
Fig. 8	元総社蒼海遺跡群(78)全体図	13
Fig. 9	元総社蒼海遺跡群(79)全体図	14
Fig. 10	元総社蒼海遺跡群(80)全体図	15
Fig. 11	元総社蒼海遺跡群(93)・(94)全体図	16
Fig. 12	蒼海城縄張り図と周辺遺跡図	32
Fig. 13	(74)H-1・2	47
Fig. 14	(74)I-1、W-1(75)H-1	48
Fig. 15	(75)H-2	49
Fig. 16	(75)H-3・4、W-1	50
Fig. 17	(75)土坑群	51
Fig. 18	(75)土坑群、ピット群	52
Fig. 19	(75)ピット群(76)H-1	53
Fig. 20	(76)W-1・2、土坑群、ピット群(77)I-1	54
Fig. 21	(78)H-1～4	55
Fig. 22	(78)H-3～5、T-1	56
Fig. 23	(78)H-5～7	57
Fig. 24	(78)H-6・7	58
Fig. 25	(78)H-8～10・25	59
Fig. 26	(78)H-9～11	60
Fig. 27	(78)H-13・14	61
Fig. 28	(78)H-15・16、D-40	62
Fig. 29	(78)H-17～19	63
Fig. 30	(78)H-20～22	64
Fig. 31	(78)H-23・26～28	65
Fig. 32	(78)H-29、I-1	66
Fig. 33	(78)W-1～3	67
Fig. 34	(78)土坑群	68
Fig. 35	(78)土坑群	69
Fig. 36	(79)H-1・3・9	70
Fig. 37	(79)H-4・5	71
Fig. 38	(79)H-5・7	72
Fig. 39	(79)H-8・11	73
Fig. 40	(79)H-12	74
Fig. 41	(79)H-14・15	75
Fig. 42	(79)H-15	76
Fig. 43	(79)H-16	77
Fig. 44	(79)H-17・20・32	78
Fig. 45	(79)H-24・26・32	79
Fig. 46	(79)H-25・27	80
Fig. 47	(79)H-27・30	81
Fig. 48	(79)H-31	82
Fig. 49	(79)W-1～4・6・7	83
Fig. 50	(79)円形有段遺構・D-10・11・13～15	84
Fig. 51	(80)H-1～3	85
Fig. 52	(80)H-2～4	86
Fig. 53	(80)H-5・6、W-1、P-2	87
Fig. 54	(93)W-1～5	88
Fig. 55	(93)W-2～4、土坑群	89
Fig. 56	(93)土坑群、ピット群	90
Fig. 57	(93)ピット群、(94)全体図	91
Fig. 58	(94)W-1～4、土坑群	92
Fig. 59	(94)土坑群、ピット群	93
Fig. 60	(74)(75)出土遺物	94
Fig. 61	(75)(76)出土遺物	95
Fig. 62	(76)(78)出土遺物	96
Fig. 63	(78)出土遺物	97
Fig. 64	(78)出土遺物	98
Fig. 65	(78)(79)出土遺物	99
Fig. 66	(79)出土遺物	100
Fig. 67	(79)出土遺物	101
Fig. 68	(79)出土遺物	102
Fig. 69	(79)出土遺物	103
Fig. 70	(79)出土遺物	104
Fig. 71	(79)出土遺物	105
Fig. 72	(79)出土遺物	106
Fig. 73	(79)出土遺物	107
Fig. 74	(79)出土遺物	108
Fig. 75	(79)(80)出土遺物	109
Fig. 76	(80)(93)(94)出土遺物	110

表

Tab. 1	周辺遺跡概要一覧表	3
Tab. 2	住居跡等計測表	33
Tab. 3	溝跡計測表	35
Tab. 4	井戸跡・土坑・ピット計測表	35
Tab. 5	縄文土器観察表	39
Tab. 6	弥生土器観察表	39
Tab. 7	出土遺物観察表	39
Tab. 8	石器・石製品観察表	45
Tab. 9	金属器・金属製品観察表	45
Tab. 10	土製品観察表	46
Tab. 11	瓦観察表	46
Tab. 12	古錢観察表	46

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施された。

平成26年8月20日付で、前橋市長 山本 龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財発掘調査業務に係る依頼書が教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による発掘調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市に回答し、前橋市の同意も得られたところから、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」に則り、教育委員会の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、発掘調査を実施することとなった。同年9月19日付で前橋市と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社との間で発掘調査業務委託の契約を締結され、9月26日から現地調査が順次実施された。

II 遺跡の位置と歴史的環境

1 遺跡の位置

本遺跡群は、前橋市総社町総社、前橋市元総社町に所在し、前橋市役所の西方約3kmで、JR新前橋駅の北西約1.5～2.0km、また関越自動車道前橋インターチェンジから北へ約1.6～2.5kmに位置する。北東に赤城山、北西に榛名山、西に浅間山・妙義山という上信の山々を望む集落の広がる地域である。

前橋市の地形は、北東部の赤城山山頂から山麓、東部の広瀬川低地帯、南西部の前橋台地、南部の利根川の氾濫原という4地域に大別される。本遺跡群は前橋台地上に立地しており、榛名山の南東麓に広がる相馬ヶ原扇状地の扇端部にあたる。また、榛名山麓を源流として南東方向に流下する河川のうちの、染谷川と牛池川の中間付近に(75)(76)(77)(79)(80)(92)(93)(94)調査区があり、牛池川の左岸に(74)(78)調査区がある。

2 歴史的環境

本遺跡群ではこれまでに土地区画整理事業に伴う発掘調査によって、多くの遺構、遺物の史料が集積されている。また周辺には多くの遺跡がある。中でも古墳時代後期から終末までの上野地域と中央政権との関連をうかがわせる総社古墳群と山王廃寺、古代の中心地であった上野国府とそれに近接する上野国分僧寺・尼寺、中世では国府の掘割を利用して築かれたとされる蒼海城などがあり、連綿と続いてきた歴史を物語る。

縄文時代の遺跡は、産業道路東[12]・西遺跡[13]、上野国分僧寺・尼寺中間地域[14]、元総社小見Ⅲ遺跡[16]等があり、当該期の遺跡を知る上で貴重な資料といえる。

弥生時代では調査例は少なく、日高遺跡[17][18]、上野国分僧寺・尼寺中間地域[14]、下東西遺跡[15]、元総社小見内Ⅲ遺跡[19]等で報告されている。

古墳時代では、本遺跡群周辺に5世紀後半の遠見山古墳[5]から6世紀代には王山古墳[4]、総社二子山古墳[7]、終末期には愛宕山古墳[8]、宝塔山古墳[9]、蛇穴山古墳[10]という首長墓からなる総社古墳群が形成される。その近くには白鳳期の建立と考えられる山王廃寺[4]があり古墳文化と仏教文化の併存がうかがえる。

奈良・平安時代になると、上野国府、国分僧寺[2]、国分尼寺[3]の建設と相まって、本地域は古代の政治、経済、文化の中心地としての様相を呈してくる。

上野国府は本遺跡周辺のおよそ900m四方が推定地とされ、関連遺跡として大型の掘立柱建物跡が検出され



Fig. 1 遺跡位置図

た元総社小学校校庭遺跡[20]や「国厨」「曹司」「国」等と書かれた墨書き器や人形が出土した元総社寺田遺跡[21]などがある。また元総社明神遺跡[22]では南北方向の溝跡、閑泉樋遺跡[23]では東西方向の大溝が確認され、国府域の北東外郭線が想定されるに至る。

また、本遺跡群から南へおよそ1.5kmの地点には東山道(国府ルート)が推定され、日高遺跡で検出された幅約4.5mの日高道は、上野国府正面へ続く道と考えられている。

中世では、永享元年(1429年)に上野国守護代の長尾氏によってこの地に蒼海城が築かれる。蒼海城は県下最古級に位置づけられる城郭で、その縄張りは上野国府跡と関連が深く、現在の元総社地区の基盤をなしていると考えられる。元総社蒼海遺跡群(6)(21)等で蒼海城堀跡が検出されている。

Tab. 1 周辺遺跡概要一覧表

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1-1	元総社蒼海遺跡群(74)	2017	本報告書所収遺跡
1-2	元総社蒼海遺跡群(75)	2017	本報告書所収遺跡
1-3	元総社蒼海遺跡群(76)	2017	本報告書所収遺跡
1-4	元総社蒼海遺跡群(77)(92)	2017	本報告書所収遺跡
1-5	元総社蒼海遺跡群(78)	2017	本報告書所収遺跡
1-6	元総社蒼海遺跡群(79)(80)	2017	本報告書所収遺跡
1-7	元総社蒼海遺跡群(93)(94)	2017	本報告書所収遺跡
2	上野国分寺跡	1980～1988	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野国分尼寺	(1999)	奈良：西南隅・東南隅築垣
4	山王庵寺	(1974)	奈良：塔心礎・根巻石
5	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳(5C後半)
6	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳(6C中)
7	總社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳(6C末～7C初)
8	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳(7C初)
9	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳(7C末)
10	蛇穴山古墳	1975	古墳：方墳(8C初)
11	稻荷山古墳	1988	古墳：円墳(6C後半)
12	産業道路東遺跡	1966	縄文：住居跡
13	産業道路西遺跡	1969	縄文：住居跡
14	上野国分僧寺・尼寺中間地域(事業団)	1980～1983	縄文：住居跡、弥生：住居跡、方形周溝墓、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡、溝状遺構、道路状遺構
15	下東西遺跡(事業団)	1980～1984	縄文：屋外埋甕、弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、柵列、中世：住居跡、溝跡
16	元総社小見III	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：溝跡、道路状遺構
17	日高遺跡(事業団)	1977	弥生：水田跡、方形周溝墓、住居跡、木製農具、平安：条里制水田跡
18	日高遺跡(高崎市)	(1978)	弥生：水田跡
19	元総社小見内III	2017	古墳：住居跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、中世：掘立柱建物跡、溝跡
20	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：掘立柱建物跡、柱穴群、周濠跡
21	元総社寺田遺跡I～III(事業団)	1988～1991	古墳：水田跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
22	元総社明神遺跡I～XIII	1982～1996	古墳：住居跡、水田跡、堀跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：住居跡、溝跡
23	閑泉樋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡
24	清里南部遺跡群III	1980	縄文：ピット、奈良・平安：住居跡、溝跡
25	熊野谷遺跡・II・III	1988・1989	縄文：住居跡、平安：住居跡、溝跡
26	北原遺跡(群馬町)	1982	縄文：土坑、集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡
27	中島遺跡	1980	奈良・平安：住居跡
28	柿木遺跡・II遺跡	1983・1988	奈良・平安：住居跡、溝跡
29	後疋間遺跡I～III(群馬町)	1985～1987	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
30	国分境遺跡(事業団)	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
31	村東遺跡	1988	古墳：住居跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡
32	大屋敷遺跡I～IV	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡、地下式土坑、溝跡

33	昌楽寺廻向遺跡・II遺跡	1988	奈良・平安：住居跡
34	稻荷塚道東遺跡(事業団)	2003	古墳：住居跡、溝跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、竪構築材採掘痕、井戸跡
35	元総社西川遺跡(事業団)	2000	古墳：住居跡、畠跡、奈良・平安：住居跡、溝跡
36	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳：住居跡、平安：住居跡
37	塙田村東遺跡(群馬町)	1985	平安：住居跡
38	元総社小見II遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
39	元総社小見遺跡	2000	縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、道路状遺構
40	元総社小見内VII遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡
41	元総社小見内IV遺跡	2002	奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、中世：土坑墓
42	元総社宅地遺跡1～23ヶ所	2000	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、鍛冶場跡、溝跡、道路状遺構、中世：溝跡、近世：住居跡
43	総社閑泉明神V遺跡	2004	古墳～奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
44	総社甲稻荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡
45	閑泉樋南遺跡	1985	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡
46	屋敷遺跡・II遺跡	1986・1995	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡、石敷遺構
47	堰越II遺跡	1988	平安：住居跡
48	大友宅地添遺跡	1998	平安：水田跡
49	元総社稻葉遺跡	1993	縄文：土坑、平安：住居跡、瓦塔
50	堰越遺跡	1987	奈良・平安：住居跡、溝跡
51	大友屋敷II・III遺跡	1987	古墳：住居跡、平安：住居跡、堀跡、地下式土坑
52	寺田遺跡	1986	平安：溝跡
53	天神遺跡・II遺跡	1986・1988	奈良・平安：住居跡
54	弥勒遺跡・II遺跡	1989・1995	古墳：住居跡、平安：住居跡
55	鳥羽遺跡(事業団)	1978～1983	古墳：住居跡、鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡(神殿跡)
56	中尾遺跡(事業団)	1976	奈良・平安：住居跡
57	正觀寺遺跡I～IV(高崎市)	1979～1981	弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(1)	2005	奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：溝跡、土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(2)	2005	奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：溝跡、土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(3)	2005	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(4)	2005	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(5)	2005	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：周溝状遺構、土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(6)	2005	奈良・平安：住居跡、鍛冶工房跡、溝跡、中世：蒼海城の堀跡、土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(7)	2005	奈良・平安：住居跡、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(8)	2006	奈良・平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(9)(10)	2006	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、溝跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(11)	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(12)	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(13)	2008	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、工房跡、中世：土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(14)	2008	古墳：住居跡、水田跡、奈良・平安：住居跡、掘立柱建物跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(15)	2008	奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(16)	2008	奈良・平安：住居跡、畠跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(17)	2008	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、堅穴状遺構、中世以降：土坑墓、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(18)	2008	平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(19)	2008	古墳：小区画水田、中世：井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(20)	2008	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、堅穴状遺構、溝跡、中世：土坑墓、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(21)	2009	中世：蒼海城の堀跡、盛土状遺構
-	元総社蒼海遺跡群(22)	2009	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(23)	2009	古墳：住居跡、平安：土坑、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(24)	2009	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：方形堅穴、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(25)	2009	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：南宋～元時代の青白磁梅瓶2個体
-	元総社蒼海遺跡群(26)	2009	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、堅穴状遺構、中世：溝跡、火葬墓
-	元総社蒼海遺跡群(27)	2009	奈良・平安：住居跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(28)	2009	古墳：住居跡、平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(29)	2009	古墳～平安：住居跡、中世：土坑墓、火葬墓、地下式坑、蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(30)	2009	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：道路状遺構、土坑墓、火葬墓、堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(31)	2010	古墳：住居跡、中世：道路状遺構、溝跡、井戸跡、土坑、蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(32)	2010	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：堅穴状遺構、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(33)	2010	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、溝跡、中世：住居跡、堅穴状遺構、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(34)	2010	奈良・平安：住居跡、中世：土坑、ピット、堅穴状遺構
-	元総社蒼海遺跡群(35)	2010	縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：蒼海城の堀跡

-	元総社蒼海遺跡群(36)	2010	古墳：畠跡、平安：住居跡、中世：土坑、蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(37)	2011	古墳：住居跡、平安：溝跡、中世：土坑、ピット、堅穴状遺構
-	元総社蒼海遺跡群(38)	2011	古墳～平安：住居跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(39)	2012	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡、土坑、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(40)	2012	縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡、鍛冶遺構、中世：井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(41)	2012	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、鍛冶工房跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(43)	2012	奈良・平安：住居跡、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(44)	2012	奈良：住居跡、溝跡、中世：堀跡、土坑墓、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(45)	2012	古墳：住居跡、溝跡、堀跡、中世：土坑墓、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(46)	2012	平安：住居跡、中世：井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(47)	2012	中世：柱列跡、溝跡、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(48)	2012	縄文：住居跡、古墳～奈良・平安：住居跡、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(49)	2012	平安：住居跡、中世：土坑、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(50)	2012	縄文：住居跡、古墳～平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(51)	2013	奈良・平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(52)	2013	なし
-	元総社蒼海遺跡群(53)	2013	奈良・平安：住居跡、溝跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(54)	2013	なし
-	元総社蒼海遺跡群(55)	2013	奈良・平安：住居跡、溝跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(56)	2013	古墳～平安：住居跡
-	元総社蒼海遺跡群(57)	2013	平安：溝跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(58)	2013	平安：溝跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(59)	2013	平安：住居跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(60)	2013	平安：住居跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(61)	2013	古墳～平安：住居跡、堅穴状遺構、方形周溝墓、溝跡、中世：墓坑、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(62)	2015	古墳：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(63)	2015	古墳～平安：住居跡、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(64)	2015	奈良：製鉄炉跡、中世：堅穴状遺構、土坑墓
-	元総社蒼海遺跡群(65)	2015	古墳～平安：住居跡、溝跡、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(66)	2013	奈良・平安：住居跡、溝跡、土坑、井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(67)	2013	奈良・平安：住居跡、溝跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(68)	2013	奈良・平安：住居跡、堅穴状遺構、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(72)	2013	平安：住居跡、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(73)	2013	時期不明：道路状遺構
-	元総社蒼海遺跡群(81)	2015	古墳：住居跡、方形周溝墓、奈良・平安：住居跡、堅穴状遺構、溝跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(82)	2015	古墳～平安：住居跡、土坑
-	元総社蒼海遺跡群(83)	2015	奈良・平安：土坑、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(84)	2015	古墳～平安：住居跡、中世：溝跡、土坑、ピット
-	元総社蒼海遺跡群(85)	2014	平安：住居跡、溝跡、土坑、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(88)	2014	古墳：畠跡、中世：畠跡
-	元総社蒼海遺跡群(89)	2014	中世：堅穴状遺構、溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(90)	2014	中世：堅穴状遺構
-	元総社蒼海遺跡群(91)	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
-	元総社蒼海遺跡群(95)	2014	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡
-	元総社蒼海遺跡群(97)	2014	奈良・平安：住居跡、土坑、中世：蒼海城の堀跡
-	元総社蒼海遺跡群(98)	2014	平安～中世：掘立柱建物跡、井戸跡、土坑、ピット
-	元総社蒼海遺跡群(102)	2014	奈良・平安：落ち込み、溝跡、中世：堀、井戸、土坑

調査年度の欄の（ ）は調査開始年度を示す。

遺跡名の欄の（事業団）は（公益財団法人）群馬県埋蔵文化財調査事業団を表す。

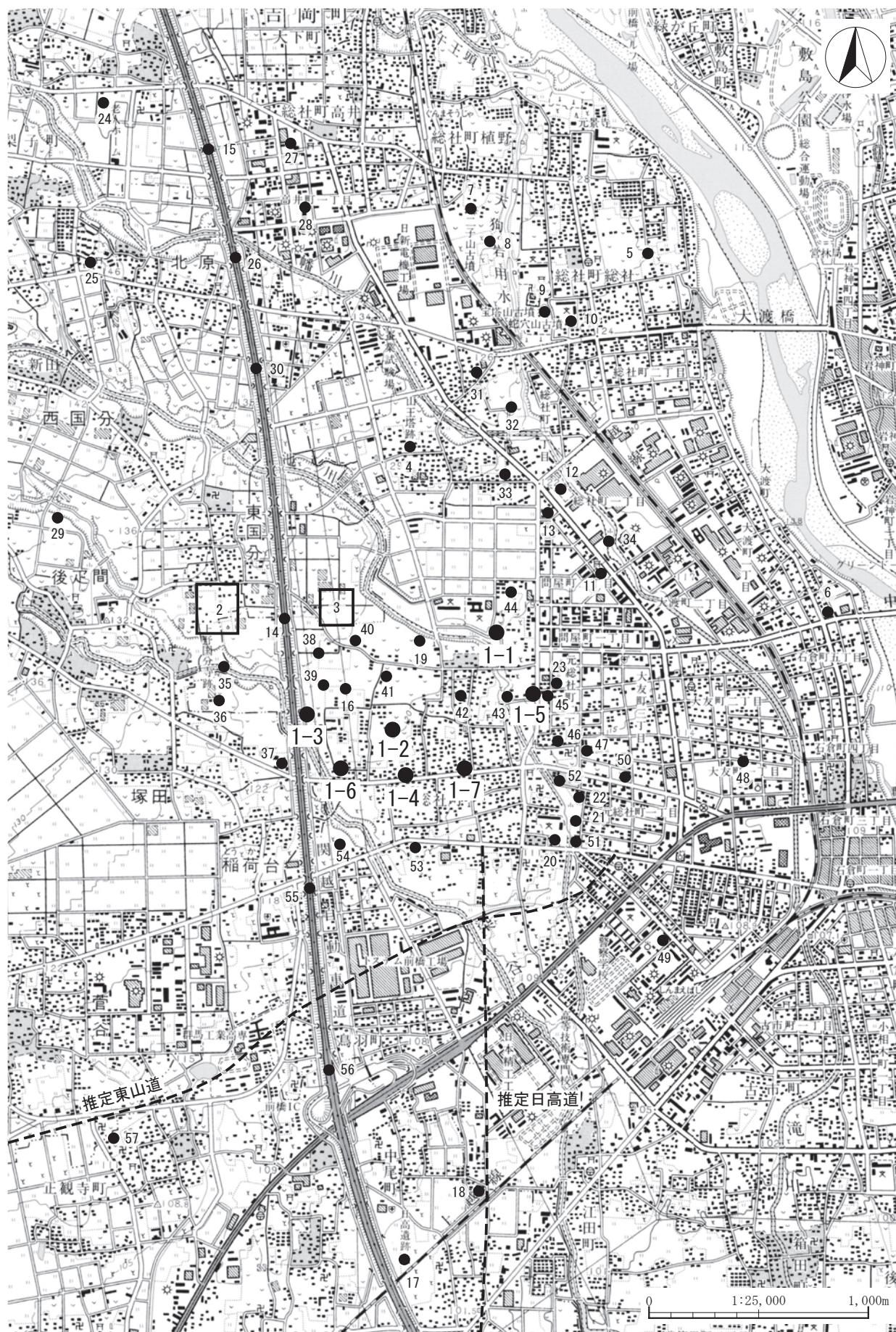
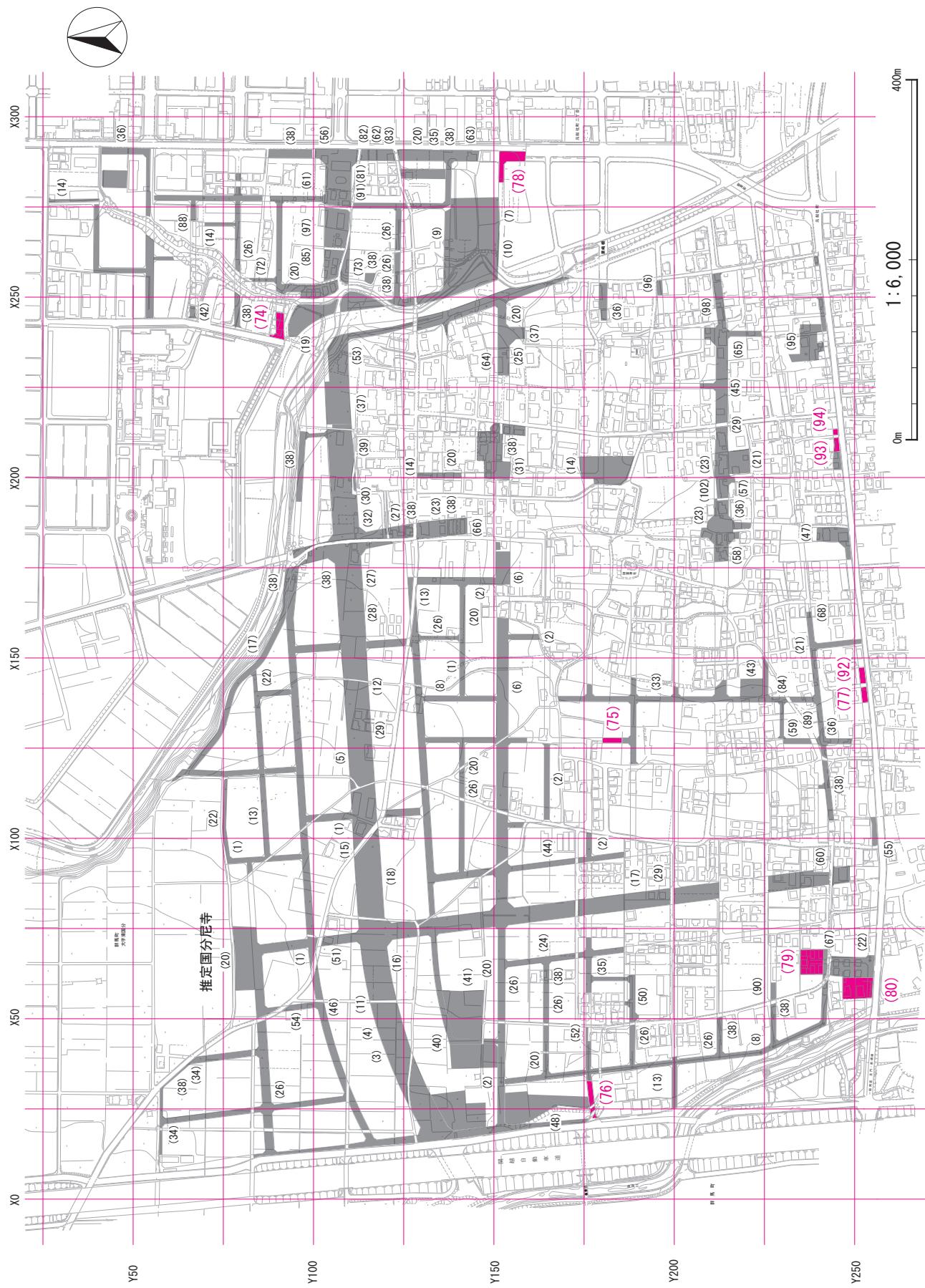


Fig. 2 周辺遺跡図



III 調査の方針と経過

1 調査方針

委託された調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴うもので、調査面積は元総社蒼海遺跡群(74) 165.9m²、元総社蒼海遺跡群(75) 117.9m²、元総社蒼海遺跡群(76) 132.0m²、元総社蒼海遺跡群(77) 98.4m²、元総社蒼海遺跡群(78) 398.7m²、元総社蒼海遺跡群(79) 648.9m²、元総社蒼海遺跡群(80) 703.8m²、元総社蒼海遺跡群(92) 101.6m²、元総社蒼海遺跡群(93) 78.4m²、元総社蒼海遺跡群(94) 45.6m²、総調査面積は2,491.2m²である。

遺構番号は、調査区ごとに付番することとし、74-H-1号住居跡、75-H-1号住居跡のように遺構の前に必ず遺跡番号を付すこととした。

グリッド座標については国家座標（日本測地系）X=+44,000・Y=-72,200を基点（X 0・Y 0）とする4mピッチのものを使用し、元総社蒼海遺跡群（74）においては、西から東へX240、241、242…、北から南へY89、90、91…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

調査方法については、表土掘削、遺構確認、グリッド杭設置、遺構掘下、遺構精査、写真撮影、測量の手順で行った。このうちの遺構確認については、基本的にA s-C・H r-F P軽石とA s-B軽石が混入する土層を手がかりとした。

図面作成は、平板・造り方測量を用い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡竈は1/10の縮尺で作成し、溝跡等は1/40、全体図を1/100の縮尺でおこなった。遺物については遺物分布図を作成し、遺物台帳に記載しながら収納した。包含層の遺物は、グリッド単位で収納した。写真記録は35mmモノクロ、35mmリバーサル、デジタルカメラの3種類を併用した。

2 調査経過

現地調査は、平成26年9月26日から平成27年3月27日まで行った。調査経過は下記のとおりである。

元総社蒼海遺跡群(74)…9月29日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は堅穴住居跡2軒、
(遺跡コード:26A168) 溝跡1条、井戸跡1基である。10月17日から埋戻を行った。

元総社蒼海遺跡群(75)…11月10日から重機による表土掘削を開始した。遺構は堅穴住居跡4軒、溝跡1条、
(遺跡コード:26A169) 土坑20基、ピット19基である。溝跡は、蒼海城関連の堀と思われる。12月8日に
全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(76)…10月24日から重機による表土掘削を開始した。調査区中央から西側は深く搅乱を
(遺跡コード:26A173) 受けていた。遺構は堅穴住居跡1軒、溝跡2条、土坑8基、ピット2基である。
11月11日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(77)…平成27年1月9日から重機による表土掘削を開始した。表土を取り除くとすぐに
(遺跡コード:26A174) 総社砂層の面が検出された状態であった。遺構は時期不明の井戸跡1基である。
1月19日に埋戻を行い調査終了となった。

元総社蒼海遺跡群(78)…12月12日から重機による表土掘削を開始した。遺構は堅穴住居跡27軒、堅穴状遺
(遺跡コード:26A175) 構1基、溝跡3条、井戸跡1基、土坑36基、ピット43基である。空中撮影を実施
し、平成27年3月27日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(79)…平成27年1月24日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は堅穴住

(遺跡コード:26A176) 居跡21軒、溝跡6条、円形有段遺構1基、土坑13基、ピット23基である。空中撮影を実施し、平成27年3月27日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(80)…平成27年2月3日から重機による表土掘削を開始した。調査区中央部分に大きな

(遺跡コード:26A177) 搅乱範囲があり遺構が検出できたのは北端と南端部分のみである。検出された遺構は竪穴住居跡6軒、溝跡1条、ピット1基である。空中撮影を実施し、平成27年3月13日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(92)…平成27年1月9日から重機による表土掘削を開始した。(77)と同様に表土下がす

(遺跡コード:26A183) ぐに総社砂層面であった。遺構は、搅乱をうけ検出されていない。1月19日に埋戻を行い調査終了となった。

元総社蒼海遺跡群(93)…平成27年2月27日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は溝跡5

(遺跡コード:26A184) 条、土坑15基、ピット13基である。溝跡のうち2条は蒼海城関連の堀と思われる。平成27年3月20日に全て終了した。

元総社蒼海遺跡群(94)…平成27年2月14日から重機による表土掘削を開始した。検出された遺構は溝跡4

(遺跡コード:26A189) 条、土坑6基、ピット6基である。溝跡のうち1条は蒼海城関連の堀と思われる。平成27年2月26日に全て終了した。

整理作業は、平成28年8月5日から平成29年3月24日まで行った。

IV 基本層序

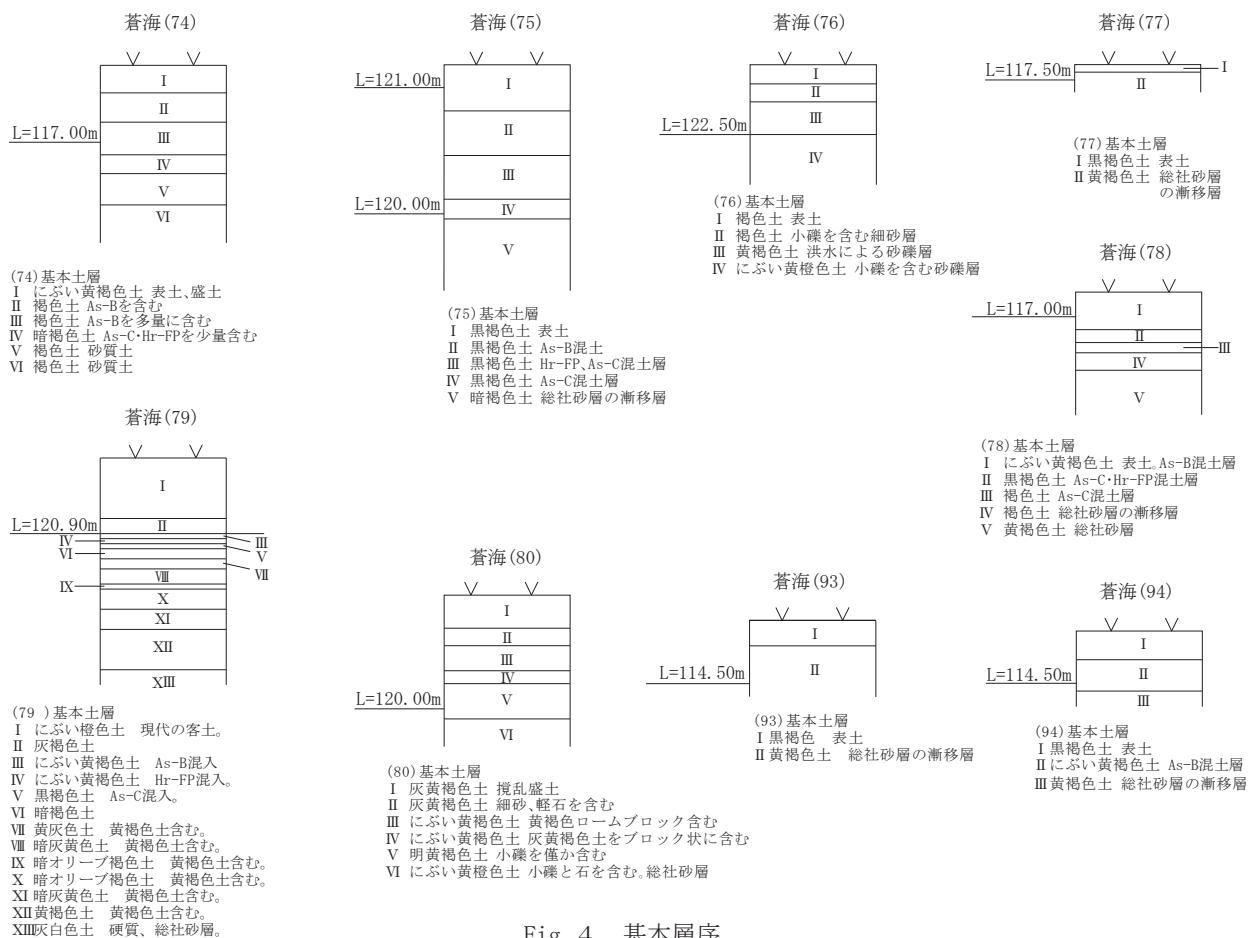


Fig. 4 基本層序

元総社蒼海遺跡群(74)



元総社蒼海遺跡群(76)

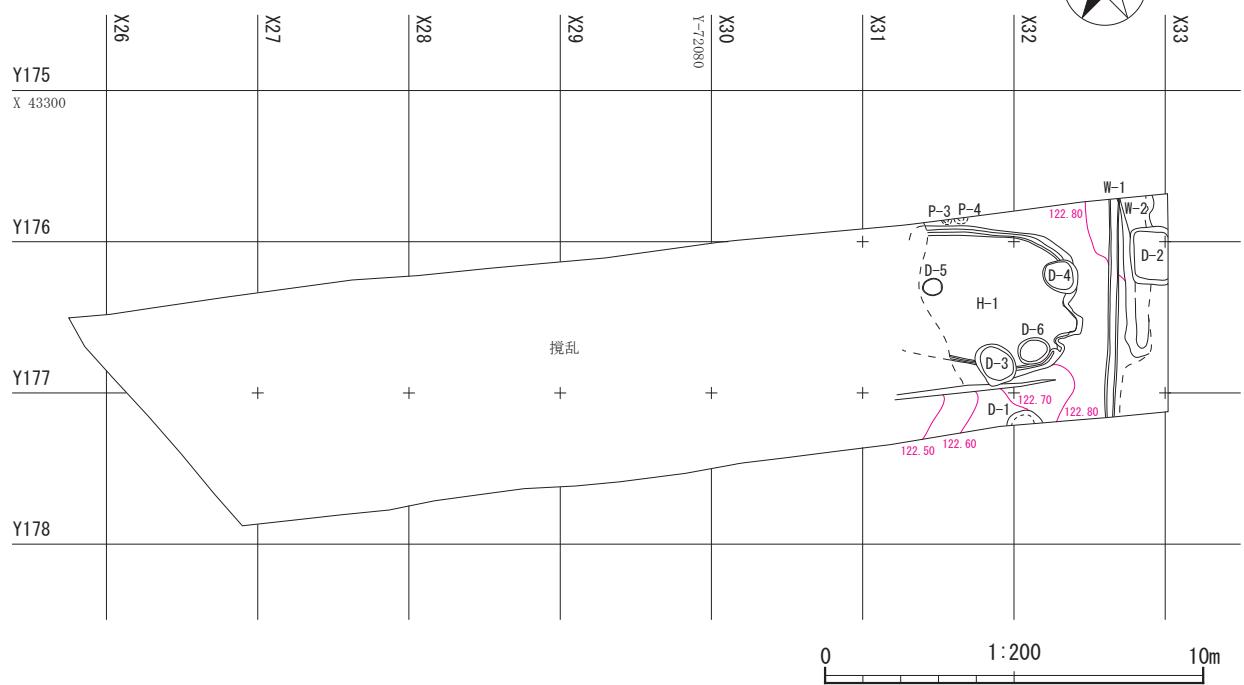


Fig. 5 元総社蒼海遺跡群(74)・(76)全体図

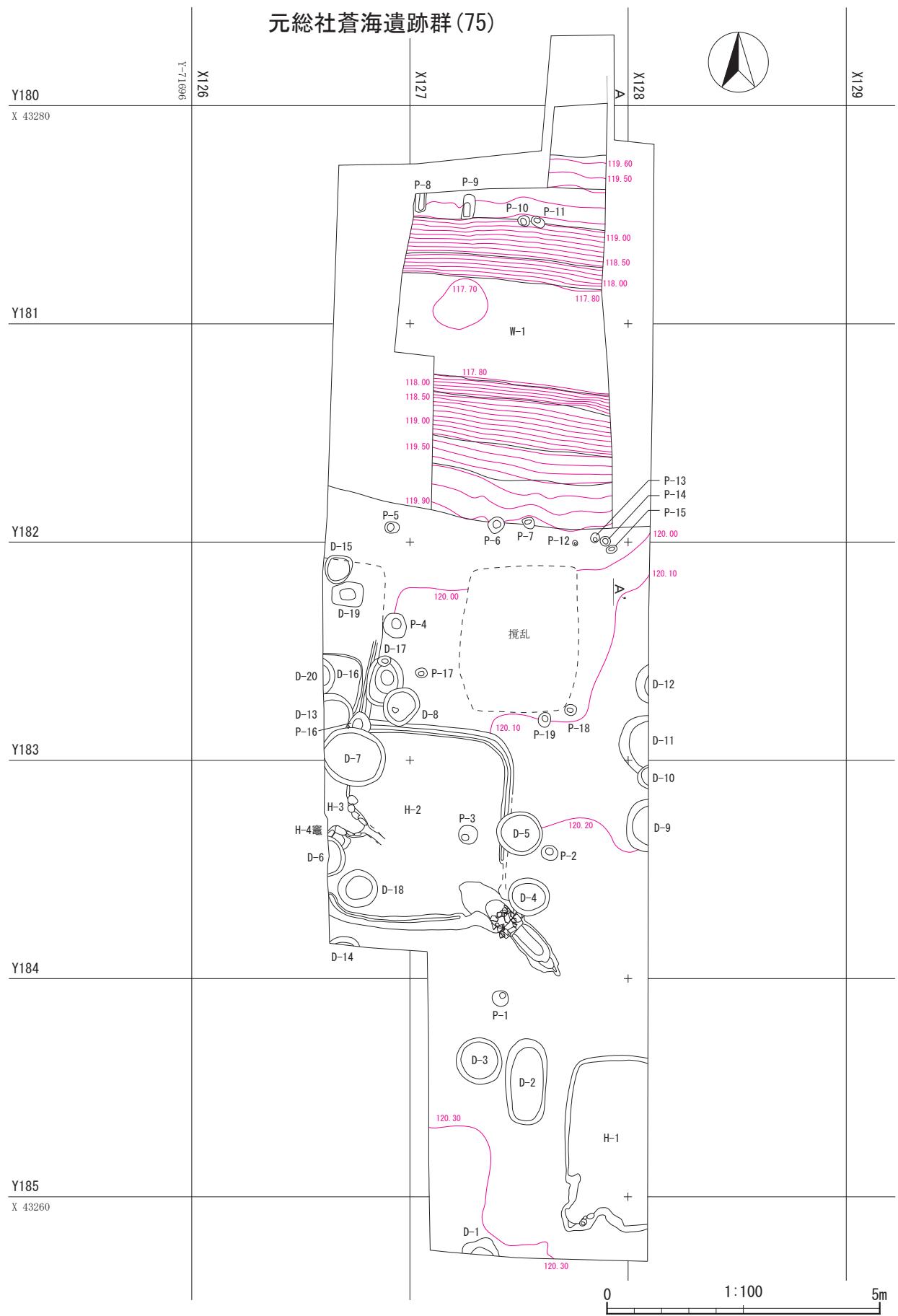


Fig. 6 元総社蒼海遺跡群(75)全体図

元総社蒼海遺跡群(92)



元総社蒼海遺跡群(77)

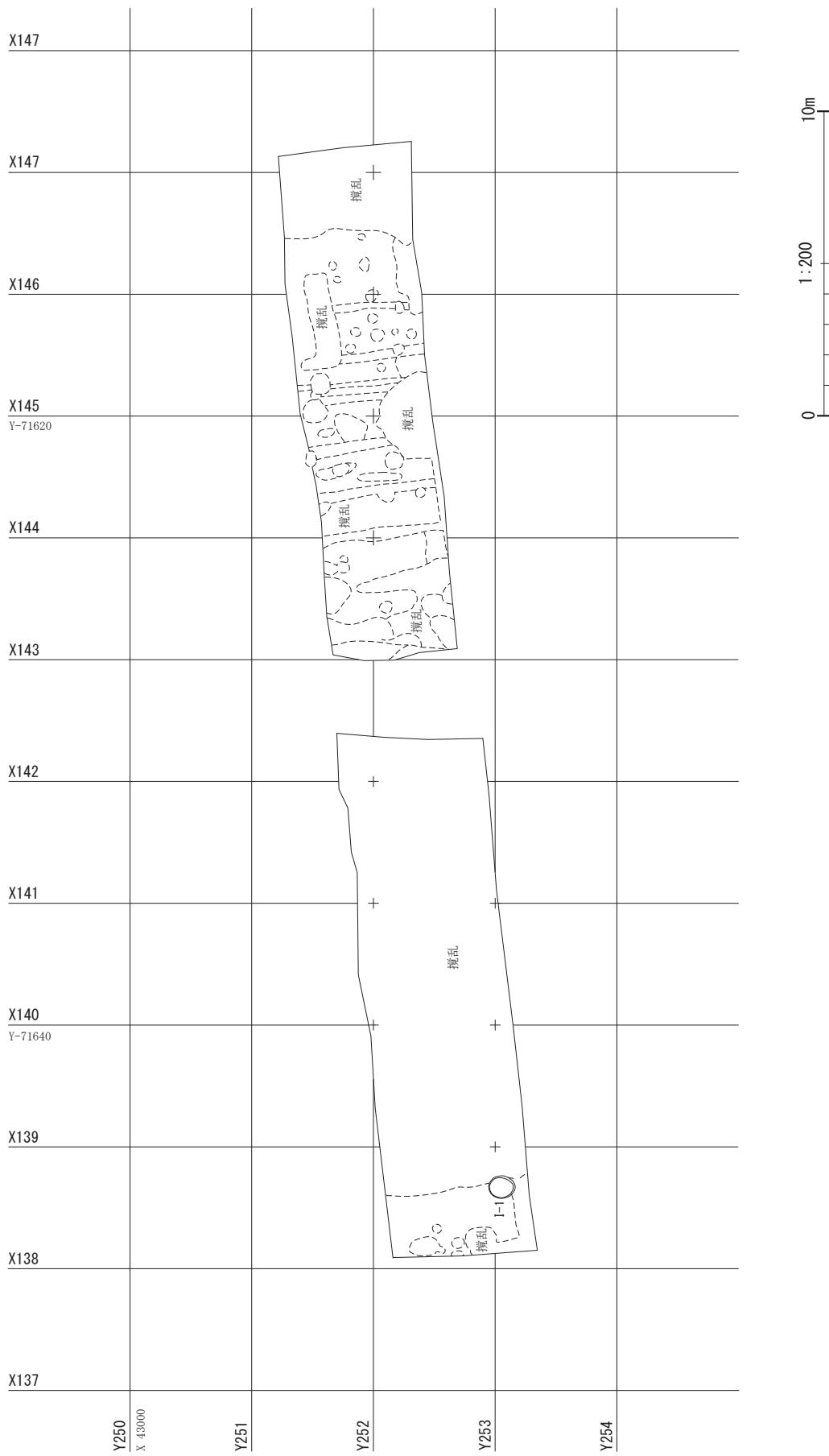


Fig. 7 元総社蒼海遺跡群(77)・(92)全体図

元総社蒼海遺跡群(78)

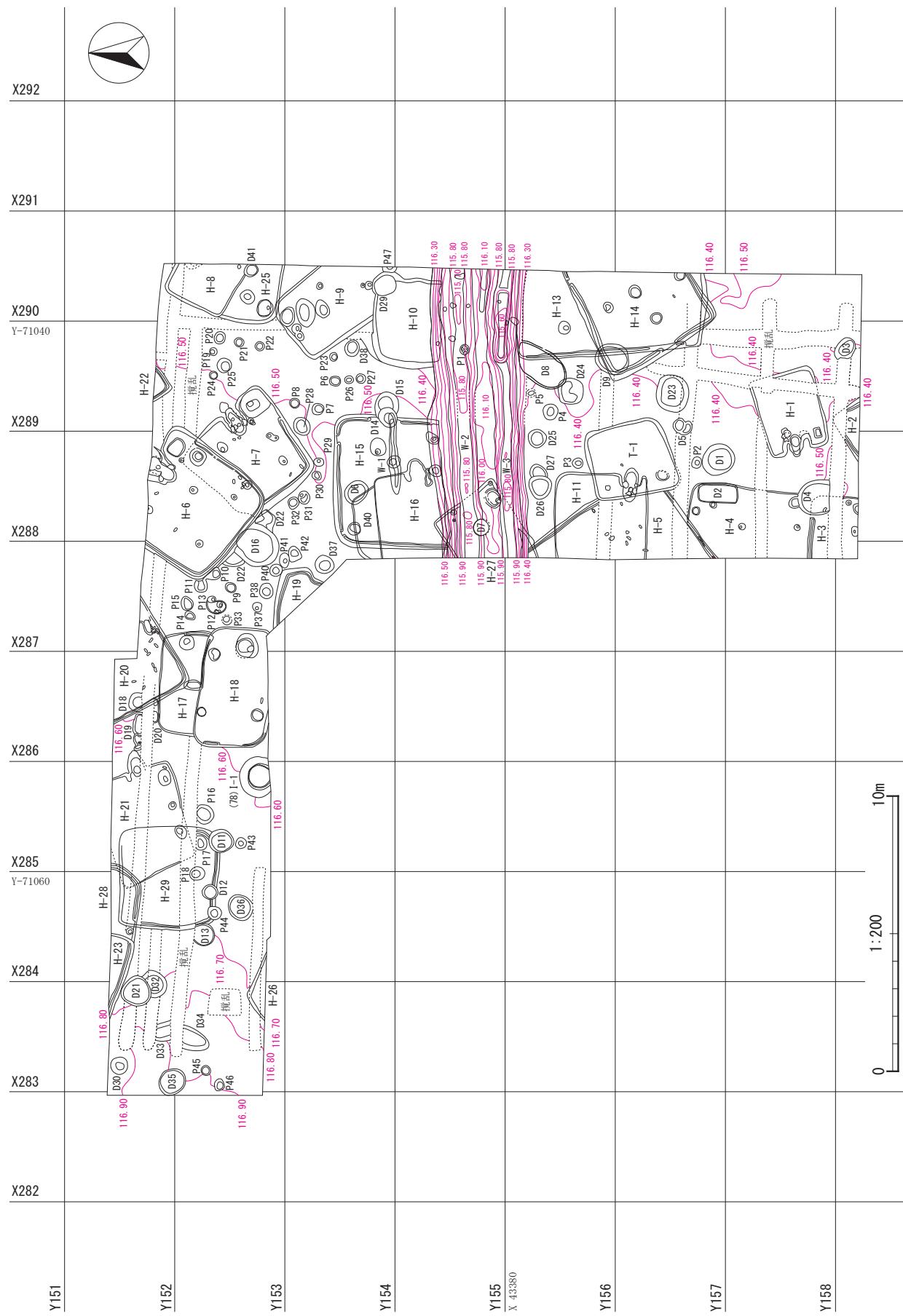


Fig. 8 元総社蒼海遺跡群(78) 全体図

元総社蒼海遺跡群 (79)



Fig. 9 元総社蒼海遺跡群(79)全体図

元総社蒼海遺跡群(80)

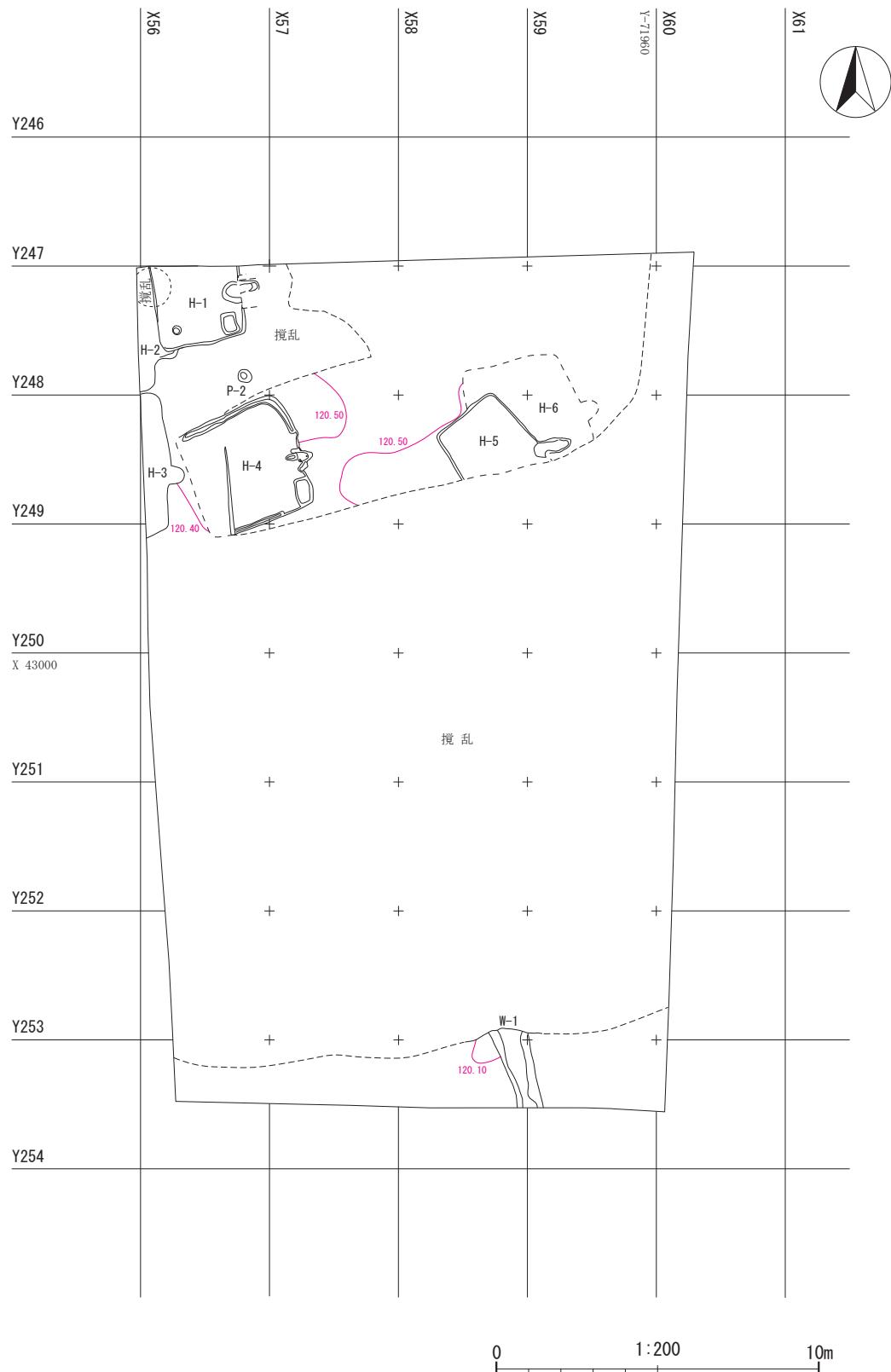


Fig. 10 元総社蒼海遺跡群(80) 全体図

元總社蒼海遺跡群(93)



元総社蒼海遺跡群(94)

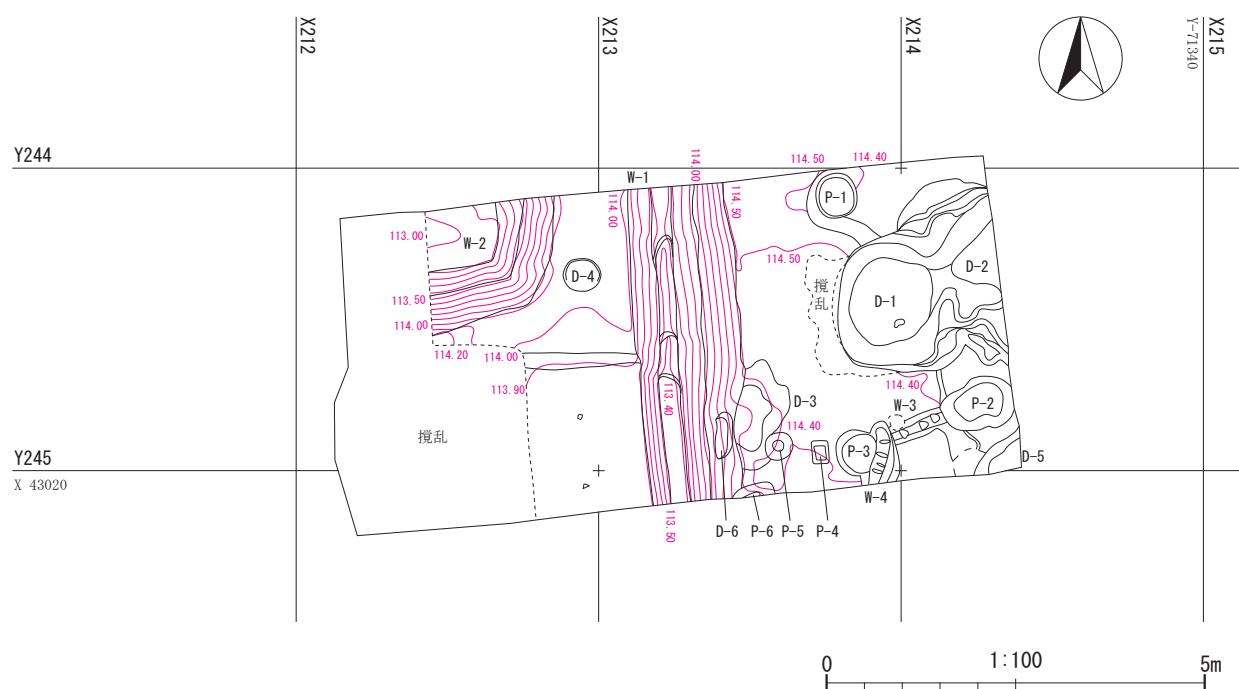


Fig. 11 元総社蒼海遺跡群(93)・(94)全体図

V 検出された遺構と遺物

1 元総社蒼海遺跡群(74)

本調査区は牛池側の左岸に位置し、西側調査区と東側調査区に分かれている。西側から竪穴住居跡2軒、東側から溝跡1条、井戸跡1基を検出している。

(1) 竪穴住居跡

(74) H-1号住居跡 [Fig. 13, PL. 1]

()は現存値、[]は推定値を表す。

遺構名	(74) H-1	位置(グリッド)	X240・241、Y90	重複	単独・西側調査区外
形状・規模	隅丸長方形か・東西(3.10)m×南北3.40m×深53cm		主軸方向	(N-28°-W)	面積 (7.28)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。		床面		標高116.07m
カマド	位置 東壁中央南	規模	全長125cm、最大幅80cm、焚口部幅40cm。	主軸方向	N-64°-E
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器甕が出土し、土師器壺2点・甕2点を図示。			時期	6世紀後半

(74) H-2号住居跡 [Fig. 13, PL. 1]

遺構名	(74) H-2	位置(グリッド)	X241・242、Y90	重複	単独
形状・規模	長方形・東西3.28m×南北2.52m×深47cm		主軸方向	(N-68°-E)	面積 [8.36] m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。		床面		標高116.33m
カマド	位置 南壁中央東	規模	全長58cm、最大幅74cm、焚口部幅50cm。	主軸方向	N-153°-E
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・羽釜、灰釉陶器高台付塊、瓦が出土し、須恵器羽釜1点を図示。			時期	11世紀後半

(2) 溝跡

(74) W-1号溝跡 [Fig. 14, PL. 1]

X244、Y89～91グリッドに位置する。南北に走行し、中世の井戸跡に切られている。全長は(5.18)m、上幅0.18～0.43m、下幅0.06～0.25m、深さ0.07～0.14mを測る。北側底面の標高は116.19m、南側は116.08mで北から南へ下がる。断面形状は皿状である。出土遺物は3点で、土師器壺・甕、瓦の小片である。時期は、覆土にH r-F A・A s-C 軽石が見られることから古代と考えられる。

(3) 井戸跡

(74) I-1号井戸跡 [Fig. 14, PL. 1]

遺構名	(74) I-1	位置(グリッド)	X244・245、Y90・91	重複	W-1を切る。
形状・規模	円形で長径240cm×短径190cm×深さは148cm掘り下げた。底面は検出されていない。			標高	(114.82)m
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕、かわらけ、軟質陶器内耳鍋、砥石があり、かわらけ2点、軟質陶器内耳鍋1点、砥石1点を図示。時期は、覆土にA s-B 軽石が確認でき、中世と考えられる。			時期	中世

2 元総社蒼海遺跡群(75)

本調査区は、竪穴住居跡4軒、溝跡1条、土坑20基、ピット19基を検出している。住居跡の竪は全て隅に設置するものと思われる。溝跡は、中世の蒼海城の堀の可能性が高い。

(1) 竪穴住居跡

(75) H-1号住居跡 [Fig. 14, PL. 1]

遺構名	(75) H-1	位置(グリッド)	X127・128、Y184・185	重複	単独・東側調査区外
形状・規模	長方形か・東西(1.51)m×南北3.24m×深17cm		主軸方向	(N-0°-E)	面積 (4.59)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	検出されていない。		床面		標高120.05m
カマド	位置 南西隅	規模	全長87cm、最大幅62cm、焚口部幅54cm。	主軸方向	N-135°-W
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊が出土し、須恵器高台付塊1点を図示。			時期	10世紀前半

(75) H-2号住居跡 [Fig. 15, PL. 1・2]

遺構名	(75) H-2	位置(グリッド)	X127・128、Y184・185	重複	H-4より新、H-3・D-4～8・18・P-16より古
形状・規模	隅丸方形か・東西(3.32)m×南北3.76m×深さ28cm		主軸方向	(N-4°-E)	面積 (11.64)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	t° ットは3基 P-1長径45cm×短径40cm×深さ21cm、P-2長径53cm×短径42cm×深さ18cm、P-3長径(28)cm×短径(14)cm×深さ19cm。貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。		床面		標高119.98m

カマド	位置	南東隅	規模	全長193cm、最大幅49cm、焚口部幅28cm。	主軸方向	N-135°-E
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、瓦、埴輪が出土し、瓦2点、埴輪1点を図示。				時期	10世紀後半以前

(75) H-3号住居跡 [Fig. 15, PL. 2]

遺構名	(75) H-3	位置(グリッド)	X126、Y182・183	重複	H-2・4より新、D-7・13・16・17・20・P-16より古。	
形状・規模	不明・東西(1.04)m×南北[5.04]m×深さ15cm		主軸方向	(N-11°-E)	面積	(4.34)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	ピットは1基 P-1長径45cm×短径40cm×深さ21cm。貯蔵穴は未検出。周溝		床面	標高119.98m		
	は東壁に確認された。					
カマド	位置	南東隅か	規模	全長(83)cm、最大幅48cm、焚口部幅40cm。	主軸方向	N-110°-E
備考	住居の北側は確認できず。西側は調査区外。遺物は、土師器が主体を占めるが、量は少ない。土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・羽釜、瓦が出土し、羽釜1点を図示。			時期	10世紀後半	

(75) H-4号住居跡 [Fig. 16, PL. 2]

遺構名	(75) H-4	位置(グリッド)	X126、Y183	重複	H-2・3、D-6より古い。	
形状・規模	一		主軸方向	一	面積	一
柱穴・貯蔵穴・周溝	一		床面	一		
カマド	位置	不明	規模	全長(48)cm、最大幅(35)cm、焚口部幅(22)cm。	主軸方向	N-113°-E
備考	竈のみの検出で、遺物は出土しなかった。			時期	10世紀後半以前	

(2)溝跡

(75) W-1号溝 [Fig. 6・16、口絵1]

X126・127、Y181・182グリッドに位置し、東西に走行する。6～11号ピットに切られる。全長は(3.80)m、上幅(6.84)m、下幅1.82～1.90m、深さ2.20～2.28mを測り、断面形状は逆台形状である。底面の標高は、西側で117.72m、東側は117.75mを測る。遺物の出土は少なく、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・蓋、灰釉陶器片がある。時期は覆土の観察から中世と考えられ、蒼海城に関連する堀の可能性が高い。

(3)土坑 [Fig. 17]

土坑は20基検出した。覆土の様相や重複の関係から古代と考えられるものは、D-15・17・18・19の4基である。それ以外の土坑は、覆土にA s-B軽石を含むものや土坑の形態から中世以降と考えられるもので、16号土坑は、その形態から土坑墓の可能性が高い。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(4)ピット [Fig. 18]

ピットは19基検出した。覆土の様相から古代と考えられるものは、P-1・2・4・8～16・19の13基である。それ以外のピットは、覆土にA s-B軽石を含むものや土坑の形態から中世以降と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

3 元総社蒼海遺跡群(76)

本調査区は染谷川の左岸に位置し、竪穴住居跡1軒、溝跡2条、土坑6基、ピット2基を検出している。

(1)竪穴住居跡

(76) H-1号住居跡 [Fig. 19, PL. 2]

遺構名	(76) H-1	位置(グリッド)	X31・32、Y175・176	重複	D-3～8より古い。	
形状・規模	隅丸長方形か・東西(4.14)m×南北3.56m×深さ28cm		主軸方向	(N-98°-E)	面積	(15.73)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。貯蔵穴 長形85cm×短径69cm×深さ16cm。周溝は北壁		床面	標高122.28m		
	沿いに検出。					
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長66cm、最大幅75cm、焚口部幅69cm。	主軸方向	N-103°-E
備考	遺物は、縄文土器、土師器甕、須恵器壺・高台付塊・甕、灰釉陶器片、鉄製品が出土し、縄文土器2点・高台付塊2点、刀子1点を図示。			時期	9世紀後半	

(2)溝跡

(76) W-1号溝 [Fig. 20, PL. 2]

X32、Y175～177グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(5.78)m、上幅0.22～0.30m、下幅0.14～0.21m、深さ0.07～0.14mを測り、断面形状はU字状である。底面の標高は、北側で122.67m、南側は122.

80mを測る。遺物の出土は少なく、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・蓋、灰釉陶器片、鉄製品があり、鉄製品1点を図示した。

(76) W-2号溝 [Fig. 20, PL. 2]

X32、Y175・176グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(4.22)m、上幅(0.59)~0.86m、下幅0.32~0.66m、深さ0.25mを測り、断面形状は不明である。底面の標高は、北側で122.61m、南側は122.54mを測る。遺物の出土は少なく、土師器甕、須恵器壺・高台付塊、灰釉陶器高台付皿があり、灰釉陶器高台付皿1点を図示した。

(3) 土坑 [Fig. 20, PL. 2]

土坑は6基検出した。覆土の様相から古代と考えられるものは、D-1・3・4・5の4基である。時期の特定は難しいが、D-2は、その形態から中世の土坑墓と思われる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(4) ピット

ピットは、2基検出した。時期は不明。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

4 元総社蒼海遺跡群(77)

本調査区は、調査区のほとんどが搅乱をうけており、検出された遺構は、井戸跡1基のみである。

(1) 井戸跡

(77) I-1号井戸跡 [Fig. 20, PL. 2]

遺構名	(77) I-1	位置(グリッド)	X138、Y252・253	重複	単独
形状・規模	楕円形・長径86cm×短径[73]cm×深さは97cm掘り下げ。底面は検出していない。			標高	(116.19)m
備考	上端東側は搅乱により欠損。遺物は、出土していない。			時期	不明

5 元総社蒼海遺跡群(78)

本調査区は牛池側の左岸に位置し、昭和の時代には桑園として使用されている。確認面の標高は117mを測る。検出された遺構は、竪穴住居跡27軒、竪穴状遺構1基、溝跡3条、井戸跡1基、土坑36基、ピット43基である。

(1) 竪穴住居跡

(78) H-1号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-1	位置(グリッド)	X288・289、Y157	重複	単独
形状・規模	隅丸長方形・東西2.96m×南北2.37m×深さ23cm	主軸方向	N-72°-E	面積	[6.58]m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・周溝は未検出。貯蔵穴 長径37cm×短径26cm×深さ29cmの長方形。	床面		標高	116.18m
カマド	位置 西壁中央 規模 全長81cm、最大幅99cm、焚口部幅41cm。	主軸方向	N-80.5°-E		
備考	遺物は、土師器壺・塊・甕、須恵器壺・高台付塊が出土し、土師器壺1点を図示。	時期		7世紀前半	

(78) H-2号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-2	位置(グリッド)	X288・289、Y158	重複	単独
形状・規模	不明・東西(1.86)m×南北(1.30)m×深さ38cm	主軸方向	N-57°-E	面積	(1.24)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は、検出できた範囲内においてすべてまわっている。	床面		標高	116.21m
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	—		
備考	南側は調査区外。遺物は出土量は少なく、土師器甕・高壙がある。	時期		古墳時代後期	

(78) H-3号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-3	位置(グリッド)	X287・288、Y157・158	重複	H-4より新。D-4より古。
形状・規模	不明・東西(2.33)m×南北(1.78)m×深さ18cm	主軸方向	N-3°-E	面積	(3.96)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径45cm短径40cm深さ21cm、P-2長径53cm短径42cm深さ18cm、P-3長径(28)cm短径(14)cm深さ19cm。貯蔵穴は未検出。周溝は北壁の一部に検出。	床面		標高	116.28m
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	—		

備考	南・西側は調査区外。遺物の出土量は少ない。土師器甕、須恵器壺、かわらけが出土し、かわらけ1点を図示。					時期	11世紀後半
----	--	--	--	--	--	----	--------

(78) H-4号住居跡 [Fig. 21, PL. 3]

遺構名	(78) H-4	位置(グリッド)	X287・288、Y156・157	重複	H-5より新、H-3・D-2・4より古。		
形状・規模	長方形か・東西(2.74)m×南北(4.44)m×深さ10cm		主軸方向	N-6°-E	面積	(11.20)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径20cm短径18cm深さ12cm、P-2長径33cm短径(21)cm深さ17cm、P-3長径36cm短径(23)cm深さ14cm。貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.30m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—	
備考	西側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺、灰釉陶器高台付塊が出土した。灰釉陶器高台付塊1点を図示。		時期	10世紀後半			

(78) H-5号住居跡 [Fig. 22, PL. 3]

遺構名	(78) H-5	位置(グリッド)	X287・288、Y155・156	重複	H-27より新、H-4・11・T-1・W-3より古		
形状・規模	方形か・東西(4.32)m×南北(5.90)m×深さ27cm		主軸方向	N-37°-W	面積	(11.42)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。掘り方の結果、内側に周溝を検出し、拡張住居と判明した。			床面	標高116.18m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—	
備考	西側は調査区外。遺物は土師器が主体で、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕が出土している。土師器壺1点を図示。		時期	6世紀中			

(78) H-6号住居跡 [Fig. 23, PL. 3]

遺構名	(78) H-6	位置(グリッド)	X287・288、Y151・152	重複	H-7より新、D-16・22・P-10・11より古		
形状・規模	方形・東西4.33m×南北4.31m×深さ49cm		主軸方向	N-38°-E	面積	(15.87)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径28cm短径(18)cm深さ24cm、P-2長径27cm短径29cm深さ0cm、P-3長径31cm短径27cm深さ3cm、P-4長径23cm短径18cm深さ33cm、P-5長径19cm短径17cm深さ45cm。貯蔵穴1長径66cm短径56cm深さ13cm、貯蔵穴2長径38cm短径33cm深さ55cm。周溝はほぼ全周する。			床面	標高116.14m		
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長(111)cm、最大幅110cm、焚口部幅39cm。	主軸方向	N-34°-E	
備考	北側は調査区外。遺物は土師器が主体で、土師器壺・塊・甕、須恵器壺・甕・高塊が出土している。土師器壺2点、土師器高塊1点、砥石1点を図示。		時期	6世紀前～中			

(78) H-7号住居跡 [Fig. 23, PL. 3・4]

遺構名	(78) H-7	位置(グリッド)	X288・289、Y152・153	重複	H-6より古		
形状・規模	方形か・東西(2.93)m×南北3.79m×深さ56cm		主軸方向	(N-55°-E)	面積	(9.35)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径42cm短径32cm深さ24cm、P-2長径36cm短径32cm深さ48cm、P-3長径36cm短径28cm深さ47cm、P-4長径45cm短径21cm深さ35cm、P-5長径25cm短径21cm深さ24cm。貯蔵穴長径48cm短径34cm深さ73cm。周溝は西壁と南壁の一部にまわる。			床面	標高116.09m		
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長140cm、最大幅80cm、焚口部幅31cm。	主軸方向	N-54°-E	
備考	遺物は土師器が主体で、土師器壺・塊・甕、須恵器壺・甕が出土している。土師器壺2点、土師器塊1点、土師器甕1点、砥石1点を図示。		時期	6世紀前半			

(78) H-8号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-8	位置(グリッド)	X290、Y151・152	重複	H-25より新、D-41より古		
形状・規模	方形か・東西(2.75)m×南北2.36m×深さ9cm		主軸方向	(N-27°-E)	面積	(3.95)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.16m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器甕、須恵器壺・塊が出土しているが、量は少ない。		時期	不明			

(78) H-9号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-9	位置(グリッド)	X289・290、Y152・153	重複	H-10・D-29より古		
形状・規模	長方形・東西2.64m×南北[4.13]m×深さ22cm		主軸方向	N-35°-E	面積	(2.17)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径[37]cm短径29cm深さ13cm、P-2長径35cm短径[32]cm深さ21cm、P-3長径27cm短径23cm深さ56cm、P-4長径15cm短径15cm深さ20cm、P-5長径30cm短径(29)cm深さ27cm。土坑を3基検出 D-1長径105cm短径68cm深さ21cm、D-2長径71cm短径53cm深さ9cm、D-3長径68cm短径49cm深さ9cm。貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.15m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—	
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器甕・壺、須恵器壺・高台付塊・甕・羽釜、灰釉陶器高台付塊・壺、瓦、鉄製品が出土し、土師器台付甕1点、須恵器高台付塊1点、釘1点を図示。		時期	9世紀代			

(78) H-10号住居跡 [Fig. 25, PL. 4]

遺構名	(78) H-10	位置(グリッド)	X289・290、Y153・154	重複	H-9より新、D-29・W-2より古		
形状・規模	方形か・東西3.30m×南北(2.49)m×深さ41cm		主軸方向	(N-1°-E)	面積	(1.96)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.01m		

カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壠・甕、灰釉陶器小片、鉄製品が出土し、須恵器壺1点、高台付壠1点、釘2点を図示。				時期	10世紀前半

(78) H-11号住居跡 [Fig. 26、PL. 4]

遺構名	(78) H-11	位置(グリッド)	X287・288、Y155・156	重複	H-5・T-1より新	
形状・規模	方形か・東西(3.12)m×南北3.39m×深さ18cm		主軸方向	N-2°-E	面積	(10.39)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高116.30m		
カマド	位置	東壁南	規模	全長124cm、最大幅102cm、焚口部幅30cm。	主軸方向	N-92°-E
備 考	西側は調査区外。遺物は、土師器甕、須恵器壺・甕、鉄製品が出土し、須恵器壺1点、かわらけ2点、釘1点を図示。				時期	11世紀後半

(78) H-12号住居跡 欠番

(78) H-13号住居跡 [Fig. 27、PL. 4]

遺構名	(78) H-13	位置(グリッド)	X289・290、Y155・156	重複	H-14より新、D-8・9・W-3より古	
形状・規模	長方形か・東西(3.29)m×南北(6.92)m×深さ38cm		主軸方向	N-5°-W	面積	(20.42)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径47cm短径43cm深さ50cm、P-2長径43cm短径42cm深さ50cm、P-3長径39cm短径33cm深さ24cm、P-4長径48cm短径44cm深さ35cm。貯蔵穴は未検出。周溝は未検出。		床面	標高116.04m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備 考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壠・甕、灰釉陶器が出土し、土師器壺2点・甕2点、須恵器高台付壠2点、灰釉陶器高台付壠1点・高台付壠1点を図示。				時期	8世紀前半

(78) H-14号住居跡 [Fig. 27、PL. 4]

遺構名	(78) H-14	位置(グリッド)	X289・290、Y155・156	重複	H-13・D-9より古	
形状・規模	長方形か・東西(4.46)m×南北4.45m×深さ32cm		主軸方向	N-65°-E	面積	(14.11)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。周溝はほぼ全周する。		床面	標高115.90m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備 考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・壠・甕、須恵器が出土し、土師器壺2点を図示。				時期	5世紀前～6世紀前

(78) H-15号住居跡 [Fig. 28、PL. 4]

遺構名	(78) H-15	位置(グリッド)	X288・289、Y153・154	重複	H-16・27・D-40より新、D-6・14・15、W-1・2より古	
形状・規模	方形か・東西4.84m×南北(4.05)m×深さ30cm		主軸方向	N-2°-E	面積	(18.76)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は5基 P-1長径46cm短径46cm深さ11cm、P-2長径63cm短径56cm深さ5cm、P-3長径50cm短径43cm深さ7cm、P-4長径56cm短径34cm深さ45cm、P-5長径47cm短径41cm深さ31cm。貯蔵穴は未検出。周溝はほぼ全周する。		床面	標高116.32m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備 考	遺物は、土師器甕、須恵器壺・甕・高台壠、灰釉陶器片、瓦、鉄製品、埴輪が出土し、須恵器壺2点・羽釜1点、鉄製品3点、埴輪1点を図示。				時期	11世紀後半

(78) H-16号住居跡 [Fig. 28、PL. 4]

遺構名	(78) H-16	位置(グリッド)	X287・288、Y153・154	重複	H-27・D-40より新、H-15・W-1・2より古	
形状・規模	方形か・東西3.09m×南北(2.55)m×深さ5cm		主軸方向	N-85°-E	面積	(8.25)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。		床面	標高116.28m		
カマド	位置	東壁	規模	全長104cm、最大幅93cm、焚口部幅50cm。	主軸方向	N-85°-E
備 考	西側は調査区外。出土遺物：すべて土師器で、量は少ない。土師器壺・甕が出土し、土師器壺1点を図示。出土した土器の時期と住居形態が合わない。				時期	5世紀後～6世紀前

(78) H-17号住居跡 [Fig. 29、PL. 5]

遺構名	(78) H-17	位置(グリッド)	X286・287、Y151・152	重複	H-20より新、H-18より古	
形状・規模	長方形か・東西3.85m×南北(1.46)m×深さ8cm		主軸方向	N-94°-E	面積	(5.33)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径53cm短径53cm深さ30cm。土坑は1基 D-1長径(58)cm短径37cm深さ10cm。床下土坑は1基 長径(88)cm短径53cm深さ68cm。貯蔵穴は未検出。周溝は東壁の一部に検出。		床面	標高116.50m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺が出土し、かわらけ1点を図示。				時期	11世紀前半

(78) H-18号住居跡 [Fig. 29、PL. 5]

遺構名	(78) H-18	位置(グリッド)	X286・287、Y152	重複	H-17より新	
形状・規模	隅丸長方形・東西4.38m×南北2.68m×深さ10cm		主軸方向	N-99°-E	面積	(10.46)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径33cm短径32cm深さ35cm、P-2長径45cm短径41cm深さ20cm、P-3長径45cm短径45cm深さ40cm。土坑は1基 D-1長径85cm短径80cm深さ67cm。床下土坑は1基 長径119cm短径		床面	標高116.50m		

113cm深さ72cm。貯蔵穴は未検出。周溝は一部に検出。						
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	南側は調査区外。遺物は、縄文土器・土師器壺・甕・須恵器壺・甕、鉄製品が出土し、かわらけ1点、釘1点を図示。				時期	11世紀後半

(78) H-19号住居跡 [Fig. 29, PL. 5]

遺構名	(78) H-19	位置(グリッド)	X287、Y152・153	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(1.63)m×南北(2.39)m×深さ23cm			主軸方向	N-99°-E	面積 (2.07)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。			床面	標高116.31m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	西側は調査区外。遺物は、土師器壺・塊・甕・高壺・須恵器壺・甕が出土した。			時期	古墳時代後期	

(78) H-20号住居跡 [Fig. 30、PL. 5]

遺構名	(78) H-20	位置(グリッド)	X286・287、Y151・152	重複	H-17・D-18・20より古	
形状・規模	方形か・東西(3.67)m×南北(3.27)m×深さ31cm			主軸方向	N-59°-E	面積 (6.14)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。			床面	標高116.29m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	北側は調査区外。遺物はすべて土師器で、塊・壺・甕が出土している。土師器塊8点を図示。			時期	5世紀後半	

(78) H-21号住居跡 [Fig. 30、PL. 5]

遺構名	(78) H-21	位置(グリッド)	X284・285、Y151・152	重複	H-28・29より古	
形状・規模	長方形・東西3.84m×南北(2.50)m×深さ23cm			主軸方向	N-71°-E	面積 (10.42)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は2基 P-1長径30cm短径26cm深さ49cm、P-2長径51cm短径39cm深さ14cm。貯蔵穴は長径59cm短径44cm深さ68cm。周溝は未検出。			床面	標高116.49m	
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長95cm、最大幅(57)cm、焚口部幅(30)cm。	主軸方向	N-77°-E
備 考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・塊・甕・須恵器壺が出土し、土師器壺1点を図示。			時期	7世紀代	

(78) H-22号住居跡 [Fig. 30、PL. 5]

遺構名	(78) H-22	位置(グリッド)	X289、Y151	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(1.02)m×南北(0.91)m×深さ71cm			主軸方向	N-56°-E	面積 (0.49)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。			床面	標高115.81m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	北側は調査区外。出土遺物はない。			時期	不明	

(78) H-23号住居跡 [Fig. 31、PL. 5]

遺構名	(78) H-23	位置(グリッド)	X283・284、Y151	重複	H-28より新	
形状・規模	不明・東西(3.06)m×南北(0.96)m×深さ41cm			主軸方向	N-109°-E	面積 (1.61)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は南壁に検出。			床面	標高116.41m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	北側は調査区外。遺物は、弥生土器・土師器壺・甕・須恵器壺・甕、灰釉陶器が出土し、弥生土器1点を図示。			時期	不明	

(78) H-24号住居跡 欠番

(78) H-25号住居跡 [Fig. 25、PL. 4]

遺構名	(78) H-25	位置(グリッド)	X290、Y152・153	重複	H-8・D-41より古	
形状・規模	不明・東西(2.17)m×南北(2.09)m×深さ7cm			主軸方向	N-99°-E	面積 (3.44)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。土坑は1基 長径60cm短径58cm深さ49cm。床下土坑は1基 長径60cm短径55cm深さ52cm。			床面	標高116.17m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	東側は調査区外。出土遺物：土師器壺・甕、須恵器小片が出土し、須恵器高台壙壠1点を図示。			時期	11世紀後半か	

(78) H-26号住居跡 [Fig. 31、PL. 5]

遺構名	(78) H-26	位置(グリッド)	X283・284、Y152	重複	単独	
形状・規模	不明・東西(1.70)m×南北(1.10)m×深さ40cm			主軸方向	N-114°-E	面積 (0.89)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。			床面	標高116.50m	
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	—
備 考	南側は調査区外。遺物は少量で、土師器・須恵器の小片が出土し、土師器壺1点を図示。			時期	不明	

(78) H-27号住居跡 [Fig. 31、PL. 6]

遺構名	(78) H-27	位置(グリッド)	X287・288、Y154・155	重複	H-5・15・16・W-1・2より古	
形状・規模	長方形・東西(3.40)m×南北2.68m×深さ19cm			主軸方向	N-60°-E	面積 (6.65)m ²

柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径10cm短径10cm深さ7cm、P-2長径22cm短径19cm深さ5cm、P-3長径17cm短径16cm深さ8cm。貯蔵穴は長径72cm短径57cm深さ48cm。周溝は未検出。				床面	標高116.01m
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	西側は調査区外。遺物はすべて土師器で、壇・壺・甕が出土し、土師器壇3点・壺1点・甕1点を図示。				時期	5世紀前～6世紀前

(78) H-28号住居跡 [Fig. 31、PL. 5]

遺構名	(78) H-28	位置(グリッド)	X284・285、Y151	重複	H-21より新、H-23・29より古	
形状・規模	不明・東西(1.22)m×南北(2.75)m×深さ32cm		主軸方向	N-98°-E	面積 (2.44)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径26cm短径23cm深さ20cm。貯蔵穴は未検出。周溝は一部に検出。		床面	標高116.42m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	北側は調査区外。遺物は少なく、須恵器壺1点を図示。				時期	10世紀か

(78) H-29号住居跡 [Fig. 32、PL. 6]

遺構名	(78) H-29	位置(グリッド)	X284・285、Y151・152	重複	H-21・284より新、D-11～13・P-17・18・44より古	
形状・規模	方形・東西3.74m×南北3.53m×深さ17cm		主軸方向	N-3°-E	面積 (12.83)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は南・西壁にめぐる。		床面	標高116.55m		
カマド	位置	一	規模	一	主軸方向	一
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土した。				時期	不明

(2)堅穴状遺構

(78) T-1号堅穴状遺構 [Fig. 22、PL. 6]

遺構名	(78) T-1	位置(グリッド)	X288、Y155・156	重複	H-5より新、H-11より古	
形状・規模	方形・東西2.68m×南北3.15m×深さ48cm		主軸方向	N-15°-W	面積 [7.93] m ²	
柱穴	柱穴は1基 P-1長径48cm短径37cm深さ8cm。		床面	標高115.99m		
備考	遺物はほとんど土師器で、土師器壺・甕、須恵器壺が出土し、土師器壺を1点図示。				時期	不明

(3)溝跡

(78) W-1号溝跡 [Fig. 33、PL. 6]

X288・289、Y153・154グリッドに位置する。重複関係は、H-15・16、D-14より新しい。東西に走行し、確認できた全長は2.96m、上幅0.23～0.41m、下幅0.09～0.15m、確認面からの深さ0.07mを測る。北側底面の標高は116.51m、南側は116.55mで、断面形状は皿状である。出土遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺の小片である。時期は、覆土にA s-B 軽石が見られることから中世と考えられる。

(78) W-2号溝跡 [Fig. 33、PL. 6]

X287～290、Y154グリッドに位置し、W-3と並走する。重複関係は、H-10・15・16・27より新しく、W-3より古い。東西に走行し、全長は(10.55)m、上幅1.41～1.74m、下幅0.30～0.57m、確認面からの深さ0.87m程を測る。西側底面の標高は115.80m、東側は115.72mで、断面形状は逆台形状である。出土遺物は、土師器壺・甕・甕、須恵器壺・甕、陶器があり、火鉢1点を図示した。時期は、覆土にA s-B 軽石が見られることから中世と考えられる。

(78) W-3号溝跡 [Fig. 33、PL. 6]

X287～290、Y154・155グリッドに位置し、W-2と並走する。重複関係は、H-5・13・27、W-2、D-8より新しい。東西に走行し、全長は(10.48)m、上幅0.93～1.36m、下幅0.23～0.42m、確認面からの深さ0.86m程を測る。底面の標高は、西側は115.81m、東側は115.72mを測り、長さ2.60mにわたり段差が確認できた。断面形状は、逆台形状である。出土遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、灰釉陶器高台壙壺、瓦がある。時期は、覆土にA s-B 軽石が見られることから中世と考えられる。

(4)井戸跡

(78) I-1号井戸跡 [Fig. 32、PL. 6]

遺構名	(78) I-1	位置(グリッド)	X285・286、Y152	重複	単独
-----	----------	----------	---------------	----	----

形状・規模	円形で長径147cm×短径(112)cm×深さは145cm掘り下げた。底面は検出していない。			標高	(115.15)m
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺が出土している。時期は、覆土にA s-B軽石が見られることから中世と考えられる。			時期	中世

(5) 土坑 [Fig. 28・34]

土坑は36基検出した。覆土の様相や重複の関係から古代と考えられるものは、D-2・3・5・11・14・15・18~20・22~27・29・30・32~38・40・41の26基である。それ以外の10基は、覆土にA s-B軽石を含み、中世以降の土坑と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(6) ピット

ピットは43基検出した。P-40は、覆土にA s-B軽石を含み、中世のピットと考えられる。それ以外のピット42基は、覆土の様相や重複の関係から古代と考えられる。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

6 元総社蒼海遺跡群(79)

検出された遺構は、堅穴住居跡21軒、溝跡6条、円形有段遺構1基、土坑13基、ピット23基である。

(1) 堅穴住居跡

(79) H-1号住居跡 [Fig. 36、PL. 7]

遺構名	(79) H-1	位置(グリッド)	X68・69、Y237・238	重複	W-4より古
形状・規模	隅丸長方形・東西2.96m×南北3.33m×深さ53cm	主軸方向	N-21°-W	面積	(8.84)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・周溝は未検出。貯蔵穴 長径(30)cm短径(30)cm深さ53cm。	床面	標高120.18m		
カマド	位置 東壁中央南 規模 全長(40)cm、最大幅(66)cm、焚口部幅28cm。	主軸方向	N-78°-E		
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕、石製品、鉄製品、瓦が出土し、うす玉1点、砥石1点、釘1点を図示。	時期	古代		

(79) H-2号住居跡 欠番

(79) H-3号住居跡 [Fig. 36、PL. 7]

遺構名	(79) H-3	位置(グリッド)	X68・69、Y235・236	重複	H-9・30より新、W-7より古
形状・規模	長方形か・東西(2.66)m×南北4.46m×深さ23cm	主軸方向	N-11°-W	面積	(9.95)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。	床面	標高120.56m		
カマド	位置 一 規模 一	主軸方向	—		
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕、灰釉陶器、瓦が出土し、土師器台付甕1点、須恵器壺1点・高台付塊1点・高台付皿1点、灰釉陶器高台付皿1点、鉄鎌1点を図示。	時期	10世紀前半		

(79) H-4号住居跡 [Fig. 37、PL. 7]

遺構名	(79) H-4	位置(グリッド)	X67・68、Y235・236	重複	H-5・12・30より新、D-12より古
形状・規模	隅丸長方形・東西4.12m×南北3.34m×深さ33cm	主軸方向	N-75°-E	面積	13.62m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径38cm短径32cm深さ22cm、P-2長径43cm短径40cm深さ24cm、P-3長径46cm短径43cm深さ16cm。貯蔵穴 長径37cm短径36cm深さ9cm。周溝は北・南側の一部に検出。	床面	標高120.50m		
カマド	位置 東壁中央南 規模 全長54cm、最大幅70cm、焚口部幅61cm。	主軸方向	N-97°-E		
備考	遺物は、土師器壺・甕・台付甕・須恵器壺・高台付塊・甕・壺・羽釜・綠釉陶器・鉄製品、瓦が出土した。土師器甕1点・台付甕2点・須恵器壺3点・高台付塊8点・羽釜1点・綠釉陶器1点、釘4点・刀子1点を図示。	時期	10世紀前半		

(79) H-5号住居跡 [Fig. 37]

遺構名	(79) H-5	位置(グリッド)	X67・68、Y235・236	重複	H-12・30より新、H-4・D-7より古
形状・規模	隅丸方形・東西4.06m×南北4.03m×深さ28cm	主軸方向	N-85°-E	面積	16.20m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。床下土坑 長径108cm短径55cm深さ20cm。	床面	標高120.43m		
カマド	位置 東壁中央南 規模 全長79cm、最大幅71cm、焚口部幅53cm。	主軸方向	N-76°-E		
備考	遺物は、土師器壺・甕・須恵器壺・高台付塊・甕・壺・羽釜・綠釉陶器・瓦が出土している。土師器壺1点、須恵器壺4点・甕1点、灰釉陶器高台付塊1点、鉄製品刀子など3点を図示。	時期	9世紀後半		

(79) H-6号住居跡 欠番

(79) H-7号住居跡 [Fig. 38、PL. 7]

遺構名	(79) H-7	位置(グリッド)	X65・66、Y235・236	重複	H-12より新、W-3・D-11より古
形状・規模	隅丸長方形・東西4.51m×南北3.52m×深さ26cm	主軸方向	N-87°-E	面積	15.49m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径53cm短径46cm深さ14cm、P-2長径75cm短径63cm深さ	床面	標高120.48m		

20cm、P-3長径44cm短径39cm深さ18cm、P-4長径60cm短径58cm深さ13cm。貯蔵穴 長径99cm短径72cm深さ17cm。周溝は未検出。						
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長110cm、最大幅71cm、焚口部幅43cm。	主軸方向	N-103°-E
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・甕・壺・羽釜、灰釉陶器、石製品、鉄製品、瓦が出土している。土師器甕1点、須恵器高台付壺3点、砥石1点、鉄鏃3点、瓦1点を図示。				時期	9世紀代

(79) H-8号住居跡 [Fig. 39, PL. 7]

遺構名	(79) H-8	位置(グリッド)	X66・67、Y239	重複	H-27より新	
形状・規模	隅丸長方形・東西2.95m×南北(3.38)m×深さ40cm	主軸方向	N-22°-W	面積	(8.20)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.29m		
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長92cm、最大幅69cm、焚口部幅40cm。	主軸方向	N-77°-E
備 考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・蓋・壺、瓦が出土している。土師器高环1点・甕4点、須恵器環1点・高台付壺3点・蓋1点・壺1点、瓦1点を図示。				時期	10世紀前半

(79) H-9号住居跡 [Fig. 36, PL. 7]

遺構名	(79) H-9	位置(グリッド)	X68・69、Y235	重複	H-3より古	
形状・規模	不明・東西(1.57)m×南北(1.66)m×深さ24cm	主軸方向	不明	面積	(2.44)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.26m		
カマド	位置	一	規模	一。	主軸方向	一
備 考	東・北側は調査区外。遺物は、土師器の小片が出土している。				時期	10世紀前半以前

(79) H-10号住居跡 欠番

(79) H-11号住居跡 [Fig. 39]

遺構名	(79) H-11	位置(グリッド)	X64・65、Y239	重複	単独	
形状・規模	不明・東西2.58m×南北(0.68)m×深さ20cm	主軸方向	N-80°-E	面積	(1.08)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.60m		
カマド	位置	一	規模	一。	主軸方向	一
備 考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・甕があるが、出土量は少ない。須恵器壺1点を図示。				時期	9世紀後～10世紀前

(79) H-12号住居跡 [Fig. 40, PL. 8]

遺構名	(79) H-12	位置(グリッド)	X66・67、Y235・236	重複	H-4・5・7・30、W-3、D-11より古	
形状・規模	方形・東西4.70m×南北4.80m×深さ31cm	主軸方向	N-24°-W	面積	(21.71)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径37cm短径34cm深さ32cm、P-2長径46cm短径42cm深さ40cm、P-3長径41cm短径38cm深さ35cm、P-4長径130cm短径87cm深さ17cm。貯蔵穴 長径63cm短径53cm深さ32cm。周溝は西壁の一部を除き全周する。床下土坑 長径105cm短径91cm深さ10cm。		床面	標高120.34m		
カマド	位置	北壁中央東	規模	全長(97)cm、最大幅108cm、焚口部幅59cm。	主軸方向	N-17°-E
備 考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土し、土師器壺2点・甕1点、須恵器高台付壺1点を図示。				時期	6世紀後半

(79) H-13号住居跡 欠番

(79) H-14号住居跡 [Fig. 41]

遺構名	(79) H-14	位置(グリッド)	X65・66、Y235	重複	D-4より古	
形状・規模	不明・東西(3.50)m×南北(2.71)m×深さ29cm	主軸方向	N-63°-E	面積	(5.50)m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径32cm短径24cm深さ28cm。貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.66m		
カマド	位置	一	規模	一。	主軸方向	一
備 考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付壺・皿・甕、綠釉陶器が出土し、須恵器高台付壺2点・皿1点、綠釉陶器壺1点を図示。				時期	9世紀後半

(79) H-15号住居跡 [Fig. 41, PL. 8]

遺構名	(79) H-15	位置(グリッド)	X63・64、Y235・236	重複	H-17・20、D-2・3・13より古	
形状・規模	方形・東西6.29m×南北6.04m×深さ50cm	主軸方向	N-79°-E	面積	38.68m ²	
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は4基 P-1長径27cm短径26cm深さ60cm、P-2長径24cm短径24cm深さ56cm、P-3長径26cm短径24cm深さ38cm、P-4長径24cm短径24cm深さ43cm。貯蔵穴は2基 北貯蔵穴 長径77cm短径50cm深さ64cm。西貯蔵穴 長径64cm短径48cm深さ31cm。周溝は全周する。		床面	標高120.29m		
カマド	位置	北壁中央東 西壁中央南	規模	北 全長151cm、最大幅111cm、焚口部幅51cm。 西 全長194cm、最大幅124cm、焚口部幅54cm。	主軸方向	N-12°-W N-97°-W
備 考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土し、土師器が主体である。土師器壺6点・甕1点を図示。				時期	6世紀後半

(79) H-16号住居跡 [Fig. 43, PL. 8]

遺構名	(79) H-16	位置(グリッド)	X62~64、Y238・239	重複	H-31より新、W-4より古	
-----	-----------	----------	-----------------	----	----------------	--

形状・規模	隅丸長方形か・東西5.24m×南北(4.36)m×深さ43cm			主軸方向	N-82°-E	面積	(22.19)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は2基 P-1長径37cm短径35cm深さ54cm、P-2長径30cm短径26cm深さ43cm。貯蔵穴 長径55cm短径(40)cm深さ51cm。周溝は全周する。				床面	標高120.35m	
カマド	位置	東壁南寄	規模	全長168cm、最大幅100cm、焚口部幅48cm。		主軸方向	N-103°-E
備考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付塊・蓋・甕、石製品が出土している。土師器壺2点・甕4点、須恵器蓋4点、砥石1点を図示。				時期	8世紀前半	

(79) H-17号住居跡 [Fig. 44]

遺構名	(79) H-17	位置(グリッド)	X 63・64、Y 236・237	重複	H-15より新		
形状・規模	隅丸方形・東西3.58m×南北3.43m×深さ10cm			主軸方向	N-23°-W		面積 11.50m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。貯蔵穴 長径101cm短径77cm深さ25cm。床下土坑 長径15cm短径98cm深さ23cm。周溝は西・北壁と東壁の一部に検出。				床面	標高120.73m	
カマド	位置	東壁中央南	規模	全長64cm、最大幅53cm、焚口部幅46cm。		主軸方向	N-66°-E
備考	遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕、灰釉陶器が出土し、土師器甕1点、須恵器壺1点・高台付塊1点、灰釉陶器高台付塊1点・長頸壺1点を図示。				時期	9世紀後半	

(79) H-18号住居跡 欠番

(79) H-19号住居跡 欠番

(79) H-20号住居跡 [Fig. 44, PL. 8]

遺構名	(79) H-20	位置(グリッド)	X 62・63、Y 235	重複	H-15より新、H-32より古		
形状・規模	不明・東西(2.42)m×南北(2.63)m×深さ7cm			主軸方向	N-10°-W		面積 (5.43)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。				床面	標高120.70m	
カマド	位置	東壁南隅	規模	全長89cm、最大幅60cm、焚口部幅30cm。		主軸方向	N-100°-E
備考	北・西側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕・羽釜、灰釉陶器が出土している。土師器壺1点、須恵器壺1点・高台付塊1点、灰釉陶器高台付塊2点を図示。				時期	10世紀前半	

(79) H-21号住居跡 欠番

(79) H-22号住居跡 欠番

(79) H-23号住居跡 欠番

(79) H-24号住居跡 [Fig. 45]

遺構名	(79) H-24	位置(グリッド)	X 68・69、Y 239	重複	円形有段より新、H-25・26より古		
形状・規模	長方形か・東西3.50m×南北(3.37)m×深さ39cm			主軸方向	N-15°-W		面積 (11.40)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は全周する。				床面	標高120.11m	
カマド	位置	東壁中央	規模	全長(141)cm、最大幅106cm、焚口部幅43cm。		主軸方向	N-83°-E
備考	南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・皿・石製品、鉄製品、瓦が出土している。土師器壺1点・甕1点、須恵器壺3点・高台付塊5点・高台付皿2点・碁石1点・砥石1点・釘1点・刀子1点、瓦1点を図示。				時期	9世紀後半	

(79) H-25号住居跡 [Fig. 46]

遺構名	(79) H-25	位置(グリッド)	X 68・69、Y 238・239	重複	H-24より新、H-26より古		
形状・規模	不明・東西(0.54)m×南北3.30m×深さ39cm			主軸方向	不明		面積 (2.07)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。周溝は南壁に確認できた。				床面	標高120.11m	
カマド	位置	北壁	規模	全長(36)cm、最大幅(56)cm		主軸方向	N-3°-E
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器甕、鉄製品、瓦が出土し、土師器甕2点、鉄製品1点、瓦1点を図示。				時期	9世紀後半	

(79) H-26号住居跡 [Fig. 45]

遺構名	(79) H-26	位置(グリッド)	X 69、Y 238・239	重複	H-24・25より新		
形状・規模	不明・東西(1.04)m×南北3.11m×深さ36cm			主軸方向	N-7°-E		面積 (2.29)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴は未検出。				床面	標高120.34m	
カマド	位置	一	規模	一		主軸方向	一
備考	東側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器高台付塊・甕、瓦が出土し、須恵器壺1点・高台付塊1点を図示。				時期	9世紀後半以降	

(79) H-27号住居跡 [Fig. 46]

遺構名	(79) H-27	位置(グリッド)	X 66～68、Y 238・239	重複	H-8・円形有段より古		
形状・規模	不明・東西5.11m×南北(3.90)m×深さ53cm			主軸方向	N-62°-E		面積 (15.34)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。				床面	標高120.11m	
カマド	位置	東壁中央	規模	全長101cm、最大幅85cm、焚口部幅35cm。		主軸方向	N-61°-E
備考	東・南側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕が出土し、土師器甕1点を図示。				時期	8世紀代か	

(78) H-28号住居跡 欠番

(78) H-29号住居跡 欠番

(79) H-30号住居跡 [Fig. 47、PL. 9]

遺構名	(79) H-30	位置(グリッド)	X67・68、Y235	重複	H-12より新、H-4・5、D-7、P-1～3より古
形状・規模	不明・東西5.97m×南北(2.35)m×深さ51cm		主軸方向	N-87°-E	面積 (11.66)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は3基 P-1長径28cm短径22cm深さ58cm、P-2長径75cm短径48cm深さ43cm、P-3長径47cm短径42cm深さ38cm。貯蔵穴 長径57cm短径35cm深さ60cm。周溝は全周する。		床面	標高120.21m	
カマド	位置 一	規模 一	主軸方向	—	
備 考	北側は調査区外。出土遺物は多めで、土師器が主体である。土師器壺・甕、須恵器壺・甕が出土し、土師器壺6点を図示。		時期	6世紀後半	

(79) H-31号住居跡 [Fig. 48]

遺構名	(79) H-31	位置(グリッド)	X62～64、Y238・239	重複	H-16、W-4より古
形状・規模	不明・東西(0.58)m×南北(4.75)m×深さ28cm		主軸方向	N-9°-W	面積 (3.11)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面	標高120.50m	
カマド	位置 東壁中央	規模 全長54cm、最大幅70cm、焚口部幅61cm。	主軸方向	N-81°-E	
備 考	南側は調査区外。遺物は少量で、土師器壺、須恵器甕の小片が出土している。		時期	8世紀前半以前	

(79) H-32号住居跡 [Fig. 44、PL. 9]

遺構名	(79) H-32	位置(グリッド)	X62・63、Y235	重複	H-20より新
形状・規模	不明		主軸方向	不明	面積 不明
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は不明。		床面	不明	
カマド	位置 不明	規模 全長(44)cm、最大幅62cm、焚口部幅21cm。	主軸方向	N-9°-W	
備 考	北・西側は調査区外。遺物は、土師器甕、須恵器羽釜が出土し、須恵器羽釜5点を図示。		時期	10世紀後半	

(2) 溝跡

(79) W-1号溝跡 [Fig. 49]

X67～69、YY236・237グリッドに位置する。重複する遺構はない。東西に走行し、確認できた全長は(9.50)m、上幅0.35～0.57m、下幅0.22～0.41m、確認面からの深さ0.05～0.07m測る。西側底面の標高は120.84m、東側は120.76mで、断面形状は皿状である。出土遺物はない。

(79) W-2号溝跡 [Fig. 49、PL. 9]

X62～69、Y237・238グリッドに位置する。W-4と並走し、W-3と調査区中央付近で合流する。東西に走行し、全長は(26.92)m、上幅0.94～1.72m、下幅0.54～1.41m、確認面からの深さ0.21～0.30mを測る。西側底面の標高は120.68m、東側は120.51mで、断面形状は皿状である。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付塊・甕・壺、灰釉陶器、瓦が出土し、須恵器壺1点、灰釉陶器高台付塊1点、瓦1点を図示した。

(79) W-3号溝跡 [Fig. 49]

X66、Y235～237グリッドに位置し、W-2と並走する。H-7・12、D-9と重複する。南北に走行し、全長は(9.95)m、上幅0.47～0.68m、下幅0.25～0.48m、確認面からの深さ0.05～0.24mを測る。底面の標高は、北側は120.62m、南側は120.77mで、断面形状は、皿状である。出土遺物はない。

(79) W-4号溝跡 [Fig. 49]

X63～69、Y237～239グリッドに位置する。重複関係は、H-1・16・31より新しい。東西に走行し、確認できた全長は(23.31)m、上幅0.76～1.53m、下幅0.32～1.04m、確認面からの深さ0.21～0.40mを測る。西側底面の標高は120.68m、東側は120.42mで、断面形状は皿状である。遺物は、須恵器壺・甕の小片が僅かに出土している。

(79) W-5号溝跡 欠番

(79) W-6号溝跡 [Fig. 49]

X66・67、Y236・237グリッドに位置する。重複する遺構はない。東西に走行し、全長は3.03m、上幅0.

38～0.60m、下幅0.05～0.44m、確認面からの深さ0.04mを測る。西側底面の標高は120.74m、東側は120.80mで、断面形状は皿状である。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺、石製品が出土し、碁石1点を図示した。

(79) W-7号溝跡 [Fig. 49]

X 68・69、Y 236グリッドに位置する。重複関係は、H-3より新しい。東西に走行し、全長は(5.19)m、上幅0.30～0.80m、下幅0.15～0.57m、確認面からの深さ0.07mを測る。底面の標高は、西側は120.77m、東側は120.47mを測る。断面形状は、皿状である。遺物は、土師器甕、須恵器高台付壺、綠釉陶器片が出土し、綠釉陶器1点を図示した。

(3)円形有段遺構 [Fig. 50、PL. 9]

X 67・68、Y 239グリッドに位置する。重複関係は、H-27より新しく、H-24より古い。長径3.55m、短径(2.23)mの円形を呈し、確認面からの深さ2.01mを測る。中位に段を有し、底面の標高は118.75mである。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・甕・蓋、石製品が出土し、土師器壺6点、須恵器壺2点・高台付皿1点・蓋2点、礎石と思われる石製品1点を図示した。時期は、出土遺物から8世紀代と考えられる。

(4)土坑 [Fig. 50、PL. 9]

土坑は13基検出した。D-10は段を有し、外形は長径2.35m短径1.61m深さ53cmの楕円形を呈する。内形は長軸2.35m短軸0.65m深さ28cmの隅丸長方形を呈する。遺物は、土師器小片、いぶし焼成の須恵器高台付壺、鉄製品が出土し、須恵器高台付壺1点、釘1点を図示した。覆土には焼土・炭化物を含まず土葬土坑墓と考えられる。D-11は楕円形を呈し、出土遺物に羽口がある。D-13は楕円形を呈し、人頭大からこぶし大の石が11個出土している。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(5)ピット

ピットは23基検出した。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

7 元総社蒼海遺跡群(80)

検出された遺構は、堅穴住居跡6軒、溝跡1条、ピット1基である。

(80) H-1号住居跡 [Fig. 51、PL. 10]

遺構名	(80) H-1	位置(グリッド)	X 56、Y 247	重複	H-2より新。
形状・規模	長方形か・東西(2.71)m×南北(2.62)m×深さ21cm	主軸方向	N-80°-E	面積	(6.73)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は1基 P-1長径29cm短径25cm深さ20cm。貯蔵穴 長軸68cm×短軸47cm×深さ15cmの長方形。周溝は未検出。	床面	標高120.21m		
カマド	位置 東壁中央	規模	全長117cm、最大幅(37)cm、焚口部幅(24)cm。	主軸方向	N-83°-E
備 考	北側は調査区外。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・高台付壺・壺、瓦が出土し、土師器甕1点、須恵器壺1点・高台付壺1点を図示。			時期	8世紀

(80) H-2号住居跡 [Fig. 51、PL. 10]

遺構名	(80) H-2	位置(グリッド)	X 56、Y 247	重複	H-1より古。
形状・規模	不明・東西(0.58)m×南北(3.84)m×深さ18cm	主軸方向	N-4°-W	面積	(2.19)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。	床面	標高120.23m		
カマド	位置 東壁中央南	規模	全長(90)cm、最大幅(35)cm、焚口部幅(22)cm。	主軸方向	N-74°-E
備 考	西側は調査区外。遺物は、土師器甕、須恵器高台付壺・甕、瓦が出土し、須恵器壺1点を図示。			時期	世紀

(80) H-3号住居跡 [Fig. 51、PL. 10]

遺構名	(80) H-3	位置(グリッド)	X 56、Y 248	重複	単独
形状・規模	不明・東西(0.80)m×南北4.30m×深さ0cm	主軸方向	N-4°-W	面積	(3.38)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。	床面	標高120.35m		
カマド	位置 東壁中央南	規模	全長(45)cm、最大幅[50]cm、焚口部幅不明。	主軸方向	N-88°-E
備 考	西側は調査区外。遺物の出土量は少ない。土師器甕、須恵器壺が出土した。			時期	不明

(80) H-4号住居跡 [Fig. 52、PL. 10]

遺構名	(80) H-4	位置(グリッド)	X56・57、Y248	重複	単独
形状・規模	方形か・東西[3.47]m×南北3.57m×深さ11cm		主軸方向	N-23°-W	面積 (12.57)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴は未検出。貯蔵穴 長軸86cm×短軸55cm×深さ12cmの長方形。周溝は北・東・南壁の一部に検出。		床面		標高120.41m
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長59cm、最大幅[67]cm、焚口部幅(48)cm。	主軸方向	N-67°-E	
備考	遺物は、土師器壺・甕が出土し、土師器壺1点を図示。		時期	8世紀中	

(80) H-5号住居跡 [Fig. 53、PL. 10]

遺構名	(80) H-5	位置(グリッド)	X58・59、Y248	重複	H-6より新
形状・規模	方形か・東西2.56m×南北(2.58)m×深さ6cm		主軸方向	N-42°-W	面積 (5.76)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出。		床面		標高120.48m
カマド	位置 東壁南寄り	規模 全長(117)cm、最大幅[62]cm、焚口部幅25cm。	主軸方向	N-69°-E	
備考	南側は搅乱をうけている。遺物は、土師器壺・甕、須恵器壺・蓋が出土している。土師器壺1点、須恵器蓋1点を図示。		時期	8世紀前半	

(80) H-6号住居跡 [Fig. 53、PL. 10]

遺構名	(80) H-6	位置(グリッド)	X58・59、Y247・248	重複	H-5より古
形状・規模	方形か・東西[3.12]m×南北[3.28]m×深さ0cm		主軸方向	N-24°-W	面積 (7.06)m ²
柱穴・貯蔵穴・周溝	柱穴・貯蔵穴・周溝は未検出		床面		標高120.51m
カマド	位置 東壁中央南	規模 全長[46]cm、最大幅[55]cm、焚口部幅不明cm。	主軸方向	N-66°-E	
備考	遺物は少ない。土師器壺・須恵器壺・壺が出土している。		時期	6世紀前～中	

(2) 溝跡

(80) W-1号溝 [Fig. 53、PL. 10]

X58・59、Y253グリッドに位置し、南北に走行する。全長は(2.63)m、上幅0.73～1.14m、下幅0.20～0.68m、確認面からの深さ0.03～0.21mを測り、断面形状は皿状である。底面の標高は、北側で119.98m、南側は120.24mを測る。遺物は少なく、土師器、須恵器の小片が出土した。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

(3) ピット [Fig. 53]

ピットは1基検出した。X56、Y247グリッドに位置し、単独で占地する。規模は、長径43cm、短径40cm、深さ19cmの円形である。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

8 元総社蒼海遺跡群(92)

本調査区は、搅乱をうけており、検出された遺構はない。

9 元総社蒼海遺跡群(93)

本調査区は一般県道 足門・前橋線沿いに位置し、(94)調査区の西に隣接する。検出された遺構は、溝跡5条、土坑15基、ピット13基である。

(1) 溝跡

(93) W-1号溝跡 [Fig. 54、PL. 11]

X208、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-5、D-16、P-12・13より古い。南北に走行し、全長は(5.03)m、上幅0.53～0.68m、下幅0.24～0.40m、深さ0.07～0.15mを測る。北側底面の標高は114.62m、南側は114.56mで、断面形状は皿状である。出土遺物は、土師器壺・甕、須恵器甕がある。時期は、覆土の観察から古代と考えられる。

(93) W-2号溝跡 [Fig. 11・54、PL. 11]

X208～210、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-3・4より古い。南北に走行し、全長は

(3.21)m、上幅3.10~5.16m、下幅2.54~2.62m、深さ2.86~2.88mを測る。北側底面の標高は111.91m、南側は111.83mで、断面形状は逆台形状である。底面は一定ではなく、北側では30cm程の段差があり、中央部は断面皿状で通水した痕跡が見える。遺物は、土師器甕・須恵器高台付塊・甕、瓦、軟質陶器、磁器が出土し、瓦1点、軟質陶器内耳鍋1点、磁器1点を図示した。時期は、覆土と出土遺物から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(93) W-3号溝跡 [Fig. 11・54、PL. 11]

X210、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-2より新しく、W-4より古い。全長は(2.30)m、上幅(1.80)m、下幅(0.24)m、深さ2.91mを測る。底面の標高は111.78mで、断面形状は逆台形状と思われる。遺物は、土師器甕・須恵器高台付塊・甕、灰釉陶器高台坏塊・壺が出土した。時期は、覆土から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(93) W-4号溝跡 [Fig. 11・54、PL. 11]

X210、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-2・3より新しい。全長は(3.11)m、深さ2.08mを測る。北側底面の標高は112.64m、南側は113.08mで南側が高い。断面形状は皿状と思われる。遺物は、土師器坏・甕、須恵器坏・高台付塊・甕、灰釉陶器壺、陶器、軟質陶器が出土し、陶器常滑1点を図示した。時期は、覆土と出土遺物から中世と考えられる。

(93) W-5号溝跡 [Fig. 54、PL. 11]

X207・208、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-1、D-6・8・15より新しい。南北に走行し、全長は(5.26)m、上幅0.20~3.50m、下幅0.09~[3.10]m、深さ0.05~0.07mを測る。北側底面の標高は114.78m、南側は114.63mで、断面形状は皿状だが、氾濫跡の状況を呈し、流路は定まっていない。遺物は、土師器坏・甕、須恵器坏・高台付塊、瓦、灰釉陶器片が出土し、須恵器坏1点、瓦1点を図示した。時期は、覆土の観察から中世と考えられる。

(2) 土坑 [Fig. 55]

土坑は15基検出した。覆土にA s-B軽石を含む中世以降と考えられるものはD-1・4・5・12・15・17の6基で、そのほかのものは時期不明である。D-2から羽口1点、D-3から温石と思われるものが2点出土し図示した。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(3) ピット [Fig. 56]

ピットは13基検出した。覆土にA s-B軽石を含む中世以降と考えられるものはP-7・9・11の3基で、そのほかのものは時期不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

10 元総社蒼海遺跡群(94)

本調査区は一般県道 足門・前橋線沿いに位置し、(93)調査区の東に隣接する。検出された遺構は、溝跡4条、土坑6基、ピット6基である。

(1) 溝跡

(94) W-1号溝跡 [Fig. 57、PL. 12]

X214、Y244・245グリッドに位置する。重複関係は、D-3・6、P-6と重複。南北に走行し、全長は(4.16)m、上幅1.18~1.40m、下幅0.20~0.28m、深さ0.98~1.08mを測る。北側底面の標高は113.52m、南側は113.35mで、断面形状は逆台形状である。出土遺物は、土師器坏・甕、須恵器甕がある。時期は、覆土と出土遺物から古代と考えられる。

(94) W-2号溝跡 [Fig. 57、PL. 12]

X 213、Y 244・245グリッドに位置する。重複関係は、単独。全長は(1.71)m、上幅(1.62)m、下幅(0.77)m、深さ1.01mを測る。底面の標高は112.99mで、断面形状は逆台形状か。遺物は、灰釉陶器小片が出土した。時期は、覆土から中世と考えら、蒼海城に関連する掘の可能性が高い。

(94) W-3号溝跡 [Fig. 57, PL. 12]

X 214・215、Y 244グリッドに位置する。重複関係は、W-4、P-2より古い。全長は(0.72)m、上幅0.28m、下幅0.10m、深さ0.07mを測る。底面の標高は114.31mで、断面形状は皿状と思われる。底面に農具痕がある。遺物は、出土していない。時期は、覆土から中世と考えられる。

(94) W-4号溝跡 [Fig. 57]

X 214、Y 244・245グリッドに位置する。重複関係は、W-3より新しく、P-3より古い。全長は(0.78)m、上幅0.17～0.50m、下幅0.17m、深さ0.30mを測る。底面の標高は114.10mで、断面形状は逆台形状である。底面に農具痕がある。遺物は、出土していない。時期は、覆土から中世と考えられる。

(2) 土坑 [Fig. 57, PL. 12]

土坑は6基検出した。覆土にA s-B 軽石を含む中世と考えられるものはD-1・2・5の3基で、白色粘土を採掘する土坑の様を呈す。その他の土坑の時期は不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

(3) ピット [Fig. 57]

ピットは6基検出した。P-1は覆土の観察ができなかった。その他のピットの時期についても不明である。計測値等は、Tab. 4にまとめた。

V まとめ

古代と中世の溝跡と周辺遺跡について

元総社蒼海遺跡群(75)の調査で検出された東西に走行するW-1は、遺物の出土はほとんどなかつたものの、土層の観察から中世に属するものと考えられる。周辺遺跡をみてみると、W-1の東側43mほどの位置に元総社蒼海遺跡群(33)2区のW-2がある。(75)W-1の底面の標高は117.70m、(33)W-2は117.20mを測り、0.50mの高低差である。また、(33)3区で検出されたW-6は、南北に走行し底面の標高は117.80mを測るもので、25m北のX 131, Y 181グリッド付近で上記の堀と交差すると推察でき、中世の蒼海城に関連する堀跡の可能性がある。

元総社蒼海遺跡群(78)W-2・W-3は東西に並走して検出された。W-3から土師器・須恵器片・馬歯が出土しており、W-2からはW-3と同時期の遺物と共に火鉢が出土している。出土遺物と土層の観察からW-2よりW-3は新しく、共に中世に属するものである。周辺遺跡を見てみると、調査区東側を南北に走る現道をはさみ閑泉樋遺跡と閑泉樋南遺跡がある。閑泉樋遺跡で検出されたW-1(古代の大溝)とW-2(中世の溝)は、元総社蒼海遺跡群(9)のW-1・W-2に繋がることが判明している。閑泉樋南遺跡で検出された東西に走行するW-1は、(78)W-2・W-3を東に延長した場所に位置しているが、調査区内の西側と東側で共に立ち上がっている。遺物は土師器・須恵器・瓦のほかに内耳鍋・片口鉢・古錢等が出土していて、構築年代はB軽石が認められないことから古代末以降の所産と考えられている。以上のことから(78)W-2・W-3は、閑泉樋南遺跡W-1との関連性は薄く、現道で立ち上がるか屈曲する可能性が高いと判断できよう。

元総社蒼海遺跡群(93)では5条の溝跡が検出されている。そのうちのW-1は南北に走行し、北側の底面の標高は114.62mを測る。W-2は南北に走行し、北側の底面の標高は111.91mを測る。周囲遺跡を見てみると、96m北に元総社蒼海遺跡群(21)W-1・W-2がある。(21)W-1は上野国府に関連する溝跡との指摘があり、南に延長し

た先に(93)W-1が存在することが判明した。このことから連続している可能性が高いと言えよう。(21)W-2は蒼海城古段階の溝跡との指摘があるので、南の延長方向には(93)W-2が存在し、繋がる可能性が高い。(93)W-2を切る(93)W-3は一部を検出しているだけで、その規模等は判然としないが、蒼海城新段階の溝跡の可能性が高い。(93)W-3の底面の標高は111.72mを測る。

元総社蒼海遺跡群(94)では4条の溝跡が検出されている。そのうちのW-1は南北に走行し、北側の底面の標高は113.52mを測る。W-2は一部を検出しただけで全容は不明で、底面の標高は113.00mを測る。土層の観察からW-1は古代の溝跡、W-2は蒼海城の溝跡の可能性が高い。

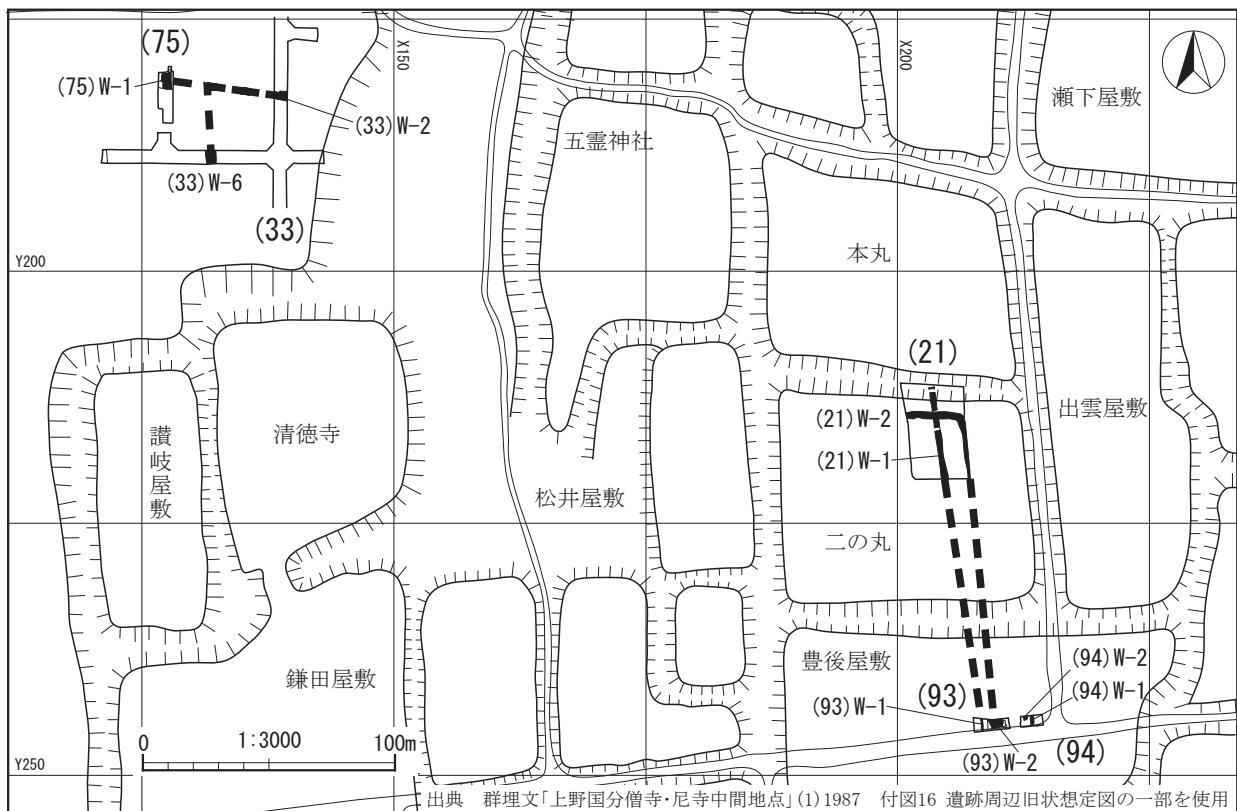


Fig. 12 蒼海城縄張り図と周辺遺跡図

参考文献

- 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域(1)』 1986
- 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域(2)』 1987
- 前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群(9)(10)』 2007
- 前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群(21)』 2009
- 前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群(22)』 2009
- 前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群(32)(33)』 2011
- 前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群(65)』 2016
- 前橋市教育委員会 『推定上野国府 平成23年度調査報告』 2013
- 前橋市教育委員会 『推定上野国府 平成25年度調査報告』 2015
- 前橋市教育委員会 『閑泉塹遺跡』 1982
- 前橋市教育委員会 『閑泉塹南遺跡』 1986
- 山崎 一 『古城墨跡の研究 上巻』 1978

Tab. 2 住居跡等計測表

() は現存値、[] は推定値を示す。

遺構番号	位置	規模(m)			平面形状	長軸方向	竪		周溝	主な出土遺物		
		東西	南北	壁高			位置・方向	構築材		土師器	須恵器	その他
(74)H-1	X240・1 Y90	(3.10)	3.40	53~70	隅丸 長方形か	N-28° -W	東壁中央南 N-64° -E	粘土 石	無	壊・甕	甕	-
(74)H-2	X241・2 Y90	3.28	2.52	47	長方形	N-68° -E	南壁中央東 N-153° -E		無	壊・甕	高台付塊 羽釜	瓦
(75)H-1	X127・8 Y184・5	(1.51)	3.24	17	長方形か	N-0° -E	南西隅 N-135° -W	粘土	無	壊・甕	环 高台付塊	-
(75)H-2	X126・7 Y182・3	(3.32)	3.76	28	隅丸 方形か	N-4° -E	南東隅 N-135° -E	粘土 截石	有	壊・甕	壊・甕	瓦・埴輪
(75)H-3	X126 Y182・3	(1.04)	[5.04]	15	不明	N-11° -E	南東隅か N-110° -E	粘土 石	有	壊・甕	高台付塊 羽釜	瓦
(75)H-4	X126 Y183	-	-	-	不明	N-113° -E	-	-	無	-	-	-
(76)H-1	X31・2 Y175・6	(4.14)	3.56	28	隅丸 長方形か	N-98° -E	東壁中央南 N-103° -E	粘土 割石	有	甕	壊 高台付塊	灰釉陶器 刀子
(78)H-1	X288・9 Y157	2.96	2.37	23	隅丸 長方形	N-72° -E	西壁中央 N-80.5° -E	粘土 石	無	壊・塊 甕	壊 高台付塊	-
(78)H-2	X288・9 Y158	(1.86)	(1.30)	38	不明	N-57° -E	-	-	有	甕・高壊	-	-
(78)H-3	X287・8 Y157・8	(2.33)	(1.78)	18	不明	N-3° -E	-	-	有	甕	壊	かわらけ
(78)H-4	X287・8 Y156・7	(2.74)	(4.44)	10	長方形か	N-6° -E	-	-	無	壊・甕	壊	灰釉陶器 高台付塊
(78)H-5	X287・8 Y155・6	(4.32)	(5.90)	27	方形か	N-37° -W	-	-	有	壊・甕	壊 高台付塊	-
(78)H-6	X287・8 Y151・2	4.33	4.31	49	方形	N-38° -E	東壁中央南 N-34° -E	粘土 石	有	壊・塊 甕・高壊	壊・甕	砥石
(78)H-7	X288・9 Y152・3	(2.93)	3.79	56	方形か	N-55° -E	東壁中央南 N-54° -E	粘土 石	有	壊・塊 甕	壊・甕	砥石
(78)H-8	X290 Y151・2	(2.75)	2.36	9	方形か	N-27° -E	-	-	無	甕	壊 高台付塊	-
(78)H-9	X289・90 Y152・3	2.64	[4.13]	22	長方形	N-35° -W	-	-	無	壊・甕	高台付塊 羽釜	灰釉陶器 鉄製品釘
(78)H-10	X289・90 Y153・4	3.30	(2.49)	41	方形か	N-1° -E	-	-	無	壊・甕	壊・甕 高台付塊	灰釉陶器 鉄製品釘
(78)H-11	X287・8 Y155・6	[3.12]	3.39	18	方形か	N-2° -E	東壁南 N-92° -E	粘土 石	無	甕	壊・甕	鉄製品釘
(78)H-12	欠番											
(78)H-13	X289・90 Y155・6	(3.29)	(6.92)	38	長方形	N-5° -W	-	-	有	壊・甕	甕 高台付塊	灰釉陶器 高台付皿
(78)H-14	X289・90 Y155・6	(4.46)	4.45	32	長方形か	N-65° -E	-	-	有	壊・甕	壊・甕	瓦・埴輪
(78)H-15	X288・9 Y153・4	4.84	(4.05)	30	方形か	N-2° -E	-	-	有	甕	壊・甕 高台付塊	鉄・埴輪 灰釉陶器
(78)H-16	X287・8 Y153・4	3.09	(2.55)	5	方形か	N-85° -E	東壁 N-85° -E	粘土	無	塊・甕	-	-
(78)H-17	X286・7 Y151・2	3.85	(1.46)	8	長方形か	N-94° -E	-	-	有	塊・甕	壊	-
(78)H-18	X286・7 Y152	4.38	2.68	10	隅丸 長方形	N-99° -E	-	-	有	壊・甕	壊・甕	鉄製品釘
(78)H-19	X287 Y152・3	(1.63)	(2.39)	23	不明	N-99° -E	-	-	有	壊・塊 甕・高壊	壊・甕	-
(78)H-20	X286・7 Y151・2	(3.67)	(3.27)	31	方形か	N-59° -E	-	-	有	壊・塊 甕	-	-
(78)H-21	X284・5 Y151・2	3.84	[2.50]	23	長方形	N-71° -E	東壁中央南 N-77° -E	粘土	無	壊・塊 甕	壊	-
(78)H-22	X289 Y151	(1.02)	(0.91)	71	不明	N-56° -E	-	-	有	-	-	-
(78)H-23	X283・4 Y151	(3.06)	(0.96)	41	不明	N-109° -E	-	-	有	壊・甕	壊・甕	灰釉陶器 弥生土器
(78)H-24	欠番											
(78)H-25	X290 Y152・3	(2.17)	(2.09)	7	不明	N-99° -E	-	-	無	塊・甕	高台付塊	-
(78)H-26	X283・4 Y152	(1.70)	(1.10)	40	不明	N-114° -E	-	-	無	壊	甕	-
(78)H-27	X287・8 Y154・5	(3.40)	2.68	19	長方形	N-60° -E	-	-	有	壊・塊 甕	-	-
(78)H-28	X284・5 Y151	(1.22)	(2.75)	32	不明	N-98° -W	-	-	有	-	-	-
(78)H-29	X284・5 Y151・2	3.74	3.53	17	方形	N-3° -E	-	-	有	壊・甕	壊・甕	-

() は現存値、[] は推定値を示す。

遺構番号	位置	規模(m)			平面形状	長軸方向	竪		周溝	主な出土遺物		
		東西	南北	壁高			位置・方向	構築材		土師器	須恵器	その他
(78)T-1	X288 Y155・6	2.68	3.15	48	方形	N-15° -W	-	-	-	壊・甕	壊	-
(79)H-1	X68・9 Y237・8	2.96	3.33	53	隅丸 長方形	N-21° -W	東壁中央南 N-78° -E	粘土	無	壊・甕	壊・甕	うす玉 砥石・釘
(79)H-2	欠番											
(79)H-3	X68・9 Y235・6	(2.66)	4.46	23	長方形か	N-11° -W	-	-	無	甕 台付甕	壊 高台付塊	灰釉陶器 鉄鎌
(79)H-4	X67・8 Y235・6	4.12	3.34	33	隅丸 長方形	N-75° -E	東壁中央南 N-97° -E	粘土	有	壊 台付甕	壊・羽釜 高台付塊	綠釉陶器 刀子・釘
(79)H-5	X67・8 Y235・6	4.06	4.03	28	隅丸方形	N-85° -E	東壁中央南 N-76° -E	粘土 石	無	壊	壊・甕	灰釉陶器 刀子
(79)H-6	欠番											
(79)H-7	X65・6 Y235・6	4.51	3.52	26	隅丸 長方形	N-87° -E	東壁中央南 N-103° -E	粘土	有	甕	高台付塊	砥石・瓦 鉄鎌
(79)H-8	X66・7 Y239	2.95	(3.38)	40	隅丸 長方形	N-22° -W	東壁中央南 N-77° -E	粘土 石	無	甕・高壊	壊・蓋 高台付塊	瓦
(79)H-9	X68・9 Y235	(1.57)	(1.66)	24	不明	不明	-	-	無	-	-	-
(79)H-10	欠番											
(79)H-11	X64・5 Y239	2.58	(0.68)	20	不明	N-80° -E	-	-	無	-	壊	-
(79)H-12	X66・7 Y235・6	4.70	4.80	31	方形	N-24° -W	北壁中央南 N-17° -E	粘土	有	壊・甕	高台付塊	-
(79)H-13	欠番											
(79)H-14	X65・6 Y235	(3.50)	(2.71)	29	不明	N-63° -E	-	-	無	-	高台付塊 高台付皿	綠釉陶器
(79)H-15	X63・4 Y235・6	6.29	6.04	50	方形	N-79° -E	N-12° -W N-97° -W	粘土	有	壊・甕	-	-
(79)H-16	X62～4 Y238・9	5.24	(4.36)	43	隅丸 長方形か	N-82° -E	東壁南寄 N-103° -E	粘土 石	無	壊・甕	蓋	砥石
(79)H-17	X63・4 Y236・7	3.58	3.43	10	隅丸方形	N-23° -W	東壁中央南 N-66° -E	粘土	有	甕	壊 高台付塊	灰釉陶器
(79)H-18	欠番											
(79)H-19	欠番											
(79)H-20	X62・3 Y235	(2.42)	(2.63)	7	不明	N-10° -W	東壁南隅 N-100° -E	粘土 石	無	壊	壊 高台付塊	灰釉陶器
(79)H-21	欠番											
(79)H-22	欠番											
(79)H-23	欠番											
(79)H-24	X68・9 Y239	3.50	(3.37)	39	長方形か	N-15° -W	東壁中央 N-83° -E	粘土	無	甕	壊 高台付塊	砥石・釘 刀子・瓦
(79)H-25	X68・9 Y238・9	(0.54)	3.30	39	不明	不明	北壁 N-3° -E	粘土	無	甕	-	鉄製品 瓦
(79)H-26	X69 Y238・9	(1.04)	3.11	36	不明	N-7° -E	-	-	無	-	壊 高台付塊	-
(79)H-27	X66～8 Y238・9	5.11	(3.90)	53	不明	N-62° -E	東壁中央 N-61° -E	粘土	有	甕	-	-
(79)H-28	欠番											
(79)H-29	欠番											
(79)H-30	X67・8 Y235	5.97	(2.35)	51	不明	N-87° -E	-	-	有	壊	-	-
(79)H-31	X62～4 Y238・9	(0.58)	(4.75)	28	不明	N-9° -W	東壁中央 N-81° -E	粘土 石	有	壊	甕	-
(79)H-32	X62・3 Y235	不明	不明	不明	不明	N-2.5° -E	不明 N-9° -W	粘土 石	有	-	羽釜	-
(80)H-1	X56 Y247	(2.71)	(2.62)	21	長方形か	N-80° -E	東壁中央 N-83° -E	粘土	無	壊・甕	壊・壺 高台付塊	瓦
(80)H-2	X56 Y247	(0.58)	(3.84)	18	不明	N-4° -W	東壁中央南 N-74° -E	粘土	無	甕	壊・甕 高台付塊	瓦
(80)H-3	X56 Y248	(0.80)	4.30	0	不明	N-4° -W	東壁中央南 N-88° -E	粘土	無	甕	壊	
(80)H-4	X56・7 Y248	[3.47]	3.57	11	方形か	N-23° -W	東壁中央南 N-67° -E	粘土	有	壊・甕		
(80)H-5	X58・9 Y248	2.56	(2.58)	6	方形か	N-42° -W	東壁南寄 N-69° -E	粘土 石	無	壊・甕	壊・蓋	
(80)H-6	X58・9 Y247・8	[3.12]	[3.28]	-	方形か	N-24° -W	東壁中央南 N-66° -E	粘土	無	壊	壊・壺	

Tab. 3 溝跡計測表

() は現存値、〔 〕は推定値を示す。

溝跡番号	グリッド	長さ(m)	深さ(cm)		上幅(cm)		下幅(cm)		主軸方向	断面形状	出土遺物
			最大	最小	最大	最小	最大	最小			
(74)W-1	X244, Y89~91	(5.18)	14	7	43	18	25	6	N-6° - E	皿状	土師器、須恵器、瓦
(75)W-1	X126・7, Y180・1	(3.80)	228	220	(684)	(684)	190	182	N-84° - W	逆台形状	土師器、須恵器
(76)W-1	X32, Y175・176	(5.78)	14	7	30	22	21	14	N-1° - E	U字状	土師器、須恵器、鉄製品
(76)W-2	X32, Y175・176	(4.22)	25	-	86	(59)	66	32	N-3° - W	不明	土師器、須恵器、灰釉陶器
(78)W-1	X288・9, Y153・4	2.96	7	-	41	23	15	9	N-86° - E	皿状	土師器
(78)W-2	X287~90, Y154	(10.55)	87	-	174	141	57	30	N-87° - E	逆台形状	土師器、瓦、火鉢
(78)W-3	X287~90, Y154・5	(10.48)	86	-	136	93	42	23	N-89° - E	逆台形状	土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦
(79)W-1	X67~69, Y236・7	(9.50)	7	5	57	35	41	22	N-80° - E	皿状	-
(79)W-2	X62~69, Y237・8	(26.92)	30	21	172	94	141	54	N-77° - E	皿状	須恵器坏、灰釉陶器、瓦
(79)W-3	X66, Y235~37	(9.95)	24	5	68	47	48	25	N-0° - E	皿状	-
(79)W-4	X63~69, Y237~39	(23.31)	40	21	153	76	104	32	N-77° - E	皿状	須恵器坏、甕
(79)W-5	欠番										
(79)W-6	X66・67, Y236・7	3.03	4	-	60	38	44	5	N-81° - E	皿状	土師器坏・甕、須恵器坏・甕、碁石
(79)W-7	X68・69, Y236	(5.19)	7	-	80	30	57	15	N-66° - E	皿状	土師器、磁器片、綠釉陶器
(80)W-1	X58・9, Y253	(2.63)	21	3	114	73	68	20	N-16° - W	皿状	土師器、須恵器
(93)W-1	X208, Y244・5	(5.03)	15	7	68	53	40	24	N-6° - W	皿状	土師器、須恵器
(93)W-2	X208~10, Y244・5	(3.21)	288	286	516	310	262	254	N-1° - E	逆台形状	土師器、須恵器、瓦、軟質陶器
(93)W-3	X210, Y244・5	(2.30)	291	-	(180)	-	(24)	-	N-5° - W	逆台形状か	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(93)W-4	X210, Y244・5	(3.11)	208	-	83	33	73	23	N-32° - W	皿状	須恵器、灰釉陶器、軟質陶器、陶器
(93)W-5	X207・8, Y244・5	(5.26)	7	5	350	20	[310]	9	N-18° - W	皿状か	土師器甕、須恵器、瓦、灰釉陶器
(94)W-1	X214, Y244・5	(4.16)	108	98	140	118	28	20	N-4° - W	逆台形状	土師器甕
(94)W-2	X213, Y244・5	(1.71)	101	-	(162)	-	(77)	-	N-80° - E	逆台形状か	灰釉陶器
(94)W-3	X214・5, Y244	(0.72)	7	-	28	-	10	-	N-68° - E	皿状	
(94)W-4	X214, Y244・5	(0.78)	30	-	50	17	17	-	N-13° - E	逆台形状	

Tab. 4 井戸跡・土坑・ピット計測表

() は現存値、〔 〕は推定値を示す。

遺構番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(74)I-1	X244・5, Y90・1	240	190	(148)	円形	W-1より新	かわらけ、軟質陶器、砥石
(75)D-1	X127, Y185	67	(30)	23	不明	単独	
(75)D-2	X127, Y184	157	72	20	橢円形	単独	土師器・須恵器小片
(75)D-3	X127, Y184	85	83	25	円形	単独	土師器・須恵器小片・鉄製品鎌か
(75)D-4	X127, Y183	75	69	14	円形	H-2より新	
(75)D-5	X127, Y183	84	80	20	円形	H-2より新	土師器・須恵器小片
(75)D-6	X126, Y183	74	(31)	15	円形か	H-2・4より新	
(75)D-7	X126, Y182・3	117	105	12	円形	H-2・3,D-13,P-16より新	土師器坏・甕、須恵器坏、刀子
(75)D-8	X126・7, Y182	70	61	16	円形	H-2,D-8より新	
(75)D-9	X127・8, Y183	95	(43)	27	円形か	単独	土師器小片
(75)D-10	X127・8, Y183	46	(24)	17	円形か	D-11より新	土師器小片、瓦片
(75)D-11	X127・8, Y182・3	107	(60)	36	円形か	D-10より古	
(75)D-12	X128, Y182	73	(27)	22	不明	単独	
(75)D-13	X126, Y182	(85)	(68)	11	不明	H-3,D-16より新D-7・20,P-16より古	
(75)D-14	X126, Y183	(52)	(15)	36	不明	単独	
(75)D-15	X126, Y182	57	47	17	円形	H-3より新	
(75)D-16	X126, Y182	113	(80)	28	長方形か	H-3より新,D-13・20より古	
(75)D-17	X126, Y182	93	67	11	橢円形	H-3より新,D-8より古	須恵器小片
(75)D-18	X126, Y183	73	69	73	円形	H-2より新	土師器小片、磁器片
(75)D-19	X126, Y182	56	45	15	長方形	H-3より新	土師器小片
(75)D-20	X126, Y182	(64)	(19)	54	不明	H-3,D-13・16より新	
(75)P-1	X127, Y184	30	29	46	円形	単独	
(75)P-2	X127, Y183	30	26	38	円形	単独	土師器小片
(75)P-3	X127, Y183	35	34	20	円形	H-2より新	
(75)P-4	X126, Y182	48	42	10	円形	単独	土師器・須恵器小片
(75)P-5	X126, Y181	26	20	11	円形	単独	
(75)P-6	X127, Y181	30	26	16	円形	W-1と重複	
(75)P-7	X127, Y181	24	21	10	円形	W-1と重複	
(75)P-8	X127, Y180	(33)	19	6	橢円形か	W-1と重複	
(75)P-9	X127, Y180	46	21	9	橢円形	W-1と重複	瓦
(75)P-10	X127, Y180	22	18	7	円形	W-1と重複	
(75)P-11	X127, Y180	26	17	9	橢円形	W-1と重複	
(75)P-12	X127, Y182	11	9	14	円形	単独	
(75)P-13	X127, Y181	17	16	20	円形	単独	

遺構番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(75)P-14	X127, Y181・2	19	18	10	円形	単独	
(75)P-15	X127, Y182	20	13	14	楕円形	単独	
(75)P-16	X126, Y182	47	40	27	円形か	H-2・3より新、D-7より古	土師器・須恵器小片
(75)P-17	X127, Y182	22	18	31	楕円形	単独	土師器小片
(75)P-18	X127, Y182	22	21	12	円形	単独	土師器小片
(75)P-19	X127, Y182	27	22	29	円形	単独	土師器小片
(76)D-1	X31・2, Y177	95	(37)	40	円形か	単独	
(76)D-2	X32, Y175・6	151	(102)	28	長方形	W-2より新	土師器坏・甕、須恵器坏・塊
(76)D-3	X31, Y176	119	90	40	楕円形	H-1より新	須恵器小片
(76)D-4	X32, Y176	103	85	29	楕円形	H-1より新	土師器甕片
(76)D-5	X31, Y176	53	45	5	円形	H-1より新	土師器甕片
(76)D-6	X32, Y176	86	69	16	楕円形	H-1より新	
(76)P-1	欠番						
(76)P-2	欠番						
(76)P-3	X31, Y175	(26)	(12)	17	円形か	単独	
(76)P-4	X31, Y175	(37)	(15)	13	円形か	単独	
(77)I-1	X138, Y252・3	86	[73]	(97)	楕円形	単独	
(78)I-1	X285・6, Y152	147	(112)	(145)	円形	単独	土師器坏・甕、須恵器坏
(78)D-1	X288, Y156・7	120	110	36	円形	単独	
(78)D-2	X288, Y156・7	146	71	13	長方形	H-4より新	土師器坏・甕、須恵器甕、灰釉陶器
(78)D-3	X289, Y158	91	67	49	楕円形	単独	土師器塊・須恵器坏
(78)D-4	X288, Y157	127	(112)	31	楕円形か	H-3・4より新	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(78)D-5	X289, Y156	69	55	69	双円形	単独	
(78)D-6	X288, Y153	90	74	12	楕円形	H-15・D-40より新	土師器甕・須恵器坏
(78)D-7	X288, Y154	61	56	47	円形	H-27・W-2より新	土師器坏・甕、須恵器坏・瓦
(78)D-8	X289, Y155	(213)	122	13	楕円形	H-13・D-24より新、W-3より古	土師器坏・甕、須恵器坏・瓦
(78)D-9	X289, Y155・6	124	112	26	円形	H-13・14より新	土師器甕・須恵器坏
(78)D-10	欠番						
(78)D-11	X285, Y152	92	83	17	円形	H-29より新	土師器坏・灰釉陶器
(78)D-12	X284, Y152	57	53	13	円形	H-29より新	土師器小片
(78)D-13	X289, Y153	81	[75]	7	楕円形	H-29より新	須恵器甕
(78)D-14	X289, Y153	(74)	(62)	59	楕円形	H-15・D-15より新、W-1より古	
(78)D-15	X289, Y153	103	86	32	楕円形	H-15より新、D-14より古	
(78)D-16	X287・8, Y152	(153)	143	49	楕円形	H-6・D-22より新	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(78)D-17	欠番						
(78)D-18	X286, Y151	68	(48)	29	円形か	H-20より新	土師器甕
(78)D-19	X286, Y151	130	(35)	10	不明	単独	土師器坏
(78)D-20	X286, Y151	140	(20)	13	楕円形か	H-20より新	
(78)D-21	X283・4, Y151	108	(105)	43	円形	D-32より新	
(78)D-22	X287・8, Y152	254	(68)	33	楕円形	H-6・7より新、D-16より古	
(78)D-23	X289, Y156	[130]	[118]	30	楕円形	単独	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(78)D-24	X289, Y155	94	[93]	15	円形	D-8より古	
(78)D-25	X288, Y155	67	66	15	円形	単独	
(78)D-26	X288, Y155	87	82	21	円形	D-27より新	土師器甕
(78)D-27	X288, Y155	(65)	56	36	楕円形か	D-26より古	須恵器高台付塊
(78)D-28	欠番						
(78)D-29	X290, Y153	112	[90]	24	楕円形	H-9・10より新	
(78)D-30	X283, Y151	63	63	37	円形	単独	
(78)D-31	欠番						
(78)D-32	X283・4, Y151	98	[90]	17	円形	D-21より古	
(78)D-33	X283, Y151	67	(55)	20	楕円形か	単独	
(78)D-34	X283, Y152	(103)	81	12	楕円形	単独	
(78)D-35	X282・3, Y151・2	104	97	14	円形	単独	
(78)D-36	X284, Y152	98	86	8	円形	単独	
(78)D-37	X287, Y153	70	63	16	円形	単独	土師器坏
(78)D-38	X289, Y153	61	53	27	楕円形	単独	
(78)D-39	欠番						
(78)D-40	X287・8, Y153	(270)	(86)	7	楕円形か	H-15・16より古	鉄製品・鍵か
(78)D-41	X290, Y152	50	45	47	円形	H-8・25より新	かわらけ
(78)P-1	X289, Y154	36	34	55	円形	W-2より新	須恵器高台坏塊
(78)P-2	X288, Y156	41	34	14	楕円形	単独	
(78)P-3	X288, Y155	39	37	20	円形	単独	
(78)P-4	X289, Y155	57	55	30	円形	単独	砥石か
(78)P-5	X289, Y155	[33]	[30]	25	円形	単独	
(78)P-6	X289, Y153	40	36	19	円形	単独	

遺構番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(78)P-7	X289, Y153	44	41	21	円形	単独	
(78)P-8	X289, Y153	36	35	21	円形	単独	
(78)P-9	X287, Y152	41	34	20	円形	単独	須恵器高台付塊
(78)P-10	X287, Y152	57	(37)	31	楕円形	H-6より新	土師器甕
(78)P-11	X287, Y152	(50)	46	21	楕円形	H-6より新	
(78)P-12	X287, Y152	73	48	29	楕円形	P-13より古	土師器甕
(78)P-13	X287, Y152	31	22	20	楕円形	P-12より新	土師器甕
(78)P-14	X287, Y152	40	30	8	楕円形	単独	土師器坏
(78)P-15	X287, Y152	52	(44)	19	楕円形	単独	土師器甕
(78)P-16	X285, Y152	72	67	21	円形	単独	
(78)P-17	X285, Y152	53	(37)	24	円形	H-29より新	
(78)P-18	X284・5, Y152	55	49	30	円形	H-29より新	
(78)P-19	X289, Y152	28	27	28	円形	単独	土師器甕
(78)P-20	X289, Y152	45	39	19	楕円形	単独	
(78)P-21	X289, Y152	36	33	23	円形	単独	
(78)P-22	X289, Y153	34	33	23	円形	単独	
(78)P-23	X289, Y153	32	29	18	円形	単独	須恵器坏
(78)P-24	X289, Y152	31	30	21	円形	単独	
(78)P-25	X289, Y152	53	52	13	円形	単独	
(78)P-26	X289, Y153	32	28	20	円形	単独	
(78)P-27	X289, Y153	36	35	16	円形	単独	
(78)P-28	X288・9, Y153	70	59	19	楕円形	単独	
(78)P-29	X288, Y153	36	29	13	楕円形	単独	
(78)P-30	X288, Y153	36	30	8	円形	単独	
(78)P-31	X288, Y153	48	40	15	楕円形	単独	
(78)P-32	X288, Y153	46	40	14	円形	単独	
(78)P-33	X287, Y152	[36]	[35]	9	円形	単独	
(78)P-34	欠番						
(78)P-35	欠番						
(78)P-36	欠番						
(78)P-37	X287, Y152	35	35	28	円形	単独	
(78)P-38	X287, Y152	57	49	13	円形	単独	
(78)P-39	欠番						
(78)P-40	X287, Y152	47	42	23	円形	単独	
(78)P-41	X287, Y152・3	54	35	12	楕円形	単独	
(78)P-42	X287, Y153	59	49	15	三角形	単独	
(78)P-43	X285, Y152	41	38	29	円形	単独	土師器甕
(78)P-44	X284, Y152	52	47	21	円形	H-29より新	
(78)P-45	X283, Y152	35	33	11	円形	単独	
(78)P-46	X283, Y152	45	38	18	円形	単独	
(78)P-47	X290, Y152・3	52	(21)	19	楕円形か	H-9,D-29より新	
(79)円形有段	X67・68, Y239	355	(223)	201	円形	H-27より新、H-24より古	土師器坏、須恵器蓋、石製品
(79)D-1	欠番						
(79)D-2	X64, Y235・236	296	254	46	楕円形	H-15より新	須恵器高台付塊・甕、瓦
(79)D-3	X64, Y235	195	164	13	楕円形	H-15より新	土師器坏・甕、須恵器甕、灰釉陶器
(79)D-4	X65, Y235	233	110	15	楕円形	H-14より新	須恵器高台付塊
(79)D-5	X64, Y237	164	89	12	楕円形	単独	土師器坏・甕、須恵器坏・甕
(79)D-6	欠番						
(79)D-7	X67, Y235	100	86	30	楕円形	H-5・30より新	
(79)D-8	X66, Y236	87	77	15	楕円形	単独	土師器坏、須恵器坏・甕
(79)D-9	X66, Y237	80	64	13	不定形	単独	
(79)D-10	X65, Y236	235	161	53	楕円形	単独	須恵器高台付塊、釘
(79)D-11	X66, Y236	108	82	17	楕円形	H-7・12より新	土師器甕、羽口
(79)D-12	X68, Y236	88	84	48	円形	H-4より新	
(79)D-13	X64, Y236	120	[105]	44	円形か	H-15より新	人頭大・拳大の石
(79)D-14	X64・65, Y237	249	(155)	19	不定形	D-15より古	
(79)D-15	X64・65, Y237	(221)	179	14	不定形	D-14より新、P-9・10より古	
(79)P-1	X68, Y235	70	60	12	楕円形	H-30,P-2より新	
(79)P-2	X68, Y235	47	41	43	円形	H-30より新、P-1より古	
(79)P-3	X68, Y235	74	69	17	円形	H-30より新	
(79)P-4	X63, Y237・238	47	44	16	円形	単独	
(79)P-5	X63, Y237	51	42	28	円形	単独	
(79)P-6	X63, Y237	42	40	14	円形	単独	
(79)P-7	X64, Y237	39	36	13	円形	単独	
(79)P-8	X64, Y237	52	47	26	円形	単独	

遺構番号	グリッド	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	重複	出土遺物
(79)P-9	X64, Y237	44	38	20	円形	D-15より新	
(79)P-10	X64, Y237	40	39	23	円形	D-15より新	土師器坏・甕、黒曜石片
(79)P-11	欠番						
(79)P-12	X64, Y237	41	39	21	円形	単独	
(79)P-13	X63, Y237	49	44	12	円形	単独	
(79)P-14	X65, Y237	61	53	22	円形	単独	
(79)P-15	X66, Y236	38	36	38	円形	単独	土師器坏・須恵器坏・高台付塊・甕
(79)P-16	X66, Y236	34	32	28	円形	単独	
(79)P-17	X66, Y237	69	36	21	楕円形	単独	
(79)P-18	X66, Y237	71	60	35	楕円形	単独	
(79)P-19	X65, Y237	61	53	23	円形	単独	土師器坏・甕・須恵器高台付塊・甕
(79)P-20	X67, Y237	52	50	18	円形	単独	
(79)P-21	X67, Y236	43	36	45	円形	単独	土師器甕・須恵器甕
(79)P-22	X67, Y236	(39)	(16)	(24)	円形か	H-4より新	
(79)P-23	X63, Y237	48	46	19	円形	単独	
(79)P-24	X63, Y237	40	36	18	円形	単独	
(80)P-1	欠番						
(80)P-2	X56, Y247	43	40	19	円形	単独	
(93)D-1	X207, Y244	(58)	(55)	31	不明	単独	軟質陶器・瓦
(93)D-2	X207, Y245	55	44	14	楕円形	単独	須恵器坏・羽口
(93)D-3	X207, Y245	69	(44)	21	楕円形	単独	須恵器坏・灰釉陶器・石製品
(93)D-4	X207, Y245	(45)	(23)	(60)	不明	D-17より新	須恵器高台付塊
(93)D-5	X207, Y245	(47)	(30)	10	円形か	D-17より新	
(93)D-6	X207-8, Y245	48	47	7	円形	W-5と重複	
(93)D-7	欠番						
(93)D-8	X207-8, Y245	124	76	10	楕円形	D-12・W-5と重複	
(93)D-9	X208, Y244	34	32	26	方形	D-10と重複	
(93)D-10	X208, Y244	54	(39)	10	楕円形か	D-9と重複	土師器小片
(93)D-11	X208, Y244-5	59	41	10	楕円形	単独	
(93)D-12	X207-8, Y245	(52)	(24)	10	円形か	D-8と重複	瓦
(93)D-13	X207, Y244	44	32	10	楕円形	単独	
(93)D-14	欠番						
(93)D-15	X208, Y244-5	67	60	21	楕円形	W-5と重複	
(93)D-16	X208, Y244	103	(88)	9	不整形	W-1と重複	
(93)D-17	X207, Y245	(68)	31	38	長方形か	D-4・5より古	
(93)P-1	X207, Y244	52	29	6	円形	単独	
(93)P-2	X207, Y244	39	34	35	円形	単独	
(93)P-3	X207, Y245	38	15	13	長方形	単独	
(93)P-4	X207, Y244	38	34	7	円形	単独	
(93)P-5	X207, Y244-5	15	14	12	方形	単独	
(93)P-6	X208, Y244	39	34	7	円形	単独	
(93)P-7	X207, Y245	32	29	35	方形	単独	
(93)P-8	X207-8, Y245	36	25	26	楕円形	D-8・W-5と重複	
(93)P-9	X207, Y245	24	(17)	29	方形か	単独	
(93)P-10	X208, Y244	17	16	9	円形	単独	
(93)P-11	X207, Y244	38	(16)	7	円形か	単独	
(93)P-12	X208, Y244	(35)	29	20	楕円形	W-1と重複	
(93)P-13	X208, Y245	34	30	17	円形	W-1と重複	
(94)D-1	X213-4, Y244	186	(149)	88	楕円形	D-2と重複	陶器・瓦
(94)D-2	X215, Y244	(235)	(84)	78	不明	D-1と重複	
(94)D-3	X214, Y244	148	(66)	13	不整形	W-1・P-5と重複	
(94)D-4	X213, Y244	50	[43]	3	円形	単独	
(94)D-5	X215, Y244	(64)	(52)	69	不明	単独	土師器甕
(94)D-6	X214, Y245	62	(21)	(23)	楕円形	W-1と重複	
(94)P-1	X214, Y244	59	55	22	円形	単独	
(94)P-2	X215, Y244	(94)	71	15	楕円形	W-3と重複	
(94)P-3	X214, Y244	62	(55)	25	円形か	W-4と重複	土師器甕
(94)P-4	X214, Y244	30	22	23	長方形	単独	
(94)P-5	X214, Y244	39	35	12	円形	D-3と重複	
(94)P-6	X214, Y244	56	(16)	17	楕円形か	W-1と重複	

Tab. 5 縄文土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(76)縄1	(76)H-1 覆土	No.13	縄文土器	幅(5.7) 長さ(6.0) 厚さ1.1	①粗粒②良好 ③にぶい黄④破片	諸磯c。	
(76)縄2	(76)H-1 覆土	No.26	縄文土器	幅(4.5) 長さ(3.8) 厚さ1.0	①中粒②良好 ③橙④破片	諸磯b。	
(76)縄3	(76)D-4 覆土	H-1No.23	縄文土器	幅(4.3) 長さ(5.3) 厚さ1.1	①中粒②良好 ③橙④破片	十三菩提式。節をもつ紐状の細い隆帯（結節浮線文）で渦巻き状の文様。	

Tab. 6 弥生土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(78)弥1	(78)H-23 覆土	一括	弥生壺か	幅(4.4) 長さ(2.3) 厚さ0.5	①細粒②良好 ③浅黄④破片	簾状文。波状文。	

Tab. 7 出土土器観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(74)1	(74)H-1 覆土	No.15、一括 掘り方一括	土師器 壺	①11.8④4.2	①細粒②良好 ③橙④ほぼ完形	外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(74)2	(74)H-1 覆土	No.13	土師器 壺	①[12.2]④(3.4)	①細粒②良好 ③黄橙④口縁部破片	外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(74)3	(74)H-1 床直	No.7、9、10、11、 17、掘り方一括	土師器 壺	①21.0②8.0 ③29.2④33.0	①細粒②良好 ③橙④ほぼ完形	球状の胴部。外面は斜めに範削り。内面は撫で。	
(74)4	(74)H-1 床直	No.14、16、掘り方一 括	土師器 壺	①15.7②7.8 ③[19.1]④17.4	①細粒②良好 ③橙④1/2	球状の胴部。口唇部を片口状に整形。胴部に穿孔。外面は斜位の範削り。内面は撫で。	胴部 穿孔
(74)5	(74)H-2 壺	壺No.2	須恵器 羽釜	①[19.8]③[23.2] ④(10.6)	①細粒②良好（酸化） ③黄橙④口縁部破片	内外面ロクロ撫で調整。	
(74)6	(74)I-1 覆土	一括	土器 かわらけ	①[9.4]②5.0 ④2.4	①細粒②良好 ③黄橙④1/2	ロクロ整形。回転糸切り。	
(74)7	(74)I-1 覆土	一括	土器 かわらけ	⑧.4②4.4 ④2.2	①細粒②良好 ③浅黄橙④3/5	ロクロ整形。回転糸切り。	
(74)8	(74)I-1 覆土	一括	軟質陶器 内耳壙	①[41.0]④(6.4)	①細粒②良好 ③にぶい黄橙④口縁部破片	内外面ロクロ撫で。外面に煤付着。	
(75)1	(75)H-1 壺	壺No.1	須恵器 高台付壺	②9.4④(4.6)	①細粒②良好（酸化） ③にぶい黄橙④破片	ロクロ整形。回転糸切り。高台貼付。	
(75)2	(75)H-3 覆土	一括	須恵器 羽釜	①[20.8]④(3.5)	①細粒②良好（酸化） ③にぶい黄橙④破片	口縁部は内傾。ロクロ整形。	
(75)3	(75)D-18 覆土	一括	磁器 壺か	幅(3.2) 長さ(4.4) 厚さ(0.5)	①細粒②良好 ④破片		
(76)1	(76)H-1 覆土	No.16、一括	須恵器 高台付壺	①[14.8]②[6.2] ④4.6	①細粒②良好（還元） ③灰白④3/5	ロクロ整形。回転糸切り。高台貼付。内外面に油煙付着。	
(76)2	(76)H-1 覆土	H-1一括、P-2No.1	須恵器 高台付壺	①[15.6]②7.2 ④5.0	①中粒②良好（還元） ③灰黄④1/3	ロクロ整形。回転糸切り。高台貼付。	
(76)3	(76)W-2 覆土	No.1	灰釉陶器 高台付皿	①16.8②7.4④3.0	①細粒②良好 ③灰白④4/5	ロクロ整形。回転糸切り。高台貼付。漬け掛け。	
(76)4	(76)D-2 覆土	一括	須恵器 壺	①[14.0]②[7.6] ④3.7	①中粒②良好（還元） ③灰黄④1/5	体部の内外面に油煙付着。	
(76)5	(76)D-3 覆土	H-1No.30	須恵器 壺	①[13.8]②6.2 ④3.8	①中粒②良好（還元） ③灰白④4/5	ロクロ整形。回転糸切り。底部内面に煤付着。 体部の内外面に油煙付着。	墨書
(76)6	(76)D-4 覆土	H-1No.27	土師器 壺	①[13.4]④(3.4)	①細粒②良好 ③にぶい褐④口縁部	外面は口縁部横撫で、胴部削り。内面は撫で。	
(78)1	(78)H-1 床直	No.2	土師器 壺	①[12.0]④(2.9)	①中粒②良好 ③橙④口縁部	口縁部は垂直に立ち上がり上半が僅か外反する。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)2	(78)H-3 床直	No.1	土器 かわらけ	①9.2②5.4④2.0	①中粒②良好 ③橙④4/5	ロクロ整形。底部糸切り。	
(78)3	(78)H-4 床直	No.1	灰釉陶器 高台付壺	②[8.6]④(1.8)	①細粒②良好 ③灰白④破片	ロクロ整形。回転糸切り後撫で調整。漬け掛け。	
(78)4	(78)H-5 掘り方	No.10	土師器 壺	①[14.0]④(4.0)	①中粒②良好 ③橙④2/5	外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部削り。撫で後磨き。	
(78)5	(78)H-6 床直	No.8、13	土師器 壺	①12.8④5.0	①中粒②良好 ③橙④ほぼ完形	内面は口縁部磨き。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)6	(78)H-6 床直	No.30、一括	土師器 壺	①14.0④5.3	①中粒②良好 ③橙④ほぼ完形	内面は口縁部磨き。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)7	(78)H-6 床直	No.22	土師器 壺	②[9.6]④(5.2)	①中粒②良好 ③橙④脚部破片	脚部内外面横撫で。	
(78)8	(78)H-7 壺	壺No.1	土師器 壺	①[11.8]③[12.8] ④6.6	①中粒②良好 ③明赤褐④3/5	丸底を呈する。口唇部は短く内湾する。外面は範削り後撫で調整。内面は撫で調整後上半に磨き。	
(78)9	(78)H-7 床直	No.9、15、一括	土師器 壺	①[12.6]④(4.7)	①中粒②良好 ③橙④2/5	須恵器模倣壺。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)10	(78)H-7 床直	No.28、30、一括	土師器 壺	①12.0④5.4	①中粒②良好 ③橙④ほぼ完形	外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)11	(78)H-7 床直	No.1	土師器 壺	①19.0④(9.6)	①粗粒②良好 ③浅黄橙④口縁～頸部	長胴壺。外面は口縁部横撫で、胴部削り。内面は撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(78)12	(78)H-9 床直	No.14	土師器 台付壺	②9.2④(4.0)	①細粒②良好 ③橙④脚部	内外面は横撫で。	
(78)13	(78)H-9 覆土	一括	須恵器 高台付壺	②7.6④(2.0)	①細粒②良好(酸化) ③淡黄④破片	クロ形。回転糸切り後高台貼付。撫で。	
(78)14	(78)H-10 覆土	No.8	須恵器 高台付壺	②[6.8]④(1.7)	①細粒②良好(いぶし) ③灰白④高台部破片	黒色土器。クロ形。回転糸切り。	
(78)15	(78)H-11 竈	竈No.1	須恵器 壺	②4.2④(1.4)	①中粒②良好(酸化) ③淡黄④底部破片	クロ形。回転糸切り。	
(78)16	(78)H-11 床直	No.5、6、7	土器 かわらけ	①9.6②5.0 ④2.0	①細粒②良好 ③浅黄④ほぼ完形	クロ形。回転糸切り。	
(78)17	(78)H-11 床直	No.13	土器 かわらけ	①[9.8]②5.4 ④1.8	①細粒②良好 ③橙④1/2	クロ形。回転糸切り。	
(78)18	(78)H-13 床直	No.23、一括	土師器 壺	①10.6④3.7	①粗粒②良好 ③橙④ほぼ完形	口縁部は垂直に立ち上がり、上半が僅か外反する。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)19	(78)H-13 床直	No.24	土師器 壺	①[11.0]④3.3	①粗粒②良好 ③橙④3/5	口縁部は内湾する。外面は口縁部横撫で、体部削り。内面は口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)20	(78)H-13 覆土	No.2、3	土師器 壺	①[20.6]④(24.0)	①粗粒②良好 ③橙④口縁～胴	長胴壺。口縁部は外反する。胴部外面は斜方向削り。内面は撫で。	
(78)21	(78)H-13 床直	No.4、5	土師器 壺	①22.8④(12.9)	①細粒②良好 ③橙④口縁～胴	長胴壺。胴部最大径は上位に位置するものと思われる。胴部外面斜方向削り。内面は撫で。	
(78)22	(78)H-13 覆土	No.14	須恵器 高台付壺	①15.2②7.6④6.2	①粗粒②良好(還元) ③灰白④4/5	クロ形。回転糸切り。高台貼付。	
(78)23	(78)H-13 覆土	一括	須恵器 高台付壺	①[12.4]②[7.2] ④5.2	①細粒②良好(還元) ③灰黄④2/5	口縁部は口唇部が外反ぎみに開く。高台は「八」の字状。クロ形。回転糸切り。高台貼付。	
(78)24	(78)H-13 覆土	No.15	灰釉陶器 高台付壺	①[12.4]②[6.4] ④4.2	①細粒②良好 ③灰白④1/5	クロ形。回転糸切り。高台貼付。漬け掛け。(2度掛け)	
(78)25	(78)H-13 覆土	No.8	灰釉陶器 高台付皿	①[13.4]②[7.2] ④2.9	①細粒②良好 ③灰白④2/5	クロ形。回転糸切り。高台貼付。内外面に煤付着。	
(78)26	(78)H-14 床直	No.6	土師器 壺	①[14.2]④(7.0)	①細粒②良好 ③橙④1/4	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面は削り。内面は撫で調整後磨き。	
(78)27	(78)H-14 覆土	No.14	土師器 壺	①[13.0]④(4.9)	①中粒②良好 ③橙④口縁部	丸底。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面削り後撫で。内面撫で後半に磨き。	
(78)28	(78)H-15 覆土	一括	須恵器 羽釜	①[18.6]④(6.7)	①中粒②良好(還元) ③浅黄④口縁部	クロ形。鍔の断面三角形。	
(78)29	(78)H-15 床直	No.23、一括	土器 かわらけ	①[8.6]②5.0 ④2.2	①細粒②良好 ③浅黄橙④3/5	クロ形。回転糸切り。	
(78)30	(78)H-15 床直	No.25、26、一括	土器 かわらけ	①[9.4]②5.4 ④2.2	①細粒②良好 ③浅黄橙④2/5	クロ形。回転糸切り。	
(78)31	(78)H-16 床直	No.1、2	土師器 壺	①[14.2]④(4.9)	①中粒②良好 ③赤褐④破片	口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面横撫で、削り。内面横撫で、撫で後磨き。	
(78)32	(78)H-17 覆土	H-18P-3一括	土器 かわらけ	①[10.0]②[5.0] ④2.1	①細粒②良好 ③浅黄橙④1/4	クロ形。回転糸切り。	
(78)33	(78)H-18 掘り方	掘り方一括	土器 かわらけ	①[8.0]②[4.3] ④1.9	①細粒②良好 ③灰白④2/5	クロ形。回転糸切り。	
(78)34	(78)H-20 床直	No.1	土師器 壺	①14.2④5.5	①中粒②良好 ③明赤褐④完形	丸底を呈する。口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)35	(78)H-20 床直	No.2	土師器 壺	①13.0③13.6 ④5.7	①中粒②良好 ③明赤褐④完形	丸底を呈し、口縁部は内湾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)36	(78)H-20 床直	No.5	土師器 壺	①[16.2]④6.9	①中粒②良好 ③明赤褐④1/4	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)37	(78)H-20 床直	No.7	土師器 壺	①14.4④5.5	①中粒②良好 ③明赤褐④2/3	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)38	(78)H-20 床直	No.27	土師器 壺	①13.0②5.8 ④5.2	①中粒②良好 ③橙④ほぼ完形	平底状を呈する。口縁部は内湾し口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)39	(78)H-20 床直	No.11、12、28、30	土師器 壺	①14.0④6.0	①中粒②良好 ③橙④3/5	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)40	(78)H-20 床直	No.31、32	土師器 壺	①13.8④5.4	①中粒②良好 ③明赤褐④1/2	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面削り。内面撫で後磨き。	
(78)41	(78)H-20 床直	No.33、34	土師器 壺	①12.6③13.0 ④4.9	①中粒②良好 ③赤褐④ほぼ完形	丸底を呈する。口縁部は内湾する。外面は削り。内面は撫で後磨き。	
(78)42	(78)H-21 覆土	一括	土師器 壺	①[14.0]④(2.8)	①中粒②良好 ③橙④口縁部破片	口縁部の内外面は横撫で。	
(78)43	(78)H-25 床直	H-8No.13	須恵器 高台付壺	①8.3②4.8 ④3.4	①中粒②良好(酸化) ③浅黄橙④完形	クロ形。高台貼付。	
(78)44	(78)H-26 覆土	一括	土師器 壺	①[11.0]④(3.7)	①細粒②良好 ③橙④口縁部	口縁部内外面は横撫で。	
(78)45	(78)H-27 D-10N _a 1、5、一括 貯蔵穴	D-10N _a 1、5、一括 W-2・3中島一括	土師器 壺	①10.2④(7.2)	①中粒②良好 ③橙④5/6	丸底を呈し、口縁部は内湾する。外面削り、内面撫で。	
(78)46	(78)H-27 貯蔵穴	D-10N _a 2	土師器 壺	①13.2④5.5	①中粒②良好 ③橙④完形	丸底を呈し、口縁部は内湾する。外面口縁部横撫で、体部削り。内面撫で後磨き。	
(78)47	(78)H-27 貯蔵穴	D-10N _a 7、一括	土師器 壺	①14.4④5.4	①粗粒②良好 ③明赤褐④完形	丸底を呈する。口縁部は内湾し、口唇部は短く外傾する。外面横撫で、削り。内面撫で後磨き。	
(78)48	(78)H-27 貯蔵穴	D-10N _a 3、一括	土師器 壺	①[13.0]④(4.3)	①中粒②良好 ③橙④口縁部	外面口縁部横撫で。体部削り。内面口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)49	(78)H-27 貯蔵穴	D-10N _a 6、一括 W-2一括	土師器 壺	②6.8③(18.4) ④(17.4)	①粗粒②良好 ③橙④胴～底部	外面縦方向の削り。内面上半は横方向、下半は斜方向のハケ目。	
(78)50	(78)H-28 覆土	No.10	須恵器 壺	②[7.6]④(2.0)	①中粒②良好(酸化) ③浅黄④底部	クロ形。回転糸切り後撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(78)51	(78)T-1 床直	No.7	土師器 壺	①[13.2]④(2.7)	①細粒②良好 ③明赤褐色④口縁部破片	丸底を呈すると思われる。外面口縁部横撫で、 体部削り。内面口縁部横撫で、体部撫で。	
(78)52	(78)W-2 覆土	一括	火鉢	①[41.0]④(5.2)	①細粒②良好 ③黄灰④口縁部	口縁部内面に重郭文。	
(78)53	(78)D-41 覆土	H-8一括 D-2一括	土器 かわらけ	①[10.0]②4.4 ④2.1	①細粒②良好 ③灰白④1/2	酸化焰焼成。ロクロ整形。回転糸切り。	
(78)54	(78)P-1 覆土	No.1	須恵器 高台付壇	②5.4④(2.6)	①細粒②良好(酸化) ③浅黄④高台部	ロクロ整形。体部内面に磨き。	
(78)55	(78)P-47 覆土	H-9No.27	須恵器 羽釜	①[19.0]④(6.1)	①粗粒②良好(還元) ③灰白④口縁部片	口縁部は直立にちかい。鍔は断面三角形状。ロ クロ整形。	
(78)56	(78)X285Y151	一括	土器 かわらけ	①[9.4]②4.6 ④2.3	①細粒②良好 ③浅黄橙④3/5	ロクロ整形。回転糸切り。	
(78)57	(78)搅乱	一括	須恵器 羽釜	①[18.6]④(8.9)	①粗粒②良好(酸化) ③にぶい橙④口縁部破片	最大径は鍔部に有する。口縁部は内径する。ロ クロ整形。	
(79)1	(79)H-3 覆土	一括	土師器 台付甕	②[10.0] ④(2.7)	①砂粒②良好 ③橙④底部1/3	輪積み整形。台部貼付。外外面は撫で。	墨画か
(79)2	(79)H-3 覆土	No.19、一括	須恵器 壺	①[14.0]②6.3 ④3.5	①砂粒②良好(還元) ③灰黄④1/2	ロクロ整形。糸切り。外外面は撫で。	
(79)3	(79)H-3 床直	No.15	須恵器 高台付壇	①[14.9]②6.0 ④5.3	①砂粒、小礫②やや不良(還 元)③灰黄④1/2	外外面黒斑部分が多い。底部内面窪む。ロクロ 整形。糸切り。高台貼付。外外面は撫で。	
(79)4	(79)H-3 覆土	No.26	須恵器 高台付皿	①[13.8]②7.0 ④2.5	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好(還元)③暗灰④底部1/2、 口縁部1/5	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。外外面は撫 で。	
(79)5	(79)H-3 床直	No.4	灰釉陶器 高台付皿	①[15.8]②[6.7] ④2.7	②良好 ③灰白④1/4	灰釉。漬け掛け。ロクロ水挽き整形。内面は撫 で。外外面は回転範削り。	
(79)6	(79)H-4 床直	No.63、78	土師器 台付甕	②8.2④(3.8)	①砂粒②良好 ③にぶい橙④台部1/2	輪積み整形。台部甕部接合。外外面は撫で。	
(79)7	(79)H-4 床直	No.8、9、16、20、27	土師器 台付甕	①[13.0]②9.2 ③11.3④17.0	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好③暗褐④ほぼ完形	輪積み整形。台貼付。内面は撫で、外外面は口縁 部・台部は撫で、胴部は削り。	
(79)8	(79)H-4 床直	No.57	土師器 甕	①[18.0] ③[16.4]④(8.7)	①黒褐色粒、白色粒②良好 ③褐④1/3	輪積み整形。内面は撫で、刷毛状工具撫で。外 外面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)9	(79)H-4 床直	No.71	須恵器 壺	①[13.0]②6.4 ④3.3	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰④1/2	ロクロ整形。糸切り。外外面は撫で。	
(79)10	(79)H-4 甕	甕No.19	須恵器 壺	①[13.5]②7.3 ④3.1	①砂粒②やや不良(還元) ③灰白④1/2	ロクロ整形。糸切り。外外面は撫で。	
(79)11	(79)H-4 床直	No.79	須恵器 壺	①[12.4]②6.8 ④3.8	①小礫、砂粒、石英、角閃石 ②良好(還元)③灰④2/5	獸足痕あり。ロクロ整形。糸切り。底部範削 り。外外面は撫で。	獸足痕 大か
(79)12	(79)H-4 覆土	一括	須恵器 高台付壇	①[13.1]②7.4 ④5.1	①砂粒、角閃石 ②やや不良(還元) ③褐灰④口縁部1/5、底部3/4	黒斑あり。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内 外面は撫で。	
(79)13	(79)H-4 床直	No.11	須恵器 高台付壇	①[14.8]②[7.5] ④5.4	①小礫、砂粒、角閃石②やや 不良(還元)③灰白④1/3	外面に2条の線刻を施す。ロクロ整形。糸切り。 高台貼付。外外面は撫で。	
(79)14	(79)H-4 床直	No.18	須恵器 高台付壇	①[13.8]②[7.2] ④5.2	①砂粒、白色粒、角閃石②や や不良(還元)③灰白④2/3	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。外外面は撫 で。	
(79)15	(79)H-4 甕	甕No.7	須恵器 高台付壇	①[14.8]②7.5 ④5.3	①砂粒、小礫、角閃石 ②やや不良(還元)③灰白 ④口縁部一部欠損	黒斑あり。底部内面二巴状に撫で痕を残す。ロ クロ整形。高台貼付。内面は撫で。外面は撫 で、底部撫で。	
(79)16	(79)H-4 床直	No.70	須恵器 高台付壇	①[14.4]②7.5 ④4.5	①小礫、砂粒、白色粒②良好 (還元)③暗灰④完形	自然釉。器形歪む。ロクロ整形。糸切り。高台 貼付。内外面は撫で。	
(79)17	(79)H-4 甕	甕No.2	須恵器 高台付壇	①[14.7]②6.2 ④4.6	①小礫、砂粒、白色粒②良好 (還元)③灰④完形	底部内面渦巻状に残す。底部外面に円を線刻。 ロクロ整形。糸切り。高台貼付。外外面は撫 で。	線刻
(79)18	(79)H-4 床直	No.67、74、75、一括	須恵器 高台付壇	①[13.7]②6.5 ④5.4	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰黄④底部完存、口縁部の 一部	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。外外面は撫 で。	
(79)19	(79)H-4 甕	甕No.1	須恵器 高台付壇	①[14.6]②6.3 ④5.4	①小礫、砂粒、白色粒、角閃 石②良好(還元)③黒斑・内 面、暗灰、灰白④底部は 1/2、口縁部の一部	外面に黒斑がある。ロクロ整形。外外面は撫 で。	
(79)20	(79)H-4 甕	甕No.17	須恵器 羽釜	④(8.5)	①砂粒、白色粒、小礫、角閃 石②良好(酸化)③橙④凸辺部 1/5	輪積み整形。ロクロ整形。外外面は撫で。	
(79)21	(79)H-4 覆土	一括	綠釉陶器	④(2.0)	②良好③オリーブ灰 ④小片	外外面全面に線刻を施す。みこみ底部に陰刻花 文、外面に3条の陰刻圖文を施す。ロクロ整形。	印刻花 ・圖文
(79)22	(79)H-5 床直	No.12	土師器 壺	①[13.5]④(4.9)	①砂粒②良好 ③橙④1/4	内面は撫で。外外面は口縁部は撫で、底部は削 り。	
(79)23	(79)H-5 甕	H-4甕No.10、23	須恵器 壺	①[14.0]②6.0 ④3.8	①小礫、砂粒、角閃石②やや 不良(還元)③灰白④口縁部 1/4、底部3/4	歪み多い。ロクロ整形。糸切り。外外面は撫 で。	
(79)24	(79)H-5 覆土	No.1	須恵器 壺	①[13.4]②[8.0] ④4.3	①砂粒、褐色粒、角閃石②や や不良(酸化)③浅黄橙④2/5	底部範削り。内面は撫で、外外面は口縁部は撫 で、胴部は押さえ削り。	
(79)25	(79)H-5 覆土	一括	須恵器 壺	①[13.8]②[6.5] ④4.5	①砂粒②良好(還元) ③灰④1/5	ロクロ整形。糸切り。内面範撫で、撫で。外 面は撫で。	
(79)26	(79)H-5 床直	H-19No.1	須恵器 壺	①[13.6]②[8.6] ④3.7	①砂粒、小礫②良好(還元) ③黒ズミ・灰、灰白④1/3	外面中ほどから下と内面底部に黒斑よのうな黒 ズミあり。ロクロ整形。糸切り。底部外周の糸 切り痕が消されている。内外面は撫で。底部の 状態から高台が付いていた可能性がある。	
(79)27	(79)H-5 覆土	一括	須恵器 瓶	②[21.0]④(3.5)	①砂粒、石英、角閃石②良好 (酸化)③灰白④底部1/3	内面は削り。外外面は撫で。	
(79)28	(79)H-5 覆土	No.14	灰釉陶器 高台付壇	①[15.6]④(4.6)	②良好 ③灰白④口縁部1/3	刷毛塗り。ロクロ水挽き整形。内面は撫で。外 面は下方は回転範削り、上方は撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79)29	(79)H-7 覆土	No.41	土師器 甕	①[11.6]④(6.3)	①砂粒、白色粒、褐色粒、 角閃石②良好 ③赤褐色④口縁部1/3	輪積み成形。ロクロ整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)30	(79)H-7 床直	No.10	須恵器 高台付塊	②7.1④(2.5)	①砂粒、角閃石②良好(酸化) ③橙④底部ほぼ完存	底部内面が窪む。足高高台。ロクロ整形。高台貼付。糸切り痕なし。(撫で消しが)外表面は撫で。	
(79)31	(79)H-7 貯藏穴	No.25	須恵器 高台付塊	①14.2②6.9 ④5.2	①砂粒②良好(還元) ③灰④2/3	底面に線刻のようなものあり。ロクロ整形。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)32	(79)H-7 貯藏穴	貯穴No.6	須恵器 高台付塊	①[14.7]②[6.8] ④5.7	①砂粒、角閃石②やや不良 (還元)③灰白④1/3	黒斑あり。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。外表面は撫で。	
(79)33	(79)H-8 床直	H-2No.5	土師器 壺	④(12.2)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③明赤褐色④脚部上部	輪積み整形。坏部貼付。	
(79)34	(79)H-8 甕	H-2甕No.20	土師器 甕	①[20.0]④(6.5)	①砂粒②良好 ③明赤褐色	輪積み整形。内面は撫で。口縁部は撫で、胴部は削り。	
(79)35	(79)H-8 甕	H-2甕No.32	土師器 甕	①[23.6]④(9.5)	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好③明赤褐色④口縁部1/6	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)36	(79)H-8 甕	H-2甕No.14、16、30	土師器 甕	①17.8②21.2 ④(12.0)	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好③明赤褐色④口縁部3/4	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)37	(79)H-8 甕	No.2 H-2No.10、甕No.10	土師器 甕	①[16.4]③[19.4] ④(17.0)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③赤褐色 ④口縁から胴部1/3	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)38	(79)H-8 甕	H-2甕No.11	須恵器 壺	①[16.0]②[9.4] ④5.3	①小礫、砂粒、白色粒 ②良好(還元)③灰白 ④口縁部1/10、底部1/3	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79)39	(79)H-8 甕	H-2甕No.3	須恵器 高台付塊	①13.6②6.2 ④5.1	①小礫、砂粒②良好(還元) ③灰④口縁部1/4欠損	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79)40	(79)H-8 甕	H-2甕No.1	須恵器 高台付塊	①13.6④(5.0)	①小礫、砂粒②良好(酸化) ③浅黄橙④2/5	ロクロ整形。糸切り。高台貼付(貼付痕のみ)。内外面は撫で。	
(79)41	(79)H-8 甕	H-2甕No.4 H-8-括	須恵器 高台付塊	①[15.8]②[7.7] ④(4.8)	①小礫、砂粒、白色粒②やや 不良(還元)③褐灰④口縁部 1/4	一部酸化焰にもどる。ロクロ整形。糸切り。高台貼付(貼付痕あり)。内外面は撫で。	
(79)42	(79)H-8 覆土	一括	須恵器 蓋	①[17.0]④(2.5)	①砂粒②良好(還元) ③灰白④1/5	かえりあり。ロクロ整形。内外面は撫で。	
(79)43	(79)H-8 甕	H-2甕No.2、23	須恵器 蓋	①[19.0]③[24.0] ④(24.0)	①砂粒②良好(還元) ③明褐灰④口縁部から胴部 1/3	輪積み整形。内面は撫で。	
(79)44	(79)H-11 床直	No.1	須恵器 壺	①[13.7]②7.5 ④4.0	①小礫、砂粒②良好(還元) ③灰④口縁部1/4、底部2/3	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79)45	(79)H-12 床直	H-23No.10	土師器 壺	①14.0④4.8	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③橙④1/2	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)46	(79)H-12 覆土	掘り方No.1	土師器 壺	①[13.9]④(4.1)	①砂粒、褐色粒 ②良好③橙④1/3	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)47	(79)H-12 甕	H-23甕No.1	土師器 甕	①19.6 ②6.2④35.4	①小礫、砂粒②良好 ③明褐④ほぼ完形	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部から下は削り。	
(79)48	(79)H-12 甕	H-23甕No.2	須恵器 高台付塊	②[7.0]④(4.6)	①砂粒、小礫、褐色粒、白色 粒②やや不良(還元) ③灰白④底部1/3	やや酸化焰気味の部分あり。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79)49	(79)H-14 床直	No.1	須恵器 高台付皿	①12.5②7.5 ④2.3	①砂粒②良好(還元) ③灰④ほぼ完形	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79)50	(79)H-14 床直	No.2	須恵器 高台付塊	①14.7②8.8 ④5.6	①砂粒②良好(還元) ③灰白④ほぼ完形	底部内面中央を渦巻状に残す。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79)51	(79)H-14 床直	D-4No.1	須恵器 高台付塊	①13.5②6.9 ④5.4	①砂粒②良好(還元) ③灰白④1/2	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79)52	(79)H-14 床直	No.3、一括	綠釉陶器 塊	①11.2②9.2 ④7.0	①小礫、石英、砂粒②良好 ③黄緑～灰白④3/4	発色にムラがある。口縁部粘土紐。ロクロ整形。内外面は撫で。	綠釉
(79)53	(79)H-15 床直	No.25	土師器 壺	①11.7④4.1	①砂粒、白色粒②良好 ③橙④4/5	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)54	(79)H-15 床直	No.16	土師器 壺	①13.2④4.5	①砂粒、白色粒②良好 ③灰褐色④4/5	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)55	(79)H-15 床直	No.13、14 甕一括	土師器 壺	①11.9④4.8	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③橙④3/5	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)56	(79)H-15 覆土	No.10	土師器 壺	①[11.8]④4.2	①砂粒、白色粒②良好 ②良好③橙④1/3	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)57	(79)H-15 覆土	No.5	土師器 壺	①13.7④4.4	①砂粒、小礫、石英 ②良好③にぶい褐色 ④約1/2	内面を黒褐色化する。内面は口縁部指撫で、胴部より下笠状工具による撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)58	(79)H-15 覆土	一括	土師器 壺	①[16.0]④(7.5)	①砂粒②良好 ③黄橙④1/6	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)59	(79)H-15 床直	No.23	土師器 甕	①[14.8]④(6.8)	①砂粒②良好 ③橙④頸部1/4	輪積整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)60	(79)H-16 床直	No.14	土師器 壺	①13.7④4.1	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③にぶい橙④3/5	内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)61	(79)H-16 床直	No.8	土師器 壺	①12.2④3.7	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③にぶい橙④1/2	黒斑あり。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)62	(79)H-16 床直	No.16	土師器 甕	①23.8②5.8 ③21.4④30.3	①砂粒、角閃石②良好 ③赤褐色④一部欠損	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部から下は削り。	
(79)63	(79)H-16 甕	H-31甕No.2、3、7、 11、25	土師器 甕	①[21.6]③[19.0] ④(25.0)	①白色粒、砂粒、角閃石②良 好③赤褐色④1/3底部欠損	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り。	
(79)64	(79)H-16 甕	H-31甕No.1、3、8、 10、13、27、28、 29、30、32、33、36	土師器 甕	①24.0③21.5 ④(27.0)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③橙 ④底部欠損	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部は削り、一部押さえ。	
(79)65	(79)H-16 床直	No.3	土師器 甕	①22.4②8.4 ③20.8④33.0	①小礫、砂粒、角閃石②良好 ③明褐色④一部欠損	輪積み整形。内面は撫で。外表面は口縁部撫で、胴部より下は削り。	
(79)66	(79)H-16 覆土	No.9	須恵器 蓋	①12.4④2.3	①砂粒②良好(還元) ③灰④1/2	自然釉。ロクロ整形。かえり作り出し。つまみ貼付。内外面は撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79) 67	(79) H-16 覆土	一括	須恵器 蓋	①11.9④2.6	①砂粒、石英②良好(還元) ③灰④完形	ロクロ整形。つまみ貼付。	
(79) 68	(79) H-16 覆土	No.15	須恵器 蓋	①12.0④3.1	①砂粒②良好(還元) ③灰黄④ほぼ完形	ロクロ整形。つまみ貼付。	
(79) 69	(79) H-16 床直	No.5	須恵器 蓋	①[11.9]④3.5	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰白④1/3	上野型有蓋短頸壺。ロクロ整形。つまみ貼付。	
(79) 70	(79) H-17 竈	竈No.1、9、11	土師器 甕	①[22.0]③[20.5] ④(9.0)	①砂粒②良好 ③にぶい赤褐④1/6	輪積み整形。内面は撫で。外面は口縁部から頸部撫で、胴部削り。	
(79) 71	(79) H-17 貯蔵穴	貯穴No.1	須恵器 壺	①14.2②6.9 ④4.0	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰白④2/3	底部内面に渦巻状線刻。外面に円形線刻あり。 ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79) 72	(79) H-17 竈	竈No.3	須恵器 高台付塊	①[17.8]②[9.0] ④7.3	①砂粒、白色粒、褐色粒②良好(酸化) ③橙④2/5	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 73	(79) H-17 床直	No.11、31、32 床下No.1	灰釉陶器 高台付皿	①[19.4]④(3.5)	②良好 ③灰白④口縁部1/3	刷毛塗り。ロクロ水挽き整形。内外面は撫で。	
(79) 74	(79) H-17 貯蔵穴	貯穴No.2	灰釉陶器 長頸壺	③[15.2]④(9.4)	②良好 ③灰白④胸部1/3	刷毛塗り。ロクロ回転水挽き整形。内面は板撫で。外面は下部削り、上部撫で。	
(79) 75	(79) H-20 竈	竈No.3	土師器 壺	①[12.0]④(3.3)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③明赤褐④1/5	口縁部と底部の間に接合痕。内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 76	(79) H-20 竈	竈No.1	須恵器 壺	①13.6③7.2 ④3.4	①砂粒②良好(還元) ③灰白④2/3	自然釉。歪みが激しい。ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79) 77	(79) H-20 竈	No.14	須恵器 高台付塊	③8.4④(4.5)	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③黒④底部2/3	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 78	(79) H-20 床直	No.5	灰釉陶器 高台付塊	①9.9③4.2 ④3.5	②良好 ③灰白④1/3	糸切り痕あり。発色不良。外面漬け掛け。内面刷毛塗り。ロクロ水挽き整形。糸切り。高台貼付。内面は撫で。外面は回転範削り。	
(79) 79	(79) H-20 床直	No.8	灰釉陶器 高台付塊	①[16.0]②[6.7] ④5.1	②良好 ③灰黄④1/3	内外面漬け掛け。ロクロ水挽き整形。糸切り。高台貼付。内面は撫で。外面は中ほどまで削り、撫で。	
(79) 80	(79) H-24 床直	H-25No.22	土師器 壺	①[12.9]②[8.4] ④3.2	①砂粒②良好 ③にぶい橙④1/3	内面は撫で。外面は口縁部撫で、胸部は押さえ、底部は削り。	
(79) 81	(79) H-24 覆土	円土-1No.60、64、 65、68、69、72、 89、91	土師器 甕	①[21.8]③[25.4] ④(24.0)	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好 ③明赤褐④1/3	輪積み整形。内面は撫で。外面は口縁部は撫で、胸部は削り。頸部は押さえを施す。	
(79) 82	(79) H-24 覆土	H-25No.39	須恵器 壺	①12.3②5.4 ④4.0	①小礫、砂粒②良好(還元) ③灰黄④口縁部一部欠損	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79) 83	(79) H-24 覆土	H-25No.29	須恵器 壺	①13.2②7.2 ④3.5	①砂粒、白色粒、小礫 ②良好(還元)③黄灰 ④口縁部一部欠損	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79) 84	(79) H-24 覆土	円土-1No.90	須恵器 壺	①[13.2]②[5.8] ④3.7	①砂粒、白色粒②やや不良 (還元)③にぶい黄橙④1/4	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79) 85	(79) H-24 竈	H-25竈BNo.12	須恵器 高台付皿	①13.8②7.8 ④3.0	①砂粒、白色粒、角閃石②や や不良(還元)③灰白④1/2	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 86	(79) H-24 覆土	H-25No.49	須恵器 高台付皿	①[13.2]②7.0 ③2.0	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰④底部ほぼ完存	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 87	(79) H-24 覆土	H-25No.34	須恵器 高台付塊	②7.6④(1.5)	①砂粒②良好(酸化) ③にぶい橙④底部完存	内面漆塗りか。放射状に磨き。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内面は磨き。外面は高台部撫で。	
(79) 88	(79) H-24 覆土	H-6No.18、一括	須恵器 高台付塊	①16.0②9.2 ④5.3	①砂粒、小礫、角閃石②や や不良(還元)③灰白④1/2	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 89	(79) H-24 覆土	H-6No.20	須恵器 高台付塊	①[14.8]②7.1 ④5.6	①砂粒、小礫、角閃石②や や不良(酸化)③浅黄④口縁部 1/2、底部完存	部分的に還元状態の部分や黒斑がある。ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 90	(79) H-24 覆土	H-6No.13、23	須恵器 高台付塊	①[13.5]②[5.3] ④5.5	①結晶片岩、小礫、砂粒②不 良(還元)③灰白④1/3	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 91	(79) H-24 竈	H-25竈BNo.1、3、5	須恵器 高台付塊	①[18.8]②18.6 ④7.6	①砂粒、白色粒、小礫、石英 ②良好(酸化)③淡黄 ④口縁部は2/5、底部完存	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫で。	
(79) 92	(79) H-25 床直	No.37、38、50	土師器 甕	①[21.4]③[19.4] ④(17.0)	①砂粒、小礫、白色粒、角閃 石②良好③にぶい褐④口縁部 から胸部1/4	口縁部外面に輪積み痕を残す。輪積み整形。口 唇は型取りしたものを貼付か。内面は撫で。外 面は口縁部撫で、胸部は削り。	
(79) 93	(79) H-25 床直	H-26No.7	土師器 甕	①[22.0]③[20.2] ④(10.0)	①砂粒、角閃石②良好 ③橙④口縁部1/4	輪積み整形。内面は撫で。外面は口縁部撫で、 胸部は削り。	
(79) 94	(79) H-26 覆土	一括	須恵器 壺	①[13.8]②[7.2] ④4.0	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好(還元)③灰白④1/4	外面と底部に墨書きがある。ロクロ整形。糸切 り。内外面は撫で。	墨書き
(79) 95	(79) H-26 覆土	No.3	須恵器 高台付塊	①[14.9]②6.8 ④5.4	①小礫、砂粒②やや不良(酸 化)③灰白④1/2	ロクロ整形。糸切り。高台貼付。内外面は撫 で。	
(79) 96	(79) H-27 床直	No.6、8、9、16	土師器 甕	②7.3③32.0 ④(26.8)	①砂粒②良好 ③にぶい橙④胸部2/3	ロクロ整形。内面は撫で。外面は削り。	
(79) 97	(79) H-30 床直	No.8	土師器 壺	①12.8④4.5	①白色粒、角閃石、砂粒 ②良好③黒褐④完形	いぶしか。うるしか。 内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 98	(79) H-30 床直	No.10	土師器 壺	①12.0④3.9	①砂粒、白色粒②良好 ③橙④完形	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 99	(79) H-30 床直	No.9	土師器 壺	①11.4④4.5	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③橙④完形	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 100	(79) H-30 床直	No.11、12、13	土師器 壺	①12.8④4.9	①砂粒、褐色粒 ②良好③橙④7/8	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 101	(79) H-30 床直	No.5	土師器 壺	①[13.8]④3.9	①砂粒、角閃石②良好 ③黒④1/4	内外黒色に焼成か(漆の可能性)。内面は撫で。 外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 102	(79) H-30 覆土	No.1	土師器 壺	①[11.9]④(4.5)	①砂粒②良好 ③橙④1/3	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79) 103	(79) H-32 床直	H-20No.16	須恵器 羽釜	①[28.4]④(10.5)	①小礫、砂粒、角閃石②や や不良(還元)③暗灰黄④口縁部 1/5	輪積み整形。ロクロ整形。内外面は撫で。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(79)104	(79)H-32 床直	H-20竈BN0.5	須恵器 羽釜	①[21.8]④(7.7)	①砂粒、白色粒、角閃石②や や不良(還元)③黒褐④口縁部 1/8	輪積み整形。ロクロ整形。内外面は撫で。	
(79)105	(79)H-32 床直	H-20N0.17	須恵器 羽釜	①[21.6]④(5.2)	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好(酸化)③黄橙④口縁部1/10	輪積み整形。ロクロ整形。内外面は撫で。	
(79)106	(79)H-32 覆土	H-20一括	須恵器 羽釜	①[21.8]④(5.0)	①小礫、砂粒、石英、角閃石 ②良好(還元)③灰白 ④口縁部1/10	輪積み整形。ロクロ整形。内外面は撫で。	
(79)107	(79)H-32 竈	H-20竈BN0.2	須恵器 羽釜	①[22.0]④(5.6)	①砂粒、角閃石②やや不良 (酸化)③浅黄④口縁部1/3	輪積み整形。銚貼付。ロクロ整形。内外面は撫 で。	
(79)108	(79)W-2 覆土	No.17、一括	須恵器 坏	①[12.8]②7.3 ④3.4	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰④底部存	ロクロ整形。糸切り。内外面は撫で。	
(79)109	(79)W-2 覆土	No.3	灰釉陶器 高台付塊	①13.8④(3.6)	②良好③灰白④1/2底部欠損	刷毛塗り。ロクロ整形。水挽き整形。高台貼 付。内面は撫で。外面は回転範削り。	
(79)110	(79)W-7 覆土	一括	綠釉陶器	②[6.6]	②良好③オーリーブ灰 ④小片、底部1/5	内外面に綠釉を施す。みこみ底部に陰刻花文を 施す。ロクロ整形。高台部貼付。	陰刻 花文
(79)111	(79)円土-1 覆土	一括	土師器 坏	①12.0④4.0	①砂粒、角閃石②良好 ③明褐④2/3	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)112	(79)円土-1 覆土	一括	土師器 坏	①11.5②6.7 ④3.4	①砂粒、白色粒、角閃石 ②良好③にぶい橙④1/3	底部は外面中央が窪む。輪積整形。ロクロ整 形。内面は撫で。外面は口縁部撫で、脇部は削 り、底部は外周を削る。	
(79)113	(79)円土-1 覆土	No.8、9、一括	土師器 坏	①11.7④3.0	①砂粒、角閃石②良好 ③橙④1/2	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)114	(79)円土-1 覆土	No.11、14、一括	土師器 坏	①11.7④3.3	①砂粒、角閃石②良好 ③明赤褐④1/2	内面は撫で、外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)115	(79)円土-1 覆土	No.5、一括	土師器 坏	①10.9④3.6	①砂粒、角閃石②良好 ③橙④3/4	内面は撫で、外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)116	(79)円土-1 覆土	No.55	土師器 坏	①[17.8]④4.5	①砂粒、角閃石②良好 ③にぶい橙④1/3	内面は撫で。外面は口縁部撫で、底部は削り。	
(79)117	(79)円土-1 覆土	No.41	須恵器 坏	①11.3④3.9	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③黒部分 暗青灰、それ以外 紫灰④1/2	須恵器坏でありながら、底部は削りにより作り 出され、器厚が厚く一定しない。外面口縁部か ら内面全体に黒く変色している。内面は撫で、 外面は口縁部は撫で、底部は削り。底部内側に 砂粒のようなものが付着して焼成されている。	
(79)118	(79)円土-1 覆土	H-27N0.3	須恵器 坏	①[15.5]②[9.5] ④3.7	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③灰④底部1/3	自然釉。ロクロ整形。撫でにより高台状の稜を作 る。底部回転範削り。外面は撫で。陶邑産 か。	
(79)119	(79)円土-1 覆土	一括	須恵器 高台付皿	①[13.6]②[7.2] ④2.2	①小礫、砂粒②良好(還元) ③灰白④1/3	内面に墨書のような黒ズミがある。ロクロ整 形。糸切り。高台貼付。外面は撫で。	
(79)120	(79)円土-1 覆土	H-27N0.2	須恵器 蓋	①[19.0]④(3.1)	①砂粒、白色粒②良好(還元) ③黄灰④1/3	ロクロ整形。かえりつまみ貼付。外面は撫 で。	
(79)121	(79)円土-1 覆土	No.20、一括	須恵器 蓋	①[17.0]④(3.7)	①小礫②良好(還元) ③灰④1/3	かえりつき。端部つまみかえり貼付。ロクロ整 形。外面は撫で。	
(79)122	(79)D-10 覆土	No.1	須恵器 高台付塊	①[13.8]②6.7 ④5.6	①砂粒、小礫②良好(いぶし) ③黒褐④完形	底部内面渦巻状に撫でる。ロクロ整形。糸切 り。高台貼付。盃あり。外面は撫で。	
(79)123	(79)調査区北 東 覆土	一括	灰釉陶器 高台付塊	①[14.7]②4.9 ④4.9	②良好③灰白④底部3/4	発色よくない。重ね焼きの目線あり。刷毛塗 り。ロクロ水挽き整形。内面は撫で、外面は下 方回転削り、上方撫で。	
(79)124	(79)調査区北 東 覆土	一括	灰釉陶器 高台付塊	②6.7④(3.5)	②良好 ③灰黄④底部1/2	重ね焼き目跡残る。刷毛塗り。ロクロ水挽き整 形。底面回転範削り。高台貼付。内面は撫で。 外面は下方は回転削り、上方は撫で。	
(79)125	(79)調査区北 西 覆土	一括	綠釉陶器	②[6.5]	②良好③灰白 ④底部1/5	みこみ底部に綠釉を施す。みこみ底部に陰刻圖 文を施す。ロクロ整形。高台部貼付。	印刻 圖文
(79)126	(79)調査区北 西 覆土	一括	綠釉陶器	①[11.4]④(3.1)	②良好③オーリーブ ④口縁部1/4	内外面全面に綠釉を施す。みこみ口縁部に陰刻 花文を施す。ロクロ整形。	印刻 花文
(80)1	(80)H-1 床直	No.20、一括	土師器 甕	①[20.0]④(11.0)	①細粒②良好 ③橙④口縁～脇部片	外面口縁部横撫で、脇部削り。内面口縁部横撫 で、脇部撫で。	
(80)2	(80)H-1 床直	No.25	須恵器 坏	①12.2②7.4 ④3.4	①粗粒②良好(還元) ③灰白④ほぼ完形	ロクロ整形。回転糸切り。	
(80)3	(80)H-1 床直	No.8	須恵器 高台付塊	①16.2②10.8 ④6.4	①粗粒②良好(還元) ③灰白④1/2	ロクロ整形。範起こし。高台貼付。	
(80)4	(80)H-2 覆土	一括	須恵器 坏	①[14.0]②[8.2] ④3.3	①細粒②良好(還元) ③灰白④口縁～底部	ロクロ整形。手持ち範削り。	
(80)5	(80)H-4 掘り方	No.12	土師器 坏	①[11.8]④3.0	①粗粒②良好 ③橙④1/2	丸底。外面葉口縁部横撫で。体部削り。内面は 口縁部横撫で。体部撫で。	
(80)6	(80)H-5 床直	No.5、一括	土師器 坏	①12.6④4.0	①中粒②良好 ③橙④1/2	丸底。外面は口縁部横撫で。体部削り。内面は 口縁部横撫で。体部撫で。	
(80)7	(80)H-5 床直	No.1、6	須恵器 蓋	①[18.0]④(2.5)	①中粒②良好(還元) ③灰白④破片	ロクロ整形。外面ロクロ撫で。かえりあり。	
(80)8	(80)表採	一括	須恵器 羽釜	①[17.0]④(8.9)	①中粒②良好(還元) ③灰白④口縁～脇部	ロクロ整形。脇部継位の削り。	
(80)9	(80)調査区	一括	須恵器 坏	①[10.0]②6.6 ④3.4	①中粒②良好(還元) ③黄灰④2/5	ロクロ整形。回転ヘラ削り。	
(93)1	(93)W-2 覆土	No.1	軟質陶器 内耳壺	①[30.0]④(11.0)	①中粒②良好 ③黄灰④破片	外面ロクロ撫で。外面に煤付着。	
(93)2	(93)W-2 覆土	No.13	磁器 壺か	幅(3.5)長さ(3.5)	①細粒②良好 ④破片		
(93)3	(93)W-4 覆土	一括	陶器 壺か	幅(6.6)長さ(4.4) 厚さ1.3	①中粒②良好 ③にぶい赤褐④口縁		常滑
(93)4	(93)W-5 覆土	No.5	須恵器 坏	①[10.0]②[5.4] ④2.5	①細粒②良好(酸化) ③橙④破片	ロクロ整形。回転糸切り。	
(94)1	(94)X212Y244	一括	陶器	幅(5.4)長さ(5.8) 厚さ1.0	①中粒②良好 ③にぶい赤褐④口縁		常滑

Tab. 8 石器・石製品観察表

幅・長さ・厚さの単位はcmで、重さの単位はgである。（）は現存値、〔〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	器形の特長、石材、遺存度	備考
(74)石1	(74)I-1 覆土	一括	砥石	幅(3.8)長さ(4.8) 厚さ(2.6)重さ(62.0)	4面使用。両端部欠損。	
(78)石1	(78)H-6 床直	No.40	砥石	幅2.7長さ10.9 厚さ2.8重さ132	4面使用。凝灰岩。	
(78)石2	(78)H-7 覆土	No.17	砥石	幅5.2長さ(7.5) 厚さ3.3重さ157	4面使用。凝灰岩。	
(79)石1	(79)H-1 覆土	No.8	石 うす玉	幅1.2厚さ0.3 重さ0.79孔径0.3	滑石。	
(79)石2	(79)H-1 覆土	掘り方No.9	砥石	幅(7.0)長さ(6.3) 厚さ(2.8)重さ(212)		
(79)石3	(79)H-7 床直	No.38	砥石	幅(5.8)長さ(10.0) 厚さ(5.1)重さ(455)		
(79)石4	(79)H-16 床直	No.21	砥石	幅(5.9)長さ(10.4) 厚さ(5.0)重さ(403)		
(79)石5	(79)H-24 覆土	H-6No.44	碁石か	幅1.8厚さ0.6 重さ2.51	チャートか。	
(79)石6	(79)H-24 覆土	H-6No.25	砥石	幅(3.2)長さ(4.7) 厚さ(2.8)重さ59.44孔径0.7		
(79)石7	(79)W-6 覆土	No.1	碁石か	幅1.7長さ2.6 厚さ1.2重さ9.86	蛇紋岩。	
(79)石8	(79)円土-1 覆土	No.38	石製品	長さ24.2幅23.7 厚さ13.7重さ6200	安山岩。	
(93)石1	(93)D-3 覆土	一括	石製品 温石か	幅3.6長さ4.9 厚さ0.6重さ26.02	粘板岩か。	
(93)石2	(93)D-3 覆土	一括	石製品 温石か	幅3.3長さ4.0 厚さ0.5重さ14.52	粘板岩か。	

Tab. 9 金属器・金属製品観察表

幅・長さ・厚さの単位はcmで、重さの単位はgである。（）は現存値、〔〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	遺存度	備考
(75)鉄1	(75)D-3 覆土	一括	鉄製品 鎌か	幅(2.0)長さ(4.5) 厚さ(0.4)重さ(7.34)	破片。	
(75)鉄2	(75)D-7 覆土	No.1	鉄製品 刀子	幅(1.1)長さ(5.1) 厚さ(0.4)重さ(3.39)	破片。	
(76)鉄1	(76)H-1 覆土	No.28	鉄製品 刀子	幅(1.4)長さ(9.8) 厚さ(0.4)重さ(13.04)	先端部欠損。	
(76)鉄2	(76)W-1 覆土	No.1	鉄製品	幅(2.3)長さ(4.8) 厚さ(0.3)重さ(6.83)	刃物の先端部分。	
(78)鉄1	(78)H-9 床直	No.1	鉄製品 釘	幅(1.1)長さ(7.2) 厚さ(0.7)重さ(11.67)	一部欠損。	
(78)鉄2	(78)H-10 床直	No.1	鉄製品 釘	幅0.9長さ9.1 厚さ0.7重さ14.04	完形。	
(78)鉄3	(78)H-10 床直	No.2	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(6.3) 厚さ(1.0)重さ(9.44)	一部欠損。	
(78)鉄4	(78)H-11 覆土	No.1	鉄製品 釘	幅(1.3)長さ(7.0) 厚さ(0.9)重さ(19.75)	一部欠損。	
(78)鉄5	(78)H-15 覆土	No.1	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(7.1) 厚さ(0.6)重さ(16.20)	一部欠損。	
(78)鉄6	(78)H-15 覆土	一括	鉄製品 不明	幅(2.5)長さ(4.3) 厚さ(0.8)重さ(17.37)	破片。	
(78)鉄7	(78)H-15 覆土	P-1一括	鉄製品 釘	幅(0.7)長さ(4.7) 厚さ(0.5)重さ(4.62)	一部欠損。	
(78)鉄8	(78)H-18 床直	No.1	鉄製品 釘	幅(1.1)長さ(5.4) 厚さ(0.8)重さ(14.10)	破片。	
(78)鉄9	(78)D-40 覆土	No.1	鉄製品 鎌か	幅3.8長さ21.3 厚さ1.1重さ(125.82)	柄の部分が獸骨。ほぼ完形。	
(79)鉄1	(79)H-1 覆土	一括	鉄製品 釘	幅1.0長さ7.5 厚さ0.8重さ19.92	完形。	
(79)鉄2	(79)H-3 床直	No.8	鉄鎌	幅(1.0)長さ(10.8) 厚さ(1.1)重さ(14.59)	一部欠損。	
(79)鉄3	(79)H-4 覆土	No.6	鉄製品 釘	幅(0.7)長さ(4.9) 厚さ(0.8)重さ(9.15)	一部欠損。	
(79)鉄4	(79)H-4 床直	No.13	鉄製品 釘	幅(2.0)長さ(6.0) 厚さ(1.2)重さ(8.18)	端部欠損。	
(79)鉄5	(79)H-4 覆土	No.22	鉄製品 釘	幅1.3長さ8.0 厚さ0.9重さ10.87	完形。	
(79)鉄6	(79)H-4 覆土	No.50	鉄製品 釘	幅(1.0)長さ(4.6) 厚さ(0.7)重さ(5.58)	破片。	
(79)鉄7	(79)H-4 床直	No.56	鉄製品 刀子	幅(1.5)長さ(7.9) 厚さ(0.8)重さ(8.82)	一部欠損。	
(79)鉄8	(79)H-5 覆土	調査区No.6	鉄製品 刀子	幅(1.3)長さ(13.6) 厚さ(0.6)重さ(22.30)	一部欠損。	
(79)鉄9	(79)H-5 覆土	No.4	鉄製品 棒状	幅(0.7)長さ(9.4) 厚さ(0.6)重さ(14.02)	破片。	
(79)鉄10	(79)H-5 覆土	一括	鉄製品 釘か	幅(0.6)長さ(3.9) 厚さ(0.6)重さ(2.97)	破片。	
(79)鉄11	(79)H-7 覆土	一括	鉄鎌	幅(3.0)長さ(11.8) 厚さ(1.0)重さ(20.65)	一部欠損。	

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	遺存度	備考
(79)鉄12	(79)H-7 覆土	一括	鉄鏃	幅(4.5)長さ(10.8) 厚さ(0.7)重さ(20.98)	一部欠損。	
(79)鉄13	(79)H-7 床直	No.28	鉄鏃	幅(3.0)長さ(7.9) 厚さ(0.8)重さ(23.39)	一部欠損。	
(79)鉄14	(79)H-24 覆土	H-25No.43	鉄製品 釘	幅(1.2)長さ(7.4) 厚さ(0.8)重さ(8.04)	端部欠損。	
(79)鉄15	(79)H-24 覆土	H-6竈No.4	鉄製品 刀子	幅1.0長さ8.3 厚さ0.6重さ7.11	完形。	
(79)鉄16	(79)H-25 床直	No.30	鉄製品	幅(1.5)長さ(3.8) 厚さ(0.4)重さ(2.81)	破片。	
(79)鉄17	(79)D-10 床直	No.3	鉄製品 釘	幅0.8長さ8.0 厚さ0.5重さ12.44	木質付着、錆化。完形。	
(79)鉄18	(79)調査区北 東 覆土	一括	鉄製品 釘	幅1.3長さ8.8 厚さ1.0重さ23.21	完形。	
(79)鉄19	(79)調査区 覆土	一括	銅製品	幅(2.0)長さ(1.9) 厚さ(0.1)器高(0.26)	破片。	

Tab. 10 土製品観察表

法量は①口径②底径③最大径④器高を表し、単位はcmである。また（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(75)土1	(75)H-2 覆土	No.2	円筒埴輪	②[12.6]③[14.0] ④(8.5)	①細粒②良好 ③明赤褐色④破片	外面はハケ目。内面は撫で。	
(78)土1	(78)H-15 床直	No.10、17、24、一括 H-18No.16 W-2一括、D-7No.1	円筒埴輪	②[13.0]③[16.2] ④(15.3)	①粗粒②良好 ③橙④底部片	外面はハケ目。凸帯貼付後撫で。内面はハケ目、撫で。	
(79)土1	(79)D-11 覆土	No.3	羽口	長さ(6.9)幅(5.2) 厚み(2.6)	①白色粒②良好 ③灰	斜めに送風する羽口の炉側端部で鉄分付着。発泡する。内部は橙色を呈する。	
(93)土1	(93)D-2 覆土	一括	羽口	長さ(6.6)幅(5.8) 厚み(3.9)	①中粒②良好 ③外面明褐灰、外面橙	鉄分付着。	

Tab. 11 瓦観察表

幅・長さ・厚さの単位はcmである。（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特長、成・整形方法	備考
(75)瓦1	(75)H-2 竈	竈No.9、13、15、18	平瓦	幅(14.3)長さ (17.1)厚さ1.9	①細粒②良好 ③凹面橙、凸面灰黄褐色④破片	桶巻つくり。凹面に布目、模骨痕あり。凸面撫で。叩き目あり。側面面取り2回。	
(75)瓦2	(75)H-2 竈	竈No.5	平瓦	幅(14.0)長さ(16.9) 厚さ1.7	①細粒②良好 ③凹面橙、凸面灰白④破片	桶巻作り。凹面に布目、模骨痕あり。凸面撫で。叩き目あり。側面面取り2回。	
(79)瓦1	(79)H-7 覆土	一括	平瓦	幅(8.0)長さ(9.5)厚 さ(2.0)	①砂粒、白色粒、石英②良好 (酸化)③にぶい橙④破片	「入」「入」「」の刻書を施す。2分割整形か。凹面は布压痕。凸面は叩き痕を撫で消す。	刻書
(79)瓦2	(79)H-8 竈	H-2竈No.21	平瓦	幅(12.5)長さ(14.5) 厚さ(2.1)	①砂粒、白色粒、角閃石②良 好(酸化)③灰褐色④破片	「山田」の刻印2ヶ所、凸にあり。桶巻きか。凹面は布压痕を荒く叩き消す。模骨痕。凸面は叩きの後、板指で撫で、刻印する。	刻書
(79)瓦3	(79)H-24 床直	H-25竈BNo.18 円土-1No.63、62	平瓦	幅[28.5]長さ40.0厚 さ2.0	①白色粒多量、砂粒②良 好(酸化)③にぶい褐色④9/10	一枚整形。凹面は整形時の布压痕残る。指撫で部分的に行う。凸面は板叩き後、終子叩きを5ヶ所行う。	
(79)瓦4	(79)H-25 床直	円土-1No.75、87	平瓦	幅22.5長さ(14.6)厚 さ(1.3)	①白色粒多量、砂粒②良 好(酸化)③灰褐色④1/3	桶巻きか。凹面は整形時の布压痕残る。かきめ、押さえ痕残る。凸面は板叩き後、終子叩きを行う。	
(79)瓦5	(79)W-2 覆土	No.26	丸瓦	幅(6.3)長さ(10.9) 厚さ(2.6)	①白色粒②良好(還元) ③灰褐色④破片	瓦当部貼付痕を有する。	
(79)瓦6	(79)調査区 覆土	一括	平瓦	幅(9.5)長さ(6.0)厚 さ(3.0)	①砂粒、白色粒、小礫②やや 不良(還元)③暗青灰④破片	「田」刻書あり。布压痕をかき消す。凹面は布压痕をかき消す。凸面は叩き後撫でる。	刻書
(93)瓦1	(93)W-2 覆土	一括	平瓦	幅(13.5)長さ(11.0) 厚さ2.2	①粗粒②良好 ③黄褐色④破片	桶巻作り。凹面に布目。凸面撫で。刻書「中」。側面面取り2回。	刻書
(93)瓦2	(93)W-5 覆土	No.10、12	平瓦	幅(13.5)長さ(15.8) 厚さ2.3	①粗粒②不良 ③灰白④破片	凹面に布目。凸面撫で。側面面取り2回。	

Tab. 12 古銭観察表

直径の単位はcmで、重さの単位はgである。（ ）は現存値、〔 〕は推定値を表す。

番号	出土遺構 出土位置	台帳番号	器種	法量	器形の特長、成・整形方法	備考
(94)銭1	(94)X218Y244 覆土	一括	古銭	直径2.8重さ5.24	寛永通宝。新寛永。	
(94)銭2	(94)X218Y244 覆土	一括	古銭	直径2.8重さ4.98	寛永通宝。新寛永。	
(94)銭3	(94)X218Y244 覆土	一括	古銭	直径2.3重さ2.49	不明。	

出土位置は床直(床面より10cm以内の層位から出土)と、覆土(床面から10cmを超える層位から出土)の2段階に分けた。竈内の出土に付いては「竈」、貯蔵穴内は「貯蔵穴」とした。

台帳番号は調査時の付番で、遺物の注記番号と一致する。

胎土は細粒(0.9mm以下)、中粒(1.0~1.9mm)、粗粒(2mm以上)とし、特徴的な鉱物が入る場合には鉱物名等を記載した。

焼成は、良好、不良の2段階とし、須恵器については酸化(酸化焰)、還元(還元焰)の別を示した。

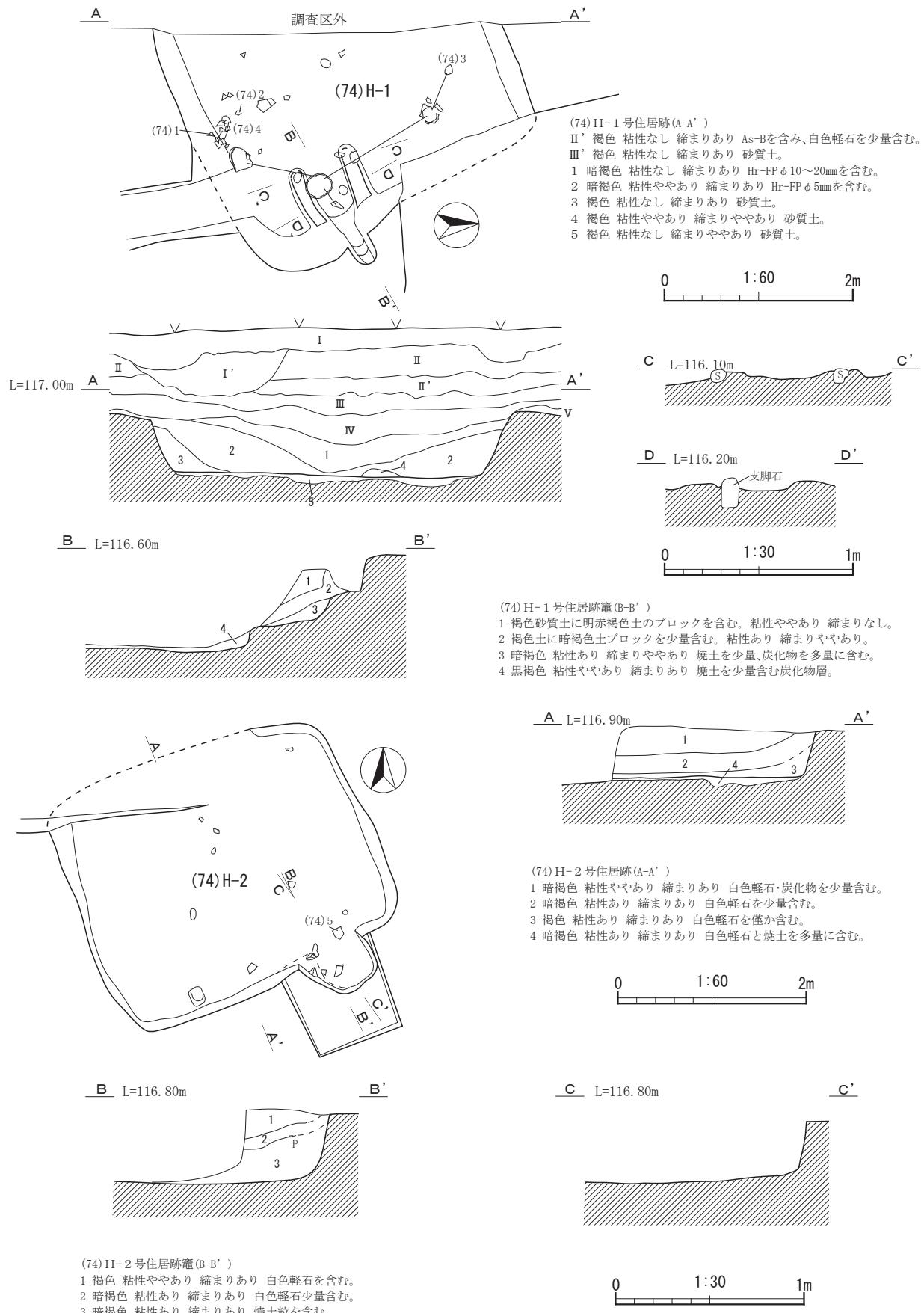


Fig. 13 (74) H-1 · 2

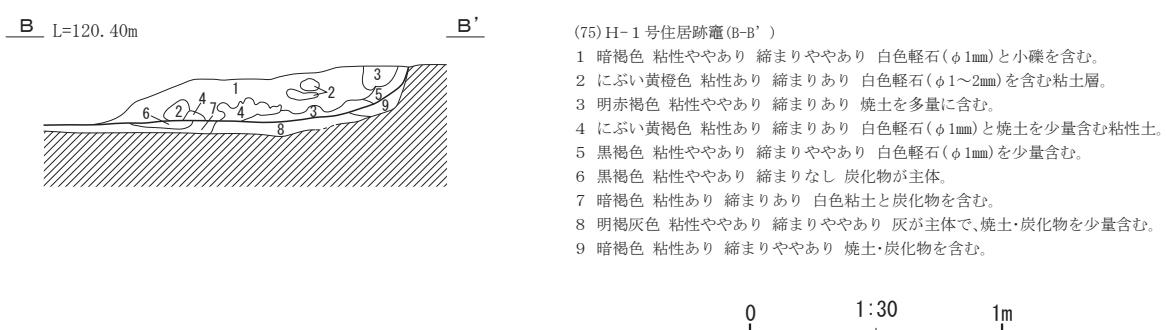
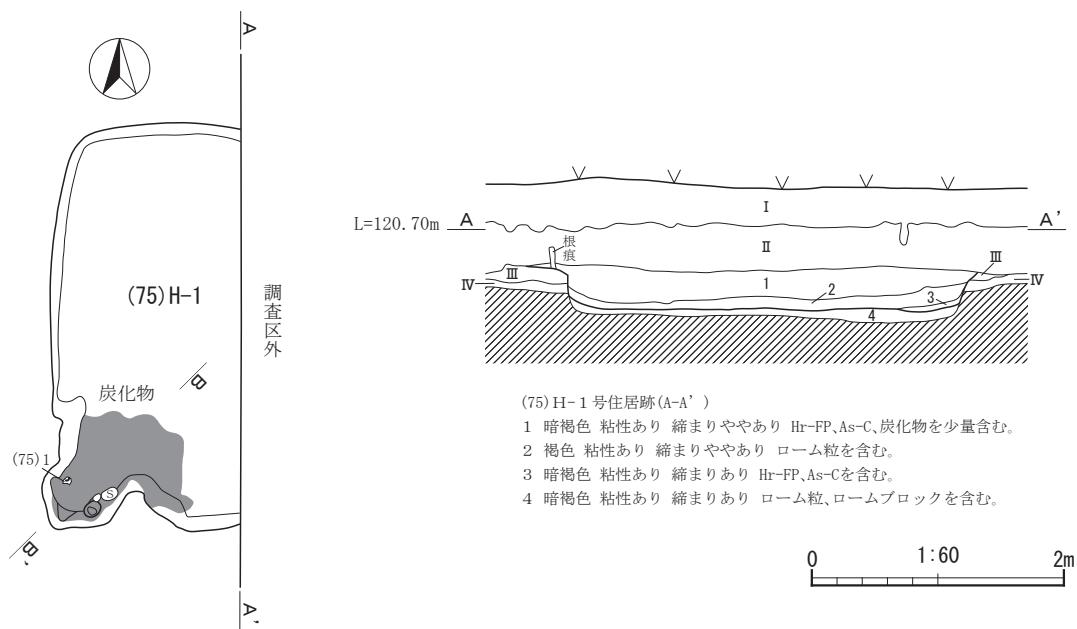
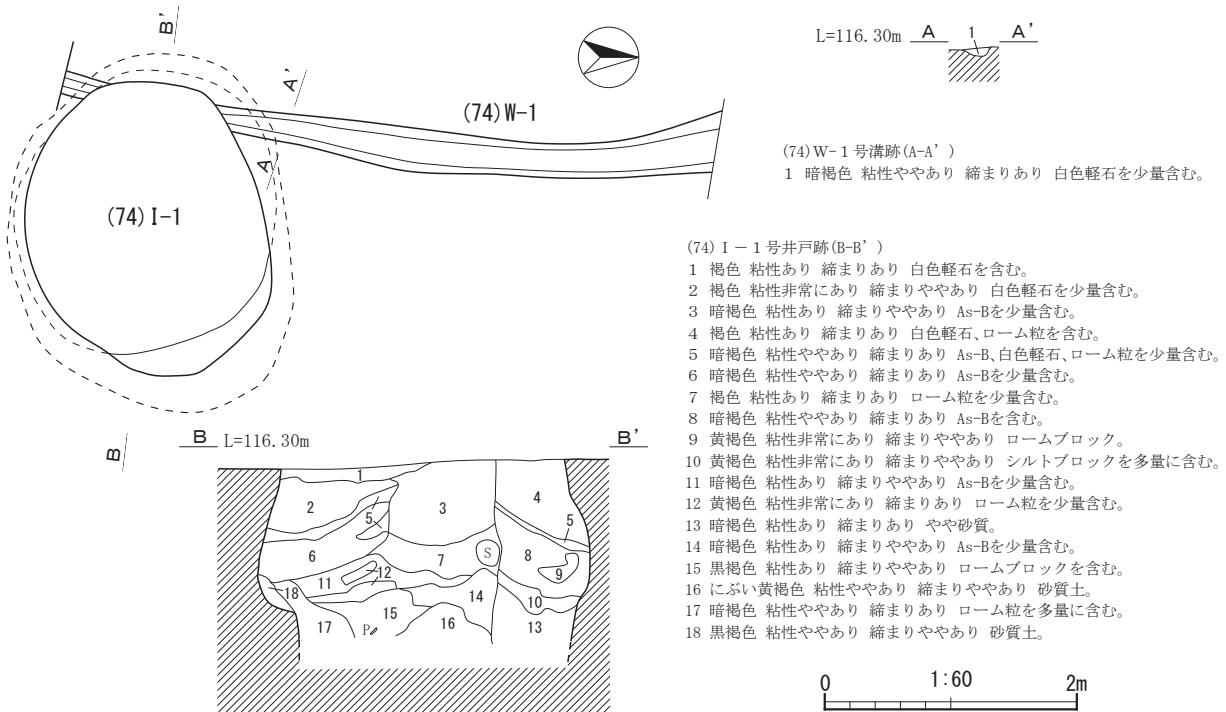
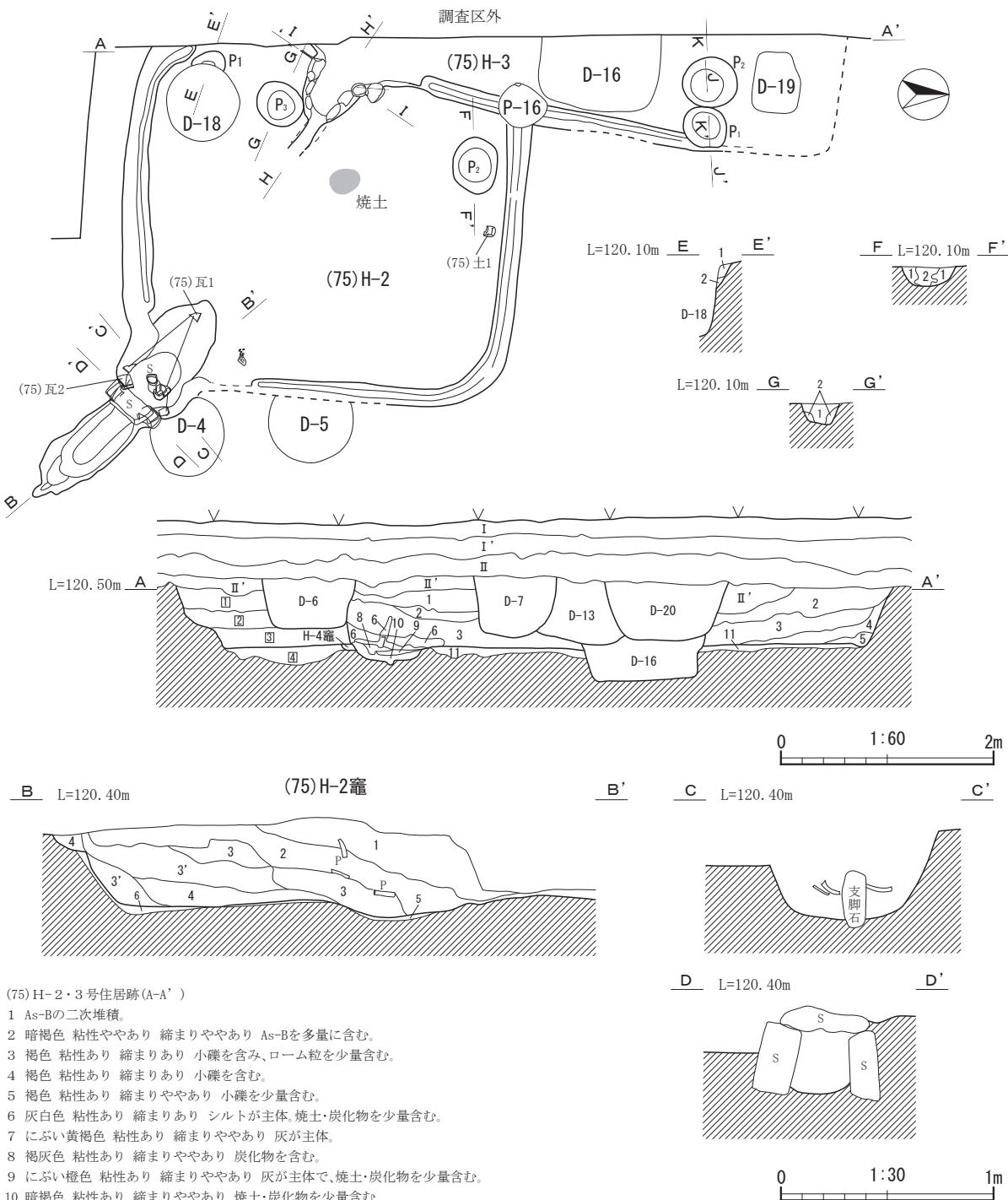


Fig. 14 (74) I-1・W-1、(75) H-1



(75) H-2・3号住居跡(A-A')

- 1 As-Bの二次堆積。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを多量に含む。
- 3 褐色 粘性あり 締まりあり 小礫を含み、ローム粒を少量含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりあり 小礫を含む。
- 5 褐色 粘性あり 締まりややあり 小礫を少量含む。
- 6 灰白色 粘性あり 締まりやシルトが主体。焼土・炭化物を少量含む。
- 7 にぶい黄褐色 粘性あり 締まりややあり 灰が主体。
- 8 褐灰色 粘性あり 締まりややあり 炭化物を含む。
- 9 にぶい橙色 粘性あり 締まりややあり 灰が主体で、焼土・炭化物を少量含む。
- 10 暗褐色 粘性あり 締まりややあり 焼土・炭化物を少量含む。
- 11 にぶい黄褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒、ロームブロックを含む。

- ① 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、ローム粒、小礫を含む。
 ② 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、ローム粒、小礫を含む。
 ③ 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒、小礫を含む。
 ④ 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒、ロームブロックを含む。

(75) H-2号住居跡(B-B'、C-C'、D-D')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C、Hr-FPを含み、焼土を少量含む。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり Hr-FP、焼土を含む。
- 3 明赤褐色 粘性なし 締まりあり 烧土ブロック。
- 3' 明赤褐色 粘性なし 締まりなし 烧土が主体。
- 4 暗褐色 粘性なし 締まりなし 烧土を少量含む。
- 5 暗赤褐色 粘性あり 締まりややあり 烧土・炭化物を少量含む。
- 6 褐色 粘性なし 締まりなし 烧土粒・ブロック、炭化物を含む。

(75) H-2号住居跡1号ピット(E-E')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石(Φ1mm)を少量含む。
- 2 黒褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石(Φ1mm)を多量に含む。

(75) H-2号住居跡2号ピット(F-F')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(Φ1mm)と小礫を少量含む。

(75) H-2号住居跡3号ピット(G-G')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(Φ1mm)と小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒と小礫を含む。

Fig. 15 (75) H-2

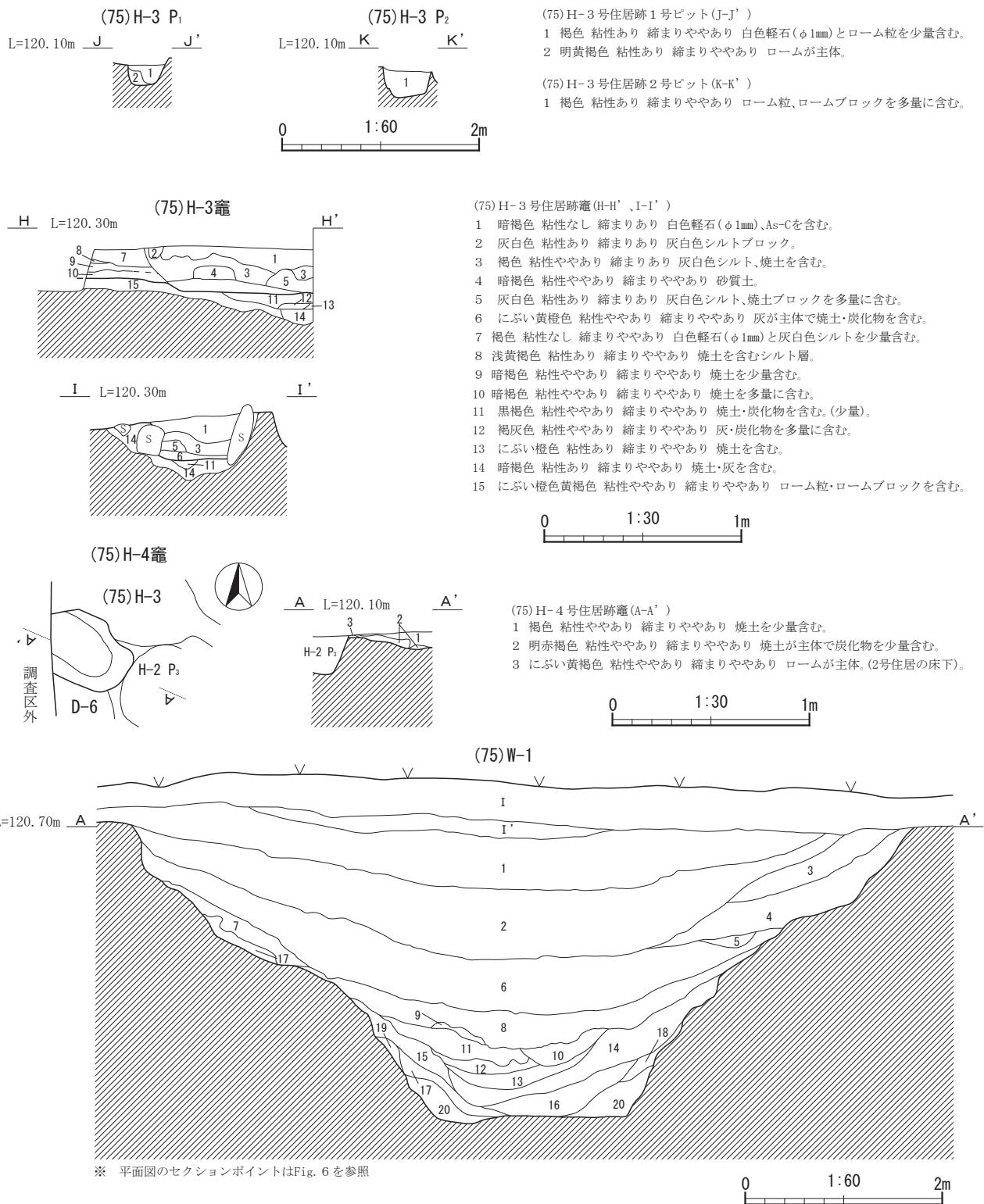


Fig. 16 (75) H-3 • 4、W-1

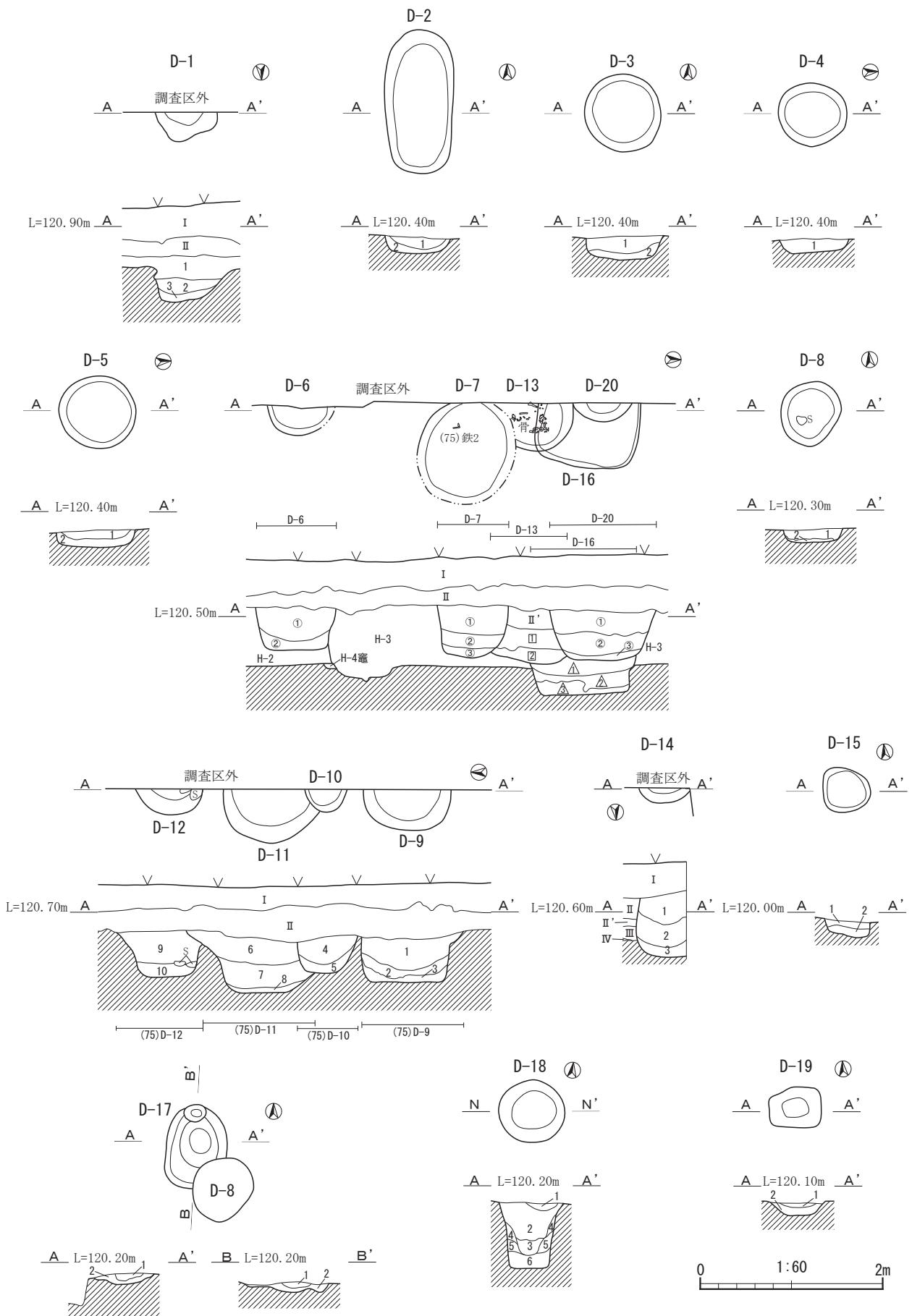


Fig. 17 (75) 土坑群

- (75) D-1号土坑
 1 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含む。
 2 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を含む。
 3 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- (75) D-2号土坑
 1 黒褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- (75) D-3号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含む。
 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- (75) D-4号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含む。
- (75) D-5号土坑
 1 黑褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含む。
 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- (75) D-6号土坑
 ① 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、小礫を少量含む。
 ② 褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、ローム粒・小礫を少量含む。
- (75) D-7号土坑
 ① 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含む。
 ② 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、小礫を少量含む。
 ③ 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- (75) D-8号土坑
 1 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、ローム粒を含む。
- (75) D-9～12号土坑
 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫を含む。
 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、ローム粒を含む。
 3 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-B、ローム粒・小礫を含む。
 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを含み、小礫を少量含む。
 5 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫を含む。
 6 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
 7 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bと小礫を含む。
 8 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-B、ローム粒を含む。
 9 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを含む。
 10 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-B、ローム粒を含む。
- (75) D-13号土坑
 1 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、炭化物を少量含む。
 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫を含む。
- (75) D-14号土坑
 1 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、小礫を含む。
 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫を含む。
 3 黑褐色 粘性あり 締まりややあり As-B、小礫を少量含む。
- (75) D-15号土坑
 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を少量含む。
 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ロームブロックを少量含む。
- (75) D-16号土坑
 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-B、小礫を含む。
 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫、ローム粒を含み、下位に炭化物出土。
 3 黄褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒が主体で、ロームブロックを含む。
- (75) D-17号土坑
 1 褐色 粘性あり 締まりあり 燃土・炭化物、灰を多量に含む。
 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。
- (75) D-18号土坑
 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C、Hr-FP含む。
 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり 小礫を少量含む。
 3 暗褐色 粘性あり 締まりややあり 小礫を含む。
 4 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を含む。
 5 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。
 6 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。
- (75) D-19号土坑
 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ロームブロック少量含む。
 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。
- (75) D-20号土坑
 ① 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを多量に含む。
 ② 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を含む。
 ③ 褐色 粘性なし 締まりあり As-Bの二次堆積。

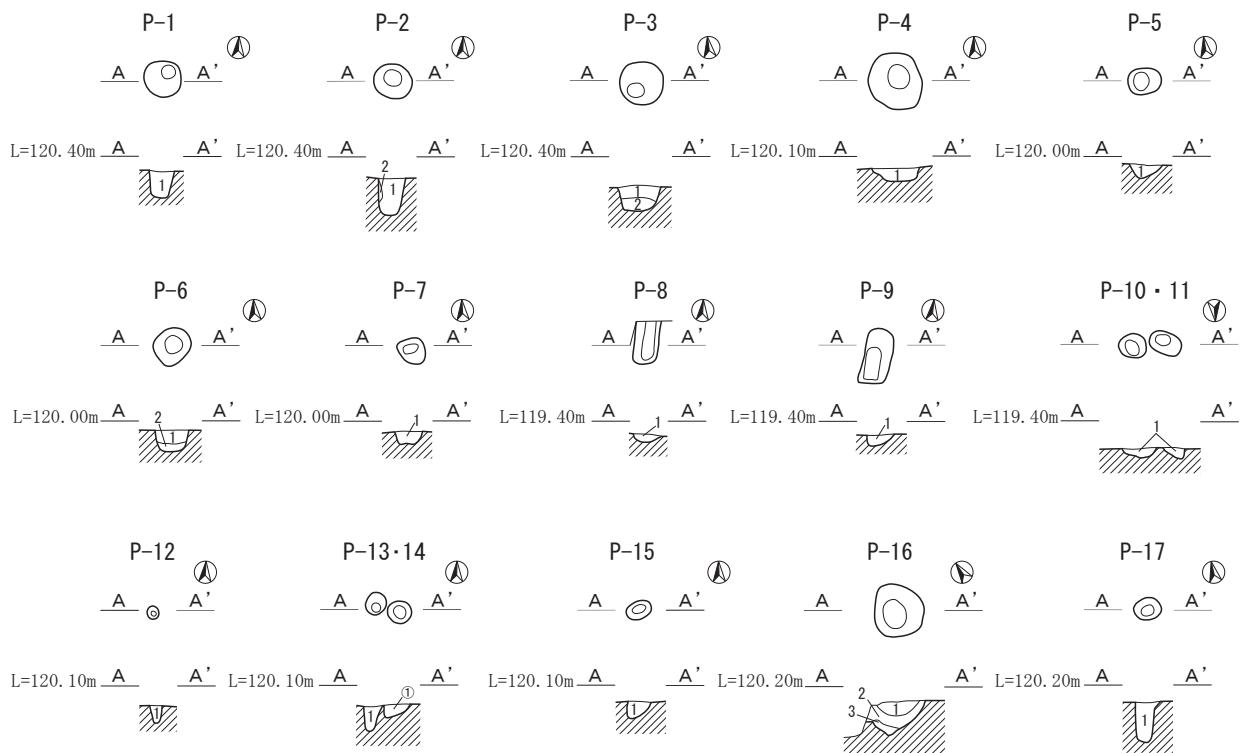


Fig. 18 (75) 土坑群、ピット群

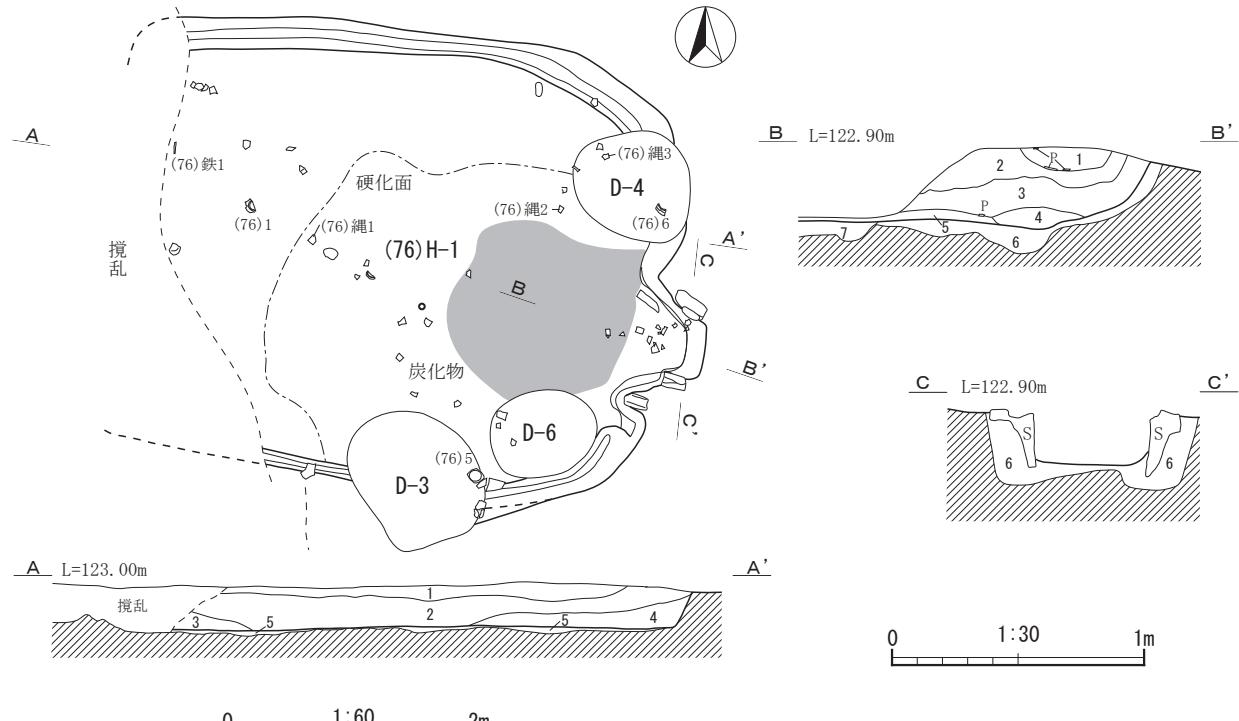
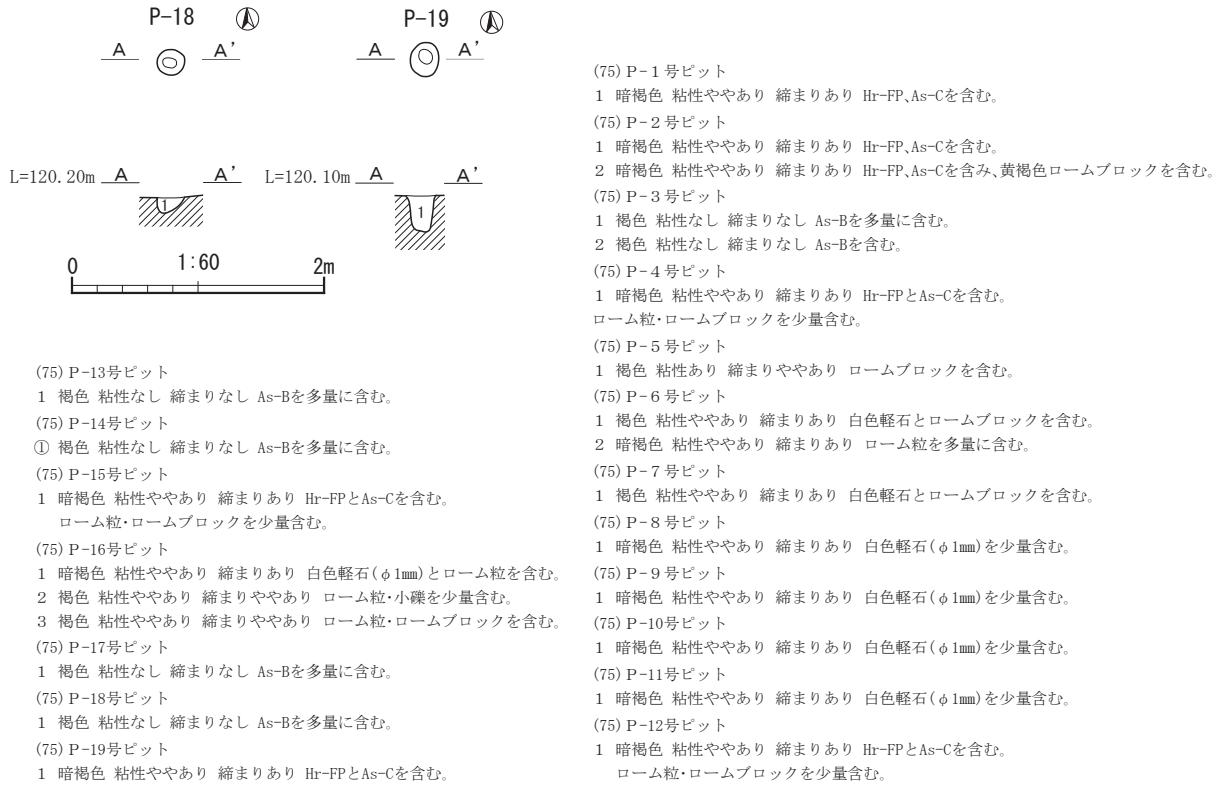


Fig. 19 (75) ピット群、(76) H-1

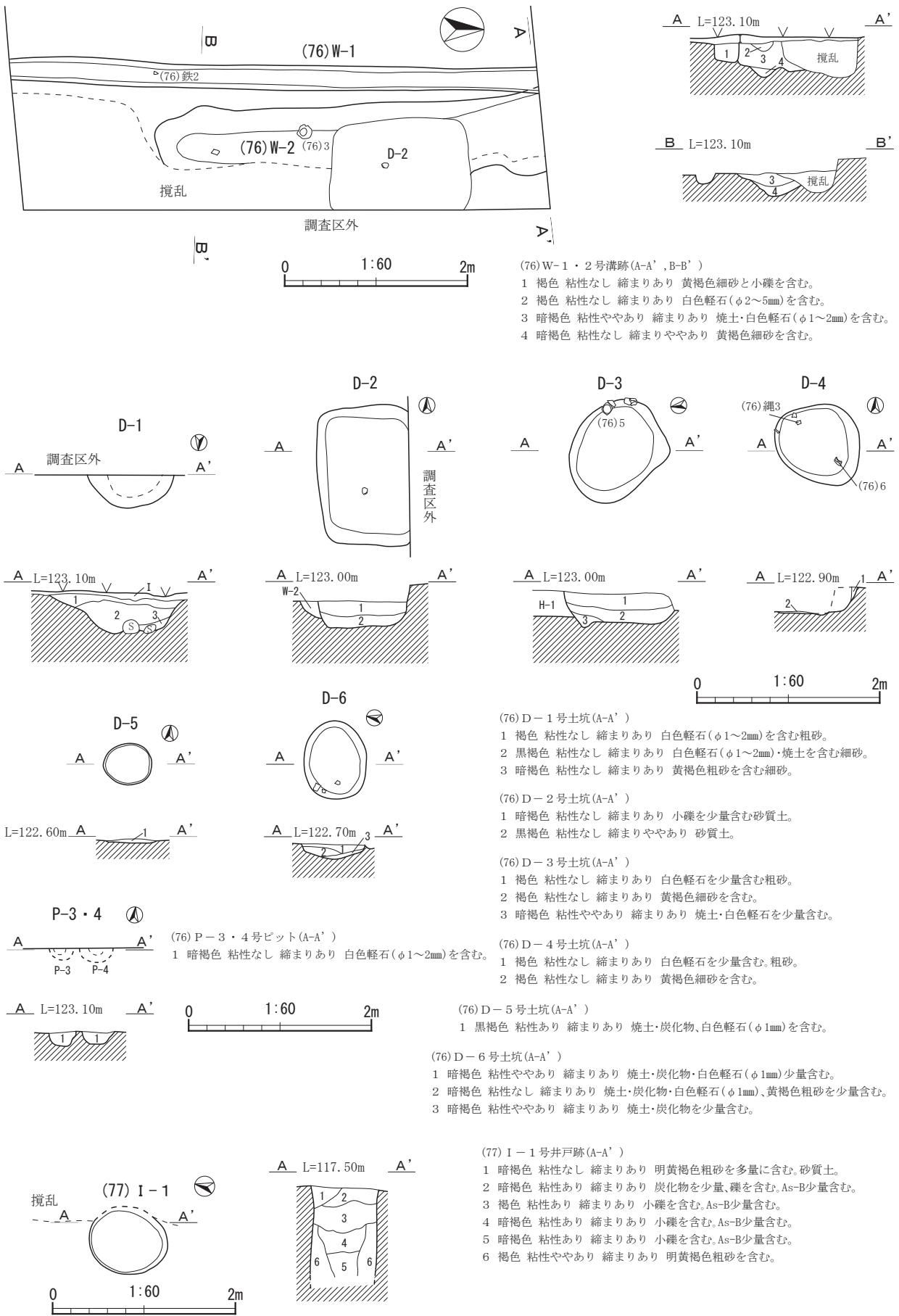


Fig. 20 (76) W-1 + 2号溝跡、土坑群、ピット群 (77) I-1号井戸跡

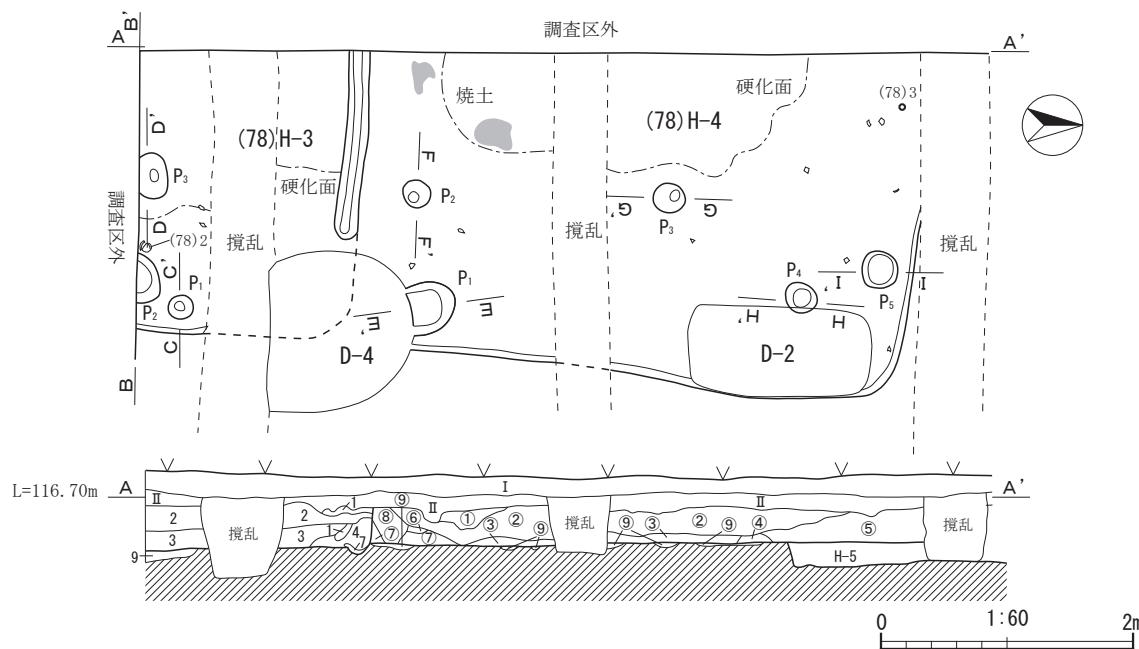
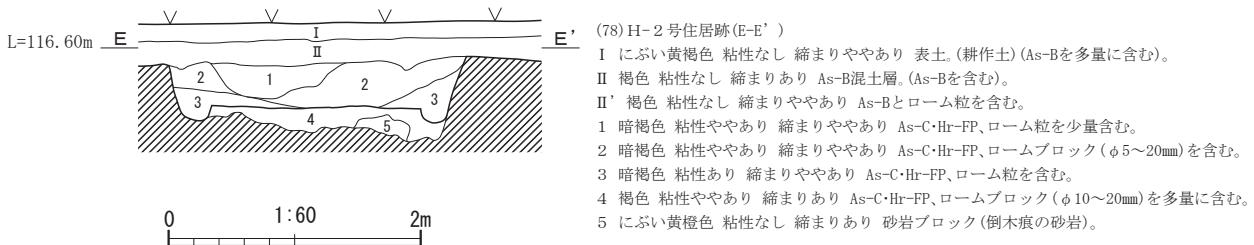
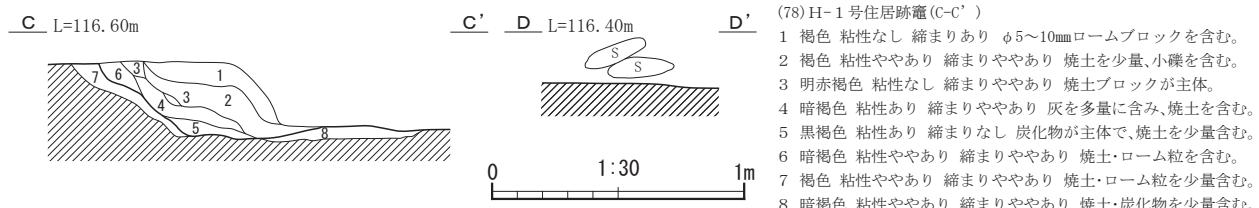
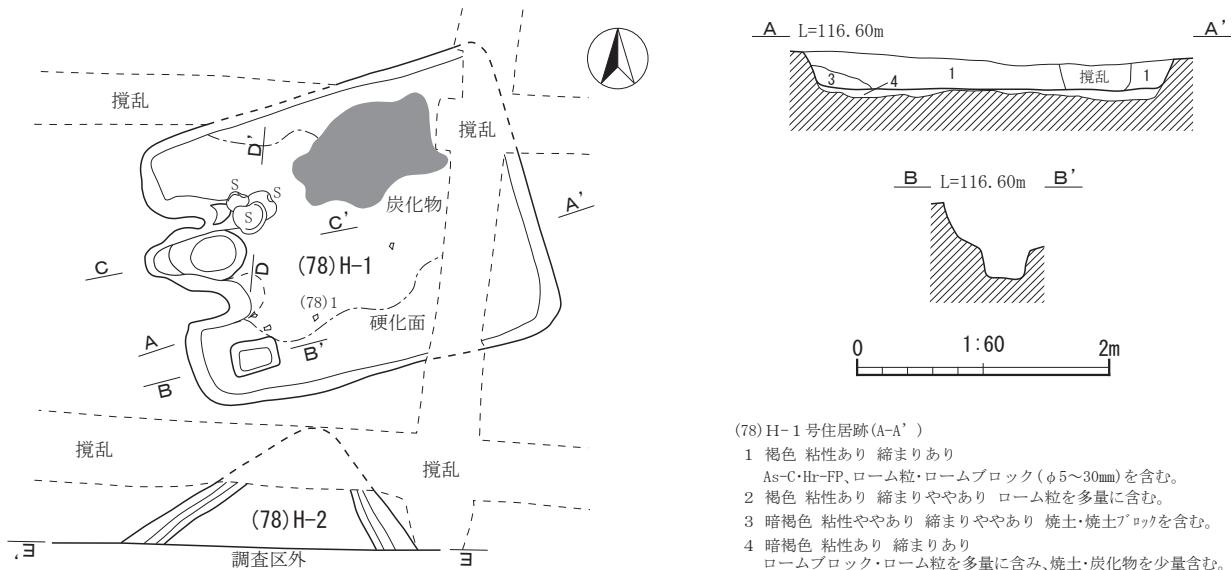
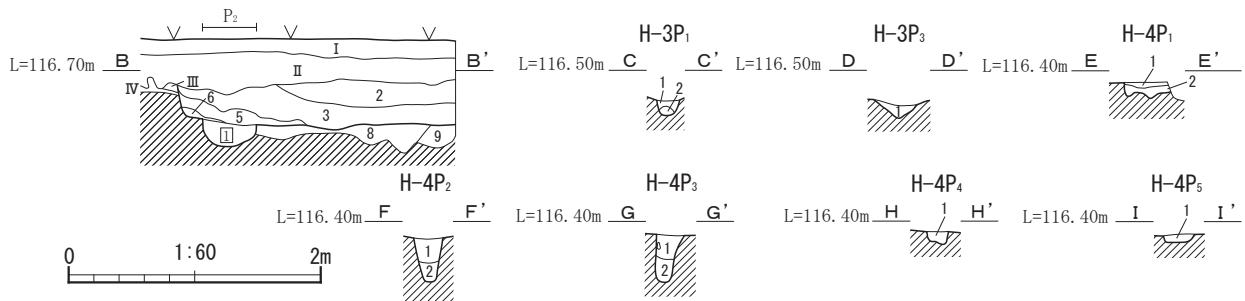


Fig. 21 (78) H-1 ~ 4



(78) H-3・4号住居跡(A-A', B-B')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まりなし As-B、炭化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、白色軽石、小礫を含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石、ローム粒、小礫を含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ロームブロック(φ20~50mm)、ローム粒を多量に含む。
- 5 褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質ブロック(φ10~50mm)を多量に含む。(倒木痕の土)。
- 6 暗褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒を多量に含む。
- 7 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。
- 8 暗褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒を含む。
- 9 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。
- ① 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 焼土・炭化物・灰を含む。(P2)
- ② 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、ローム粒を少量含む。
- ③ 褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石、ローム粒、小礫を少量含む。
- ④ 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。
- ⑤ 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石、ローム粒を含む。
- ⑥ 暗黄褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒が主体。
- ⑦ 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石、ローム粒、炭化物を少量含む。
- ⑧ 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、小礫を含む。(桑を植えたあと)。
- ⑨ 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒・ロームブロック(φ5~10mm)を含む。

(78) H-3号住居跡 1号ピット(C-C')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりあり 白色軽石、ローム粒、小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-3号住居跡 3号ピット(D-D')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒、小礫を含む。

(78) H-4号住居跡 1号ピット(E-E')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石を含み、小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。

(78) H-4号住居跡 2号ピット(F-F')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石を含み、小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-4号住居跡 3号ピット(G-G')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石を含み、小礫を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-4号住居跡 4号ピット(H-H')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石を含み、小礫を少量含む。

(78) H-4号住居跡 5号ピット(I-I')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石を含み、小礫を少量含む。

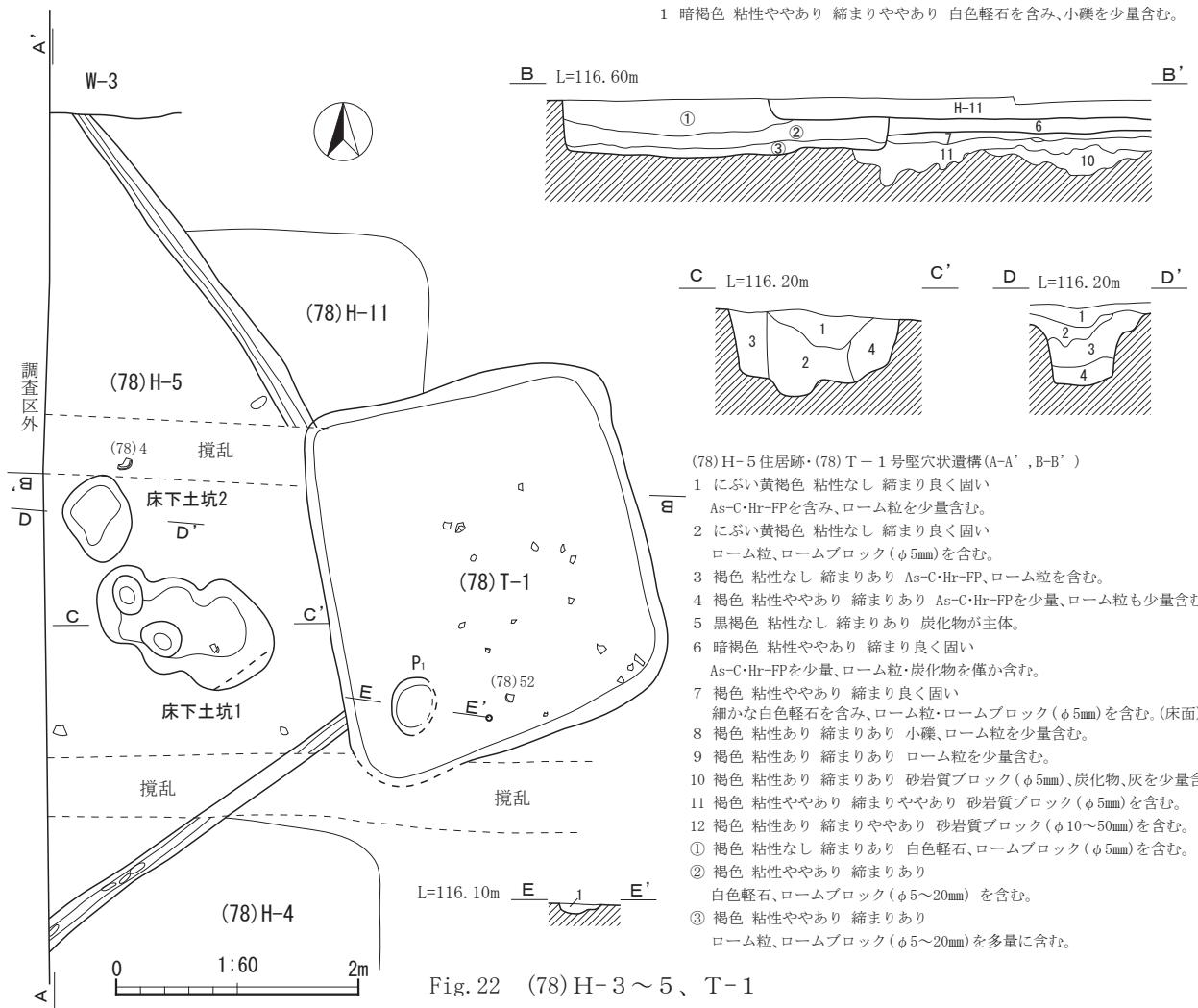
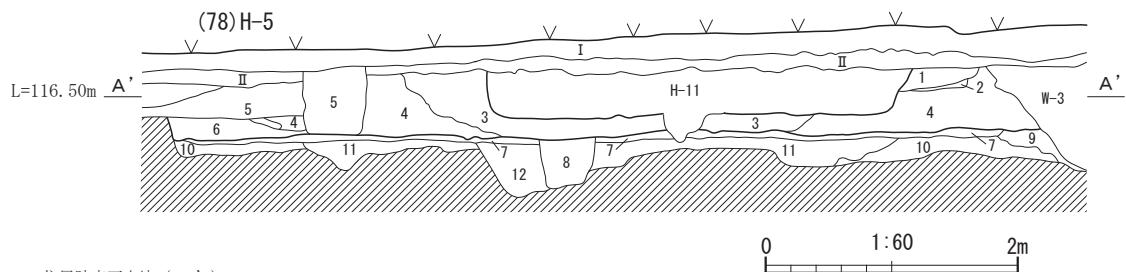


Fig. 22 (78) H-3～5、T-1



(78) H-5 住居跡床下土坑1(C-C')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まりあり 砂質粒を少量含む。
 - 2 褐色 粘性なし 締まりあり 砂質ブロック（ $\phi 10\sim 50\text{mm}$ ）を多量に含む。
 - 3 褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質ブロック（ $\phi 10\sim 30\text{mm}$ ）を含む。
 - 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質ブロック（ $\phi 5\sim 25\text{mm}$ ）を多量に含む。

(78) T-1号堅穴状遺構1号ピット(E-E')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石を含み、炭化物を少量含む。

(78) H-5 住居跡床下土坑2(D-D')

- 褐色 粘性ややあり 締まり良好固い
細かな白色軽石を含み、ローム粒・ロームブロック(φ 5mm)を含む。(床面)。
 - 褐色 粘性ややあり 締まりやや砂岩質ブロック(φ 5mm)を含む。
 - 暗褐色 粘性なし 締まりややあり 砂質ブロック(φ 10～50mm)を多量に含む。
 - 黒褐色 粘性なし 締まりややあり 砂質ブロック(φ 10mm)を含む。

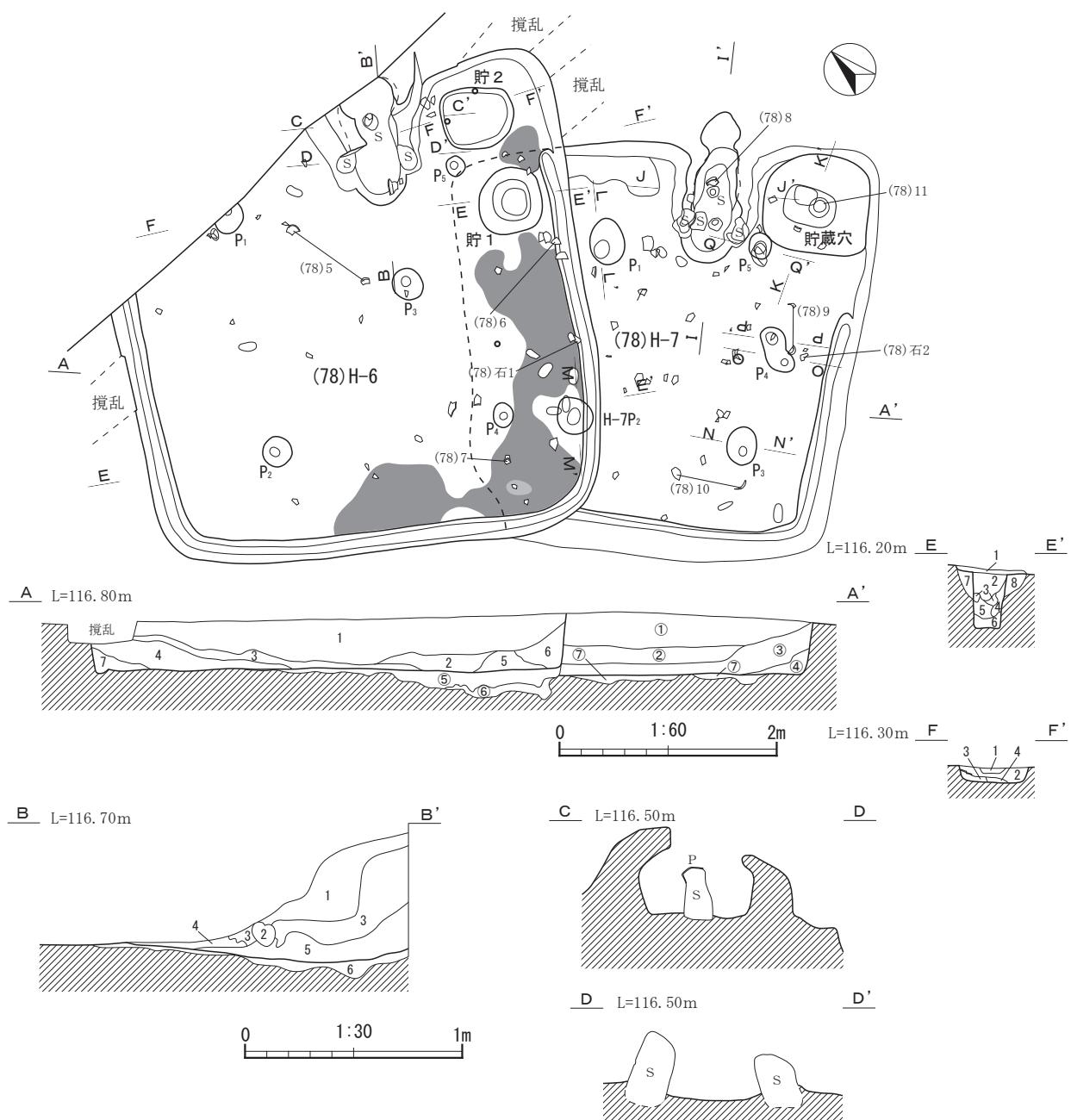


Fig. 23 (78) H-5 ~ 7

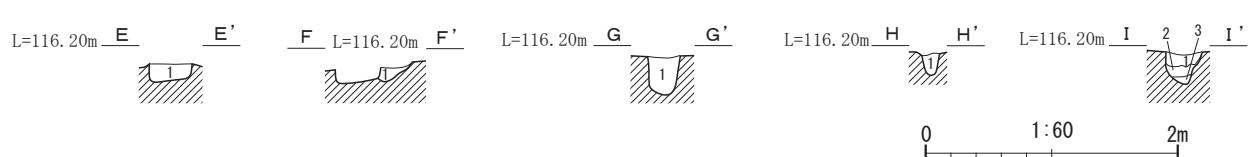
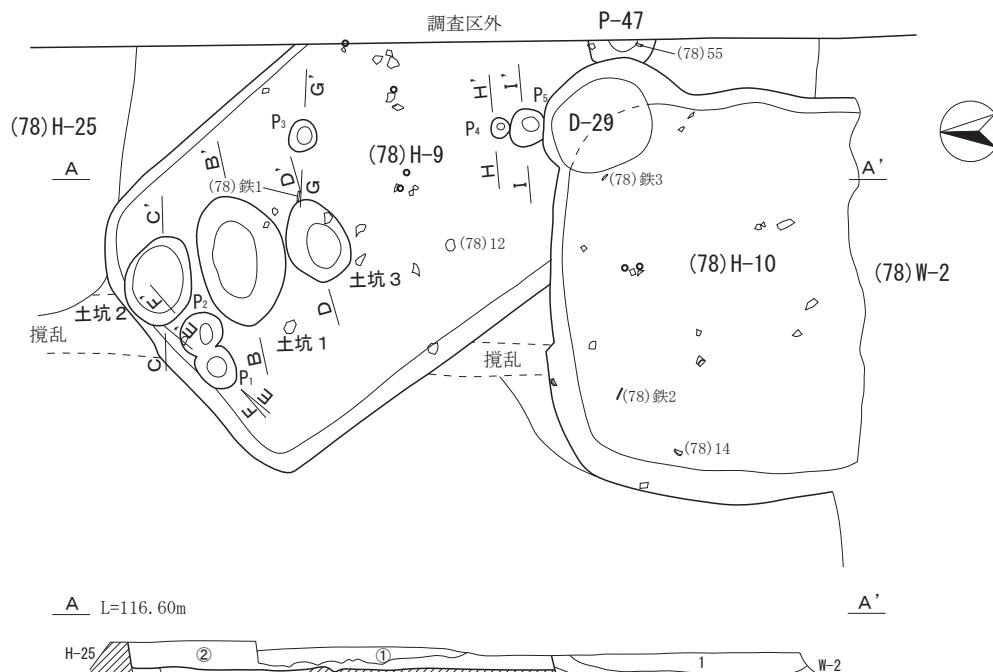
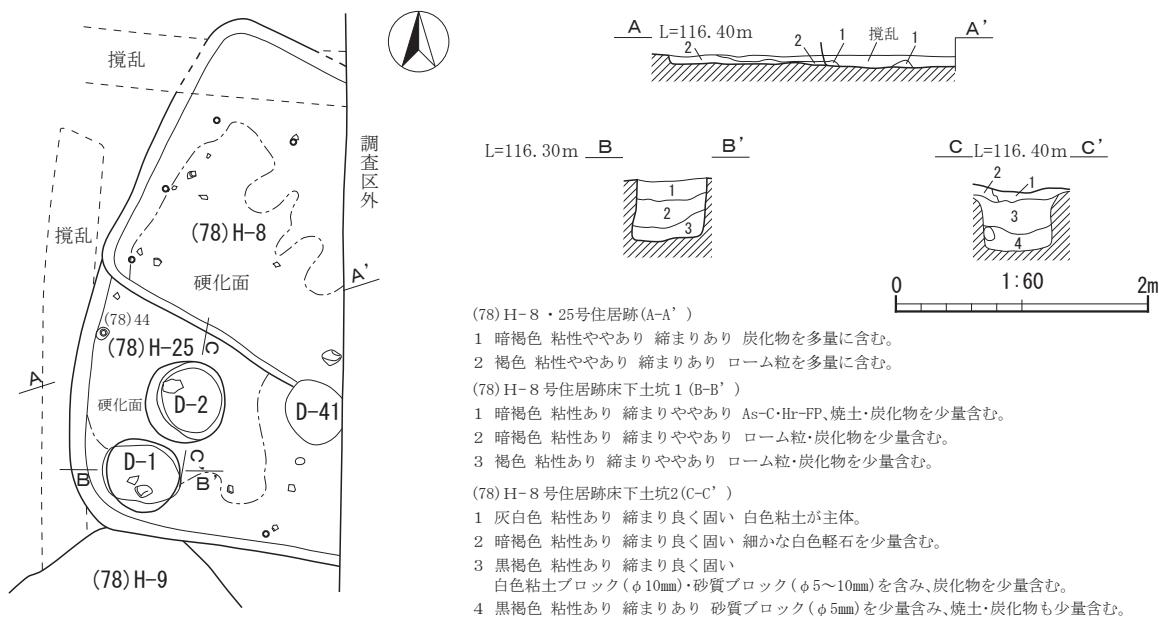


Fig. 25 (78) H-8 ~ 10 · 25

- (78) H-9・10号住居跡(A-A')
- ① 褐色 粘性なし 締まりあり As-C-Hr-FPを多量に含む。
 - ② 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FP・ローム粒を含む。
 - ③ 褐色 粘性あり 締まり良く固い
細かな白色軽石を少量含み、砂質粒・ブロック(Φ5~50mm)を含む。
 - ④ 暗褐色 粘性あり 締まりあり 細かな白色軽石を少量含み、砂質粒も少量含む。
- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FP、ローム粒を含み、焼土・炭化物を少量含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-C-Hr-FPを少量含み、ロームブロック(Φ5~10mm)を含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを含む。

(78) H-9号住居跡1・3号土坑(B-B', D-D')

- 1 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒を少量含む。

(78) H-9号住居跡2号土坑(C-C')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを含み、炭化物を僅か含む。

- (78) H-9号住居跡1号ピット(E-E')
- 1 褐色 粘性なし 締まり良好 固い As-Bを多量に含み、炭化物を僅か含む。

(78) H-9号住居跡2号ピット(F-F')

- 1 褐色 粘性なし 締まり良好 固い As-Bを含み、ローム粒を多量に含む。

(78) H-9号住居跡3号ピット(G-G')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まり良好 固い As-C-Hr-FPを含む。

(78) H-9号住居跡4号ピット(H-H')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-9号住居跡5号ピット(I-I')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C-Hr-FPを含み、ローム粒を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 砂質ブロック(Φ10~50mm)を多量に含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を含む。

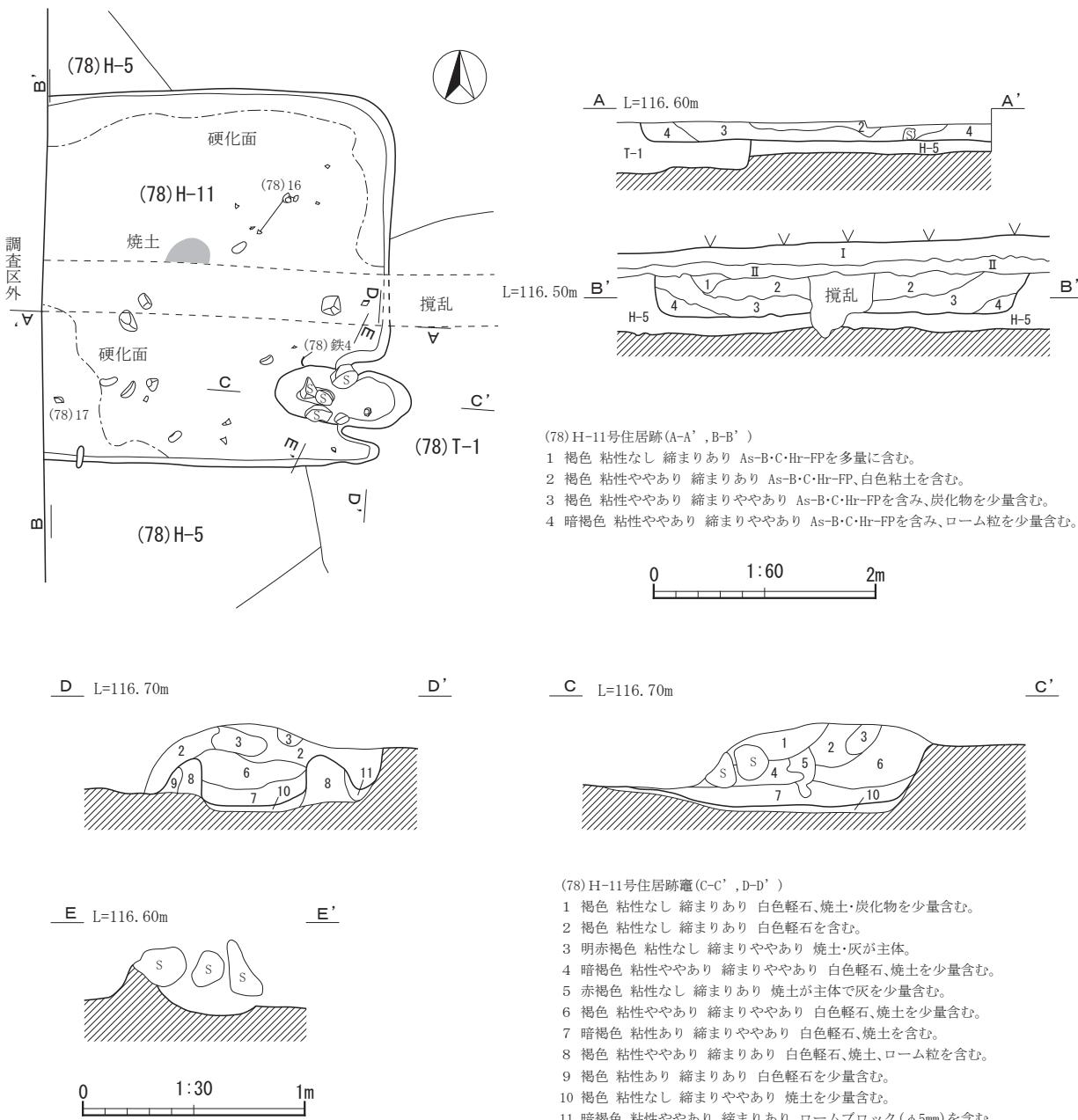
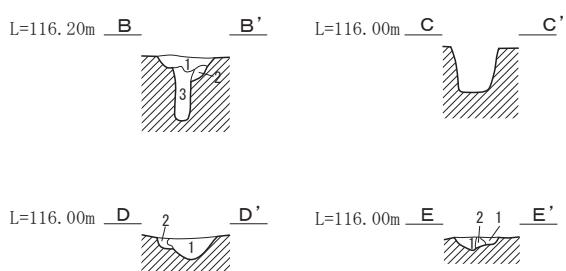
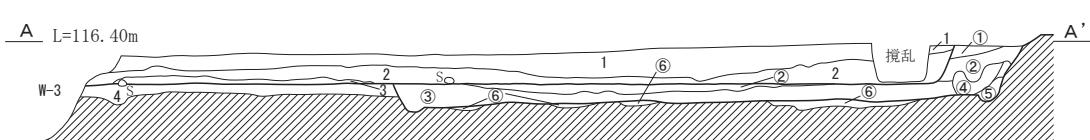
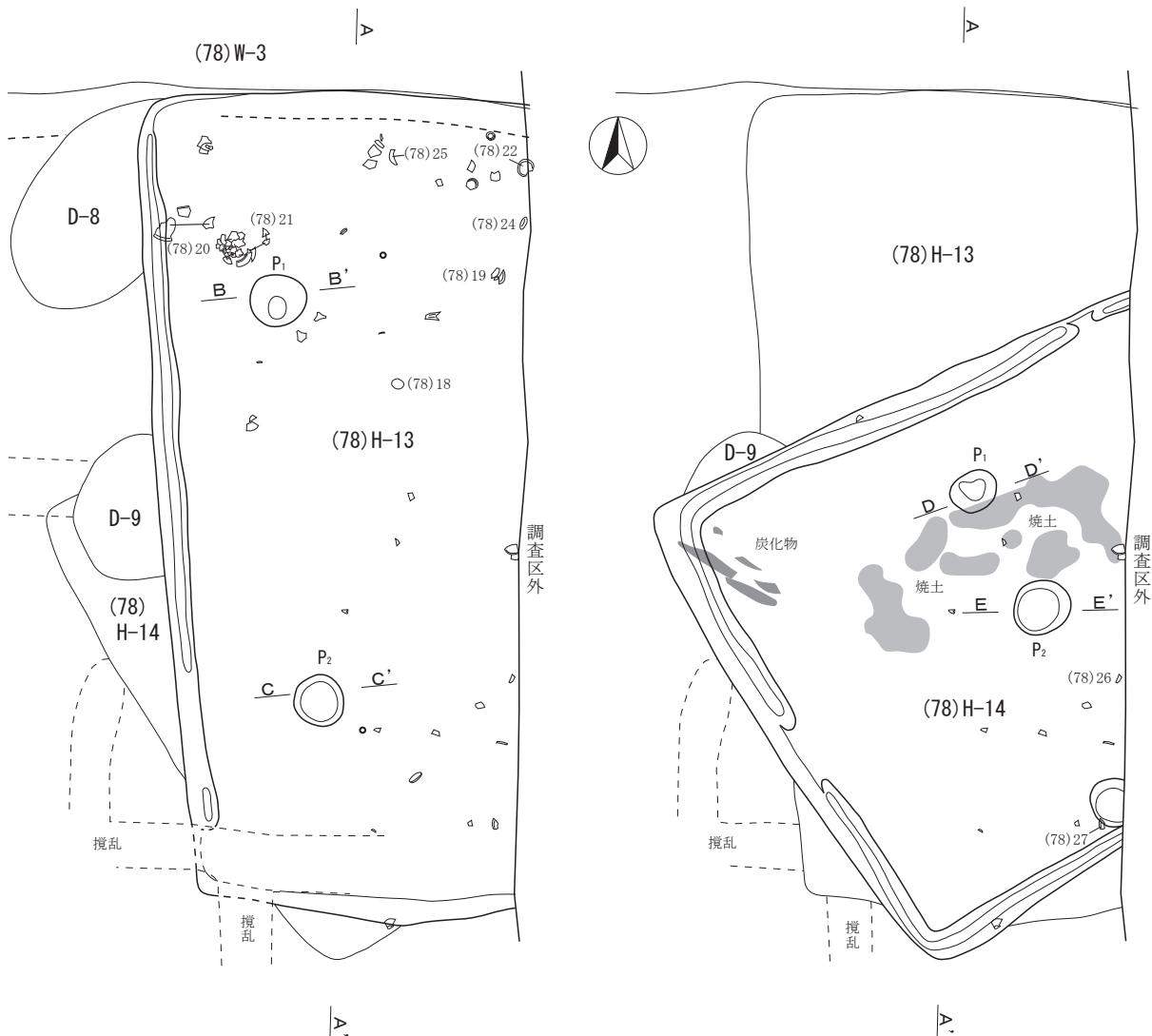


Fig. 26 (78) H-9 ~ 11



(78) H-14号住居跡1号ピット(D-D')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり 総社砂層ブロック($\phi 5\sim30mm$)を多量に含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりややあり 総社砂層ブロック($\phi 30mm$)を多量に含む。

(78) H-14号住居跡2号ピット(E-E')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石・小礫を含む。
- 2 褐色 粘性なし 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) H-13・14号住居跡(A-A')

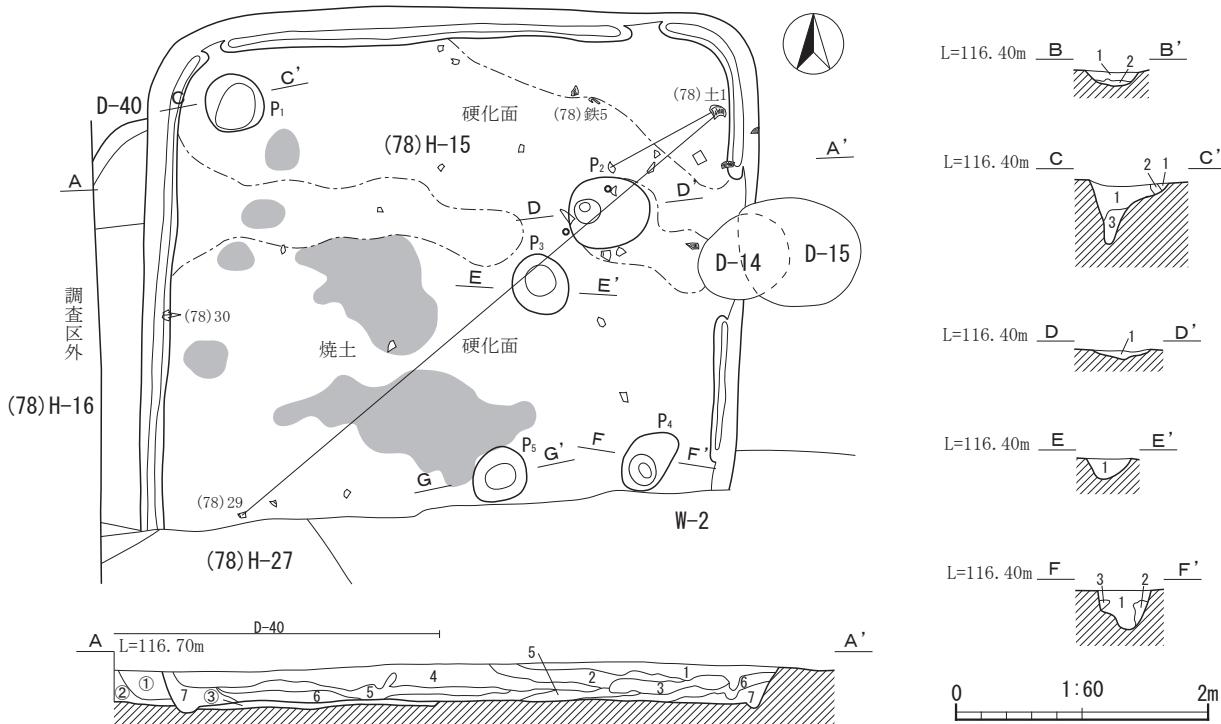
- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B-C-Hr-FP・ローム粒を含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり As-B-C-Hr-FP・ローム粒を多量に含む。
- 3 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-B-C-Hr-FPを含み、ローム粒・ロームブロックを多量に含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりあり ロームブロック($\phi 5\sim10mm$)を多量に含む。(掘り方)。
- ① 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-B-C-Hr-FPを多量に含み、小礫を含む。
- ② 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B-C-Hr-FP・ローム粒・小礫を含む。
- ③ 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-B-C-Hr-FPを少量、ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim10mm$)を含む。
- ④ 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ロームブロック($\phi 5\sim20mm$)を含む。
- ⑤ 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。
- ⑥ 暗褐色 粘性なし 締まりあり 上位(床面)に焼土と炭化物が確認でき、覆土に砂質ブロック($\phi 5\sim10mm$)を含む。

(78) H-13号住居跡1号ピット(B-B')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。
- 2 黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり ロームブロックを含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりなし ローム粒を多量に含む。

0 1:60 2m

Fig. 27 (78) H-13・14



(78) H-15号住居跡・40号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりあり As-C-Hr-FPを含み、焼土・炭化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 焼土・炭化物を含む。
- 3 黒褐色 粘性なし 締まりややあり 焼土・炭化物を多量に含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりあり 焼土・炭化物を少量含む。
- 5 黑褐色 粘性なし 締まりややあり 焼土・炭化物を含む。
- 6 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒・ロームブロックを含む。
- 7 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C-Hr-FP・ローム粒を少量含む。
- ① 褐色 粘性なし 締まりややあり As-C-Hr-FPを含み、ローム粒を少量含む。
- ② 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を含む。
- ③ 褐色 粘性あり 締まりあり As-C-Hr-FPを含み、焼土・炭化物を少量含む。

(78) H-15号住居跡1号ピット(B-B')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり
ローム粒を多量に含み、白色軽石・焼土・炭化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性なし 締まりややあり 灰・ローム粒・ロームブロック(Φ10mm)を含む。

(78) H-15号住居跡2号ピット(C-C')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FP・ローム粒を含み、炭化物を僅か含む。
- 2 黄褐色 粘性なし 締まりややあり ロームブロック。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。

(78) H-15号住居跡3号ピット(D-D')

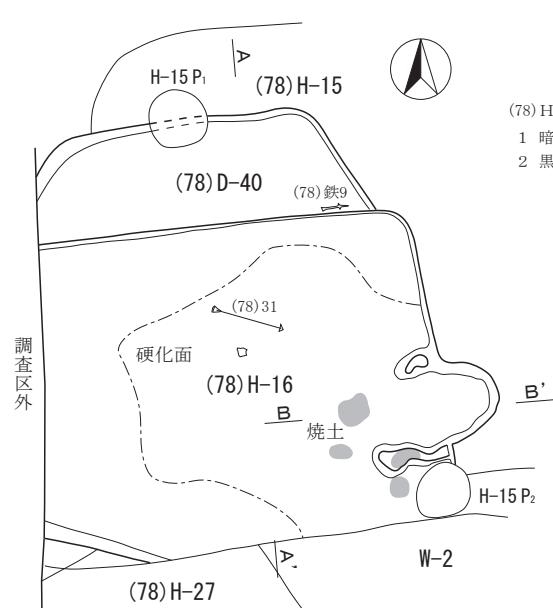
- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FP・白色粘土・ロームブロックを少量含む。

(78) H-15号住居跡4号ピット(E-E')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FPを含み、ローム粒を多量に含む。

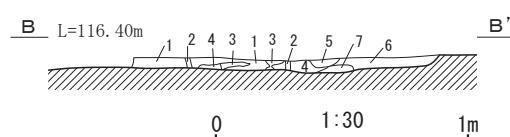
(78) H-15号住居跡5号ピット(F-F')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり
As-C-Hr-FPを少量、ロームブロック(Φ5~10mm)を含む。炭化物も少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。
- 3 褐色 粘性なし 締まりややあり ソフトローム。



(78) H-16号住居跡(A-A')

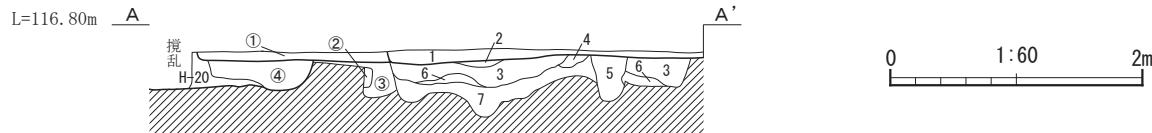
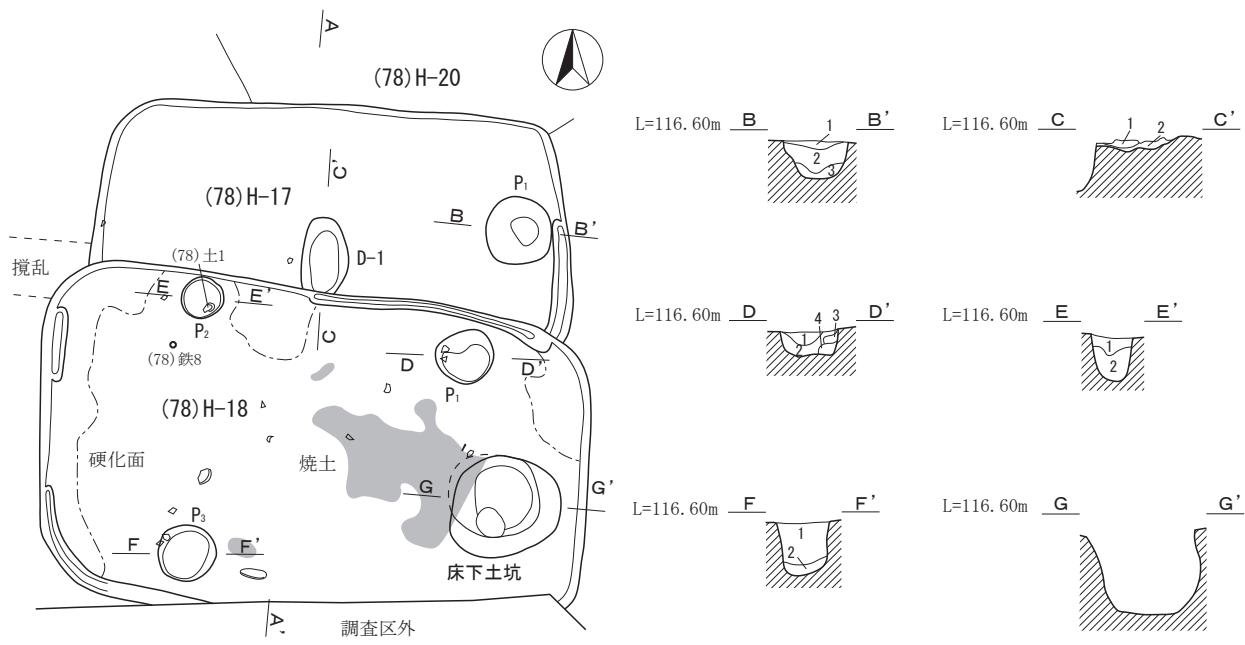
- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを多量に含み、焼土・炭化物・ローム粒を含む。
- 2 黑褐色 粘性あり 締まりあり 炭化物が主体で、灰・ローム粒を少量含む。



(78) H-16号住居跡(B-B')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FPを少量含み、焼土を含む。
- 2 黑褐色 粘性ややあり 締まりややあり 炭化物が主体。
- 3 黑褐色 粘性ややあり 締まりあり 焼土・灰を少量含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりあり 焼土・灰を多量に含む。
- 5 にぶい褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土が主体で、焼土・灰を少量含む。
- 6 褐色 粘性ややあり 締まりあり 焼土・灰を含む。
- 7 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 灰が主体。

Fig. 28 (78) H-15・16、D-40



(78) H-17・18号住居跡(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石、ローム粒を含む。
 - 2 にぶい褐色 粘性なし 締まりあり 炭化物を少量、ロームブロックを含む。
 - 3 褐色 粘性なし 締まりややあり
ローム粒・ロームブロック(φ5~10mm)を多量に含む。
 - 4 明黄褐色 粘性なし 締まりややあり 砂質ブロック。
 - 5 褐色 粘性なし 締まりややあり ローム粒を少量、炭化物を微量に含む。
 - 6 褐色 粘性なし 締まりややあり ローム粒を多量に含む。
 - 7 褐色 粘性ややあり 締まりややあり
ローム粒・ロームブロック(φ10~30mm)を含む。
- ① 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを多量に含み、炭化物・ローム粒を僅か含む。
- ② 暗褐色 粘性なし 締まりなし As-Bを少量含む。(木の根痕か、小動物痕)。
- ③ にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を少量含む。
- ④ 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒・ロームブロック(φ5~30mm)を含む。

(78) H-17号住居跡1号ピット(B-B')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり ローム粒を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を含む。
- 3 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。

(78) H-17号住居跡1号土坑(C-C')

- 1 褐色 粘性なし 締まりあり ロームブロック(φ20mm)を含み、炭化物を少量含む。
- 2 暗褐色 粘性なし 締まりあり ローム粒・灰を含む。

(78) H-18号住居跡1号ピット(D-D')

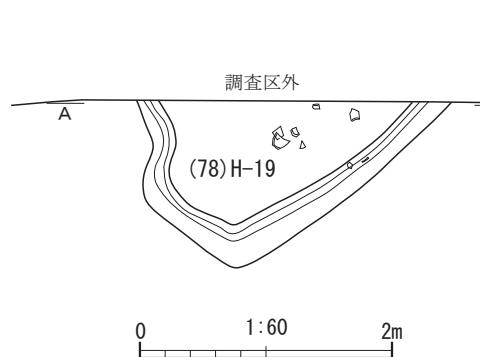
- 1 黄褐色 粘性なし 締まりあり 白色軽石・ローム粒を含み、炭化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒を多量に含み、炭化物を少量含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒を少量含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒を含む。

(78) H-18号住居跡2号ピット(E-E')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を多量に含む。

(78) H-18号住居跡3号ピット(F-F')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を多量に含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック(φ5mm)を多量に含む。



(78) H-19号住居跡(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを多量に含み、砂質ブロック(φ5mm)を少量含む。
- 2 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い 烧土・炭化物を少量含む。
- 3 褐色 粘性あり 締まりあり As-C-Hr-FPを少量、ローム粒・ブロック(φ5~10mm)を少量含む。
- 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒・炭化物を少量含む。
- 5 褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを含み、ローム粒を少量含む。
- 6 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-C-Hr-FPを少量含み、ローム粒を多量に含む。
- 7 明黄褐色 粘性あり 締まりややあり ロームブロック。

Fig. 29 (78) H-17~19

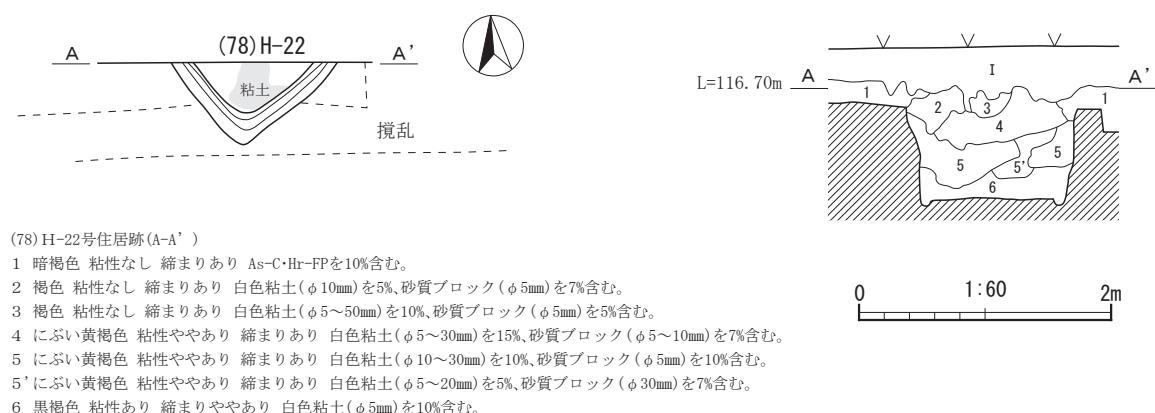
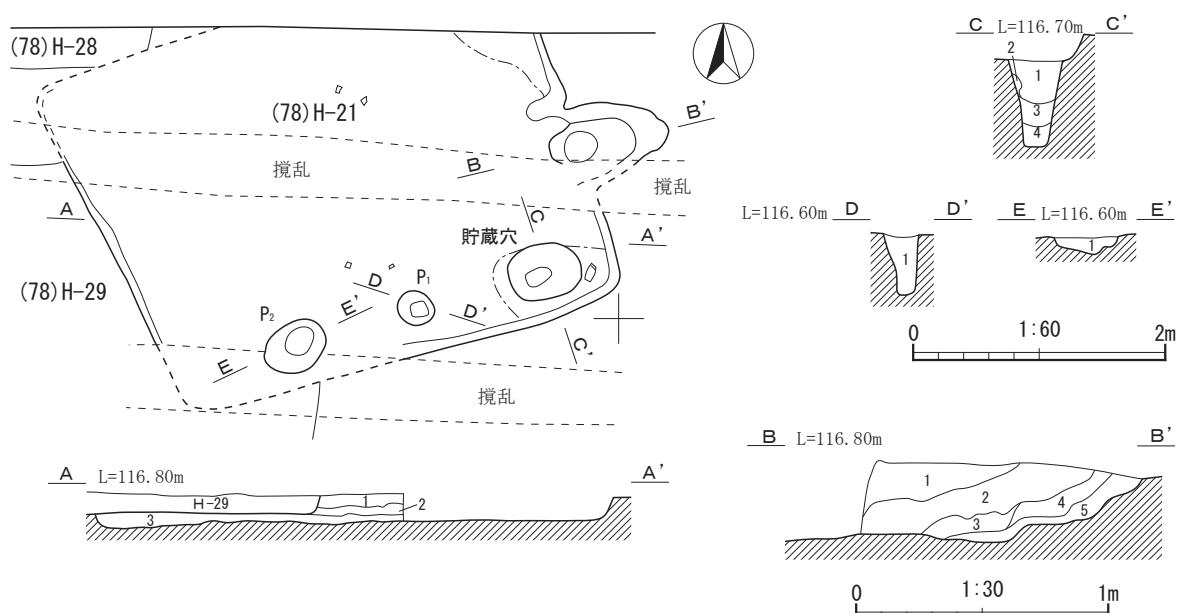
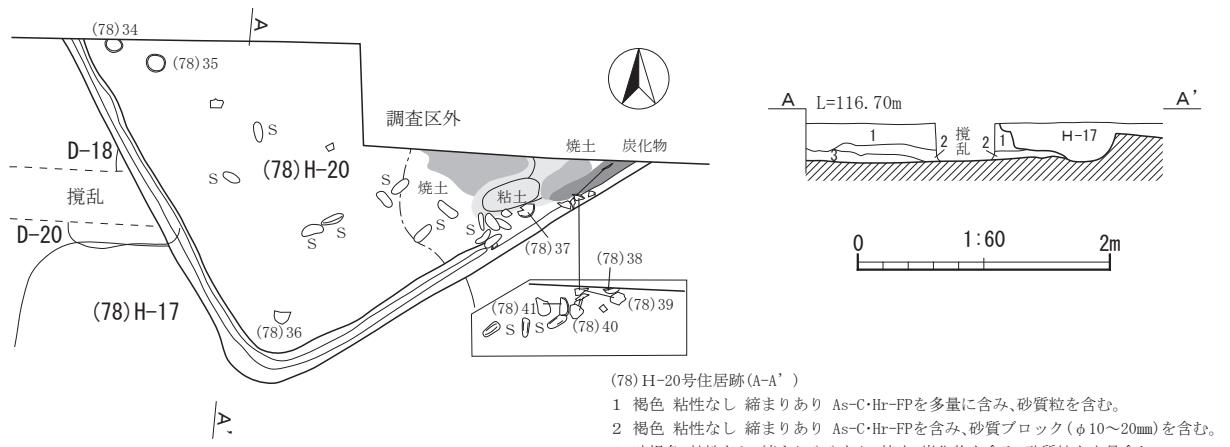
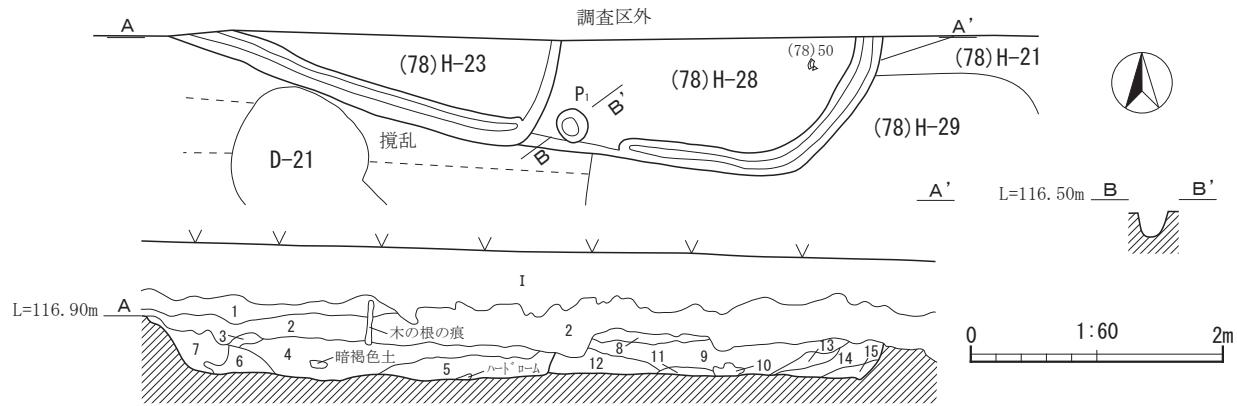
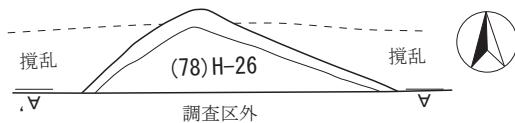


Fig. 30 (78) H-20~22



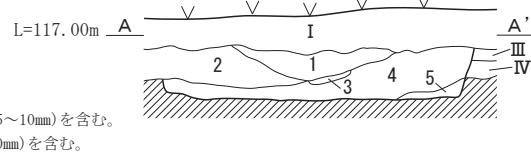
(78) H-23・28号住居跡(A-A')

- 1 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを多量に含む。
- 2 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを含み、ローム粒を少量含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを少量含み、ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 10mm$)も少量含む。
- 4 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを少量含み、ローム粒も少量含む。
- 5 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを少量含み、炭化物を僅か含む。
- 6 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒を少量含む。
- 7 褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 30mm$)を多量に含む。
- 8 暗褐色 粘性なし 締まりあり 炭化物を少量含み、As-Bを少量含む。
- 9 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを少量含み、ローム粒も少量含む。
- 10 褐色 粘性なし 締まりややあり 炭化物・灰を含む。
- 11 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック($\phi 10mm$)を含む。
- 12 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を含む。
- 13 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 炭化物・灰を含む。
- 14 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり 炭化物・灰を少量含む。
- 15 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり ローム粒・ロームブロック($\phi 5mm$)を含む。

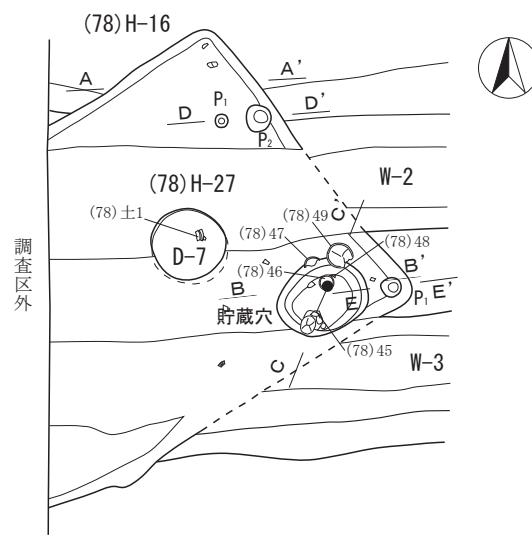


(78) H-26号住居跡(A-A')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C-Hr-FPを少量含み、ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 10mm$)を含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-C-Hr-FPを僅か含み、ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 10mm$)を含む。
- 3 黄褐色 粘性あり 締まりややあり ソフトローム。
- 4 褐色 粘性あり 締まりややあり 砂質粒・ブロック($\phi 5\sim 50mm$)を多量に含む。
- 5 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C-Hr-FPを僅か含み、ローム粒を少量含む。



0 1:60 2m



(78) H-27号住居跡(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C-Hr-FP、炭化物を僅か含む。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C-Hr-FPを含み、炭化物を少量含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質粒・ブロック($\phi 10\sim 30mm$)を少量含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりあり 炭化物・ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 10mm$)を少量含む。
- 5 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質粒・ブロック($\phi 10\sim 30mm$)を少量含む。

(78) H-27号住居跡貯蔵穴(B-B')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 燃土・炭化物を少量含む。
- 2 黄褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒が主体。
- 3 褐色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土を含み、炭化物・ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 5 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色粘土・ローム粒を多量に含む。
- 6 灰白色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土が主体。

Fig. 31 (78) H-23・26~28

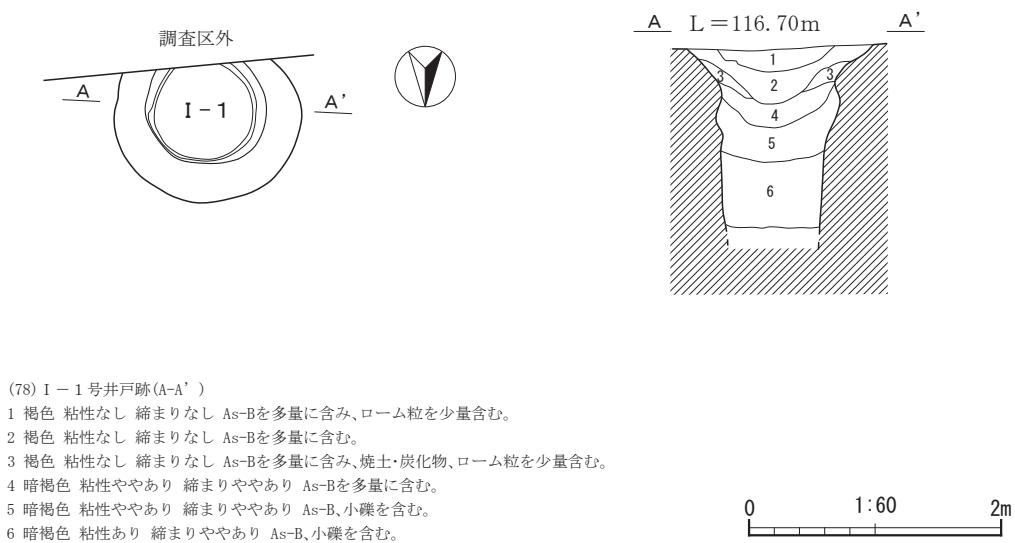
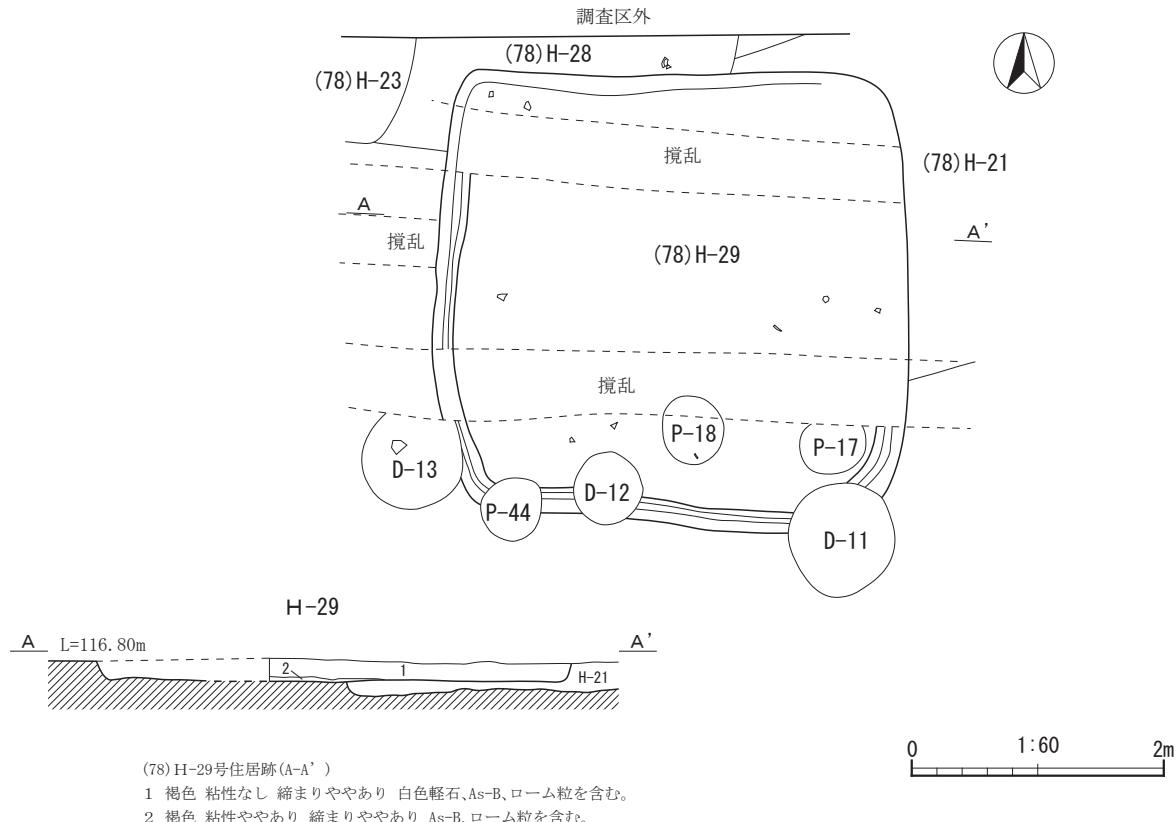
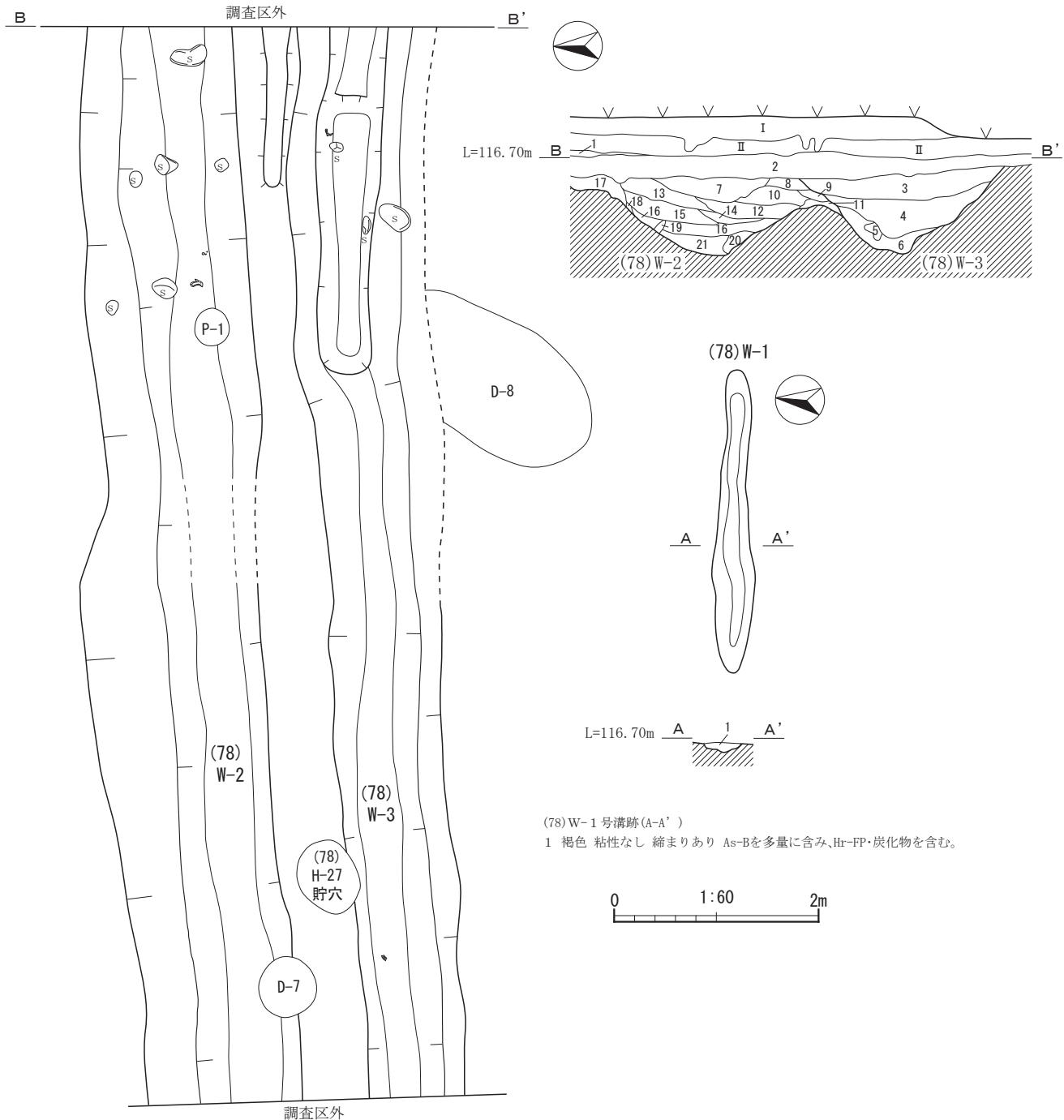


Fig. 32 (78) H-29、I - 1



(78) W-2・3号溝跡(B-B')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を少量含む。
- 3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 5 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含む。
- 6 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを含み、ローム粒・ロームブロックを含む。
- 7 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 8 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、ロームブロック(φ5~10mm)を含む。
- 9 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含み、白色軽石を含む。
- 10 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、白色軽石を僅か含む。
- 11 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B、ローム粒を含む。
- 12 暗褐色 粘性なし 締まりあり As-Bを多量に含み、ローム粒を少量含む。
- 13 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを多量に含む。
- 14 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを含み、ローム粒を多量に含む。
- 15 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを含む。
- 16 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを含み、ローム粒を少量含む。
- 17 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを多量に含む。
- 18 黄褐色 粘性なし 締まりあり ロームブロックが主体。
- 19 黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒が主体。
- 20 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ロームブロックを多量に含み、As-Bを含む。
- 21 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを含み、ローム粒を少量含む。

Fig. 33 (78) W-1 ~ 3

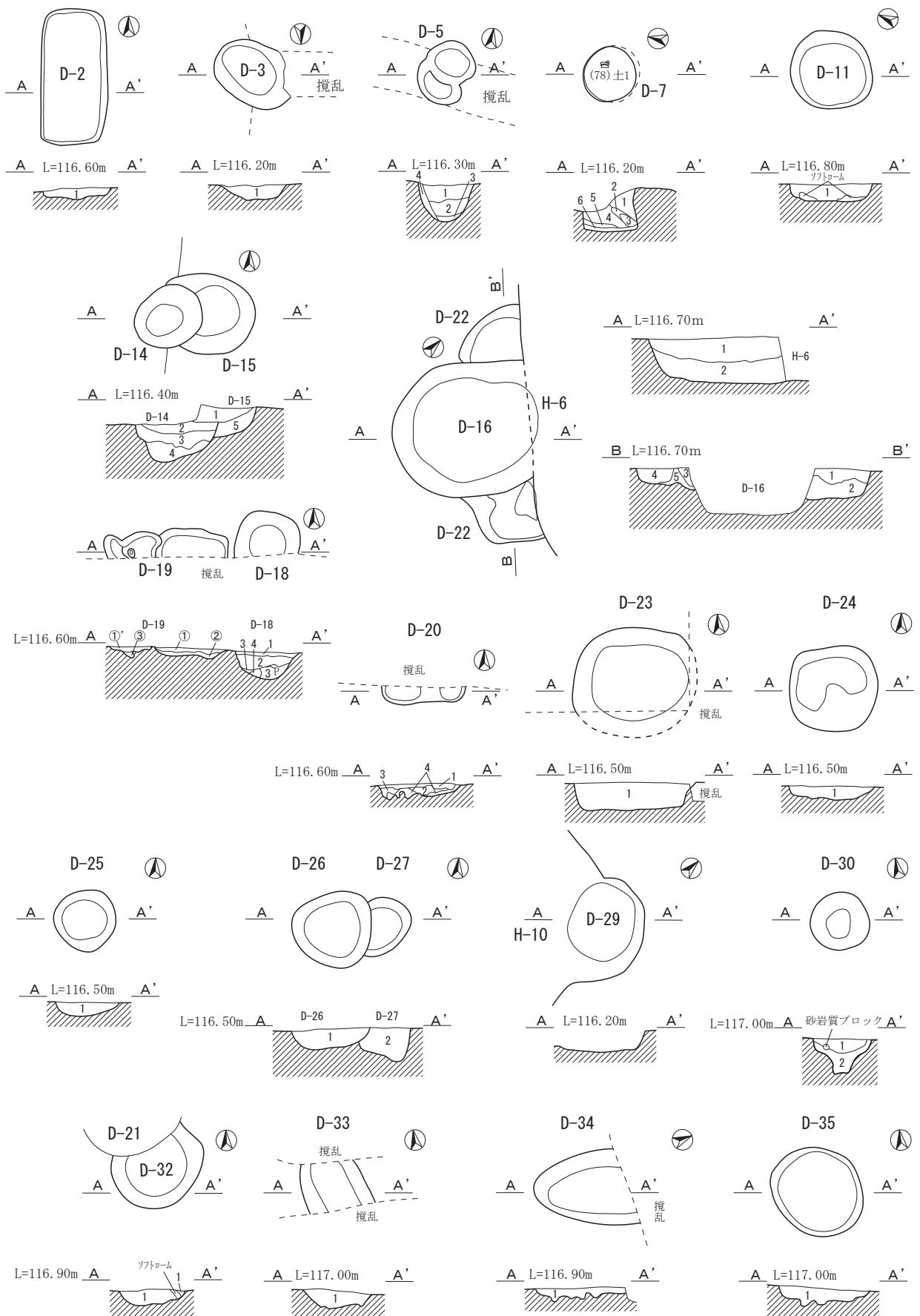
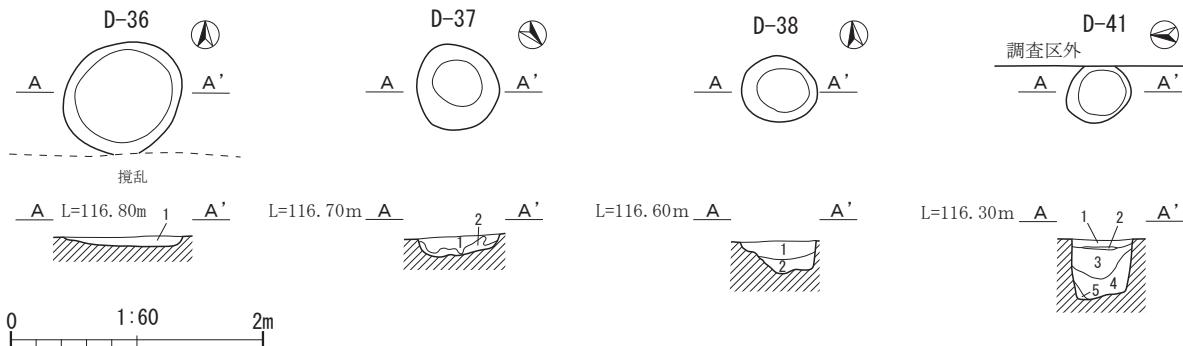


Fig. 34 (78) 土坑群



(78) D-2号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを少量含み、焼土・炭化物僅か含む。

(78) D-3号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒、ハードロームブロックを含む。

(78) D-5号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。
- 3 暗褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒をほとんど含まない。
- 4 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を少量含む。

(78) D-7号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを含み、焼土・白色軽石を少量含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。
- 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-B・炭化物・ローム粒を少量含む。
- 5 黒褐色 粘性ややあり 締まりあり 焼土・炭化物を少量含む。
- 6 黑褐色 粘性あり 締まりあり 炭化物を含む。

(78) D-11号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石を含み、炭化物・ローム粒を少量含む。

(78) D-14・15号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりあり 白色軽石を含み、焼土・炭化物を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を含む。
- 3 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を多く含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒・ロームブロックを少量含む。
- 5 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒を少量含む。

(78) D-16号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりあり As-B・砂質ブロックを含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-B・ロームブロックを含む。

(78) D-18・19号土坑(A-A')

- 1 褐色 白色軽石・焼土・灰・炭化物を含む。
- 2 褐色 白色軽石・ローム粒を少量含む。
- 3 褐色 白色軽石を少量、ローム粒を含む。
- 4 褐色 ローム粒を多量に含む。
- ① 褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石・ローム粒を少量含む。
- ①' 褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石を少量、ローム粒を含む。
- ② 褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石・ローム粒・焼土・炭化物を少量含む。
- ③ 暗褐色 粘性なし 締まりなし 炭化物を含む。

(78) D-20号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石・白色粘土を含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色粘土を多量に含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり 灰を多量に含む。
- 4 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) D-22号土坑(B-B')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック($\phi 30\text{mm}$)を少量含む。
- 2 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック($\phi 5\sim 10\text{mm}$)を含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を少量含む。
- 5 褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒・ロームブロック($\phi 5\text{mm}$)を少量含む。

(78) D-23号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり ロームブロック($\phi 5\sim 20\text{mm}$)を含み、炭化物を僅か含む。

(78) D-24号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量、ロームブロック($\phi 5\sim 10\text{mm}$)を僅か含む。

(78) D-25号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒・炭化物を僅か含む。

(78) D-26・27号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒・炭化物を僅か含む。

(78) D-30号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒を少量含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりあり ローム粒・ロームブロックを多量に含む。

(78) D-32号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒・炭化物を僅か含む。

(78) D-33号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C・Hr-FP・As-Bを含む。

(78) D-34号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を含む。

(78) D-35号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含む。

(78) D-36号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C・Hr-FP、ローム粒を含む。

(78) D-37号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、炭化物を多量に含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり ローム粒を多量に含む。

(78) D-38号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒を含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性あり 締まりややあり As-C・Hr-FPを少量含み、ローム粒・ロームブロック($\phi 10\text{mm}$)を含む。

(78) D-41号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C・Hr-FPを少量含み、炭化物を含む。
- 2 明黄褐色 粘性なし 締まりあり 砂質土。
- 3 暗褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土・砂質ブロックを少量含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりややあり 焼土・炭化物を少量含む。
- 5 褐色 粘性あり 締まりややあり ローム粒を少量含む。

Fig. 35 (78) 土坑群

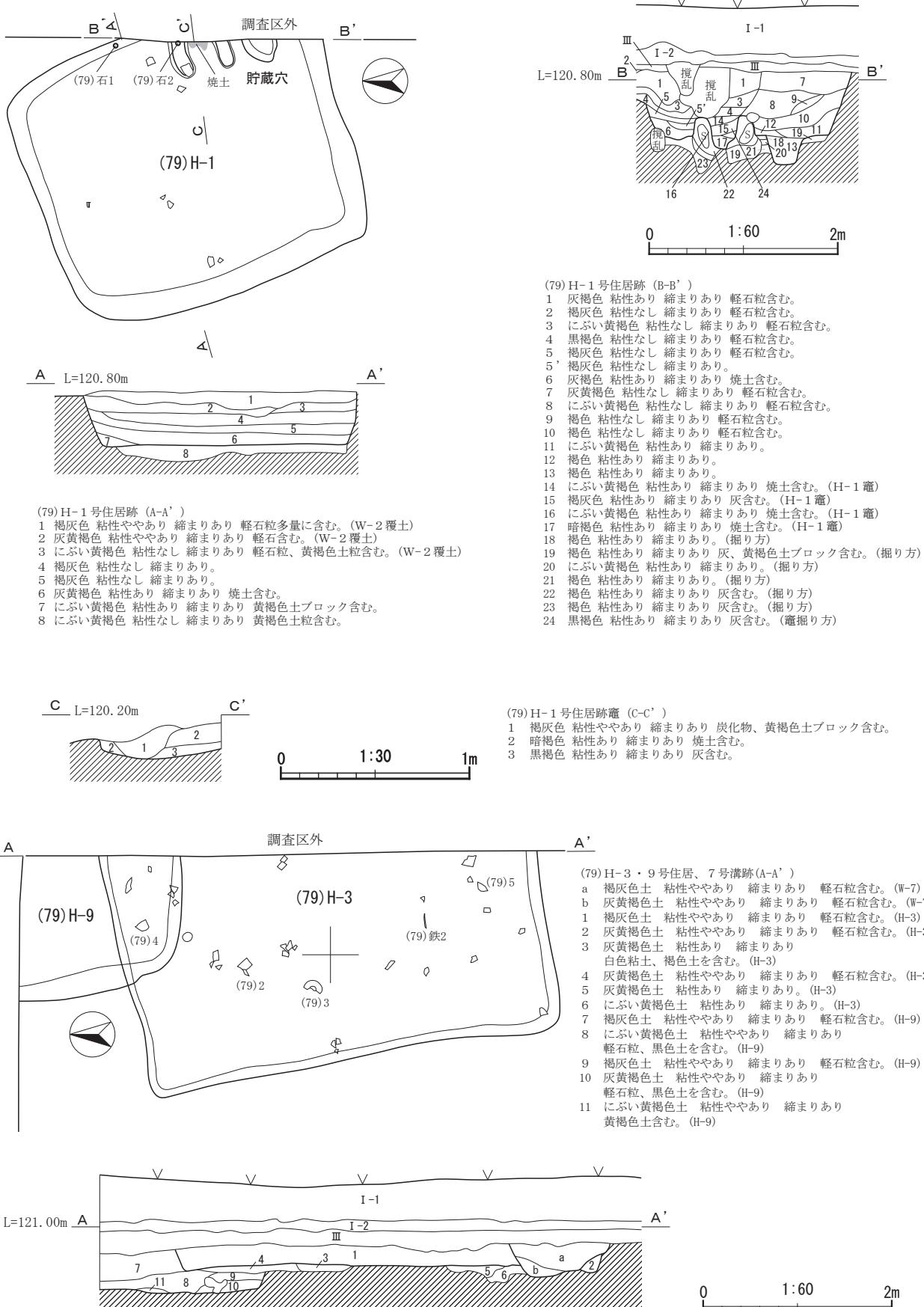


Fig. 36 (79) H-1 • 3 • 9

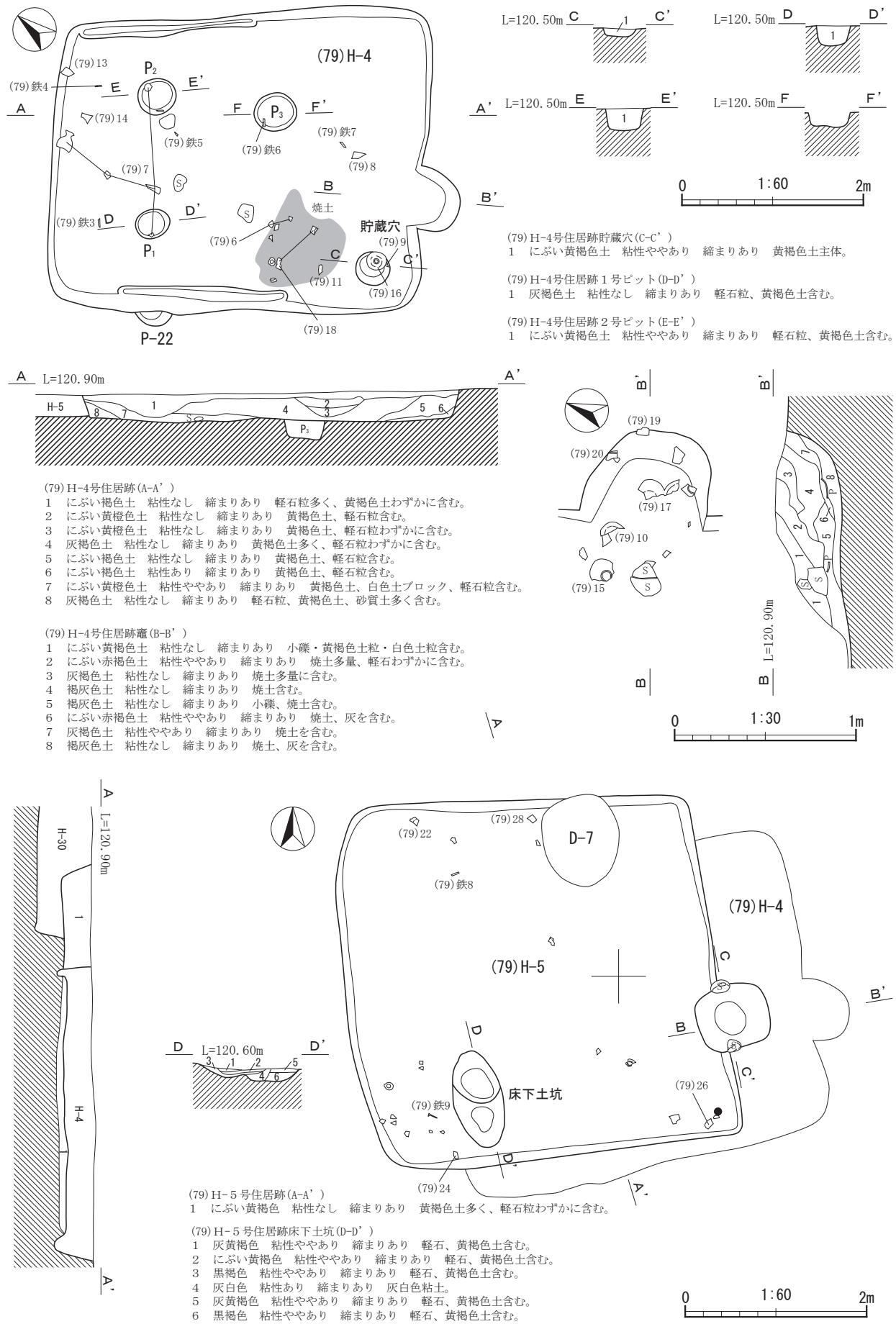


Fig. 37 (79) H-4 • 5

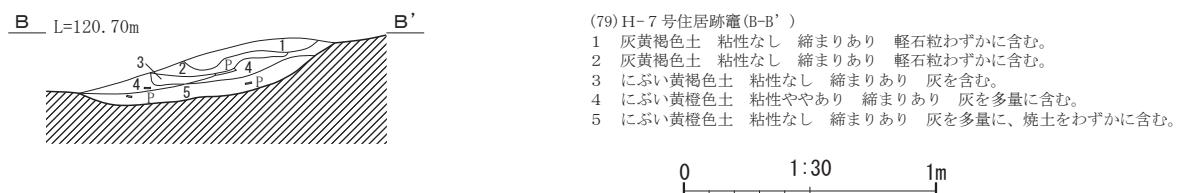
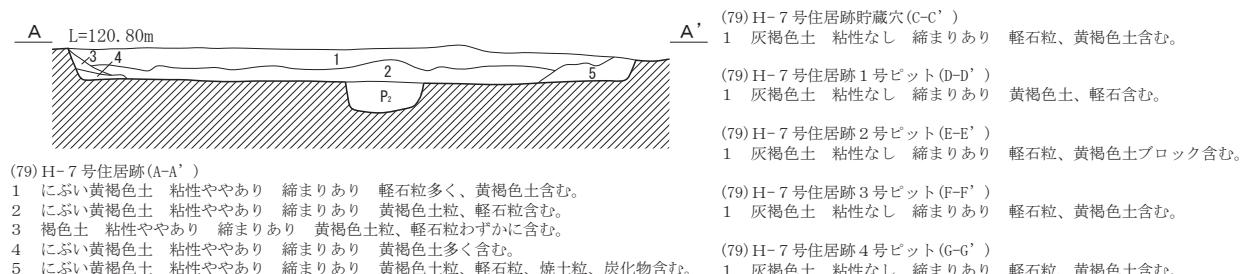
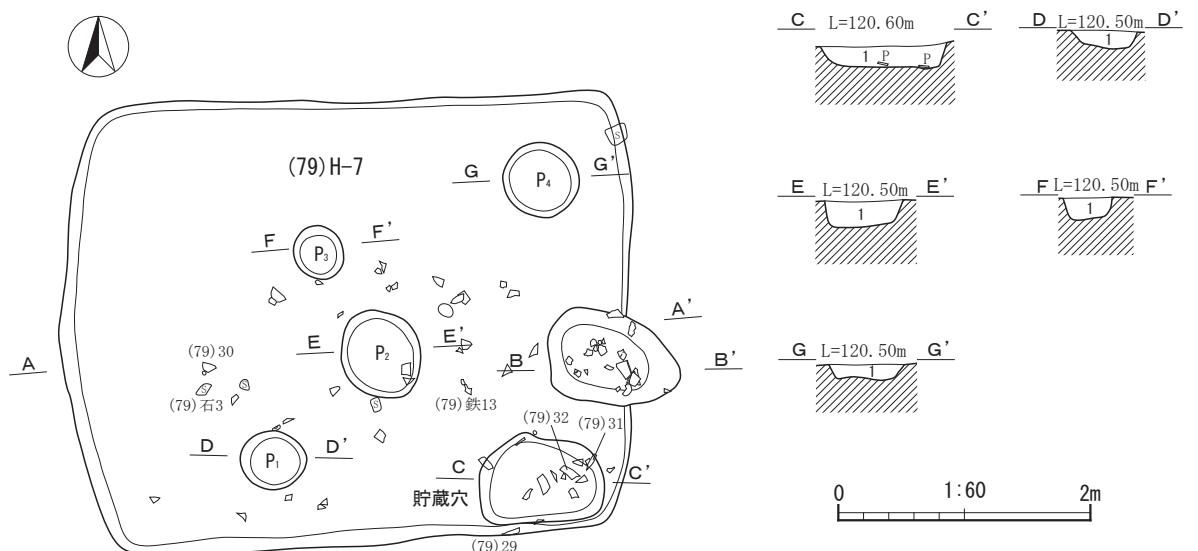
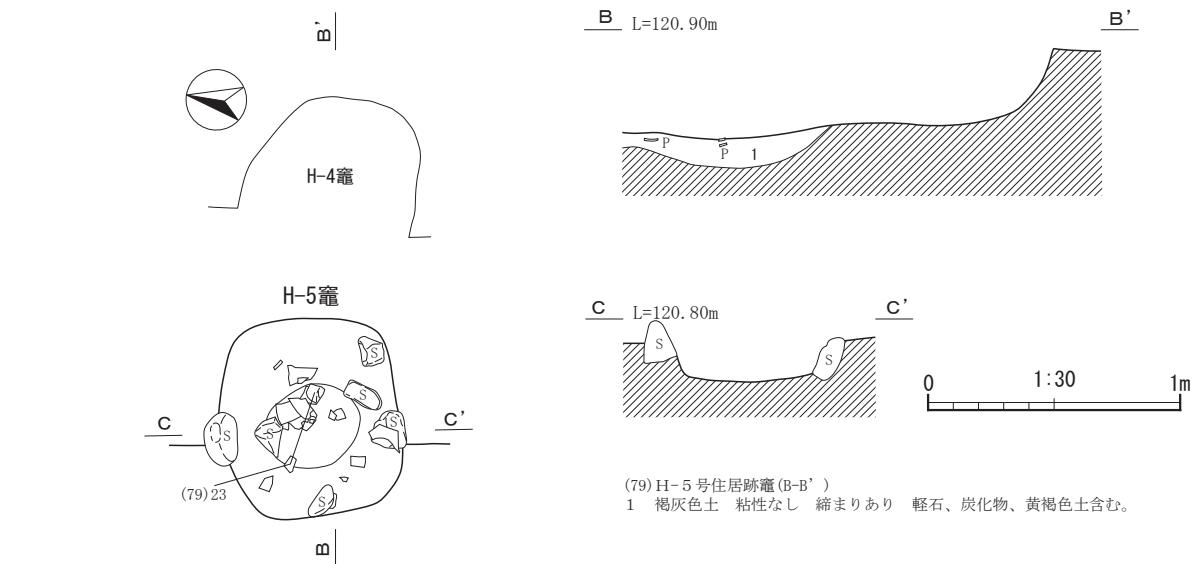


Fig. 38 (79) H-5 · 7

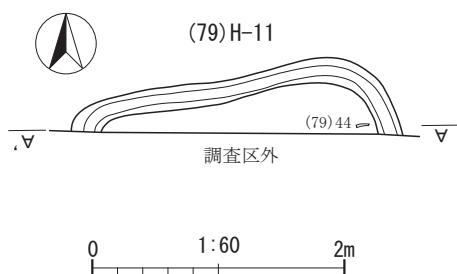
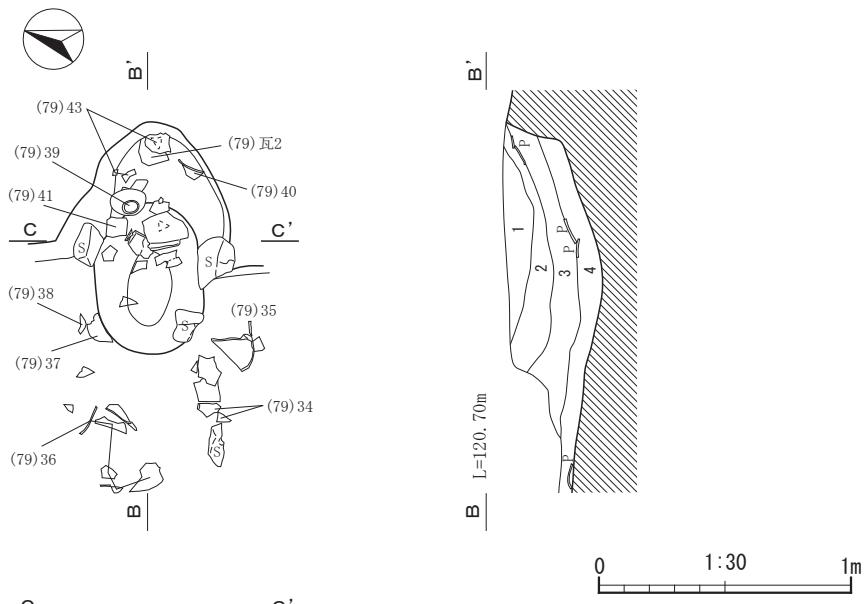
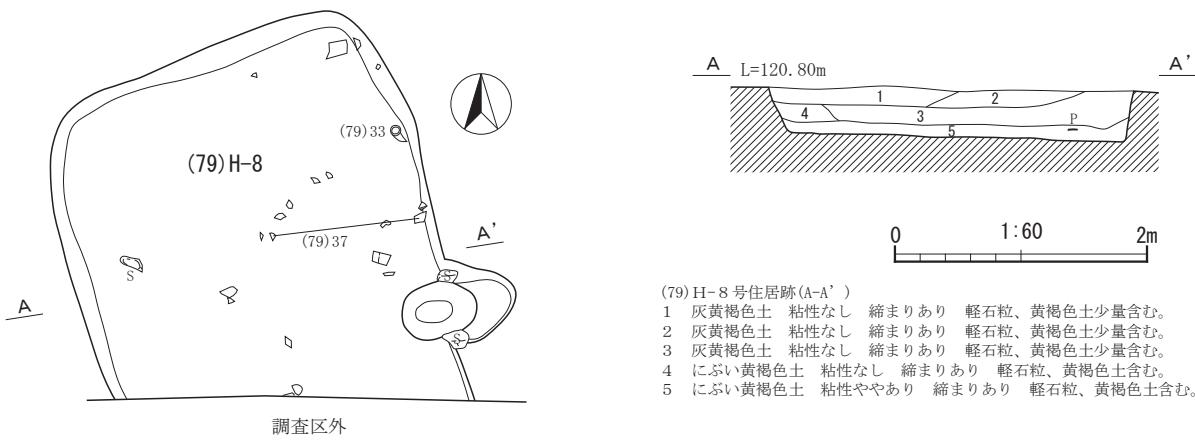


Fig. 39 (79) H-8 · 11

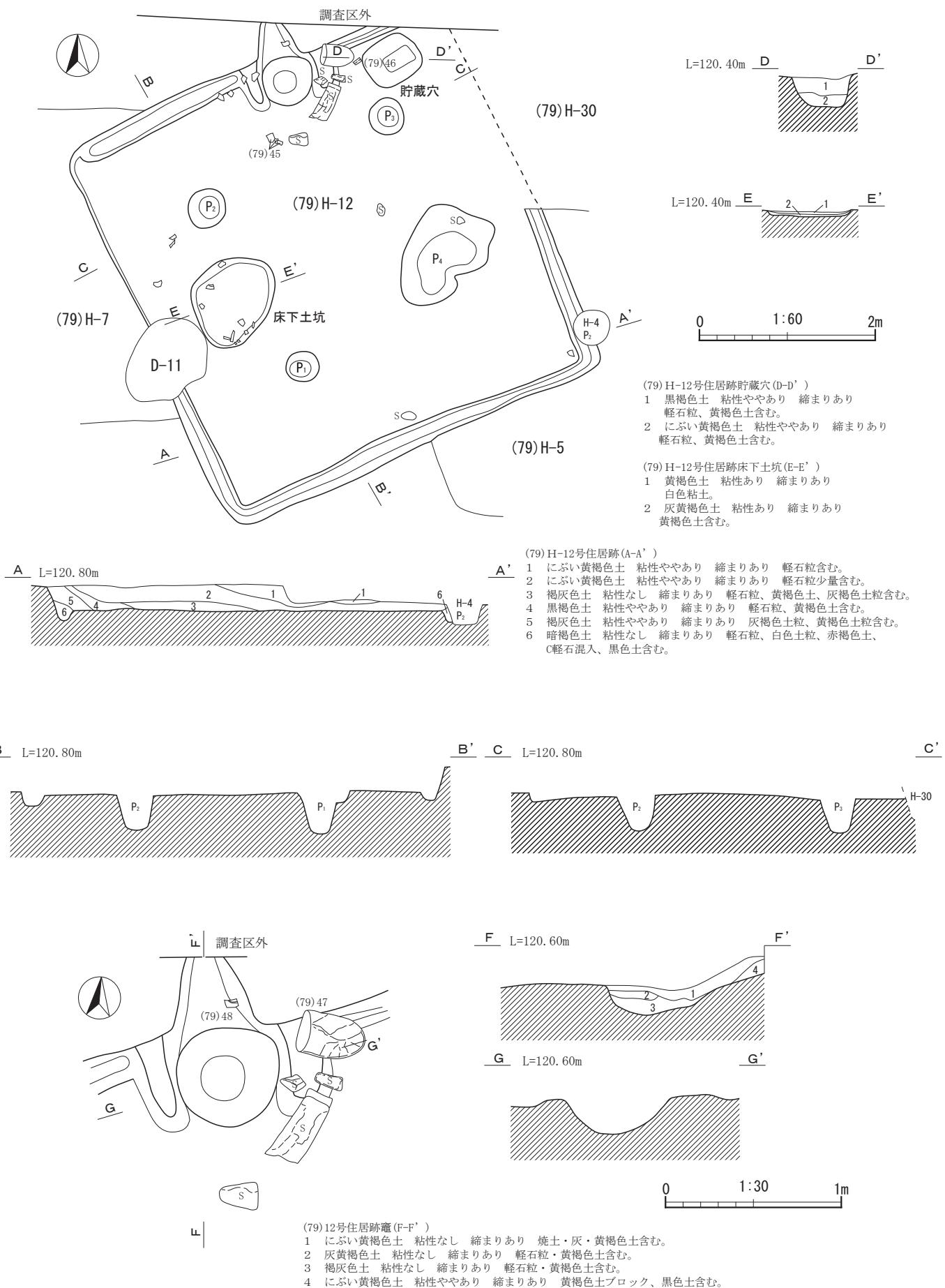
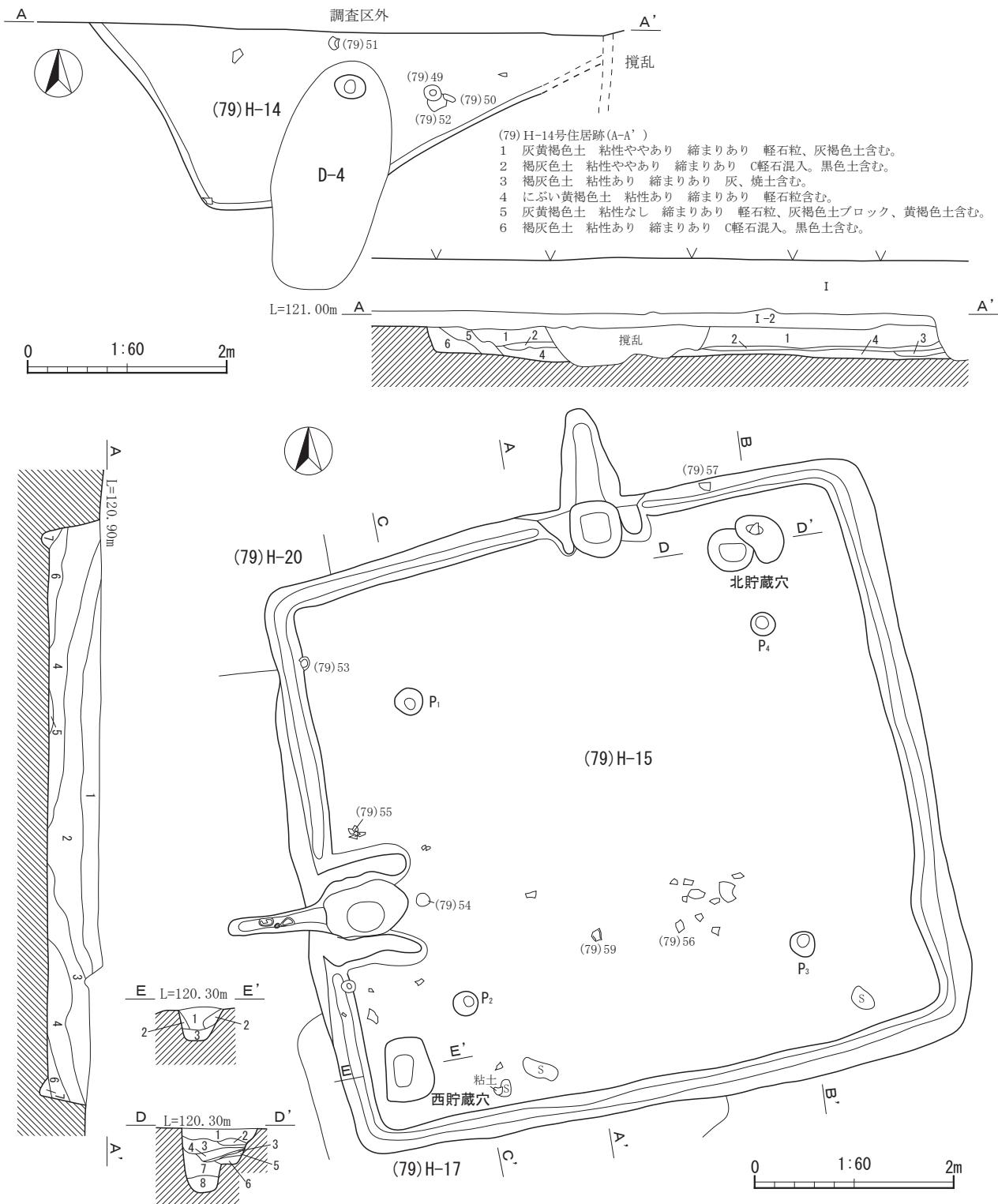


Fig. 40 (79) H-12



(79) H-15号住居跡 (A-A')

- 1 灰黄褐色土 粘性なし 締まりなし
- 2 灰黄褐色土 粘性なし 締まりなし 軽石粒含む。
- 3 暗灰色土 粘性なし 締まりなし 砂粒多く含む。
- 4 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりなし 黄褐色土含む。
- 5 暗灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、灰褐色土ブロック含む。
- 6 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒、灰褐色土ブロック含む。
- 7 暗灰色土 粘性ややあり 締まりあり 黄褐色土、軽石粒含む。

(79) H-15号住居跡西貯蔵穴 (E-E')

- 1 黑褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。
- 2 暗灰色土 粘性ややあり 締まりあり 黄褐色土含む。
- 3 暗灰色土 粘性ややあり 締まりあり 黄褐色土含む。

(79) H-15号住居跡北貯蔵穴 (D-D')

- 1 にぶい黄橙色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土粒含む。
- 2 暗灰色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。
- 3 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。
- 4 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり
- 5 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり
- 6 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土、灰含む。
- 7 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。
- 8 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土粒含む。

Fig. 41 (79) H-14 · 15

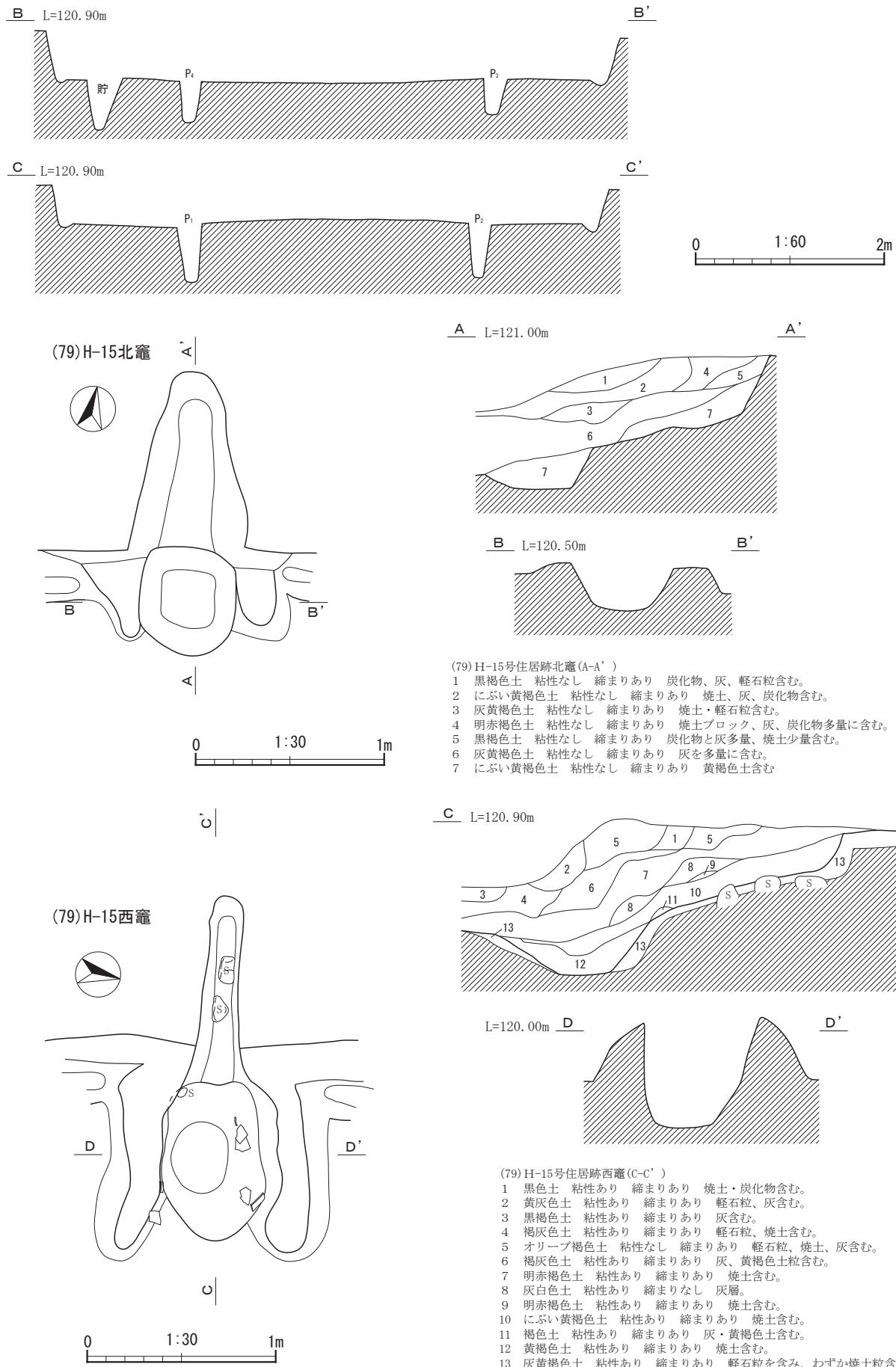
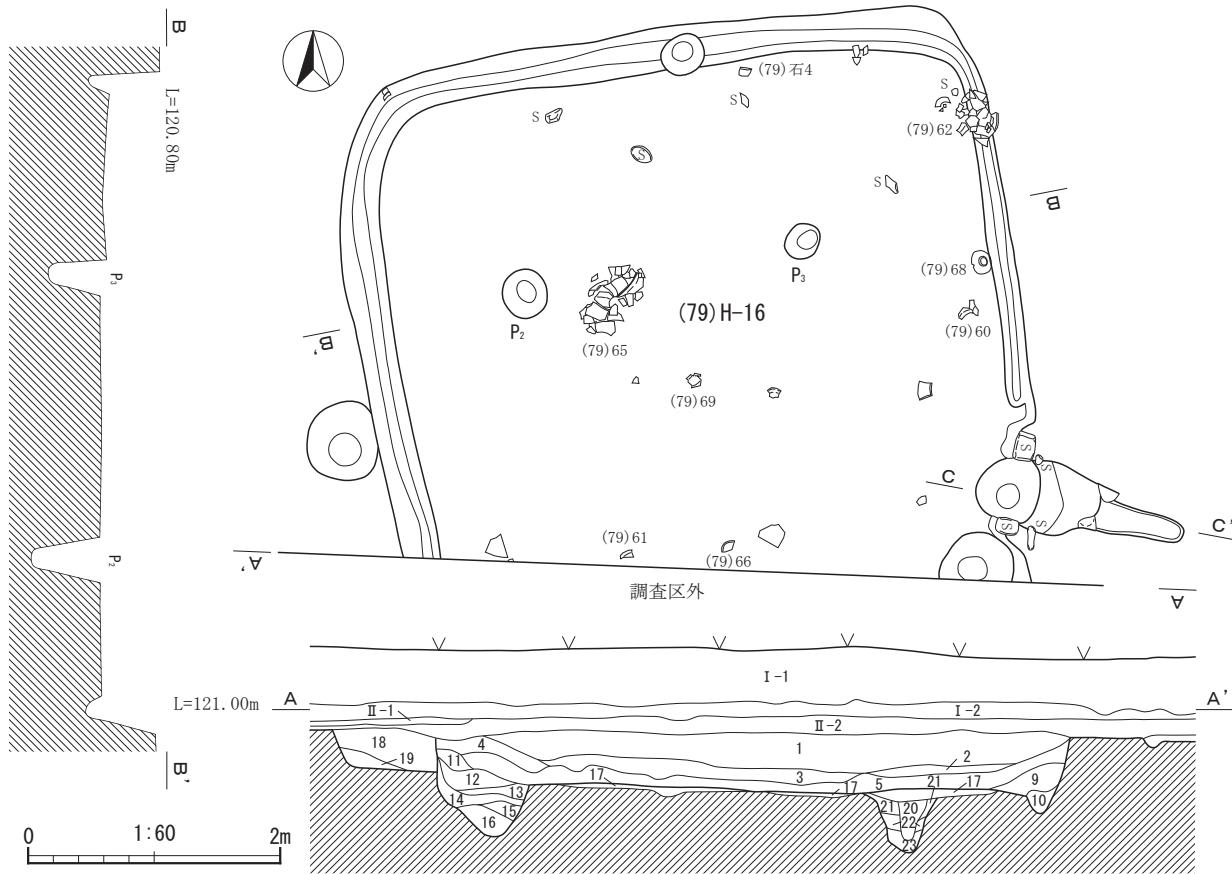


Fig. 42 (79) H-15



(79) H-16・31号住居跡(A-A')

- 1 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。(H-16)
- 2 黒褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒含む。(H-16)
- 3 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。(H-16)
- 4 褐灰色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。(H-16)
- 5 黒褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、焼土粒含む。(H-16)
- 6 褐灰色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-16)
- 7 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-16)
- 8 灰黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-16)
- 9 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-16)
- 10 褐色土 粘性ややあり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-16)
- 11 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。(H-16)

- 12 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり (H-16)
- 13 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 灰含む。(H-16)
- 14 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。(H-16)
- 15 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。(H-16)
- 16 褐灰色土 粘性あり 締まりあり (H-16)
- 17 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。(H-16掘り方)
- 18 黒褐色土 粘性なし 締まりあり 軽石粒含む。(H-31)
- 19 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 黄褐色土含む。(H-31)
- 20 灰黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒含む。(H-31)
- 21 褐色土 粘性あり 締まりあり 黄褐色土含む。(H-31)
- 22 にぶい黄褐色土 粘性あり 締まりあり 軽石粒、黄褐色土含む。(H-31)
- 23 褐灰色土 粘性あり 締まりあり 白色土含む。(H-31)

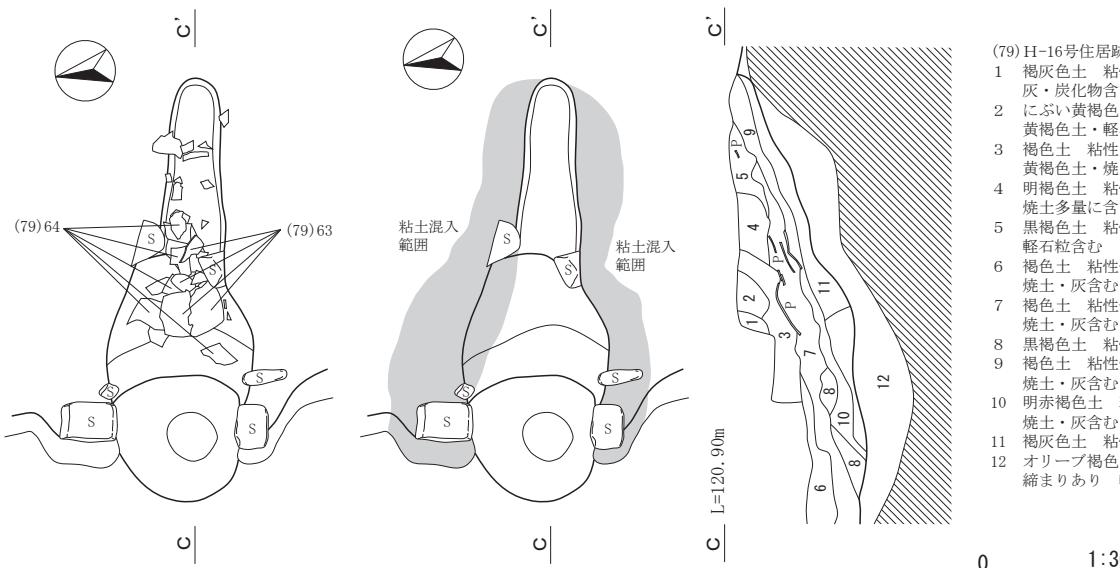


Fig. 43 (79) H-16

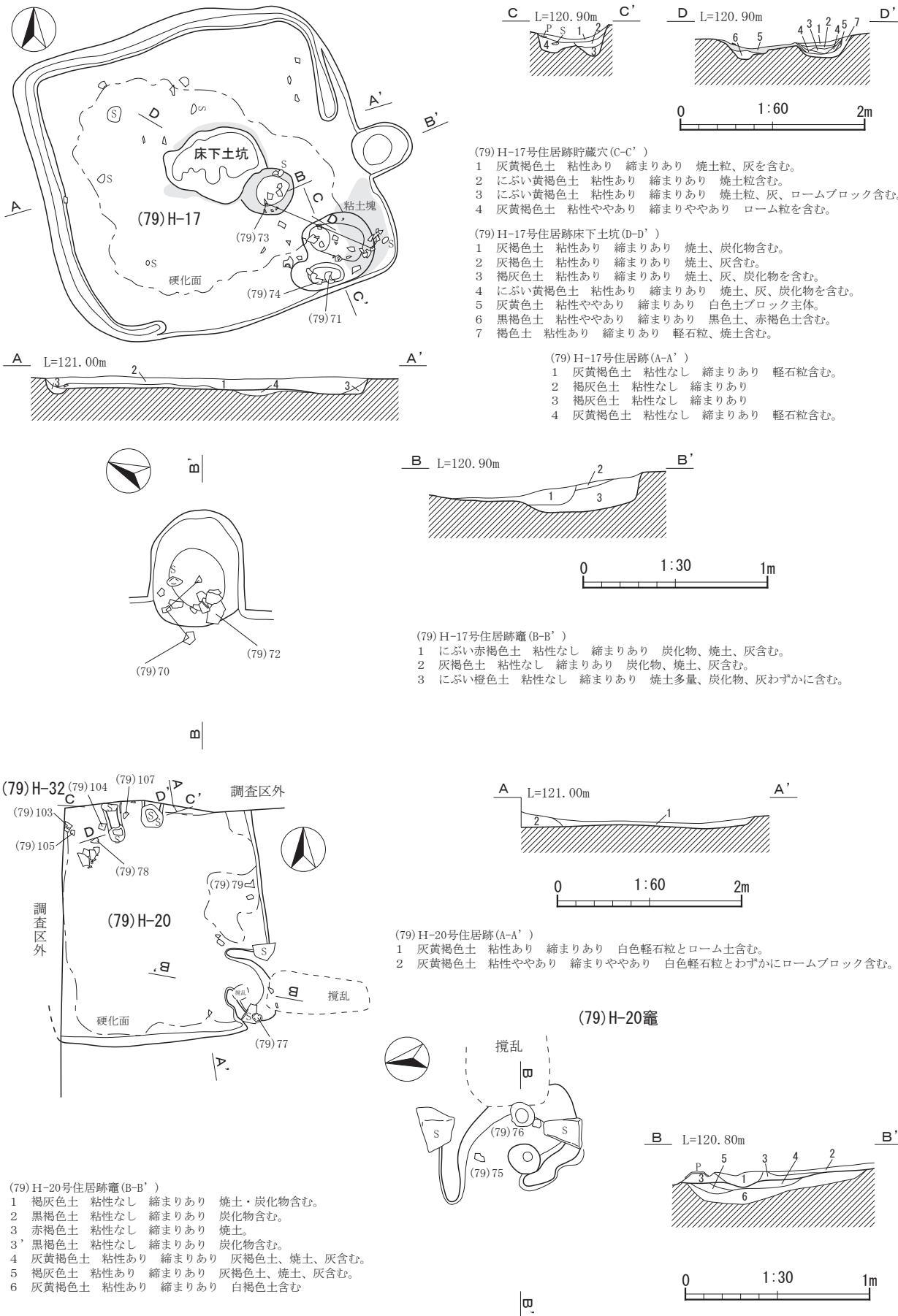


Fig. 44 (79) H-17 • 20 • 32

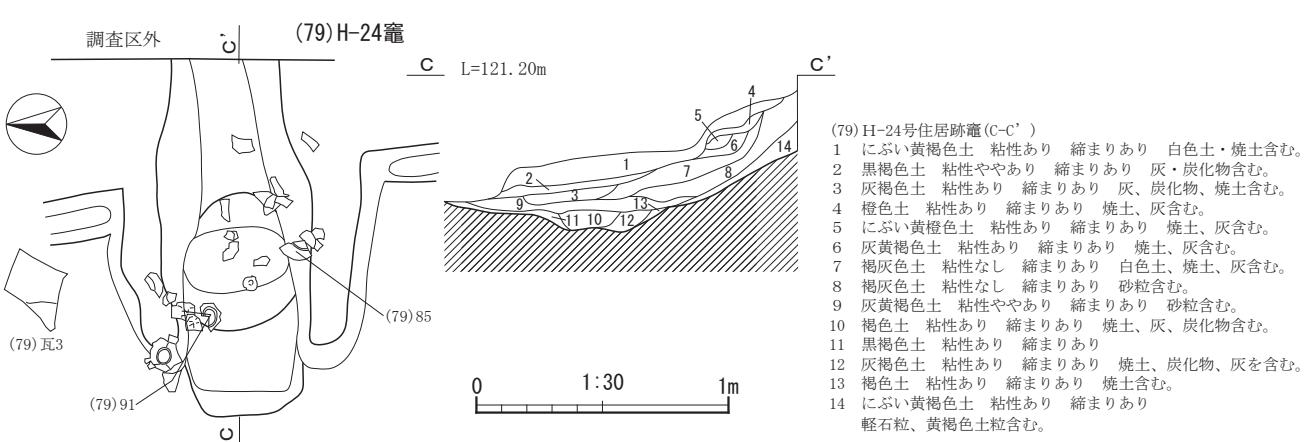
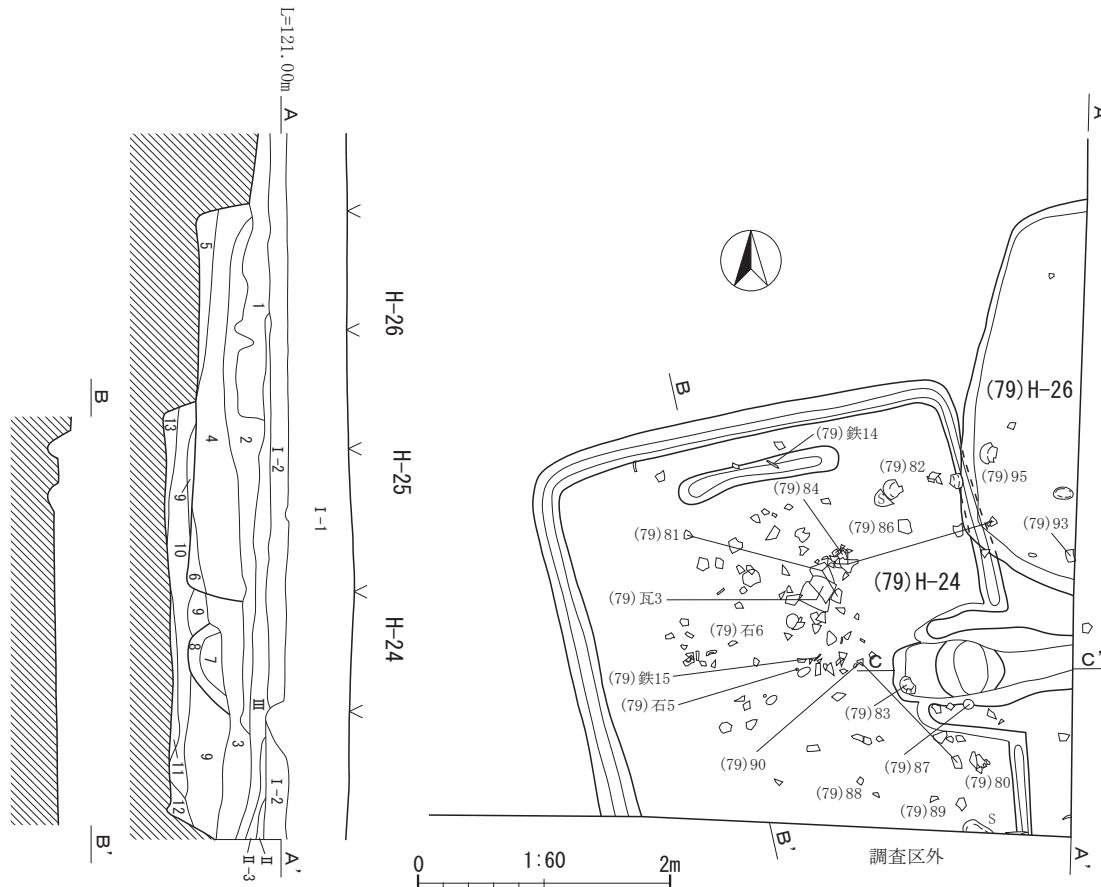
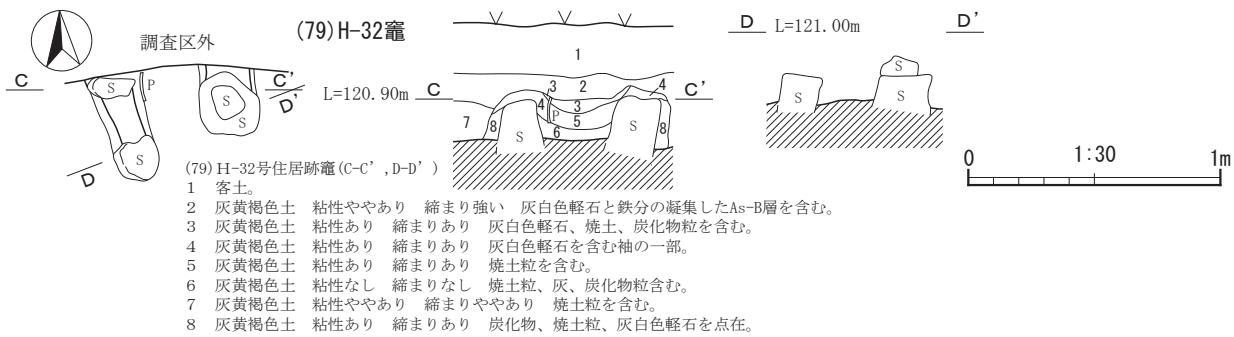


Fig. 45 (79) H-24・26・32

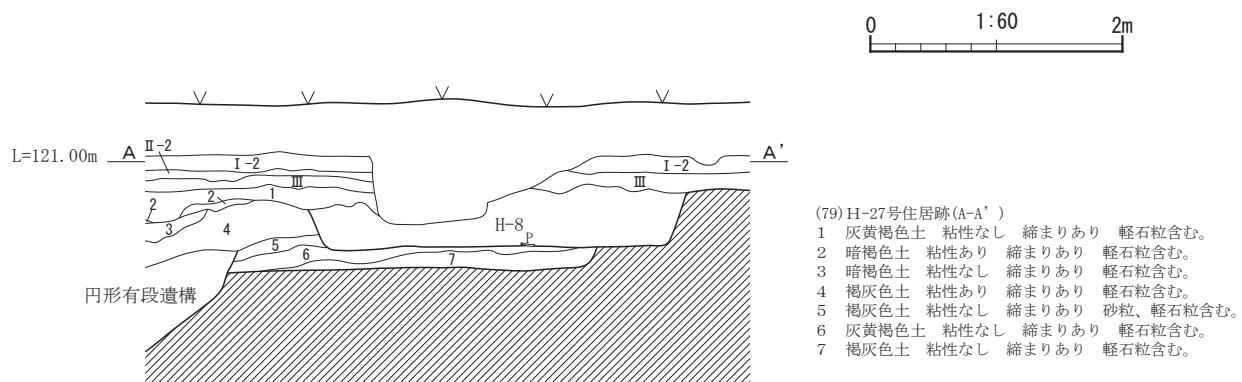
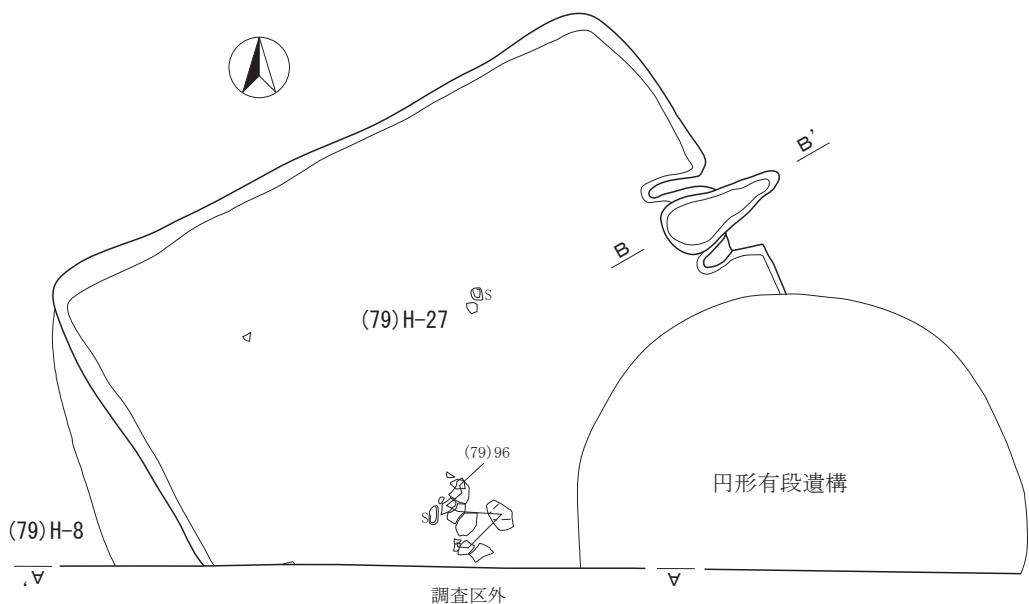
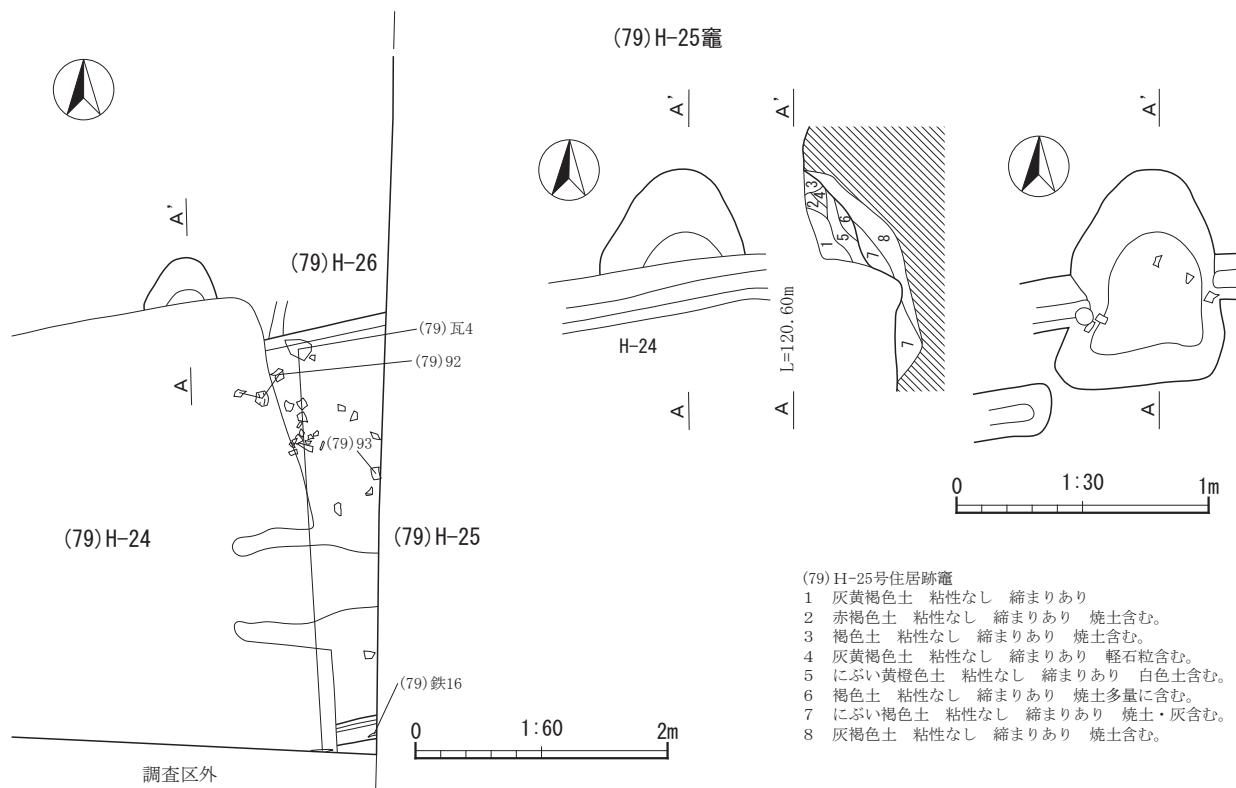


Fig. 46 (79) H-25・27

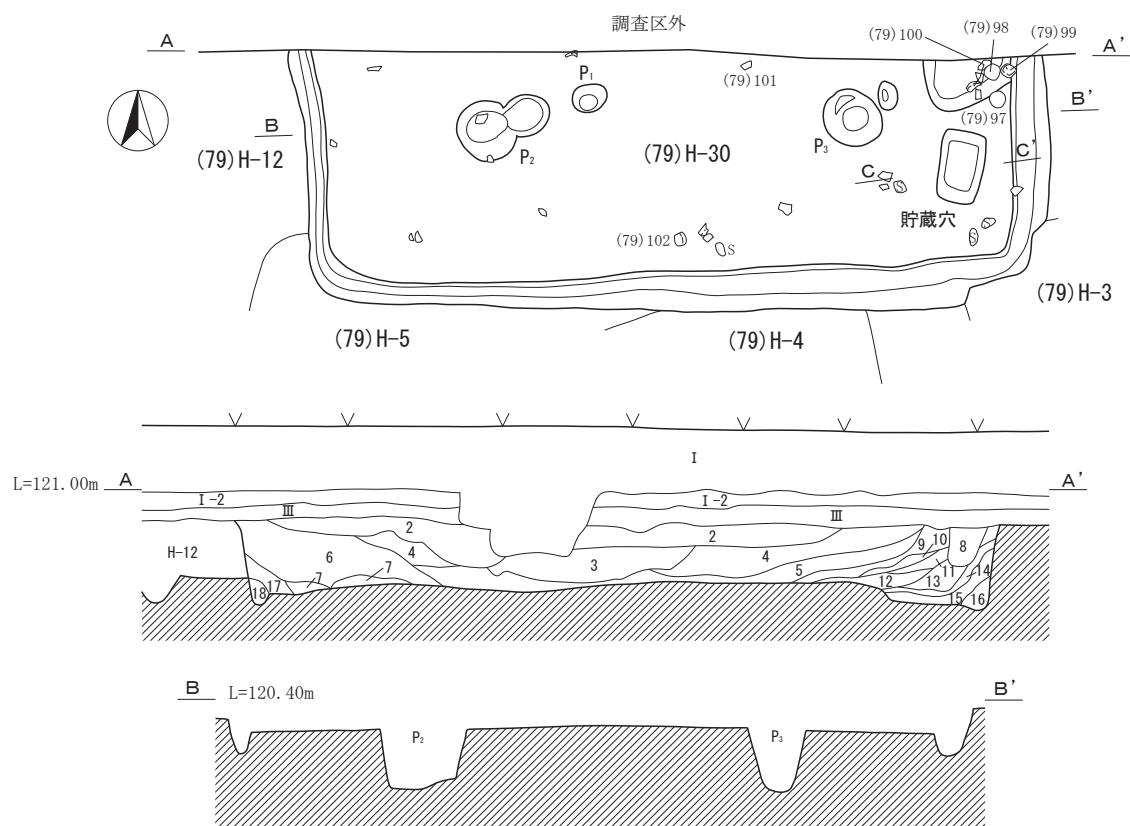
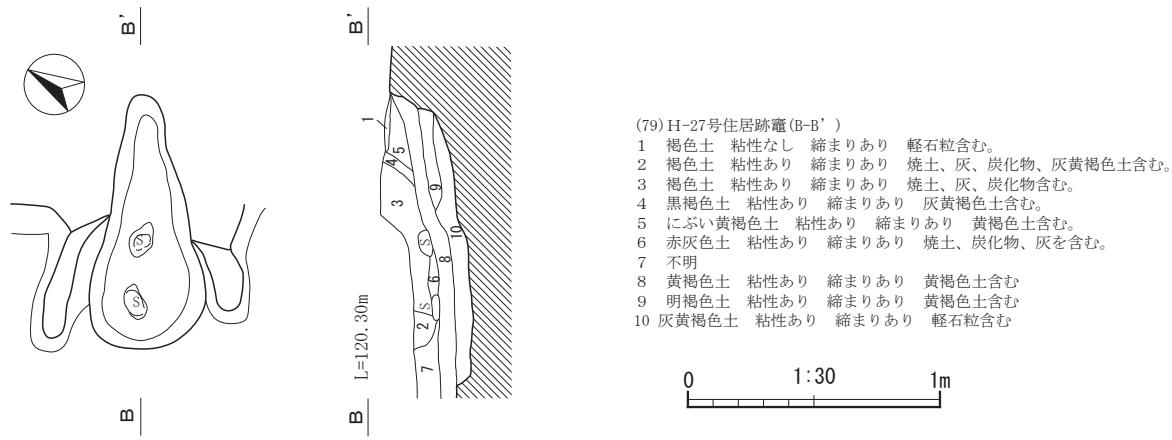
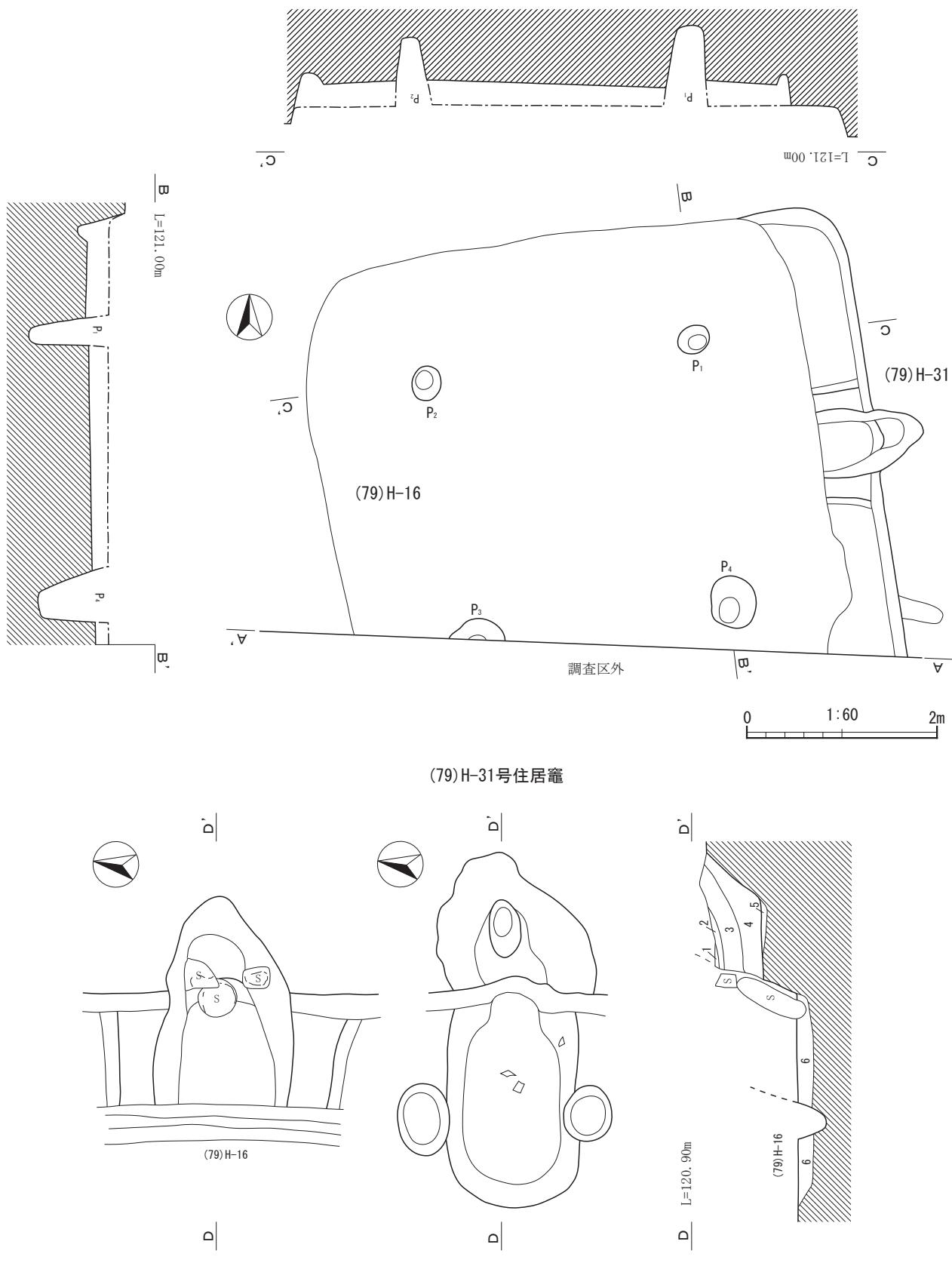
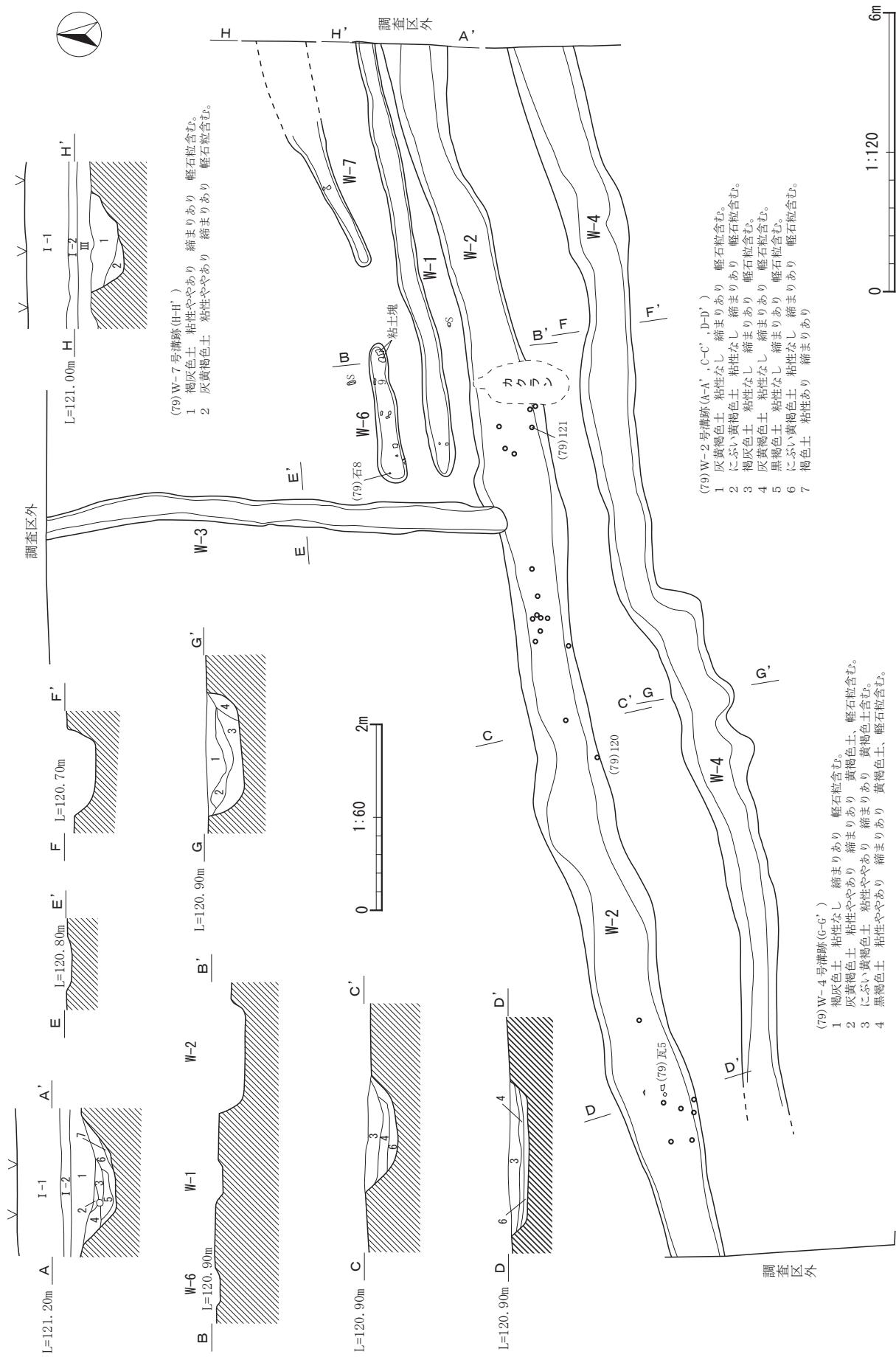


Fig. 47 (79) H-27・30



- (79) H-31号住居跡竈(D-D')
- 1 暗灰色土 粘性なし 締まりあり 小礫、焼土わずかに含む。
 - 2 暗色土 粘性なし 締まりあり 焼土、軽石粒含む。
 - 3 にぶい褐色土 粘性なし 締まりあり 黄褐色土含む。
 - 4 灰黄褐色灰色土 粘性なし 締まりあり 黄褐色土含む。
 - 5 にぶい黄褐色土 粘性なし 締まりあり 黄褐色土含む。
 - 6 灰黄褐色土 粘性なし 締まりあり 黄褐色土含む。

Fig. 48 (79) H-31



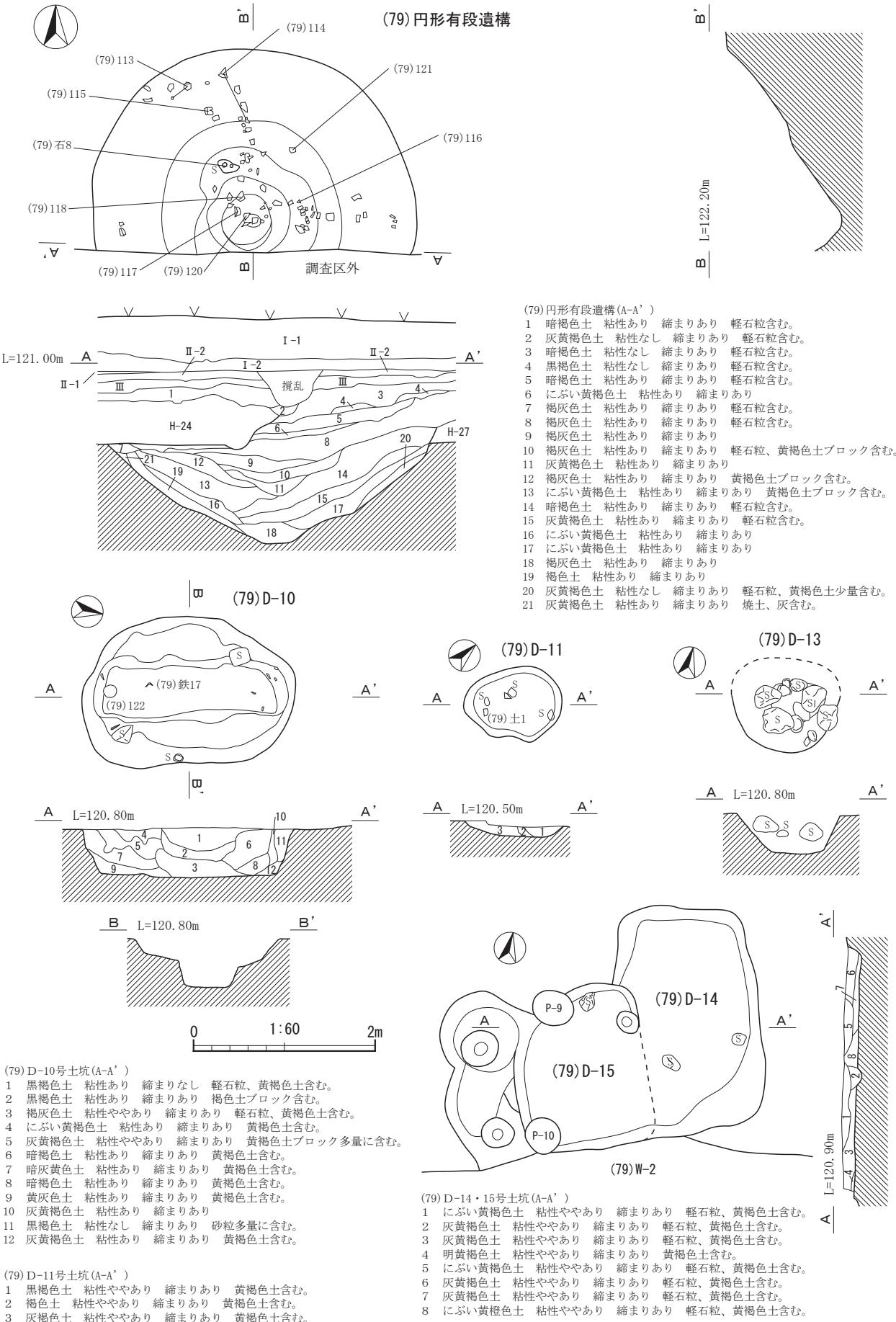
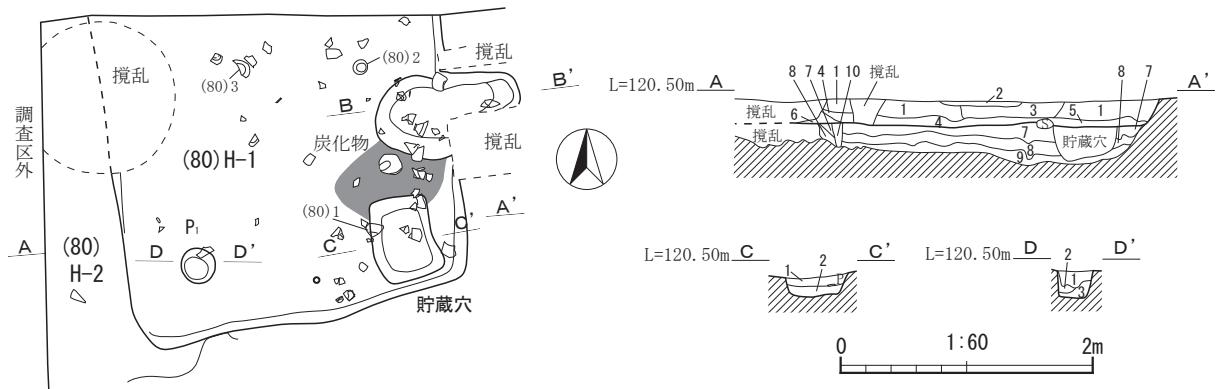


Fig. 50 (79) 円形有段遺構、D-10・11・13~15



(80) H-1号住居跡(A-A')

- 1 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石粒とローム粒2%含む。
- 1' 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石粒とロームブロックを僅か含む。
- 2 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色軽石粒を1%と細砂を含む。
- 3 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(φ5~10mm)1%とロームブロックを全体に含む。
- 4 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石粒、ロームブロックを僅か含む。
- 5 灰黄褐色 粘性なし 締まりなし 灰・焼土を全体に含む。
- 6 灰黄褐色 粘性あり 締まりあり 4層より白色軽石粒、ロームブロックが多い。
- 7 灰黄褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土、ロームブロックを所々に含む。
- 8 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりあり ロームブロックを多く含み、白色粘土を僅か含む。
- 9 灰褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土ブロックを全体に含み、僅かロームブロック含む。
- 10 灰黄褐色 粘性なし 締まりなし 7・8・9層含む(擾乱、根の跡)。

(80) H-1号住居跡貯藏穴(C-C')

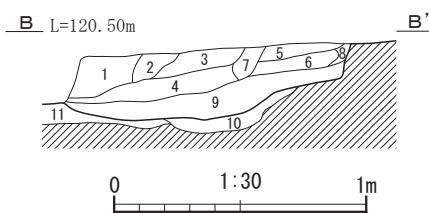
- 1 にぶい黄褐色土 粘性ややあり 締まりあり 灰・焼土・軽石(1~3mm)を1%含む。
- 2 黄褐色 粘性なし 締まりややあり ロームブロックを多く含み、焼土粒を僅か含む。

(80) H-1号住居跡1号ピット(D-D')

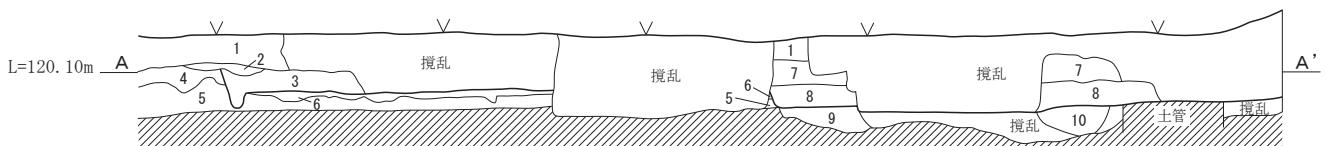
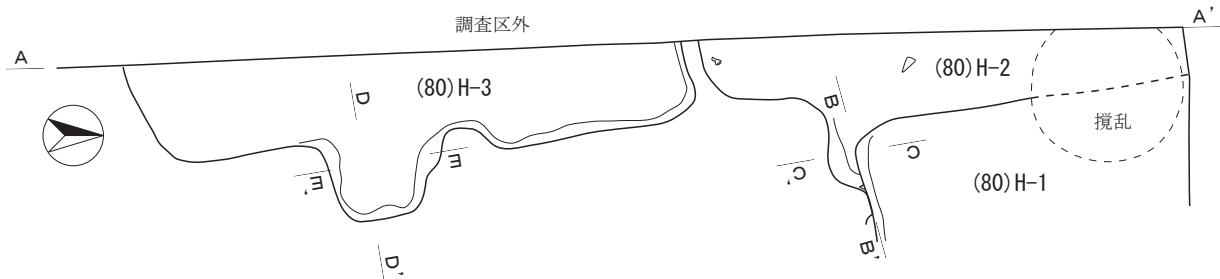
- 1 灰黄褐色 粘性あり 締まりあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%とロームブロック含む。
- 2 灰黄褐色 粘性あり 締まりあり ロームブロックを多く含む。
- 3 灰黄褐色 粘性あり 締まりややあり 白色軽石(φ1~3mm)を1%と焼土粒含む。

(80) H-1号住居跡窓(B-B')

- 1 灰黄褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%含む。
- 2 灰黄褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石(φ1~2mm)を1%、ロームブロック・炭化物を含む。(耕作痕の擾乱と思われる)。
- 3 灰黄褐色 粘性なし 締まりややあり 白色軽石(φ1~3mm)を1%と焼土粒含む。
- 4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりややあり 烧土・灰を全体に含み、白色軽石を僅か含む。
- 5 灰黄褐色 粘性なし 締まりややあり 白色粘土粒を所々に含む。
- 6 灰黄褐色 粘性なし 締まりなし 烧土ブロック・灰・白色粘土を含む。
- 7 灰黄褐色 粘性なし 締まりなし 白色粘土・ブロックを多く含む。
- 8 灰黄褐色 粘性なし 締まりなし ロームブロック含む。
- 9 烧土粒含む灰層。
- 10 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 灰・焼土粒・ローム粒含む。
- 11 灰黄褐色 粘性なし 締まりあり ロームブロックを含む。



調査区外



(80) H-2・3号住居跡(A-A')

- 1 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(φ1~3mm)を2%と細砂を含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 灰黄褐色質土ブロック含む。
- 3 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(φ1~5mm)を2%とローム粒、細砂を含む。
- 4 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石粒を所々に含み、ロームブロックを多く含む。
- 5 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりあり ローム土。(砂質)。
- 6 灰黄褐色 粘性なし 締まりあり 5層ロームブロックと白色軽石粒含む。(貼床)。
- 7 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(φ2~5mm)を1%と細砂を含む。
- 8 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 白色軽石(φ2~5mm)を2%と焼土・ロームを1%含む。
- 9 灰黄褐色 粘性ややあり 締まりややあり 烧土粒とロームブロックを僅か含む。
- 10 にぶい黄褐色 粘性あり 締まりあり 軽石(φ2~3mm)とローム粒を含む。

Fig. 51 (80) H- 1 ~ 3

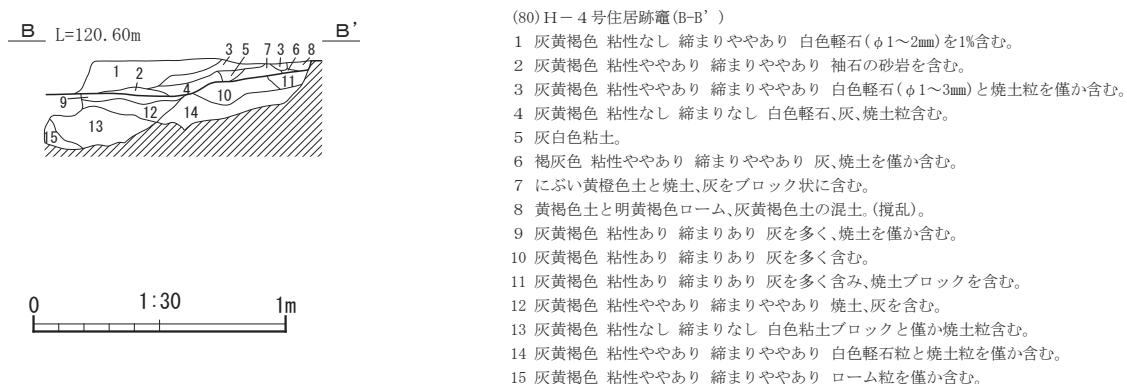
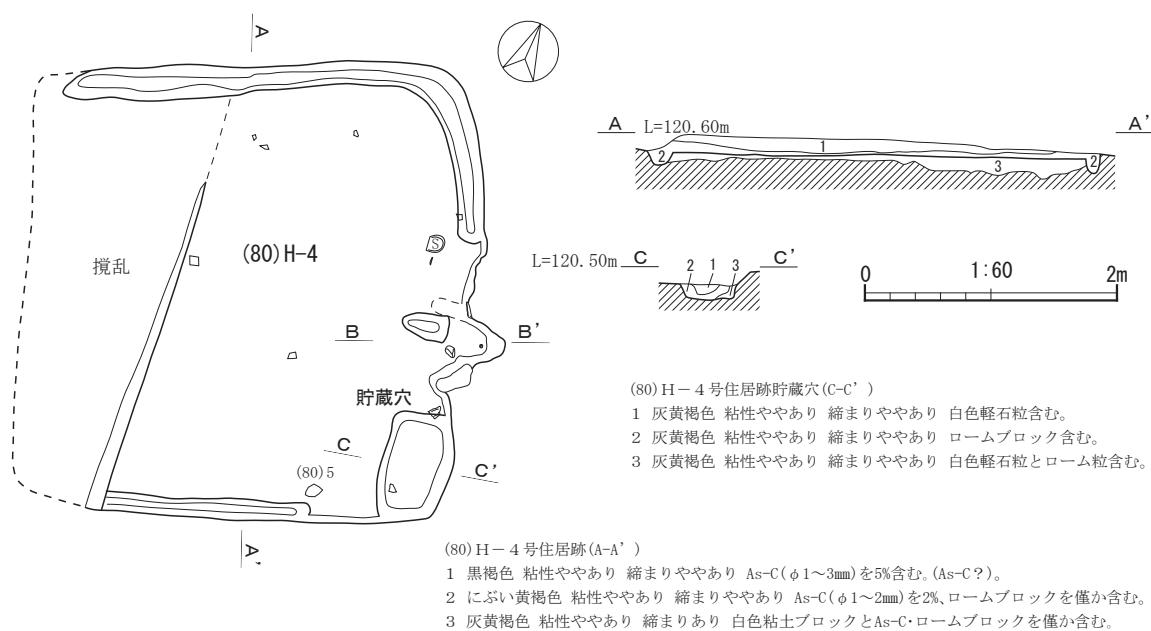
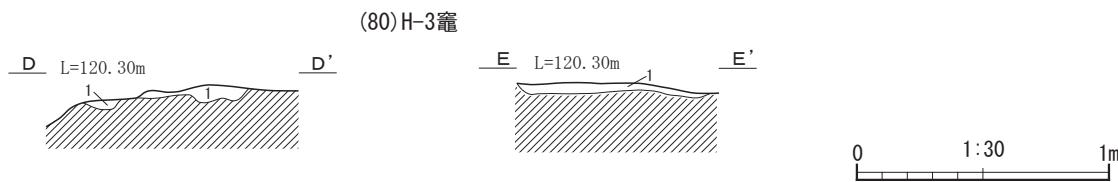
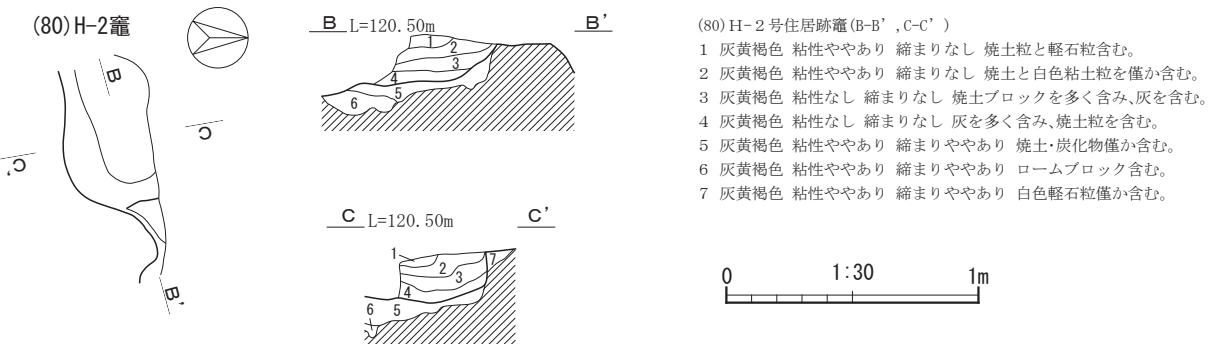


Fig. 52 (80) H- 2 ~ 4

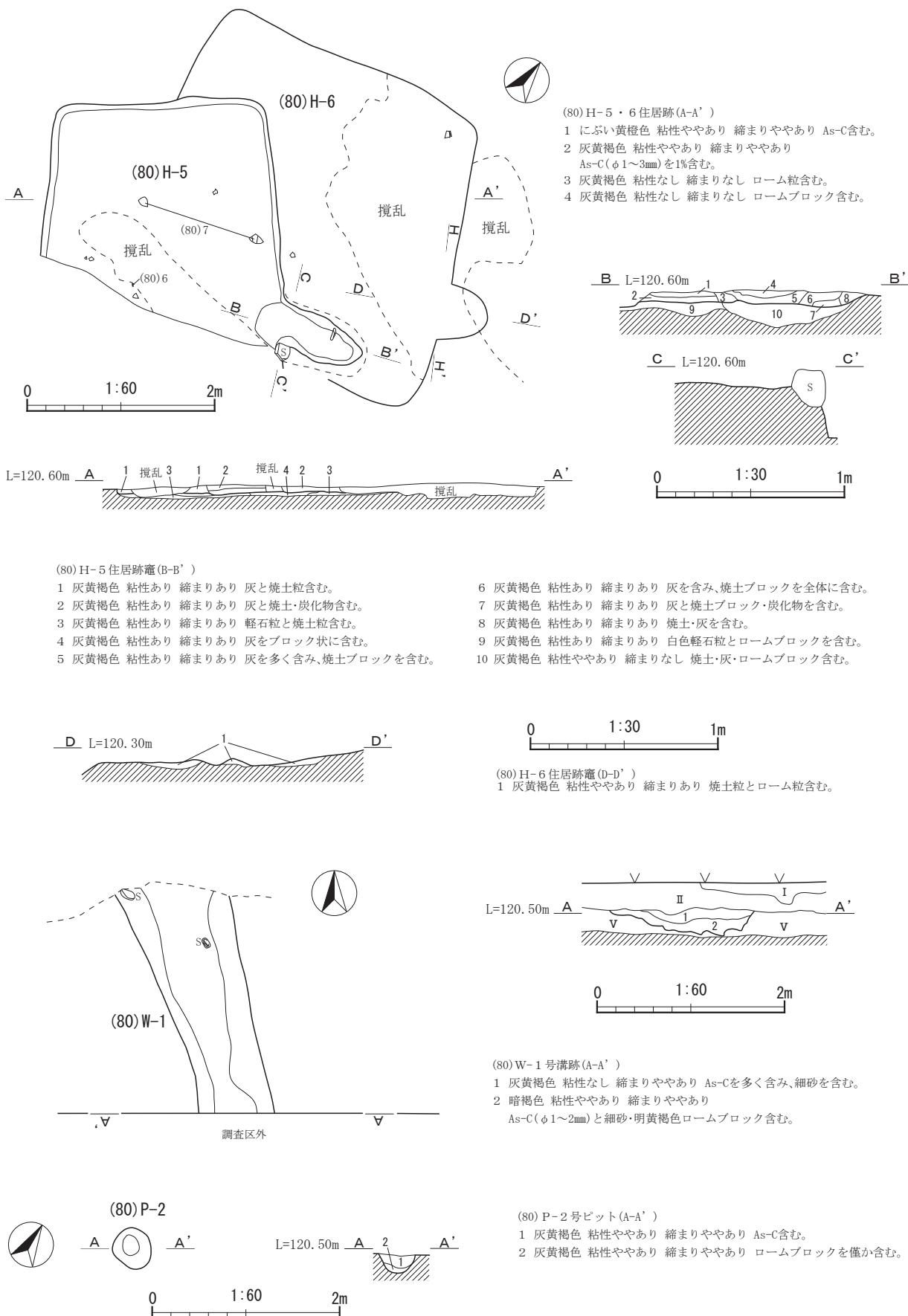


Fig. 53 (80) H-5・6、W-1、P-2

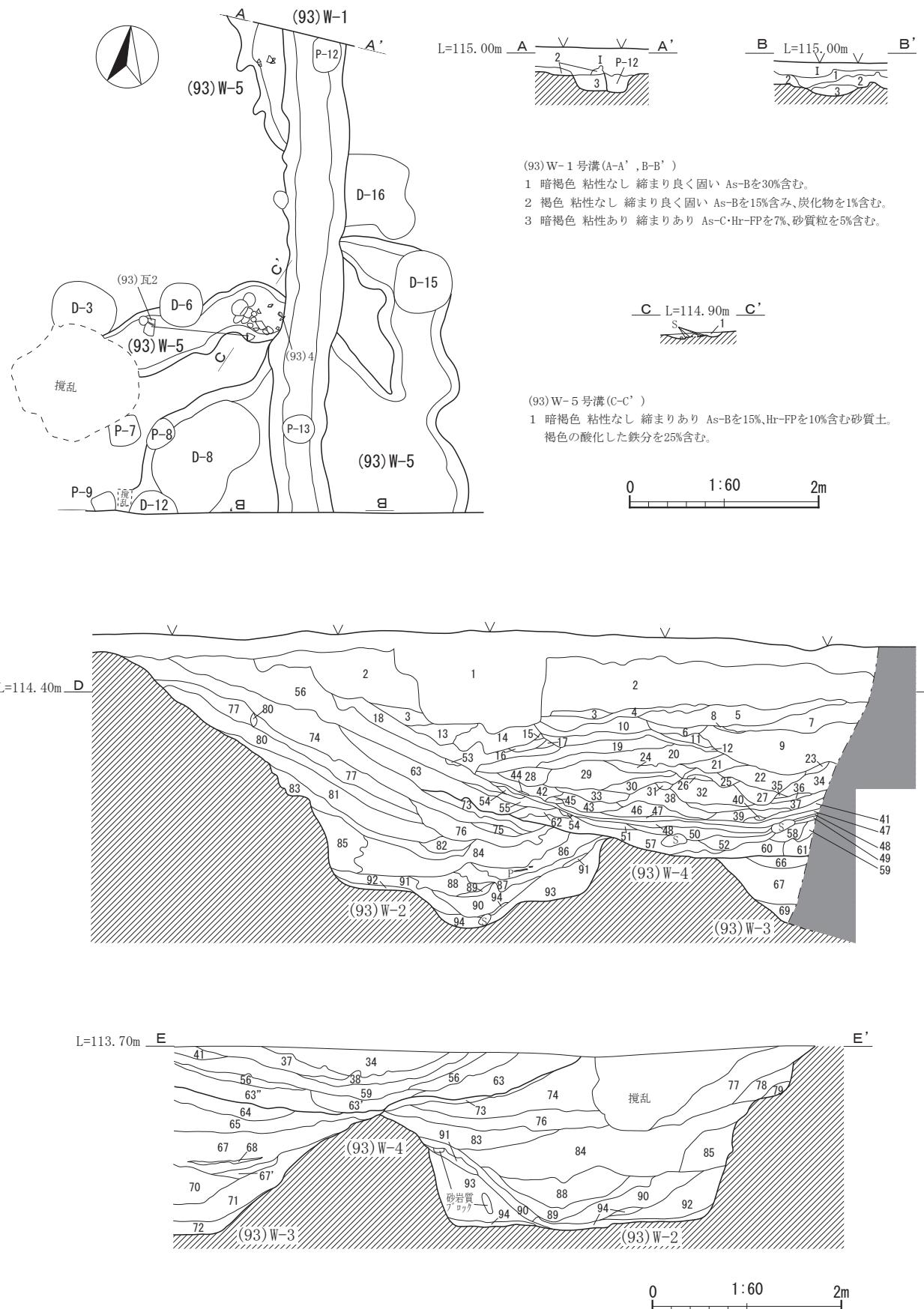


Fig. 54 (93) W- 1 ~ 5

(93) W-2 · 3 · 4 号溝北壁(D-D' , E-E')

- 1 表土(搅乱)

2 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質ブロック(φ5~10mm)を10%含む。

3 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを2%、砂質ブロック(φ1~5mm)を3%含む。

4 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質ブロック(φ5mm)を3%含む。

5 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質ブロック(φ5mm以下)を15%含む。

6 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質ブロック(φ5mm)を2%含む。

7 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質ブロック(φ5~10mm)を5%含む。

8 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒を3%含む。

9 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質ブロック(φ5~10mm)を10%含む。

10 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを15%、砂質ブロック(φ5~15mm)を5%含む。

11 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを10%、砂質ブロック(φ5~10mm)を10%含む。

12 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを15%、砂質ブロック(φ5mm以下)を2%含む。

13 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを20%、砂質ブロック(φ5~30mm)を15%含む。

14 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ30mm)を7%含む。

15 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ30mm)を7%含む。

16 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5mm以下)を3%含む。

17 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを10%、砂質粒・ブロック(φ5mm以下)を5%含む。

18 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ10mm)を5%含む。

19 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ10~30mm)を10%含む。

20 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を3%含む。

21 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を10%含む。

22 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を15%含む。

23 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を3%含む。

24 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を7%含む。

25 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ10mm)を5%含む。

26 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を5%含む。

27 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を3%含む。

28 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を3%含む。

29 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~30mm)を7%含む。

30 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ10mm)を2%含む。

31 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを2%、砂質粒を2%含む。

32 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を7%含む。

33 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを2%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を5%含む。

34 黒褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒(φ5mm)を10%含む。

35 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒3%含む。

36 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を3%含む。

37 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を3%含む。

38 黑褐色 粘性やややあり 締まりあり As-Bを10%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を7%含む。

39 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を5%含む。

40 黑褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを3%、砂質粒を10%含む。

41 黑褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を20%含む。

42 暗褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を3%含む。

43 黑褐色 粘性やややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を10%含む。

44 暗褐色 粘性やややあり 締まりあり 砂質ブロック(φ3mm)を1%含む。

45 暗褐色 粘性あり 締まりあり 砂質ブロック(φ5mm)を2%含む。

46 暗褐色 粘性やややあり 締まりあり As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を7%含む。

47 黑褐色 粘性あり 締まりやややあり 粘性土。

48 黑褐色 粘性あり 締まりやややあり 粘性土。

49 黑褐色 粘性あり 締まりやややあり 粘性土。

50 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを20%含む。

51 暗褐色 粘性なし 締まりやややあり As-Bを7%、砂質粒を10%含む。

52 黑褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを5%、砂質粒を5%含む。

- 53 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質ブロック(φ30mm)を25%含む。

54 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い

 - As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を20%含む。

55 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を10%含む。

56 黒褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を7%含む。

57 黒褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを7%、砂質ブロック(φ5~30mm)を3%含む。

58 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを3%、砂質粒を10%含む。

59 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを2%、砂質粒を7%含む。

60 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを2%、砂質粒を2%含む。

61 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを7%、砂質粒を3%含む。

62 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを2%、砂質粒を5%含む。

63 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒を15%含む。

63' 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを7%、砂質粒を15%含む。

63'' 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質ブロックを5%含む。

64 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを3%、砂質粒を3%含む。

65 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を5%含む。

66 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを20%、砂質粒を3%含む砂質土。

67 黒褐色 粘性あり 締まりあり 砂質粒を2%含む。

67' 黑褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを含まず、白色粘土を5%含む。

68 黑褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを3%、黄褐色ロームを15%含む。

69 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を25%含む。

70 灰白色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを5%、白色砂質土粒を50%含む。

71 黒褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを10%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を15%含む。

72 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを3%含む。

73 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い

 - As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を25%含む。

74 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を20%含む。

75 褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを10%含む。

76 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを7%含む。

77 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を5%含む。

78 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を5%含む。

79 暗褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを10%、砂質粒・ブロック(φ10mm)を3%含む。

80 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い

 - As-Bを5%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を15%含む。

81 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い

 - As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~20mm)を5%含む。

82 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを10%、砂質粒・ブロック(φ20mm)を7%含む。

83 黒褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを2%、砂質粒を5%含む。

84 黒褐色 粘性あり 締まりあり As-Bをほとんど含まず、砂質粒を3%含む。

85 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い

 - As-Bを7%、砂質粒・ブロック(φ5~10mm)を15%含む。

86 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bをほとんど含まず、砂質粒・白色粘土を7%含む。

87 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い

 - As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を20%含む。

88 黑褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを25%含む。

89 黑褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを25%、砂質粒を3%含む。

90 黑褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを3%含む。

91 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い

 - As-Bを15%、砂質粒・ブロック(φ5mm)を10%含む。

92 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを7%含む。

93 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを5%、砂質粒30%含む。

94 黑褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bをほとんど含まない。

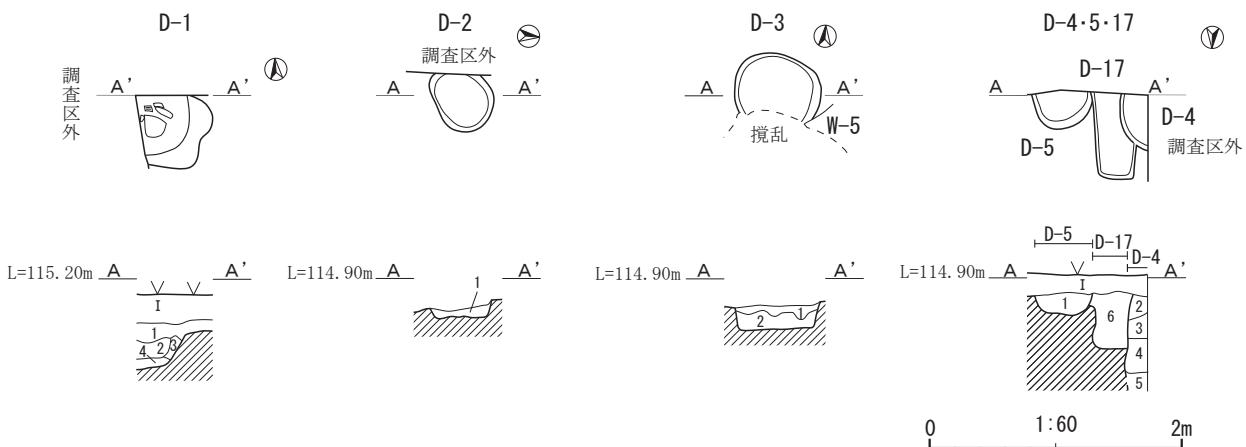
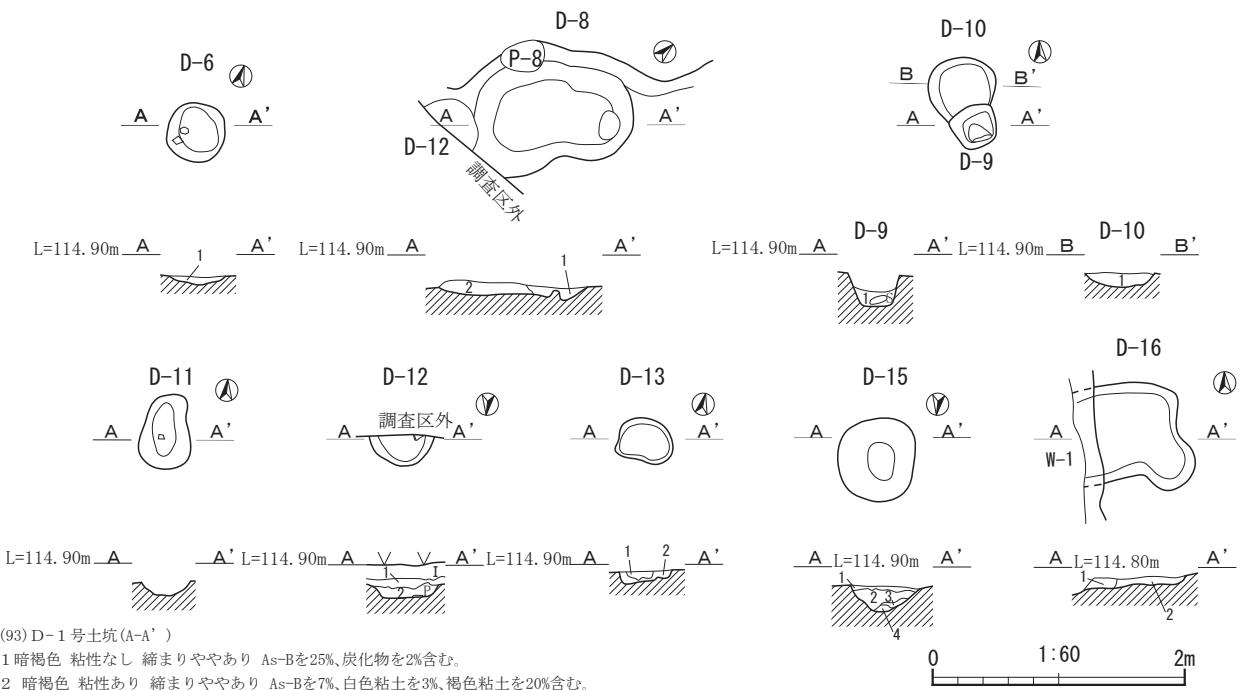


Fig. 55 (93) W-2~4、十坑群



(93) D-1号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まりややあり As-Bを25%、炭化物を2%含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-Bを7%、白色粘土を3%、褐色粘土を20%含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを5%、白色粘土を10%含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土を5%、褐色粘土を15%含む。

(93) D-2号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性あり 締まりあり As-C・Hr-FPを5%、白色粘土・砂質ブロック(Φ5mm)を7%、焼土・炭化物を2%含む。

(93) D-3号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C・Hr-FPを7%、白色粘土・砂質粒を10%、炭を1%含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりあり As-C・Hr-FPを5%、白色粘土・砂質粒を7%含む。

(93) D-4・5・17号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質ブロック(Φ5~10mm)を15%、As-Bを10%含む。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 砂質ブロック(Φ5~20mm)を5%、As-Bを15%含む。
- 3 褐色 粘性ややあり 締まりあり 砂質ブロック(Φ5mm)を3%、As-Bを15%含む。
- 4 暗褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土ブロック(Φ10~30mm)を3%、As-Bを10%含む。
- 5 灰白色 粘性ややあり 締まり良く固い 白色粘土が主体。
- 6 褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質ブロック(Φ5~10mm)を10%、As-Bを7%含む。

(93) D-6号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性あり 締まりあり As-C・Hr-FPを7%、白色粘土を3%、炭化物を2%含む。

(93) D-8号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性あり 締まりあり As-C・Hr-FPを3%、白色粘土を5%含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを10%、白色粘土を25%含む。

(93) D-9号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土を25%、砂質ブロックを10%含む。

(93) D-10号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを3%、白色粘土を15%、炭化物を2%含む。

(93) D-12号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%含む。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを10%含む。

(93) D-13号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを5%、砂質粒を3%含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-C・Hr-FPを15%、砂質粒を10%、炭化物を2%含む。

(93) D-15号土坑(A-A')

- 1 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを10%、As-C・Hr-FPを7%、炭化物を2%含む。
- 2 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを7%、As-C・Hr-FPを3%、炭化物を1%含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-C・Hr-FPを3%、白色粘土を5%含む。
- 4 褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土を30%含む。

(93) D-16号土坑(A-A')

- 1 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 細かな白色軽石を5%、白色粘土を15%含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土を10%含む。

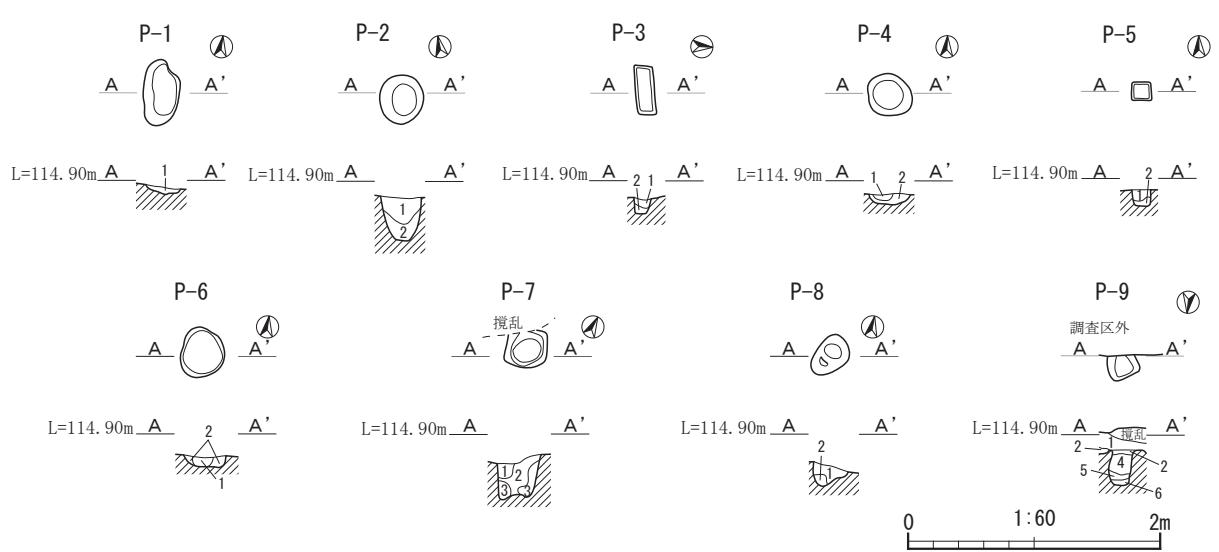
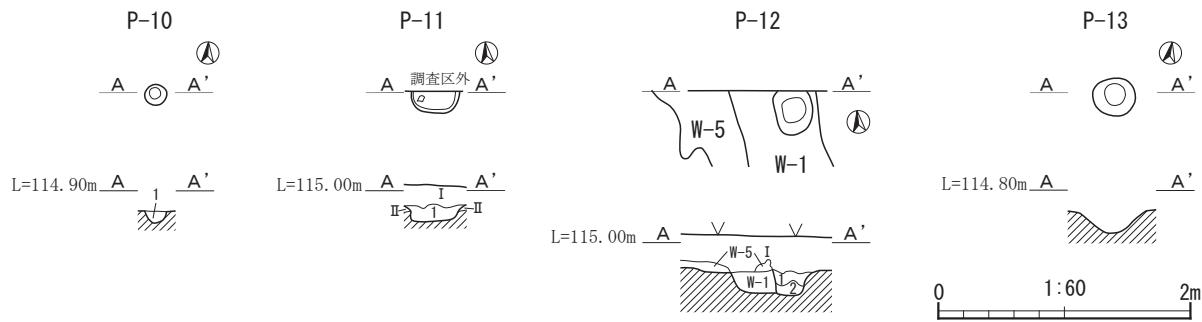


Fig. 56 (93) 土坑群、ピット群



(93) P-1号ピット(A-A')

1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを5%、砂質粒を5%、炭化物を3%含む。

(93) P-2号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土を10%含む。
- 2 黒褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土を3%含む。

(93) P-3号ピット(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり 白色粘土を5%、炭化物を1%含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土を3%含む。

(93) P-4号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-C・Hr-FPを3%、砂質土を7%含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを10%、焼土・炭化物を2%含む。

(93) P-5号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを10%、炭化物を1%含む。
- 2 にぶい黄橙色 粘性あり 締まりあり 白色粘土が主体。

(93) P-6号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性あり 締まりややあり As-C・Hr-FPを5%含む。
- 2 暗褐色 粘性あり 締まりややあり As-C・Hr-FPを3%、白色粘土を15%含む。

(93) P-7号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まりややあり As-Bを15%、白色粘土を5%含む。
- 2 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを10%、白色粘土を7%含む。
- 3 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを7%、白色粘土を15%含む。

(93) P-8号ピット(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを10%、砂質粒を3%含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まりあり 軽石を含まず、白色粘土を10%含む。

(93) P-9号ピット(A-A')

- 1 褐色 表土。
- 2 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%含む。
- 3 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを10%含む。
- 4 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%含む。
- 5 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを5%、白色粘土を15%含む。
- 6 灰白色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土が主体。

(93) P-10号ピット(A-A')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-C・Hr-FPを5%含む。

(93) P-11号ピット(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まりあり As-Bを7%、白色粘土を15%含む。

(93) P-12号ピット(A-A')

- 1 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを20%、焼土を1%含む。
- 2 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを10%、As-C・Hr-FPを7%、炭化物を1%含む。

元総社蒼海遺跡群(94)全体図

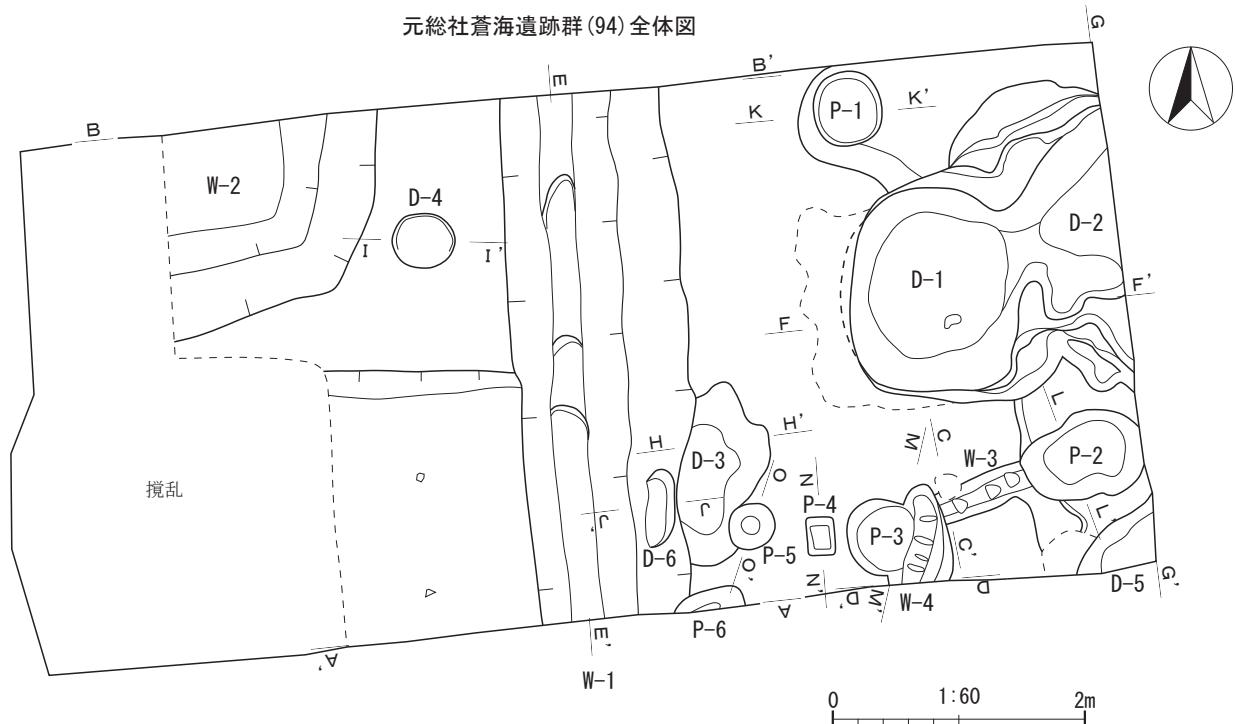
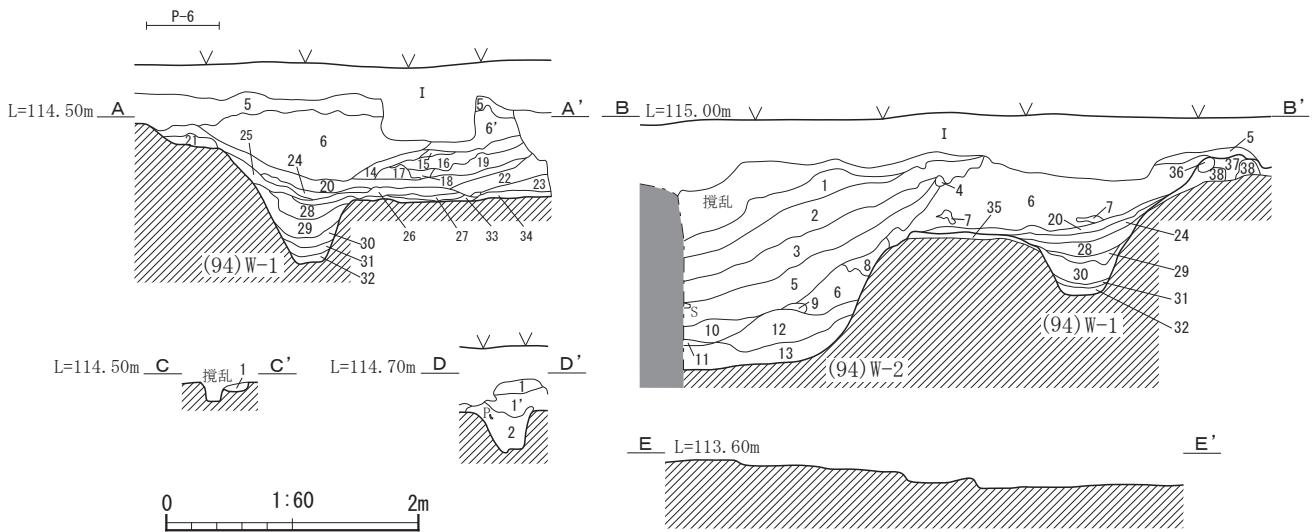


Fig. 57 (93) ピット群、(94) 全体図



(94) W-1・2号溝跡(A-A'、B-B')

- 1 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い
ローム粒(φ1~2mm)、砂質粒(φ2~5mm)を25%含み、As-Bを10%含む。
- 2 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い
ローム粒(φ1~2mm)を5%、砂質粒(φ1~2mm)を10%、As-Bを25%含む。
- 3 にぶい黄橙色 粘性なし 締まり良く固い 砂質粒(φ1~2mm)を7%含み、As-Bを15%含む。
- 4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを2%含む。
- 5 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 砂質粒(φ1~2mm)を10%含み、As-Bを5%含む。
- 6 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ1~10mm)を40%、砂質ブロック(φ5~20mm)を5%、As-Bを15%含む。
- 6' 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒を15%、As-Bを15%含む。
- 7 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを50%含む。
- 8 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを7%含む。
- 9 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 砂質粒(φ1~2mm)を2%含み、As-Bを7%含む。
- 10 にぶい黄褐色 粘性あり 締まりあり 砂質粒(φ1~2mm)を10%含み、As-Bを10%含む。
- 11 暗褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土ブロック(φ2~5mm)を7%含む。
- 12 暗褐色 粘性あり 締まりあり
白色粘土ブロック(φ1~5mm)を30%、砂質ブロック(φ2~5mm)を7%、As-Bを5%含む。
- 13 黑褐色 粘性あり 締まりあり
白色粘土ブロック(φ2~5mm)を15%、砂質ブロック(φ2~5mm)を3%含む。
- 14 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを20%、白色粘土粒を5%含む。
- 15 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを15%、白色粘土粒を15%含む。
- 16 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを10%、白色粘土粒・塊を15%含む。
- 17 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%、白色粘土粒・塊を25%含む。
- 18 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%、白色粘土粒を3%含む。
- 19 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを7%、白色粘土粒・塊を40%含む。
- 20 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 砂質ブロック(φ2~5mm)を7%、As-Bを15%含む。
- 21 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒を30%含む。
- 22 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを15%、白色粘土粒・塊を10%含む。
- 23 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-Bを10%、白色粘土粒・塊を15%含む。
- 24 褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土ブロック(φ2~5mm)を5%、砂質ブロック(φ2~5mm)を7%含む。
- 25 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを10%、白色粘土粒を5%含む。
- 26 黒褐色 粘性あり 締まりあり As-C-Hr-FPを5%、白色粘土粒を7%含む。
- 27 暗褐色 粘性あり 締まりあり 塩化物を2%、白色粘土粒を3%含む。
- 28 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土ブロック(φ2~20mm)を15%、砂質ブロック(φ2mm)を3%含む。
- 29 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 砂質ブロック(φ10mm)を5%、炭化物を1%含む。
- 30 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ2mm)を40%、砂質ブロック(φ3~5mm)を10%、炭化物を3%含む。
- 31 黒褐色 粘性あり 締まり良く固い Hr-FPを3%含む。
- 32 にぶい黄褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土(φ2~5mm)を50%含む。下位に砂層。
- 33 暗褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土粒が主体。
- 34 にぶい黄橙色 粘性あり 締まりあり 白色粘土粒が主体。
- 35 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを5%、白色粘土粒を10%含む。
- 36 褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂岩ブロック(地山)。
- 37 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い 細かな白色軽石を15%含む(地山)。
- 38 にぶい黄褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 白色粘土が主体(地山)。

(94) W-3号溝跡(C-C')

- 1 褐色 粘性あり 締まり良く固い
白色粘土(φ5~10mm)を15%、砂質ブロック(φ5mm)を7%含む。

(94) W-4号溝跡(D-D')

- 1 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%、炭化物を2%含む。
- 1' にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%、炭化物を7%、白色粘土(φ2~3mm)を5%含む。
- 2 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを7%、白色粘土塊を40%、炭化物を2%含む。

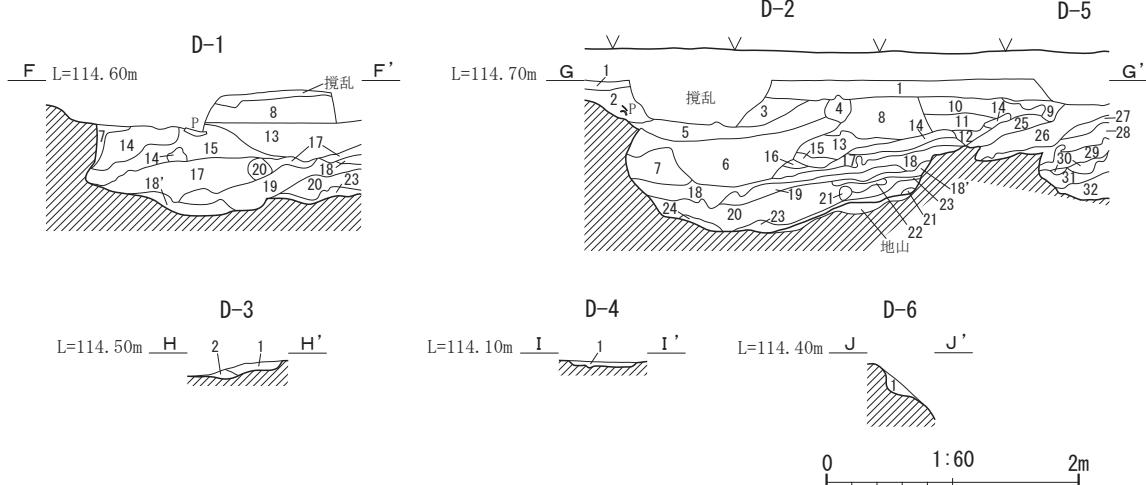


Fig. 58 (94) W-1 ~ 4、土坑群

(94) D-1・2・5号土坑(F-F', G-G')

- 1 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-Bを15%、炭化物を7%含む。
- 2 褐色 粘性なし 締まり良く固い
As-Bを7%、炭化物を5%、白色粘土・砂質ブロックを2%含む。
- 3 褐色 粘性なし 締まり良く固い
As-Bを10%、白色粘土ブロック(Φ5~20mm)を7%、As-C-Hr-FPを5%含む。
- 4 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを7%、白色粘土ブロック(Φ5~20mm)を10%、炭化物を1%含む。
- 5 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを7%、白色粘土ブロック(Φ5~20mm)を15%含む。
- 6 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを7%、白色粘土ブロック・砂質ブロック(Φ5~30mm)を15%含む。
- 7 灰白色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土が主体。
- 8 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを15%、砂質ブロック(Φ2~5mm)を5%含む。
- 9 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを3%、炭化物を1%含む。
- 10 褐色 粘性ややあり 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを10%、砂質ブロック(Φ5mm)を2%、炭化物を1%含む。
- 11 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを7%、砂質粒を2%、炭化物を1%含む。
- 12 褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを3%、白色粘土粒・砂質粒を5%含む。
- 13 暗褐色 粘性なし 締まり良く固い As-C-Hr-FPを10%、砂質粒を15%含む。
- 14 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒・塊を40%含む。
- 15 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 砂質粒・塊を40%含む。

(94) D-3号土坑(H-H')

- 1 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを10%、白色粘土・砂質ブロック(Φ10~50mm)を15%含む。
- 2 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土ブロック(Φ5~20mm)を10%含む。

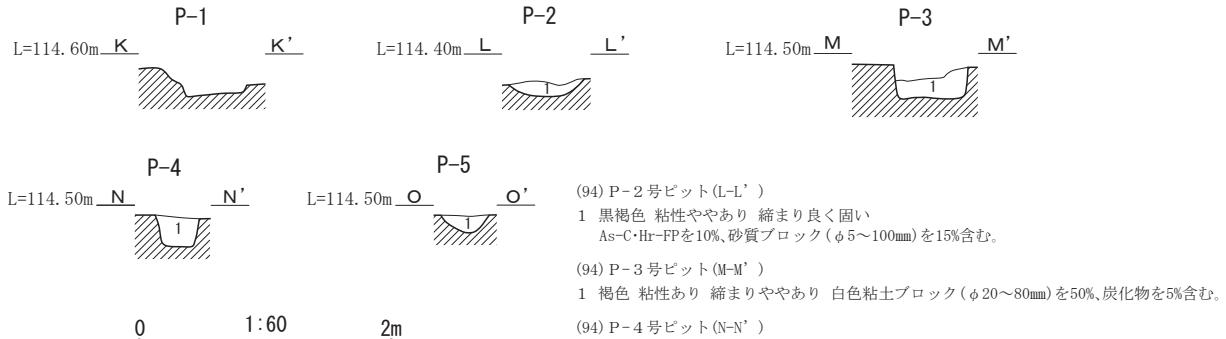
(94) D-4号土坑(I-I')

- 1 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土ブロック(Φ2~5mm)を20%、炭化物を2%含む。

(94) D-6号土坑(J-J')

- 1 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを7%、白色粘土(Φ20mm)を20%含む。

- 16 黒褐色 粘性なし 締まり良く固い 粗砂、As-C-Hr-FPを5%含む。
- 17 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒を10%、砂質粒を7%含む。
- 18 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒・塊を50%、砂質粒を7%含む。
- 18' 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒・塊を20%、砂質粒を7%含む。
- 19 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土粒・塊を3%、砂質粒10%含む。
- 20 黒褐色 As-Bを15%、白色粘土粒を5%、砂質粒(Φ5mm)を7%含む。
- 21 黄褐色 粘性なし 締まり良く固い 砂質ブロック。
- 22 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い 白色粘土粒を10%、As-C-Hr-FPを3%含む。
- 23 黑褐色 粘性あり 締まりあり 白色粘土粒を7%、砂質粒を3%含む。
- 24 暗褐色 粘性あり 締まりあり 砂質粒・塊を10%、白色粘土粒を5%含む。
- 25 褐色 砂質粒・塊を7%、白色粘土粒を10%含む。
- 26 暗褐色 粘性ややあり 締まり良く固い As-Bを7%、白色粘土粒・塊を10%、砂質粒を10%含む。
- 27 暗褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを5%、砂質粒を3%含む。
- 28 褐色 粘性あり 締まり良く固い 白色粘土を40%、砂質粒・ブロックを20%含む。
- 29 暗褐色 粘性あり 締まりあり As-Bを10%、砂質粒を7%含む。
- 30 黑褐色 粘性ややあり 締まりあり 粗砂、As-C-Hr-FPを5%含む。
- 31 暗褐色 粘性あり 締まりあり 砂質粒を7%含む。
- 32 黑褐色 粘性あり 締まりあり 砂質粒・ブロックを10%含む。



(94) P-2号ピット(L-L')

- 1 黒褐色 粘性ややあり 締まり良く固い
As-C-Hr-FPを10%、砂質ブロック(Φ5~100mm)を15%含む。

(94) P-3号ピット(M-M')

- 1 褐色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土ブロック(Φ20~80mm)を50%、炭化物を5%含む。

(94) P-4号ピット(N-N')

- 1 褐色 粘性あり 締まりややあり 白色粘土ブロック(Φ20~80mm)を50%、炭化物を5%含む。

(94) P-5号ピット(O-O')

- 1 褐色 粘性あり 締まり良く固い As-C-Hr-FPを5%、白色粘土(Φ2~10mm)を15%含む。

Fig. 59 (94) 土坑群、ピット群

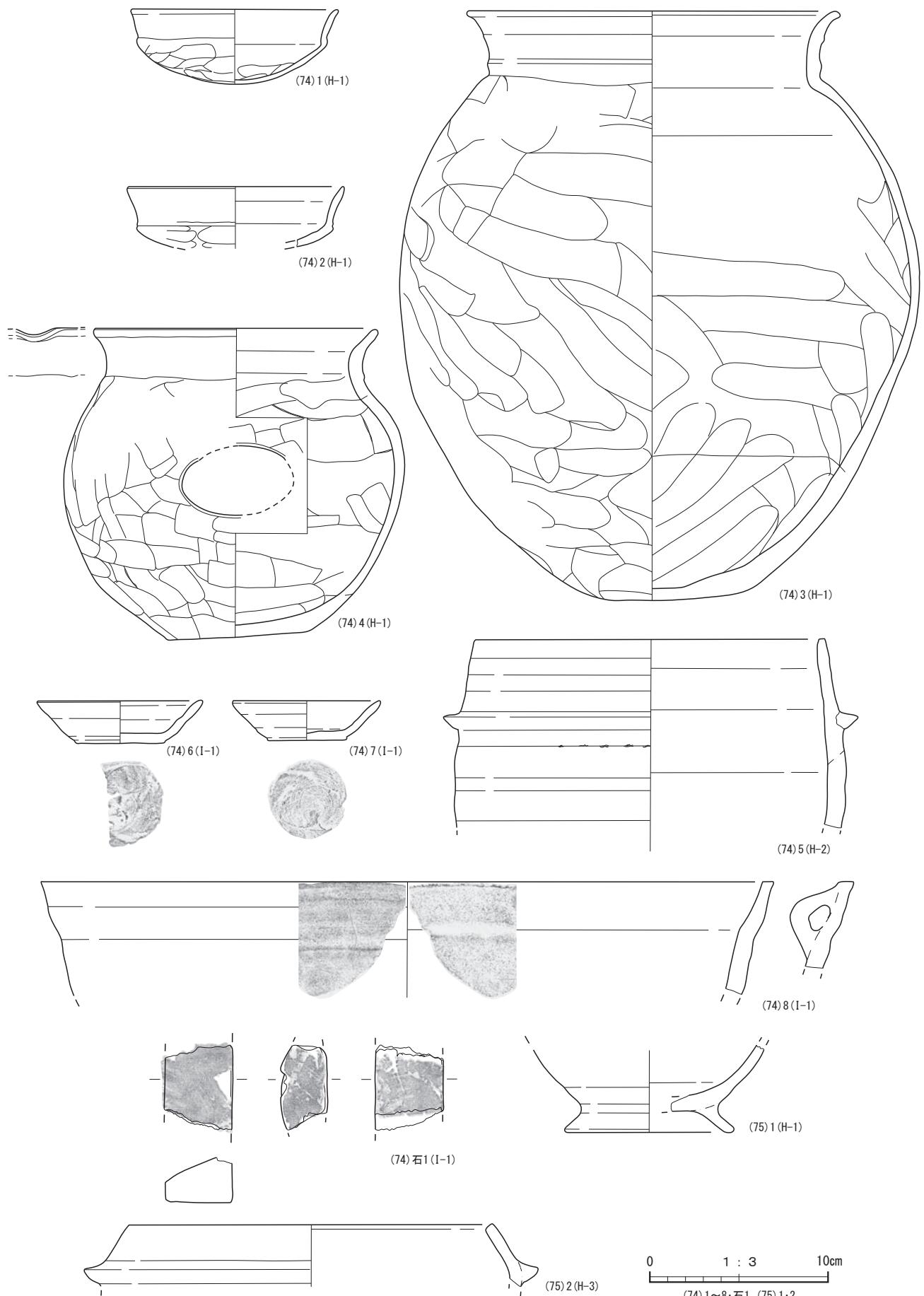


Fig. 60 (74) (75) 出土遺物

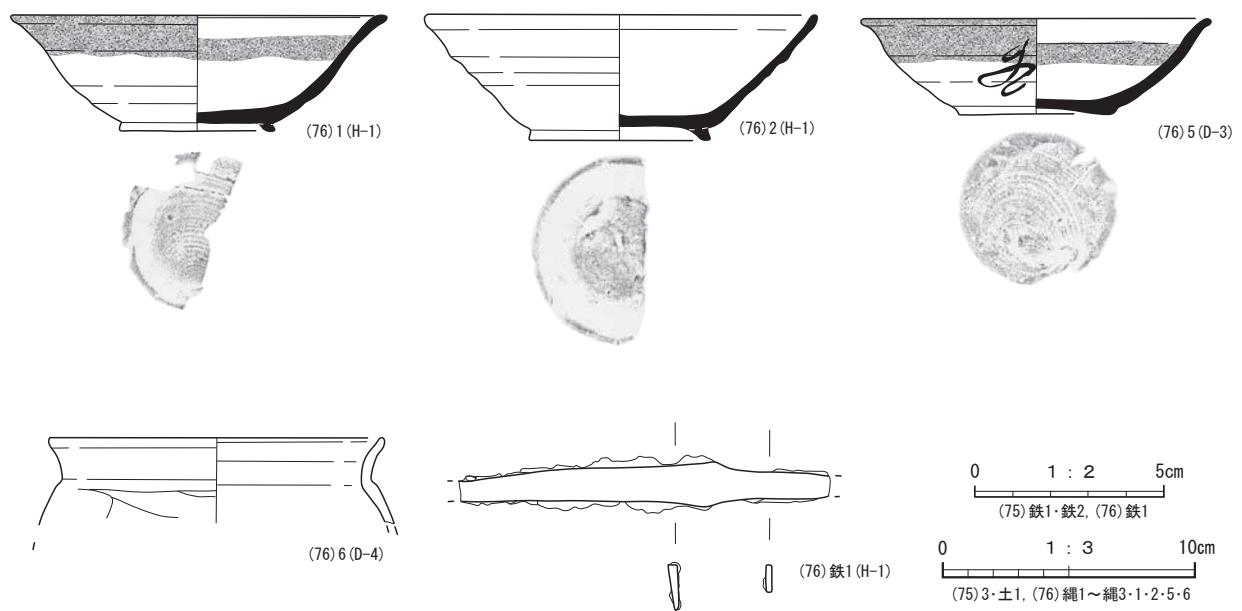
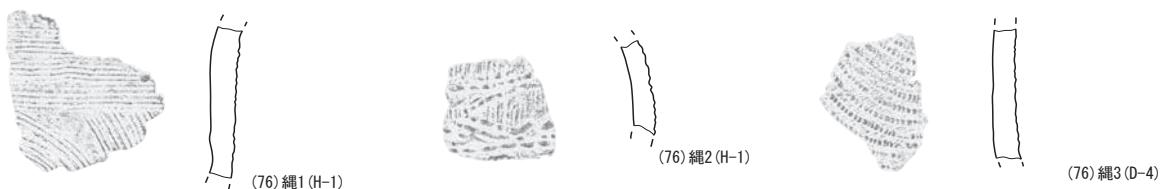
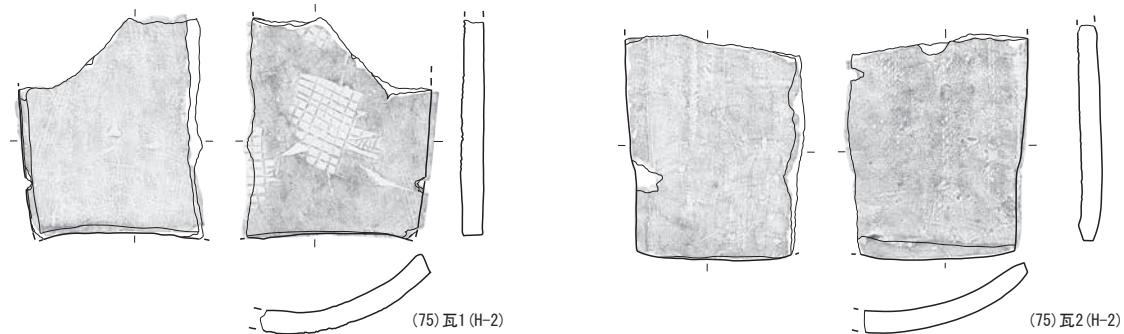
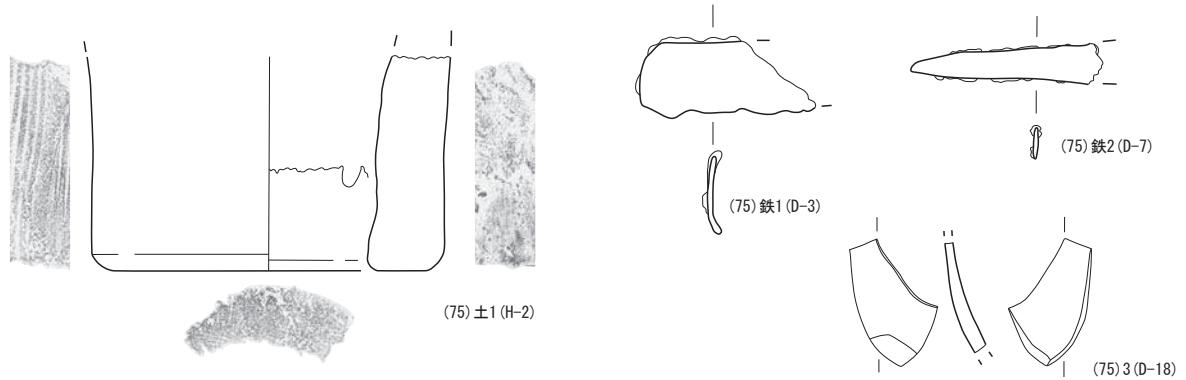


Fig. 61 (75) (76) 出土遺物

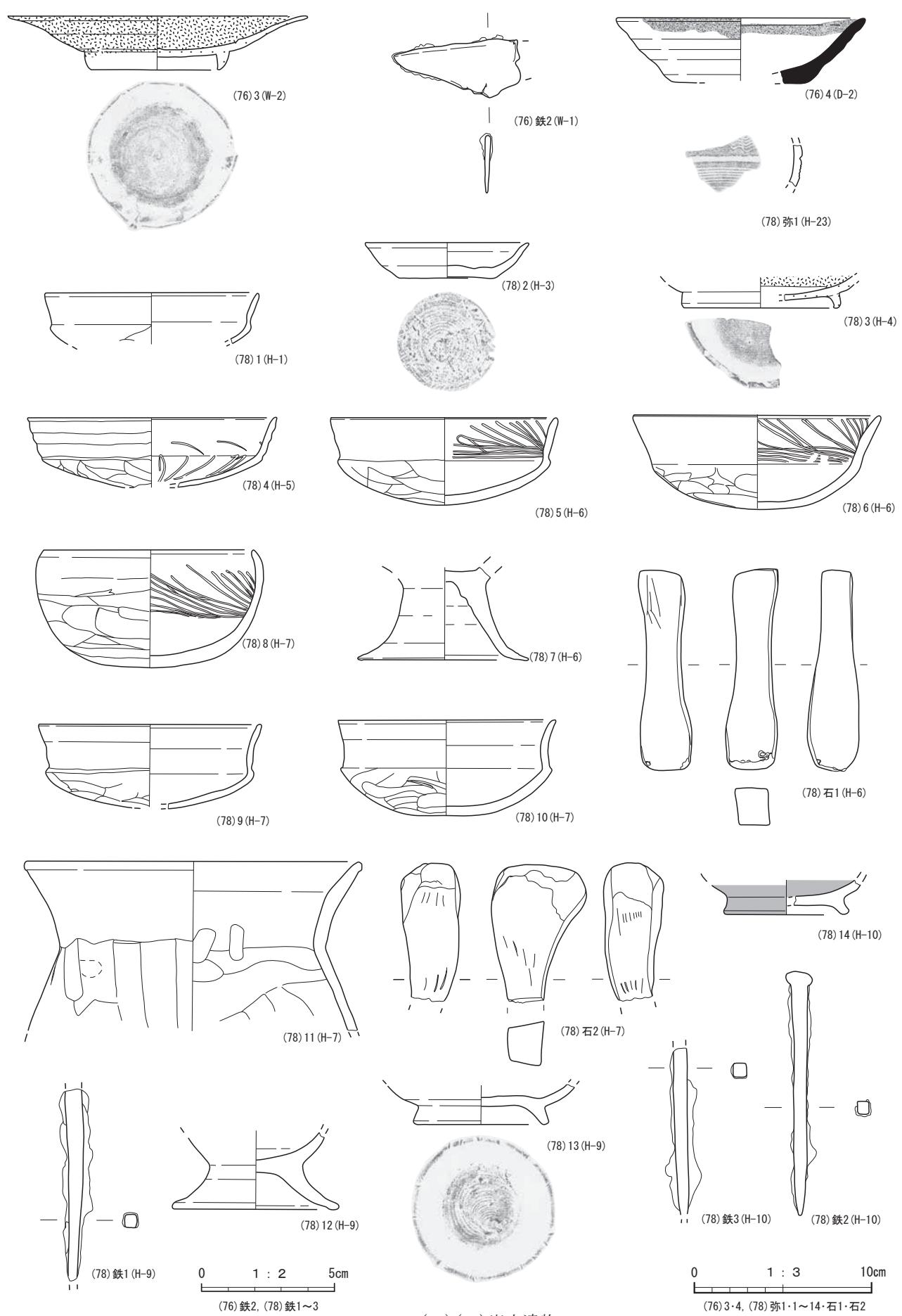


Fig. 62 (76) (78) 出土遺物

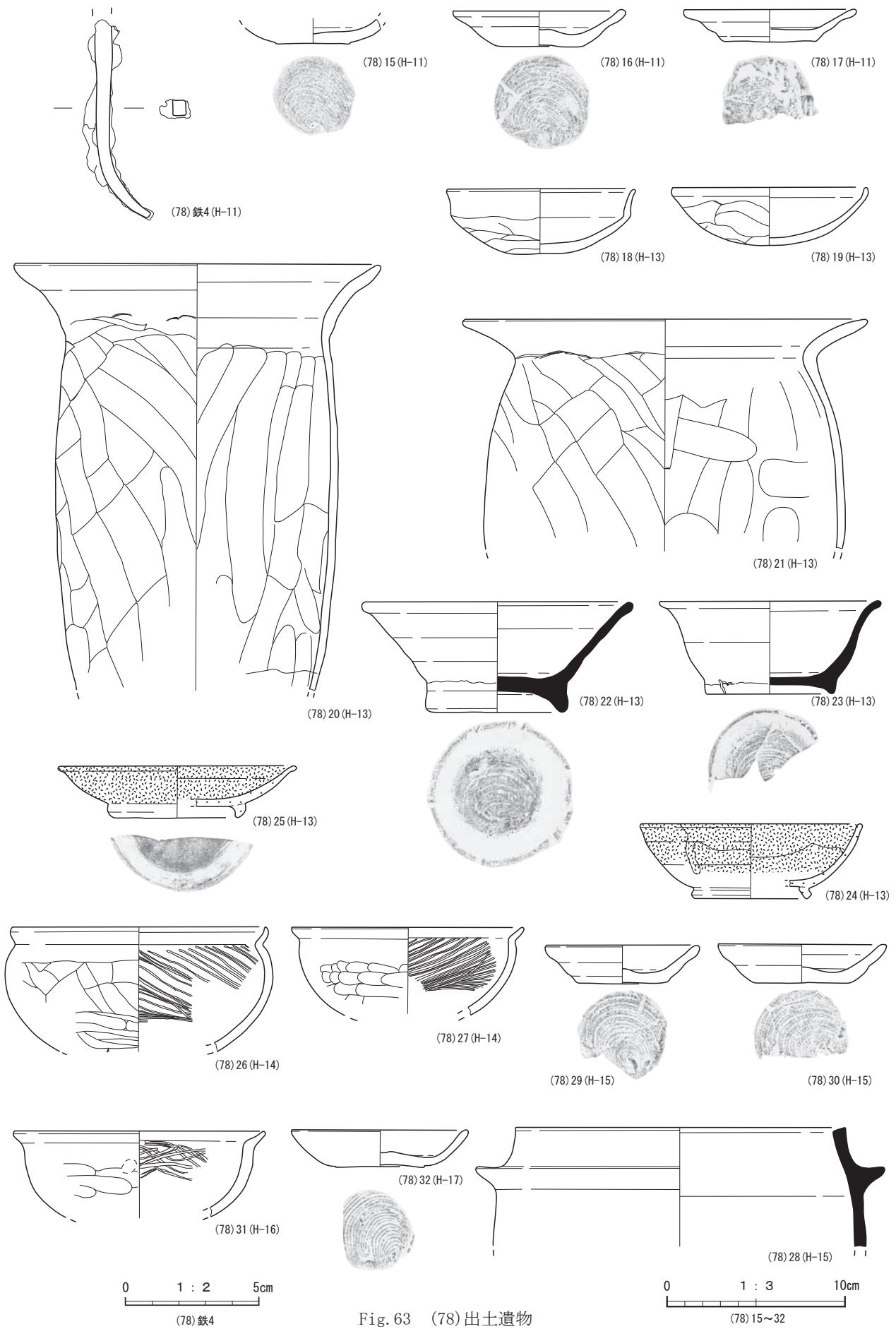


Fig. 63 (78) 出土遺物

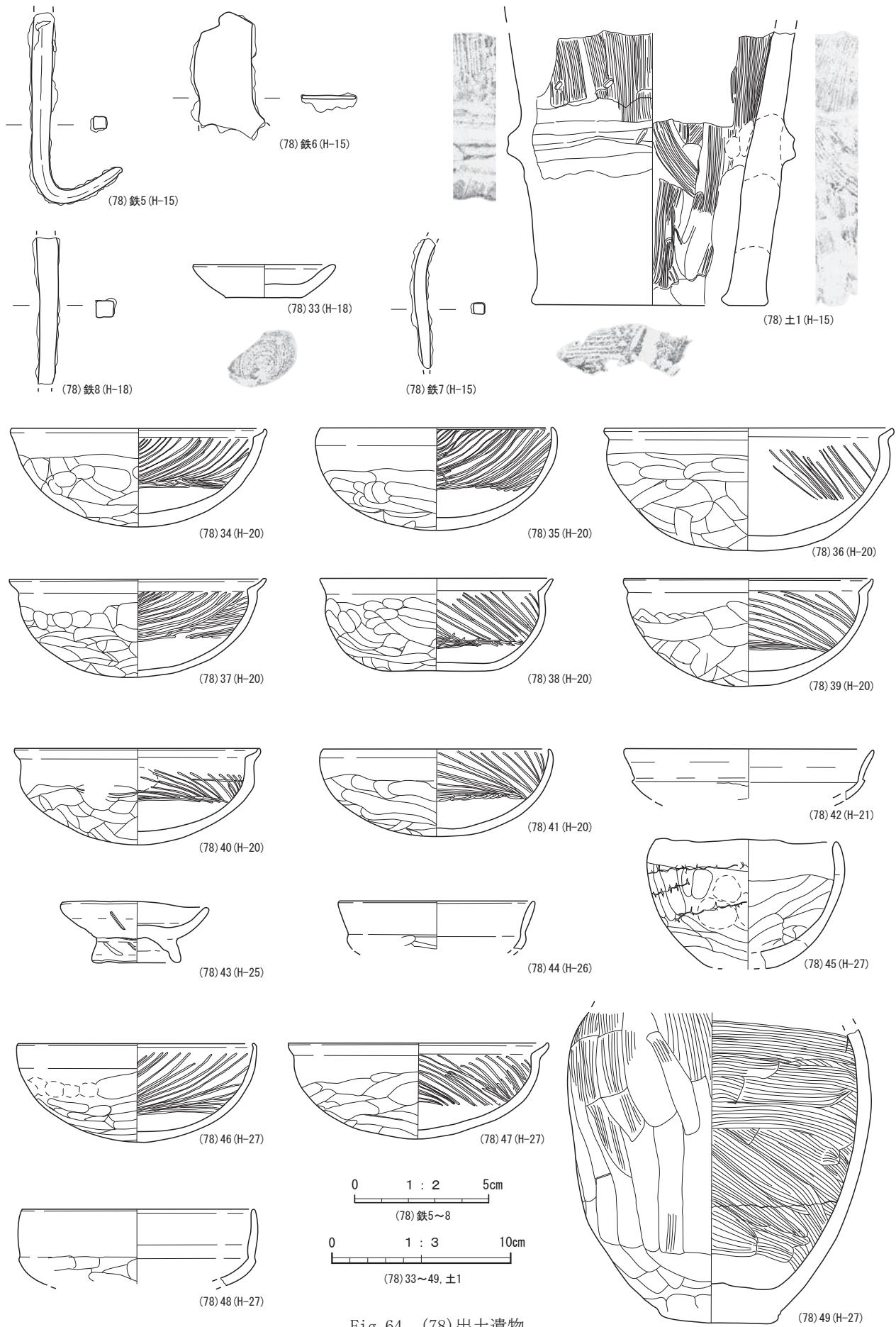


Fig. 64 (78) 出土遺物

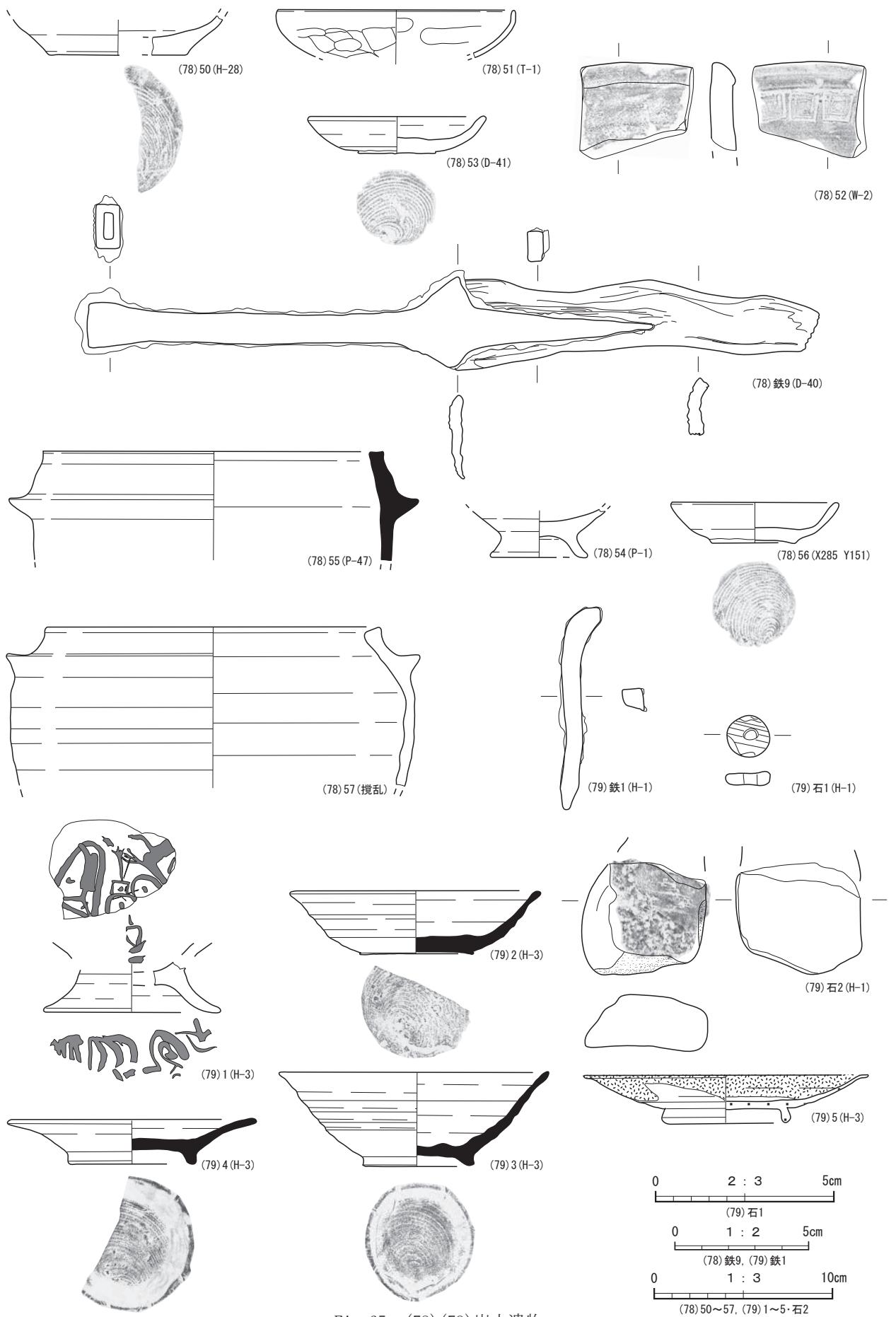


Fig. 65 (78) (79) 出土遺物

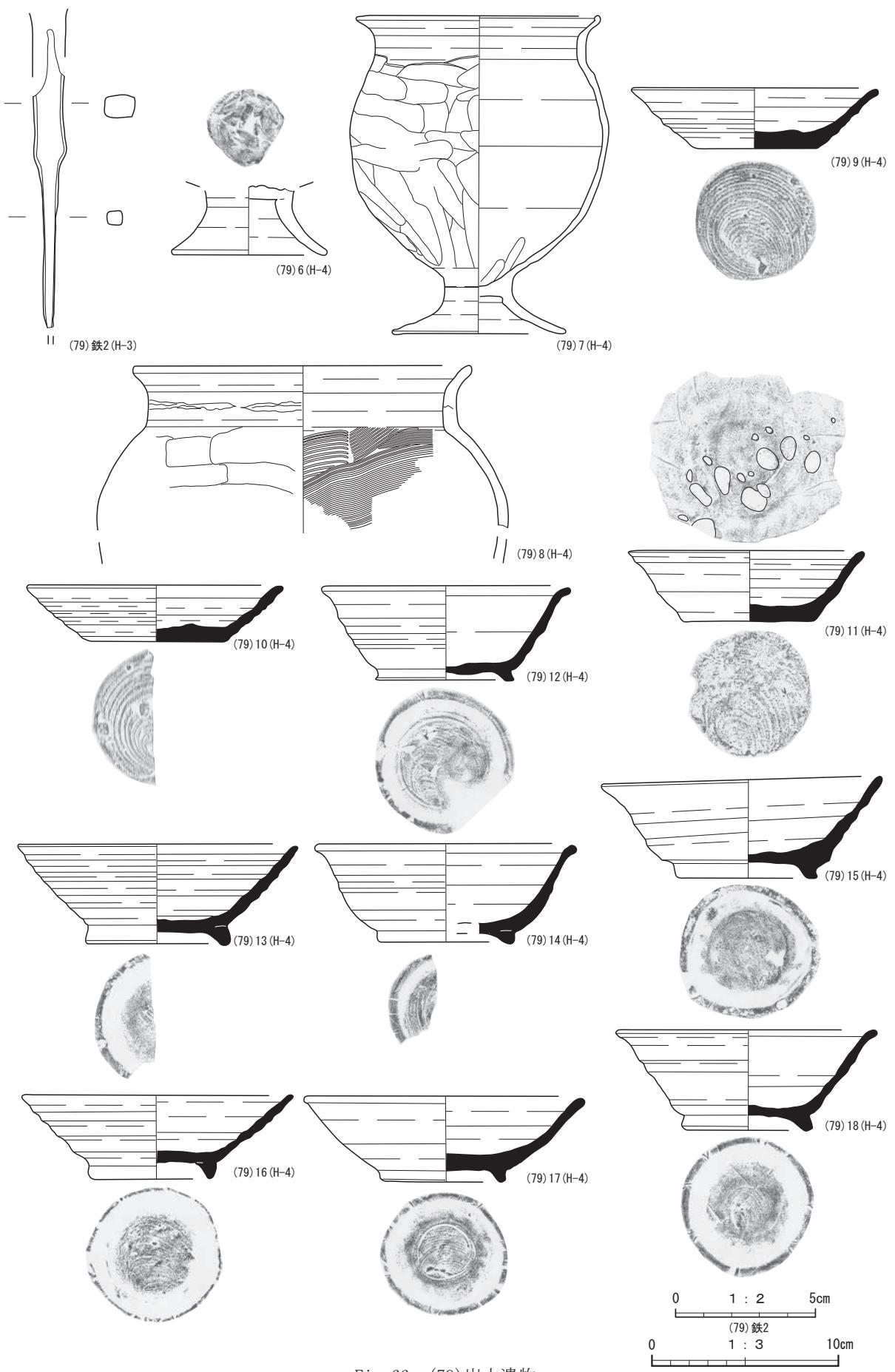


Fig. 66 (79) 出土遺物

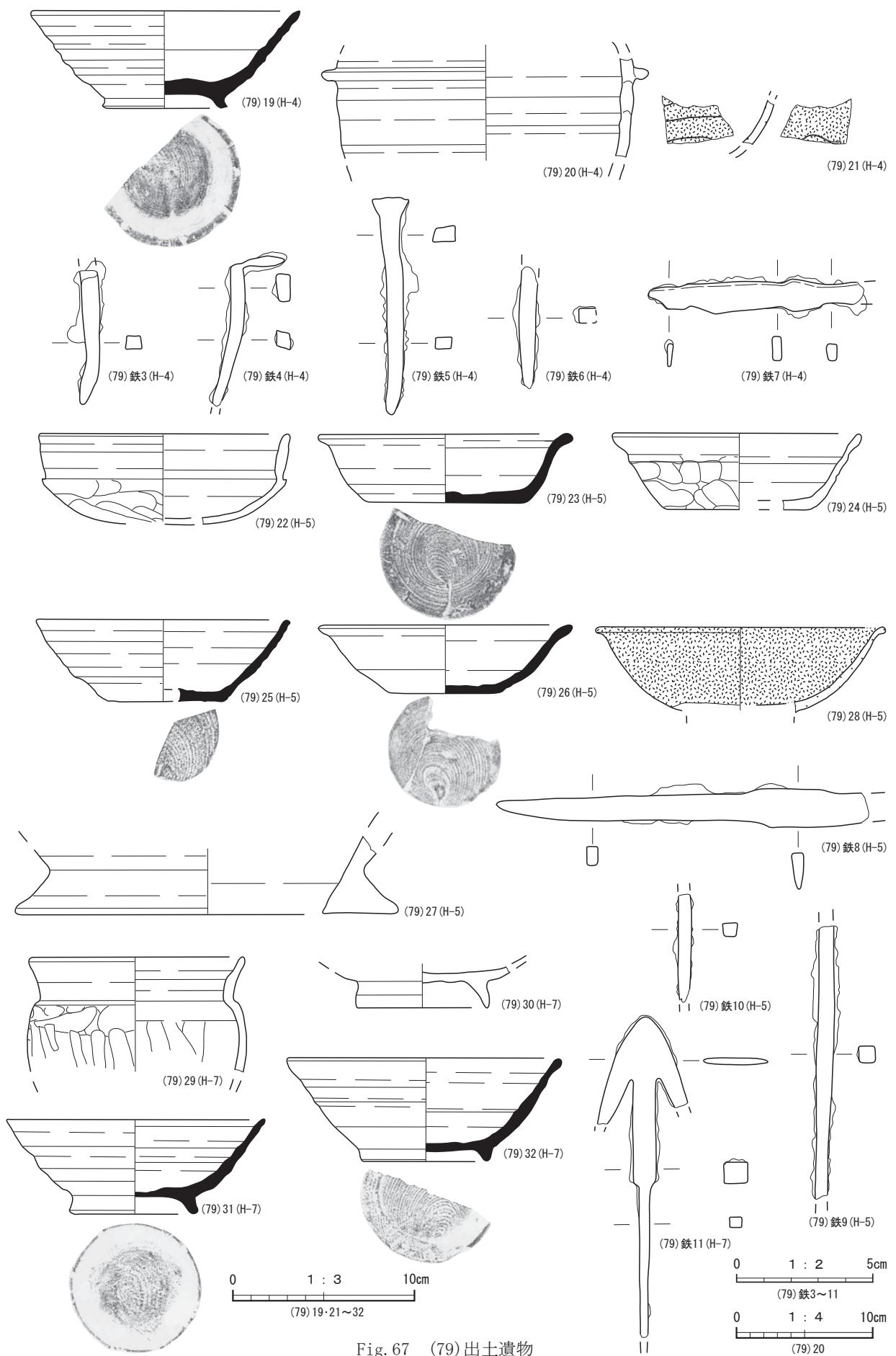


Fig. 67 (79) 出土遺物

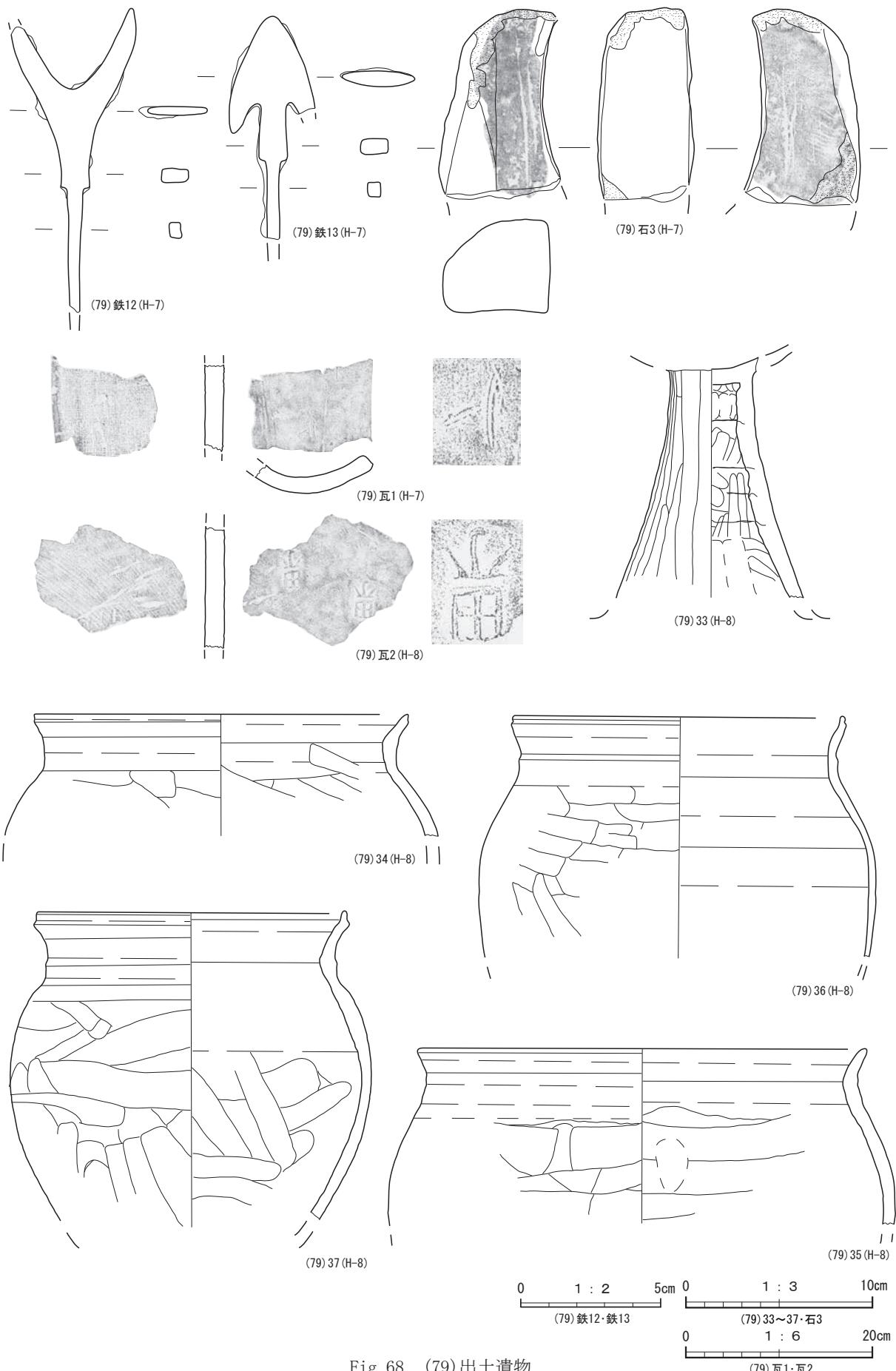


Fig. 68 (79) 出土遺物

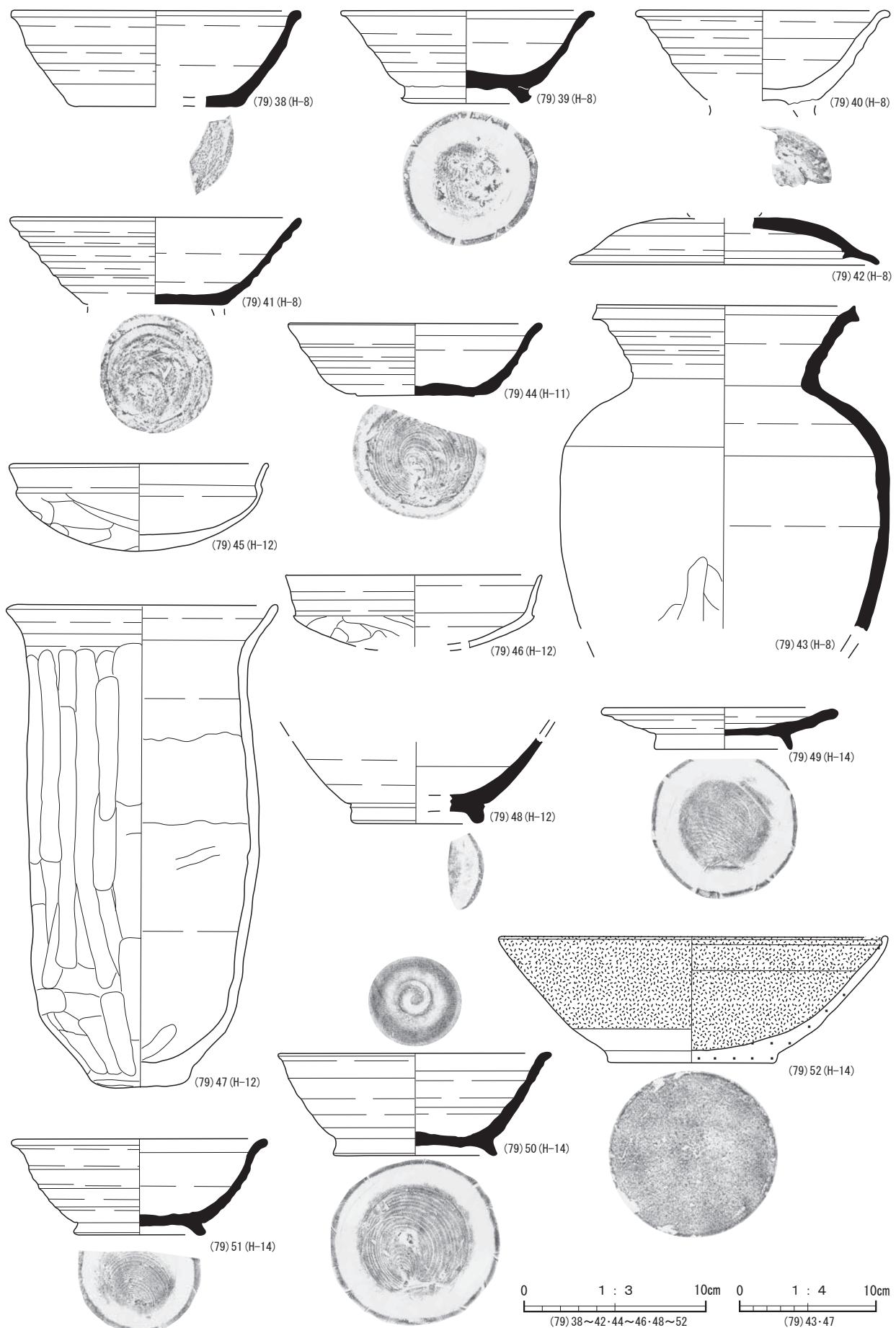


Fig. 69 (79) 出土遺物

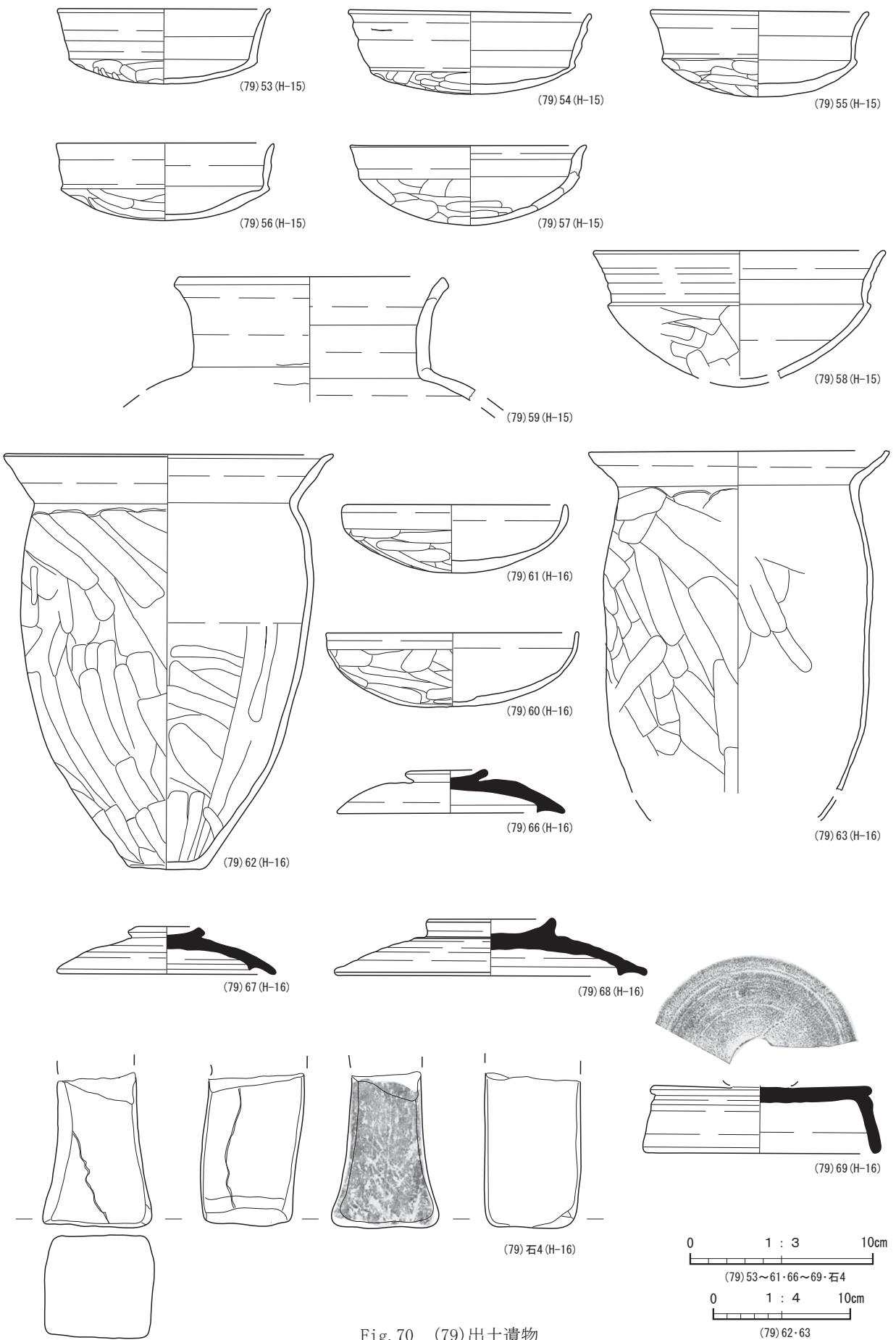


Fig. 70 (79) 出土遺物

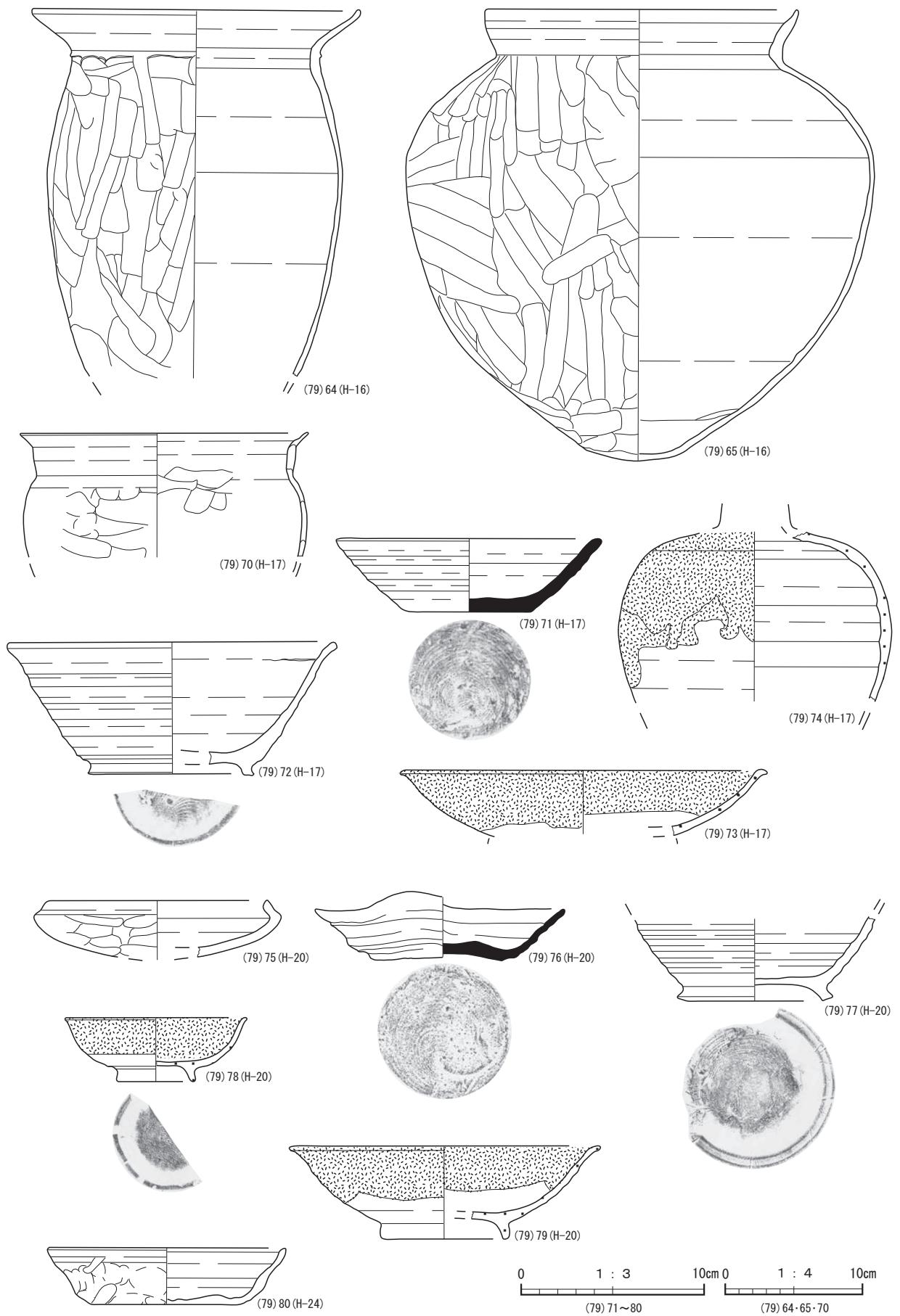


Fig. 71 (79) 出土遺物

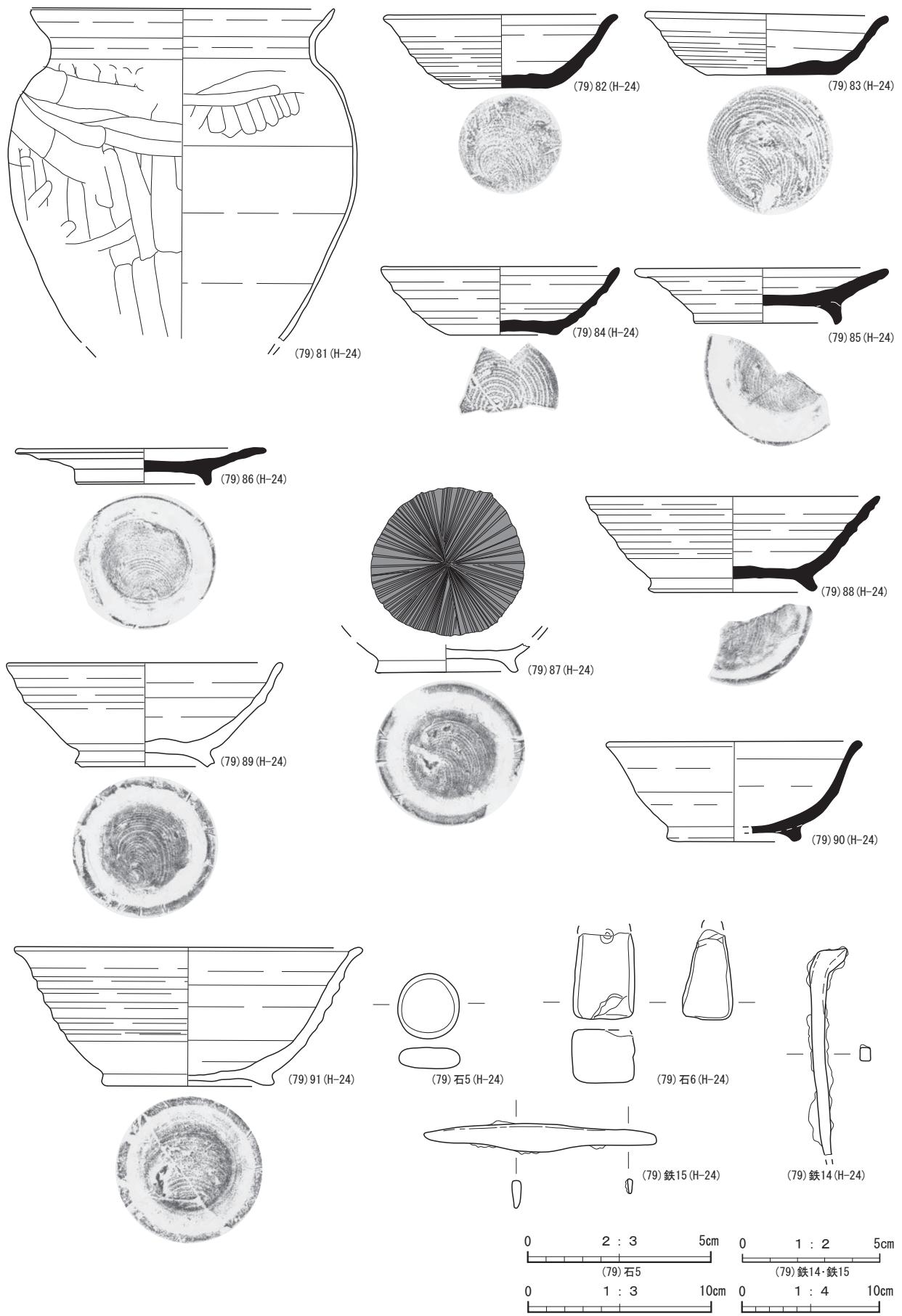


Fig. 72 (79) 出土遺物

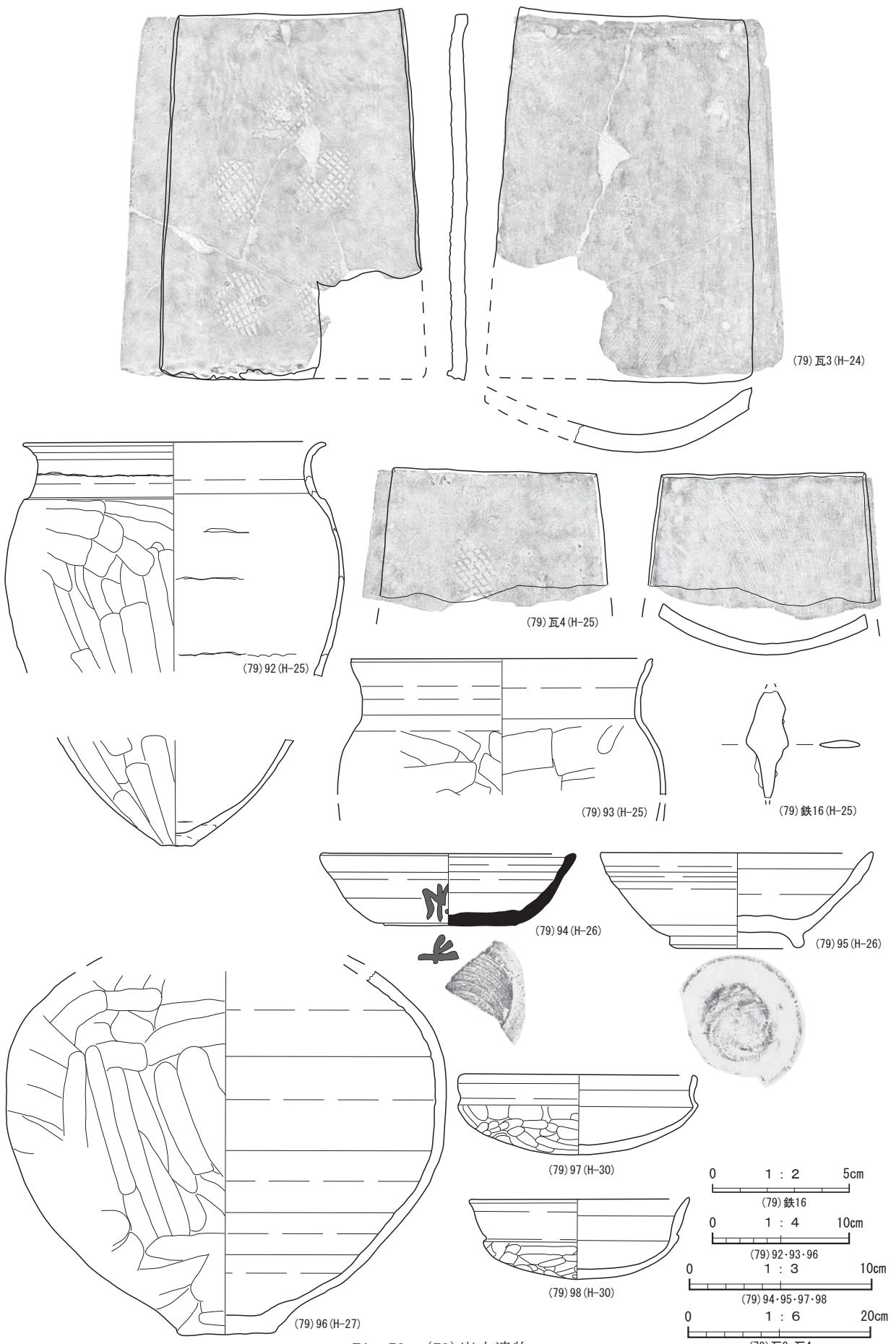


Fig. 73 (79) 出土遺物

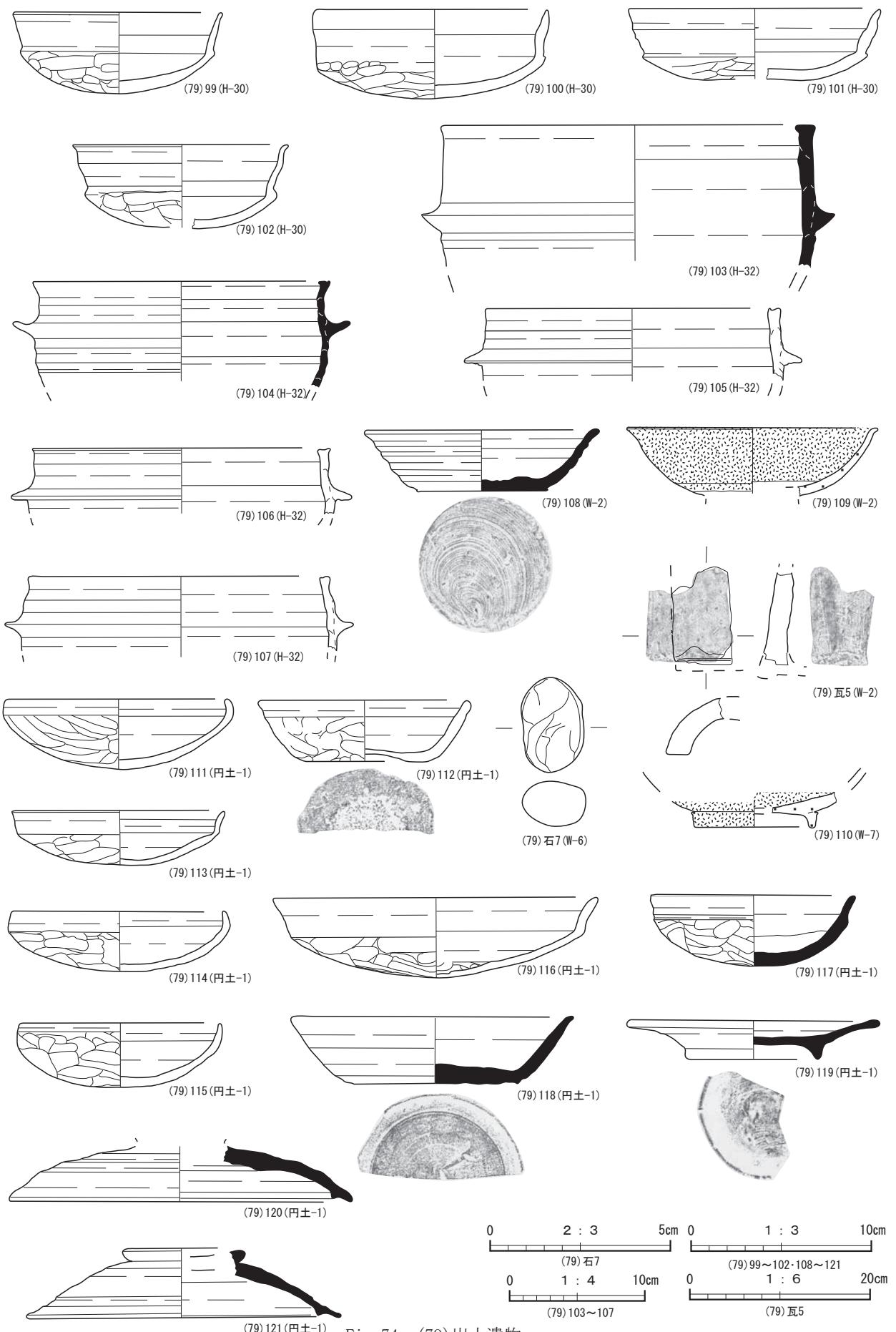


Fig. 74 (79) 出土遺物

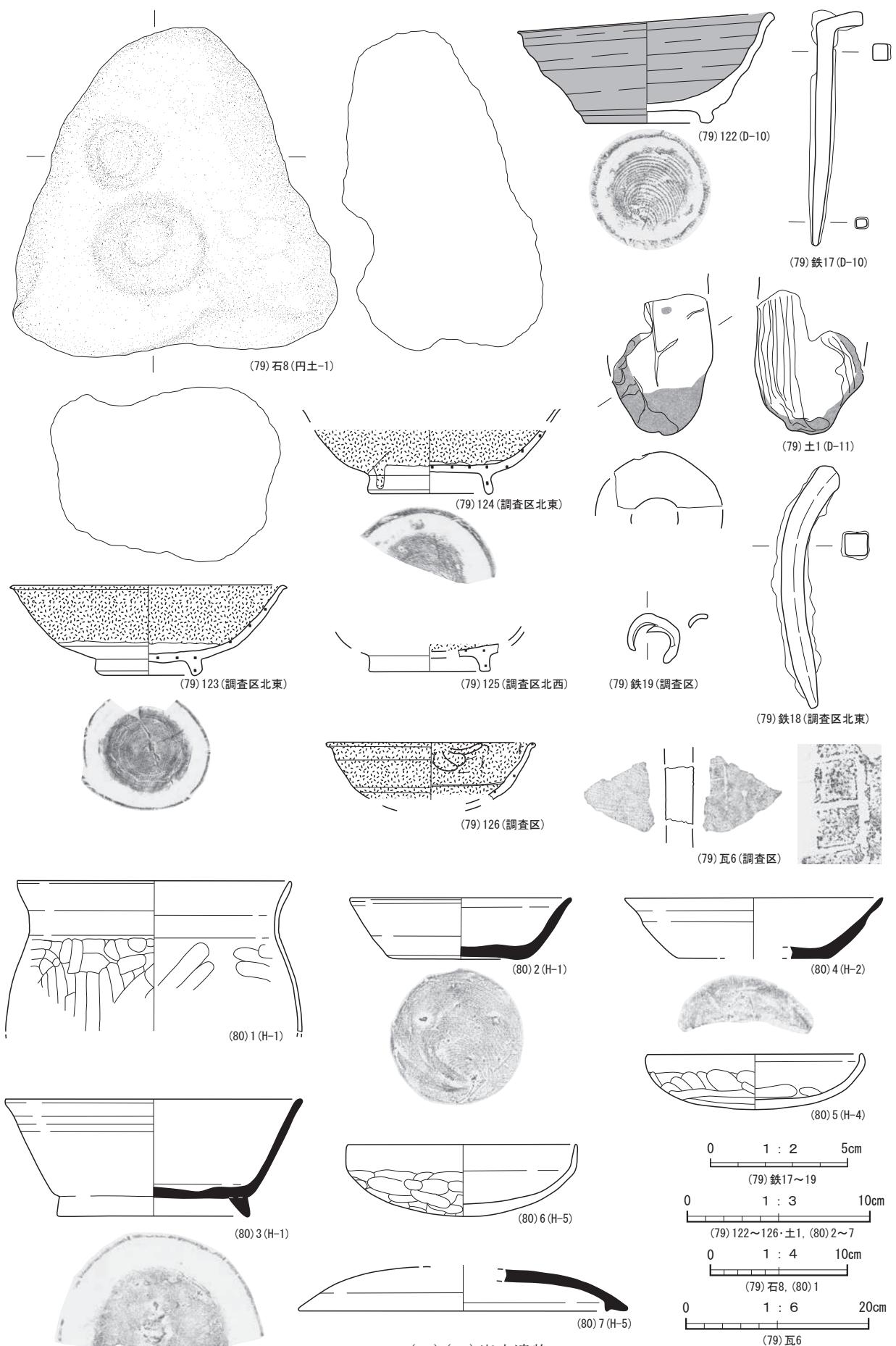


Fig. 75 (79) (80) 出土遺物

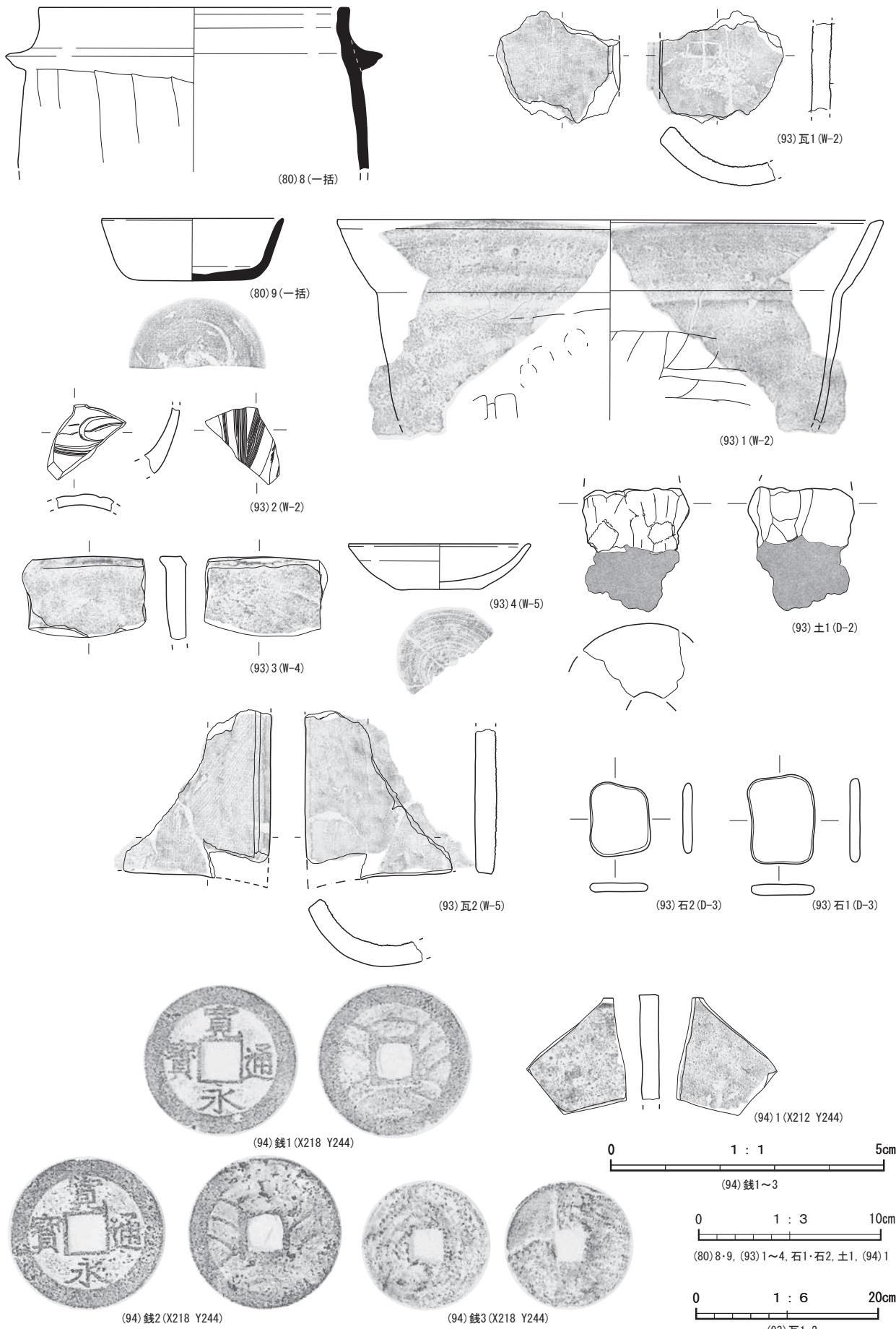


Fig. 76 (80) (93) (94) 出土遺物



(74) 西側調査区全景 (西から)



(74) 東側調査区全景 (北から)



(74) H-1 全景 (西から)



(74) H-2 全景 (北から)



(74) W-1、I-1 全景 (北から)



(75) 調査区全景 (北から)



(75) H-1 全景 (北から)



(75) H-2 全景 (北西から)



(75) H- 2 竪全景 (北西から)



(75) H- 3 全景 (北から)



(75) H- 3 竪全景 (西から)



(76) 調査区全景 (東から)



(76) H- 1 全景 (西から)



(76) W- 1 ・ 2 、 D- 2 全景 (北から)



(77) 調査区全景 (東から)



(77) I - 1 全景 (東から)



(78) 調査区南端部全景（北から）



(78) H- 1 全景（東から）



(78) H- 2 全景（北から）



(78) H- 3 全景（北から）



(78) H- 4 全景（東から）



(78) H- 5 掘り方全景（東から）



(78) H- 6 全景（南西から）



(78) H- 7 遺物出土状況（南西から）



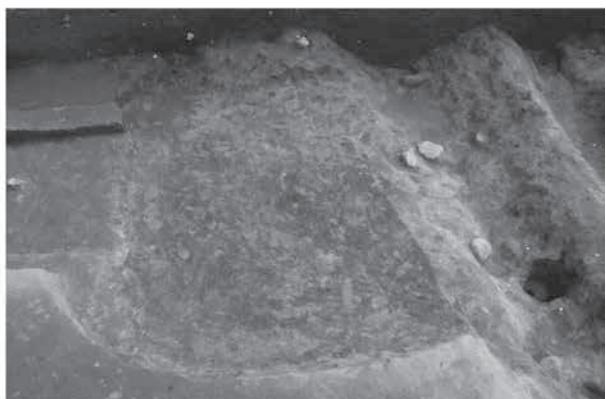
(78) H-7 竪全景 (南西から)



(78) H-8・25全景 (西から)



(78) H-9 全景 (北西から)



(78) H-10全景 (西から)



(78) H-11全景 (西から)



(78) H-13・14全景 (西から)



(78) H-15全景 (南から)



(78) H-15・16全景 (西から)



(78) H-17全景（西から）



(78) H-18全景（東から）



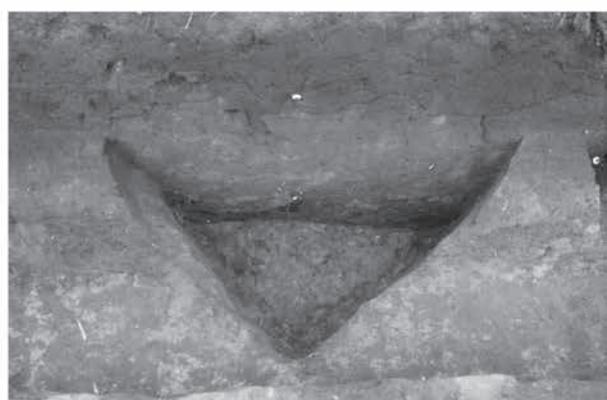
(78) H-19全景（東から）



(78) H-20遺物出土状況（西から）



(78) H-21全景（西から）



(78) H-22全景（南から）



(78) H-23・28全景（南から）



(78) H-26全景（北から）



(78) H-27全景（西から）



(78) H-29全景（南から）



(78) T-1全景（西から）



(78) W-1全景（東から）



(78) W-2・3全景（東から）



(78) I-1全景（北から）



(78) D-40遺物出土状況（北から）



(78) D-40遺物出土状況（北から）



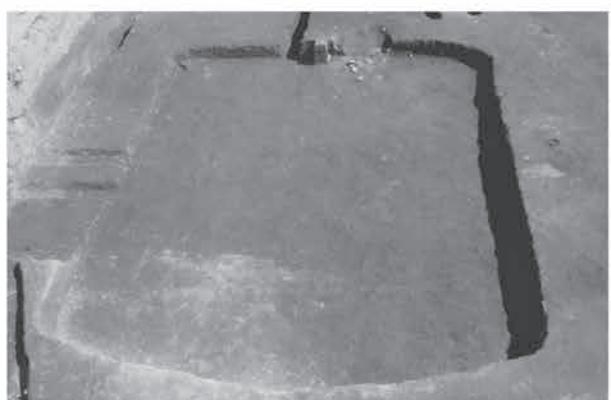
(79) H-1 全景 (西から)



(79) H-3 全景 (西から)



(79) H-4 窟全景 (西から)



(79) H-7 全景 (西から)



(79) H-7 窟全景 (西から)



(79) H-8 全景 (西から)



(79) H-8 窟全景 (西から)



(79) H-9 全景 (南から)



(79) H-12全景（南から）



(79) H-12竈全景（南から）



(79) H-15全景（南から）



(79) H-15西竈全景（東から）



(79) H-15北竈全景（南から）



(79) H-16遺物出土状況（西から）



(79) H-16竈遺物出土状況（西から）



(79) H-20全景（南から）



(79) H-30全景（南から）



(79) H-32竈全景（南から）



(79) H-32全景（南から）



(79) W-2 全景（東から）



(79) 円形有段遺構全景（北から）



(79) D-10全景（東から）



(79) D-10遺物出土状況（東から）



(79) D-13全景（北から）



(80) H- 1 全景 (西から)



(80) H- 1 竪全景 (西から)



(80) H- 2 全景 (南から)



(80) H- 3 全景 (南から)



(80) H- 4 全景 (西から)



(80) H- 5 ・ 6 全景 (西から)



(80) H- 5 竪全景 (西から)



(80) W- 1 全景 (北から)



(92) 調査区全景（東から）



(93) 調査区全景（東から）



(93) W-1・5 全景（南から）



(93) W-2 全景（南から）



(93) W-2 南壁断面（北から）



(93) W-3・4 全景（南から）



(93) W-3 南壁断面（北から）



(93) 調査区西側全景（北から）



(94) 調査区全景 (東から)



(94) W- 1 全景 (南から)



(94) W- 2 全景 (南から)



(94) W- 1 南壁断面 (北から)



(94) W- 3 全景 (東から)



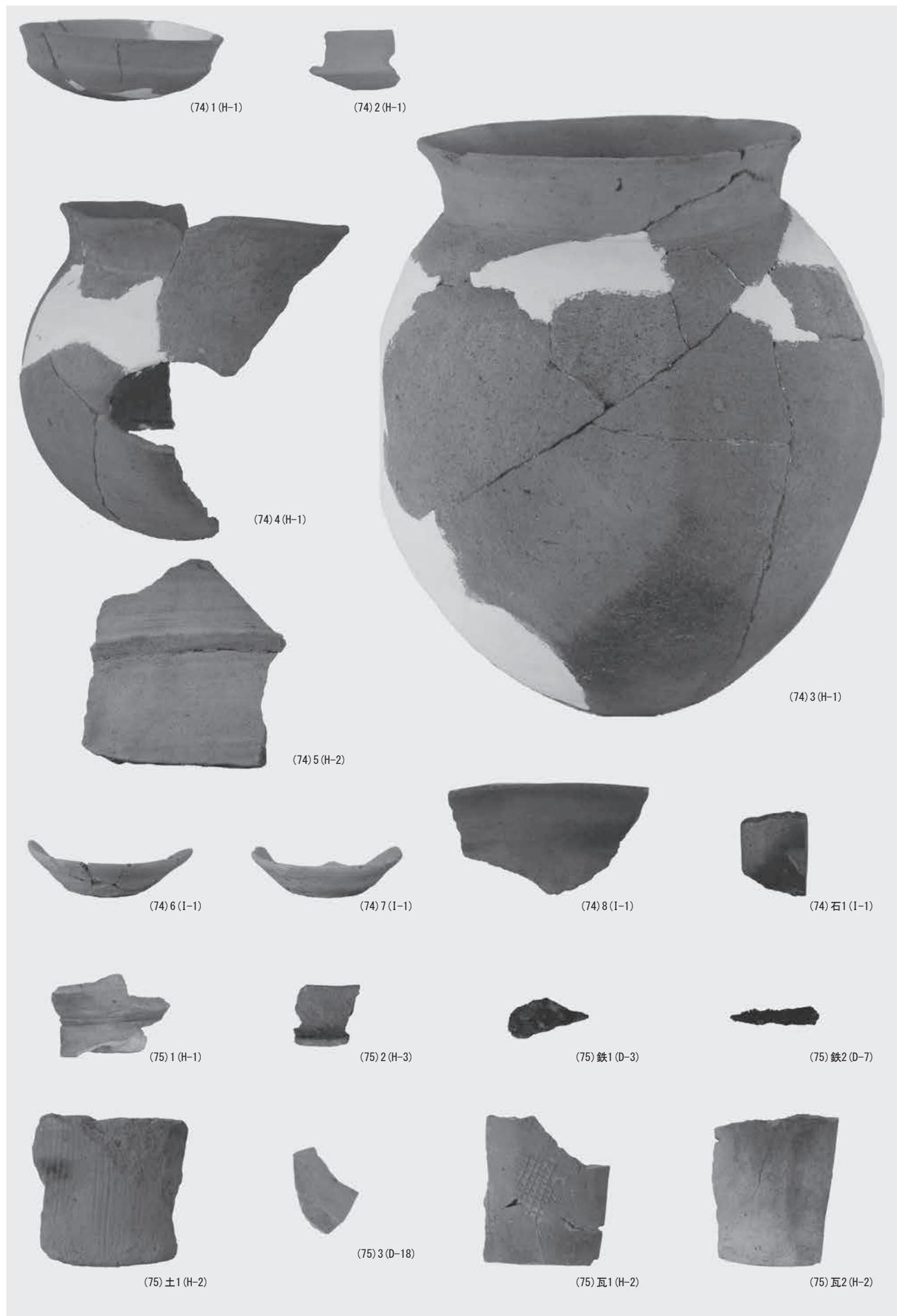
(94) D- 1 ・ 2 全景 (西から)



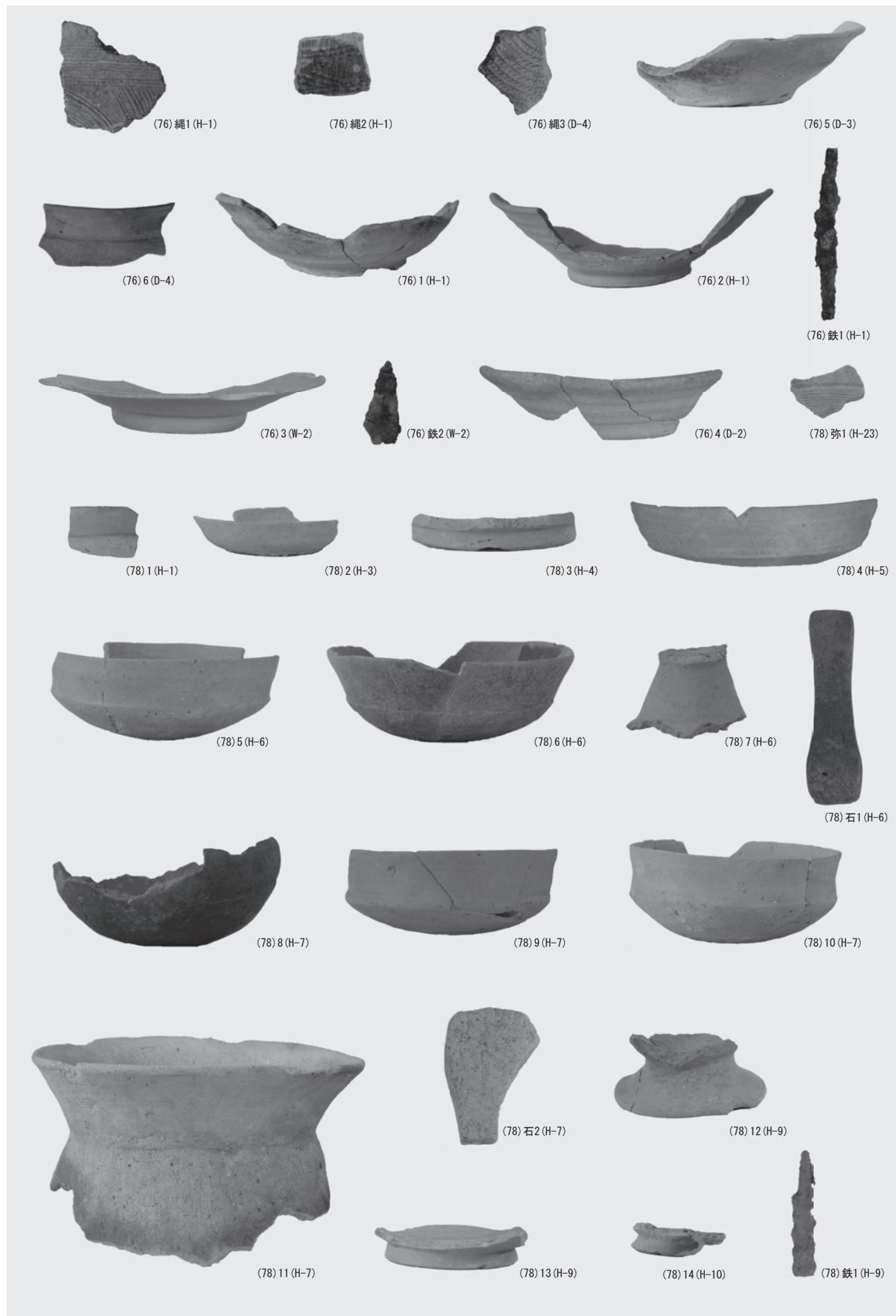
(94) D- 2 ・ 5 東壁断面 (西から)



(94) D- 3 全景 (西から)



PL. 14

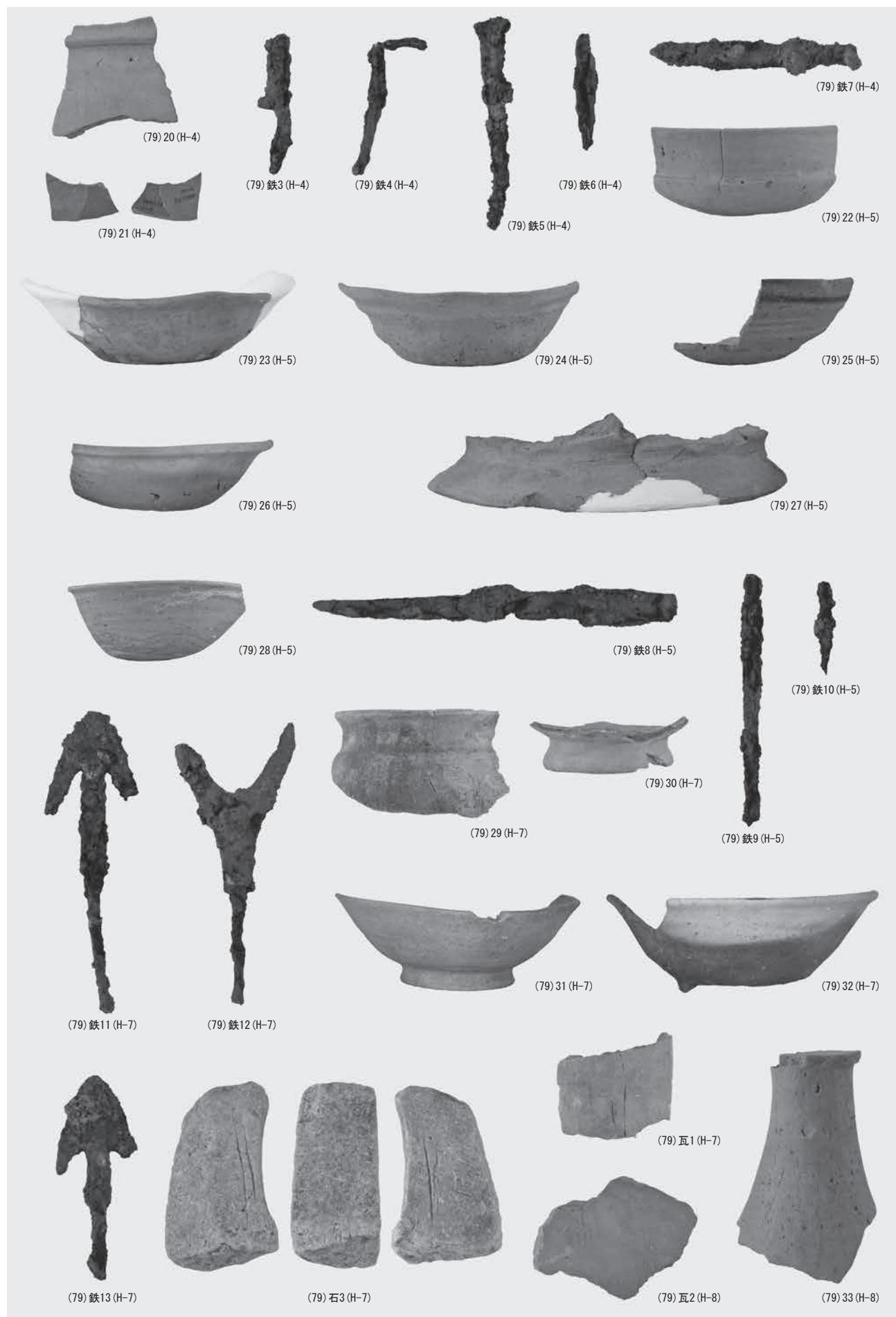




PL. 16



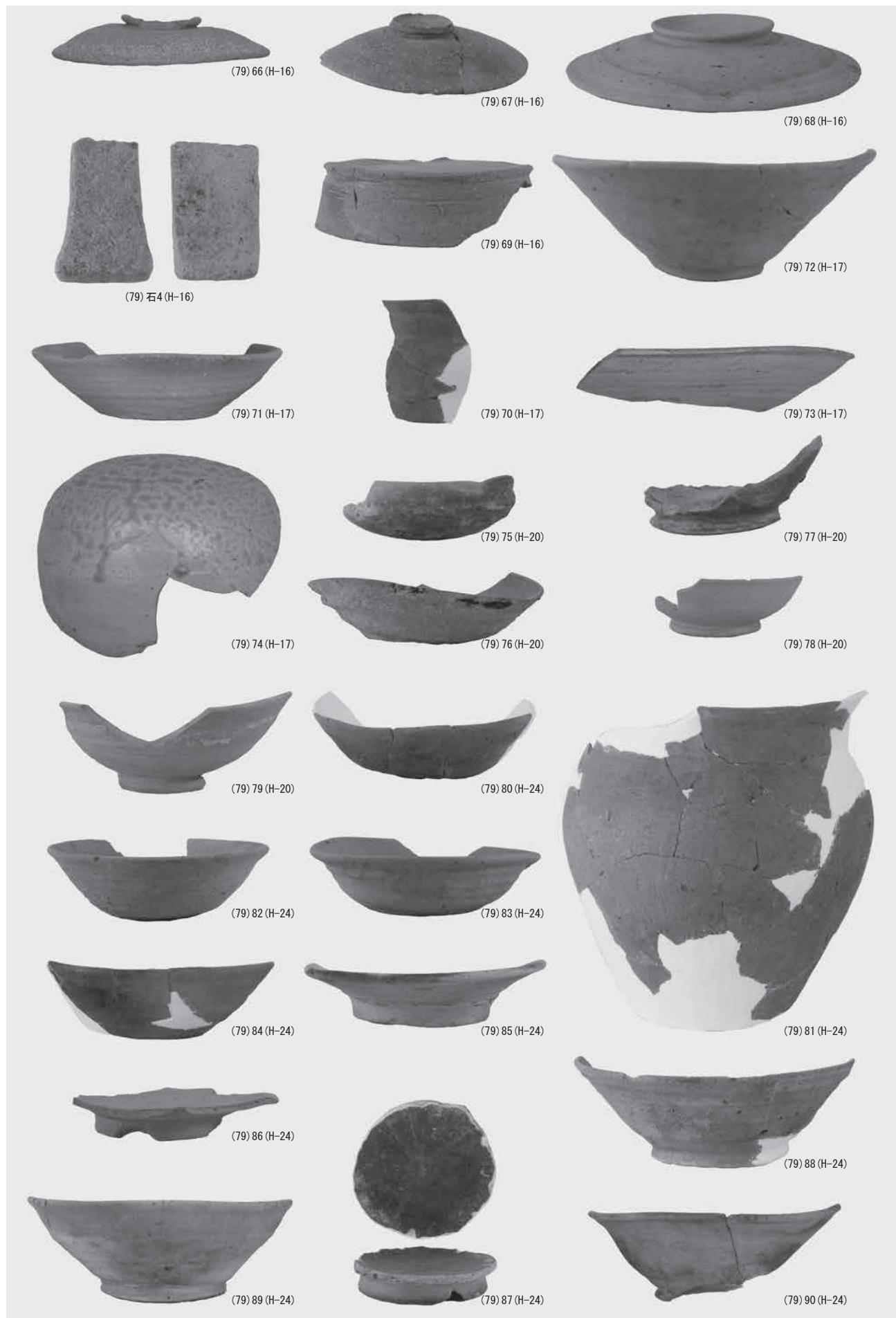


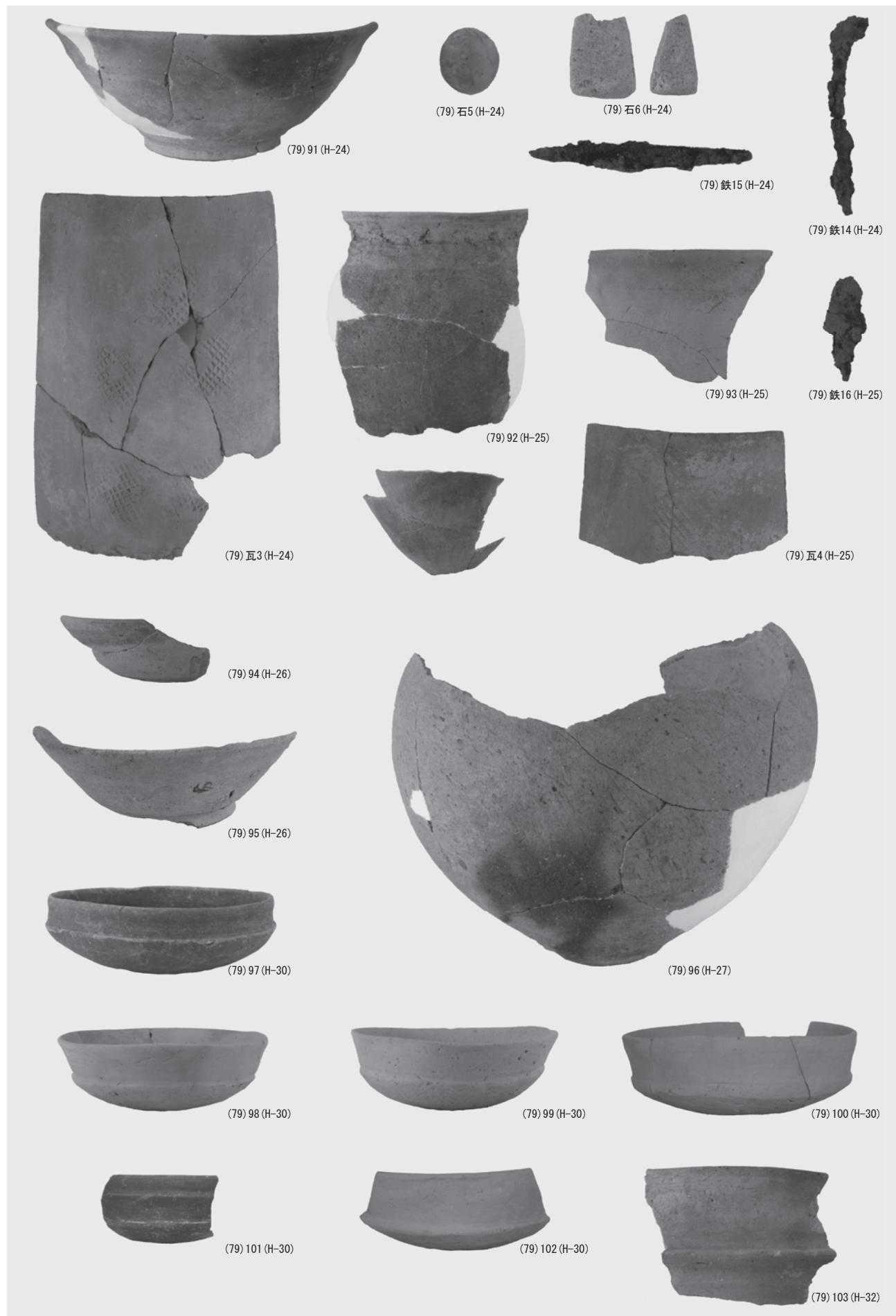


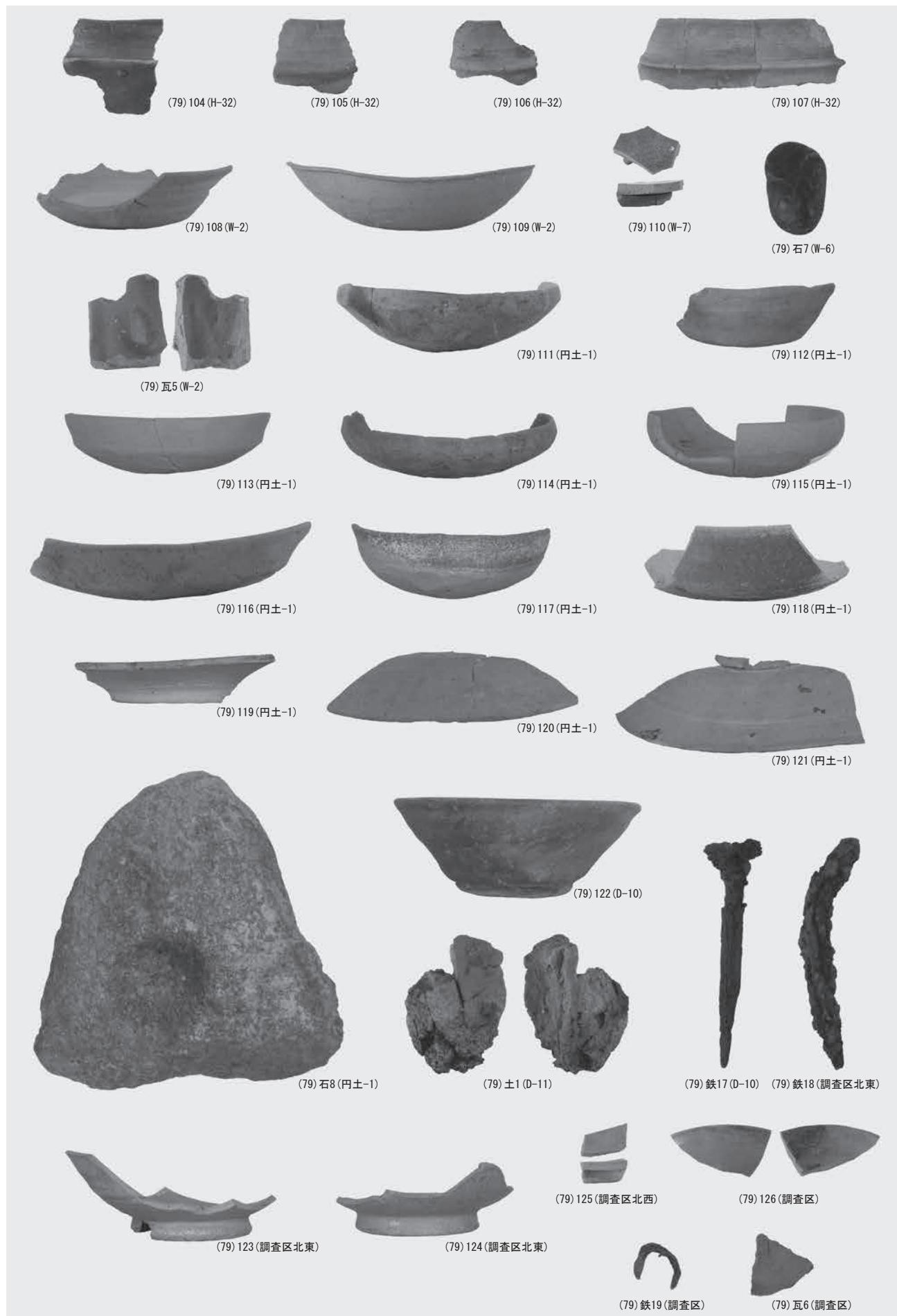


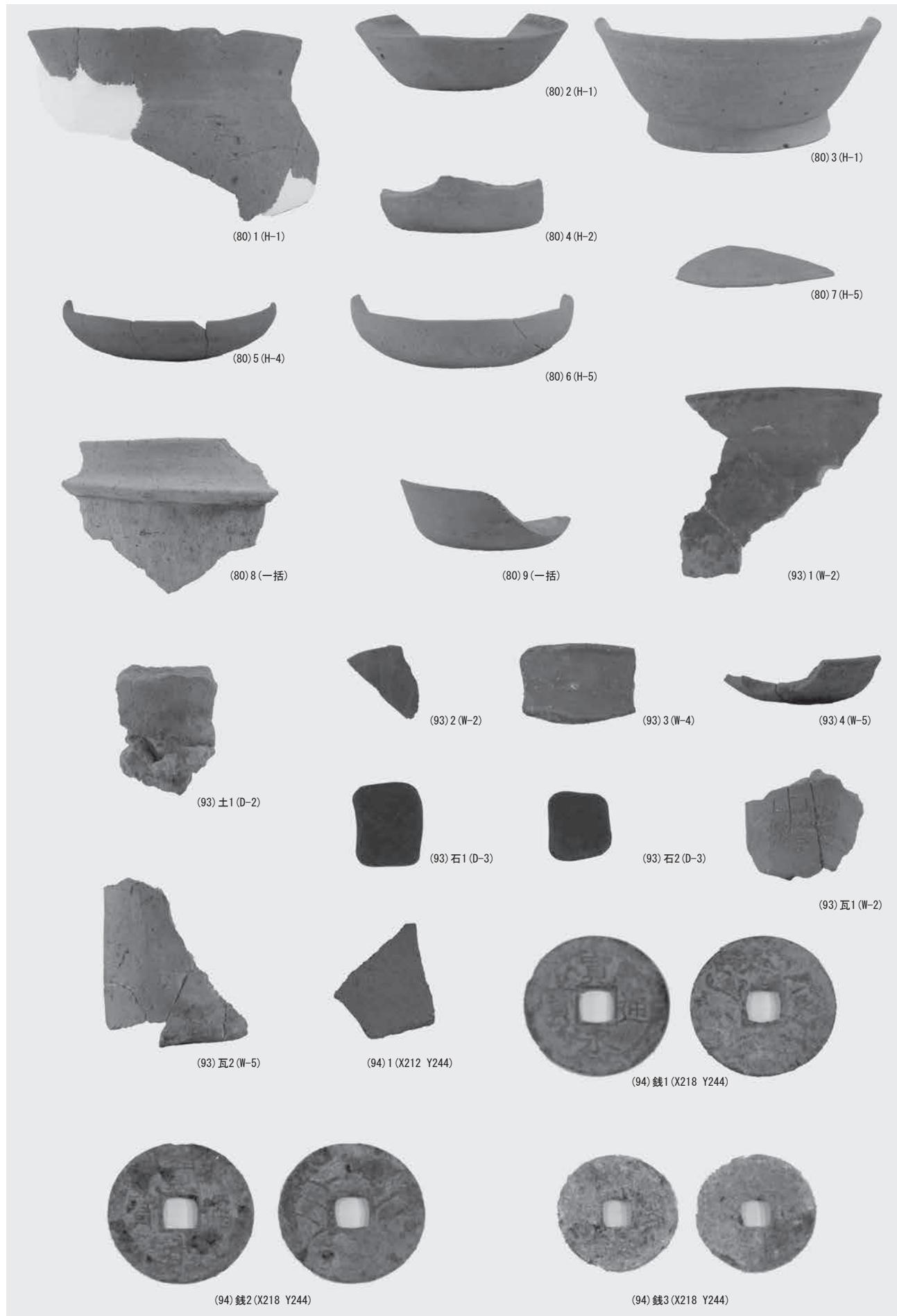
PL. 20











抄 錄

フリガナ	モトソウジャオウミイセキグン(74)、(75)、(76)、(77)、(78)、(79)、(80)、(92)、(93)、(94)
書名	元総社蒼海遺跡群(74)、(75)、(76)、(77)、(78)、(79)、(80)、(92)、(93)、(94)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	藤坂和延（前橋市教育委員会） 板垣 宏（スナガ環境測設株式会社）
発行機関	前橋市教育委員会
発行機関所在地	〒371-0853 群馬県前橋市総社町三丁目11番地4
発行年月日	西暦2017年3月24日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所 在 地	コ ー ド		位 置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号	北 緯	東 經			
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (74)	マエハシシリウシヤマチソウシヤ 前橋市総社町総社 3051-11・12・13	10201	26A168	36°23' 26"	139°02' 22"	20140926 ～ 20141018	165.9m ²	前橋都市計画 事業元総社蒼 海土地区画整 理事業
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (75)	マエハシシリモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 1375	10201	26A169	36°23' 14"	139°02' 03"	20141110 ～ 20141208	117.9m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (76)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 1419-3、1556-1、 1557、1620-1	10201	26A173	36°23' 15"	139°01' 48"	20141020 ～ 20141111	132.0m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (77)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 2181	10201	26A174	36°23' 05"	139°02' 05"	20150108 ～ 20150119	98.4m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (78)	マエハシシリウシヤマチソウシヤ 前橋市総社町総社 3587-1	10201	26A175	36°23' 18"	139°02' 29"	20141212 ～ 20150327	398.7m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (79)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 1335	10201	26A176	36°23' 07"	139°01' 53"	20150124 ～ 20150327	648.9m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (80)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 1329-1・2・3	10201	26A177	36°23' 06"	139°01' 52"	20150203 ～ 20150313	703.8m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (92)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 2172-3	10201	26A183	36°23' 05"	139°02' 06"	20150108 ～ 20150119	101.6m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (93)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 2136、2135-1	10201	26A184	36°23' 06"	139°02' 16"	20150227 ～ 20150320	78.4m ²	
モトソウシヤオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 (94)	マエハシシモトソウシヤマチ 前橋市元総社町 2134-3	10201	26A189	36°23' 06"	139°02' 17"	20150214 ～ 20150225	45.6m ²	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
元総社蒼海遺跡群 (74)	集落跡	古墳～奈良・平安時代 中世	堅穴住居跡2軒、溝跡1条 井戸跡1基	土師器、須恵器、軟質陶器、砥石	
元総社蒼海遺跡群 (75)	集落跡	平安時代	堅穴住居跡4軒、土坑20基、ピット19基	土師器、須恵器、瓦	
	城館跡	中世	溝跡1条	なし	蒼海城の堀跡
元総社蒼海遺跡群 (76)	集落跡	平安時代	堅穴住居跡1軒、溝跡2条、土坑6基、ピット2基	土師器、須恵器、灰釉陶器	
元総社蒼海遺跡群 (77)	集落跡	時期不明	井戸跡1基	なし	
元総社蒼海遺跡群 (78)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	堅穴住居跡27軒、堅穴状遺構1基、溝跡1条、土坑36基、ピット43基	土師器、須恵器、砥石、瓦	
			溝跡2条、井戸跡1基	土師器、須恵器、火鉢	
元総社蒼海遺跡群 (79)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	堅穴住居跡21軒、溝跡6条、円形有段遺構1基、土坑13基、ピット23基	土師器、須恵器、瓦 墨書き土器、灰釉陶器 緑釉陶器、鐵鏃	
元総社蒼海遺跡群 (80)	集落跡	奈良・平安時代	堅穴住居跡6軒、溝跡1条、ピット1基	土師器、須恵器	
元総社蒼海遺跡群 (92)			遺構なし	なし	
元総社蒼海遺跡群 (93)	集落跡	奈良・平安時代	溝跡1条、土坑15基、ピット13基	土師器、須恵器、羽口	
	城館跡	中世	溝跡4条	軟質陶器	蒼海城の堀跡
元総社蒼海遺跡群 (94)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	溝跡1条、土坑6基、ピット6基		
	城館跡	中世	溝跡3条	古銭、陶器	蒼海城の堀跡

元総社蒼海遺跡群 (74)～(80)・(92)～(94)

2017年3月17日 印刷
 2017年3月24日 発行
 発行 前橋市教育委員会
 前橋市総社町三丁目11番4号
 編集 スナガ環境測設株式会社
 前橋市青柳町211番地の1
 印刷 朝日印刷工業株式会社